中国語翻訳ソフト

ジェイペキン7

J北京7

スタンダード
エキスパート
プレミアム

ユーザーズマニュアル

Chapter1 ご利用の前に

この度は、J北京7シリーズ をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
当ソフトは、日中・中日対訳エディタ「J北京対訳エディタ」をはじめとし、中国語入力システム「ChineseWriterLT」など多彩なプログラムからなる日中・中日翻訳ソフトウェアです。

1 マニュアルについて

■PDF マニュアルについて

本マニュアルは、インストール方法＆簡単操作ガイドになります。詳細な機能や操作方法は、インストール完了後に[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[J北京7]ー[補助ツール] [ユーザーズマニュアル]をクリックして表示されるPDFマニュアルをご参照ください。PDFを表示するにはAcrobat ReaderやAdobe Acrobatが必要です。ご利用の目的に応じて本マニュアルとPDFマニュアルをご活用ください。

■ご利用の目的と参照ページ＆Chapter 一覧

	ご利用の目的	PDF	参照
1	ユーザ登録について知りたい	P 3	Chapter1
2	ユーザーサポート・アフターサービスを受けたい	P 3	ご利用の前に
3	動作環境を確認したい（OS など）	P 5	
4	旧バージョンを使っていましたが注意する点は？	P 5	
5	J 北京 7 をインストールしたい	P 5	
6	プログラムを更新したい	P 9	Chapter2
7	J 北京 7 をアンインストールしたい	P 10	インストール
8	ChineseWriter の IME バーが表示されない	P 11	
9	OCR ソフト（FineReader 10）をインストールしたい	P 14	
10	OCR ソフト（FineReader 10）のライセンス認証	P 15	
11	翻訳精度をあげて翻訳するには？	P 19	Chapter3
12	翻訳内容を手軽に修正したい	P 30	翻訳の基本
13	翻訳メモリの利用方法を知りたい	P 35	Chapter4
14	翻訳メモリの一覧表を活用したい	P 42	翻訳メモリ
15	辞書引きや簡繁文字変換、日中の漢字変換もできる？	P 51	Chapter5
16	日本語や中国語で読み上げさせる方法は？	P 53	ツールの利用方法
17	Word／Excel ／メール画面に転送して利用したい	P 54	Chapter6
18	ユーザー辞書に単語を登録して、翻訳率をアップさせたい	P 57	Chapter7
19	一括単語登録の方法を知りたい	P 69	ユーザー辞書編集

	ご利用の目的	PDF	参照
20	J 北京対訳エディタの各コマンドの詳細を勉強したい	P 82	Chapter8
21	環境設定を使いやすいように変更したい	P 96	機能の詳細
22	連携翻訳の組み込みを設定・解除するには？	P 105	Chapter9
23	新しいアプリに対応するにはどうするの？	P 9	アドイン翻訳
24	Word/Excel/PowerPoint でアドイン翻訳したい	P 107	Chapter10
25	一太郎でアドイン翻訳したい	P 124	Chapter11
26	Internet Explorer で、Web ページを翻訳したい	P 128	Chapter12
27	E メールの内容を翻訳したい	P 132	Chapter13
28	ファイルエクスプローラでファイルを開かず翻訳したい	P 134	Chapter14
29	PDF ファイルを翻訳したい	P 135	ファイル翻訳
30	手軽に翻訳や辞書引き、読み上げ機能を利用したい	P 139	Chapter15
31	J 北京 7 の機能を呼び出したい	P 143	J 北京ナビゲータ
32	コピー＆ペーストで、もっと簡単に翻訳したい	P 145	Chapter16 J 北京クリップ
33	Windows に表示されている文章や単語を、マウスカーソルを指して翻訳したり、辞書引きしたい	P 149	Chapter17 ロボワード for J 北京
34	専門用語を含むテキストの翻訳率を向上させたい	P 163	Chapter18 専門用語辞書
35	入力システム ChineseWriterLT について知りたい	P 167	ChineseWriterLT
36	Q ＆ A（よくある質問）	巻末	
37	サポート用紙（FAX での問合せ時にご利用ください）	巻末	

■J 北京 7 シリーズの機能差について

マニュアルでは「J 北京 7 エキスパート」の搭載機能について説明しています。「J 北京 7 スタンダード」をご購入のお客様には搭載されていない機能の説明が含まれていることをご了承ください。上位版へのグレードアップ購入はいつでも可能です。ご希望の場合は、お気軽にユーザーサポート係にお問合せください。

		スタンダード	エキスパート	プレミアム
J 北京 7 機能一般	優れた翻訳技術　最先端の言語処理技術	○	○	○
専門用語辞書	専門分野の翻訳精度を向上させる 約 61 万語の辞書	×	○	○
ChineseWriter9	中国語入力＋辞書のベストセラーソフト	×	×	○

2 表記内容について

■記号・コマンド名・参照画像について

本マニュアルでは、右記の記号を使い、利用する環境として Windows 7（32bit）を使用し操作説明をおこなっています。お使いの環境やバージョンによっては、本書の記載内容（コマンド名や画像等）を読み替えていただく必要があります。（例：7&Vista：[すべてのプログラム]、XP：[すべてのプログラム(P)]）

参考事項	
注意事項	
参照ページ	

3 ユーザーサポートについて

■ユーザ登録　https://www.kodensha.jp/userreg/

本製品に同梱の「ユーザ登録ハガキ」または上記URL「オンラインユーザ登録」にて、**インストール後３０日以内**にお願いします。オンラインユーザ登録は、インストール後の再起動時に表示されるウィンドウからか、または、[スタート] ー[すべてのプログラム(P)]ー[J北京7]ー[補助ツール]ー[オンラインユーザ登録]を実行して接続します。
登録No.は、本マニュアル扉頁に添付のシールでご確認ください。

■J 北京 7 各プログラムのお問い合わせ先

・J 北京 7　→高電社
・ロボワード for J 北京 7　→テクノクラフト社
・FineReader 10 Professional Edition　→ABBYY 社（英語）

■J 北京 7

サポート・アフターサービスには、ユーザ登録が必要です。本製品の技術的な内容やトラブルについては、弊社ホームページ上でも最新情報の提供、修正モジュールの配布などを行っておりますのでご利用下さい。提供される情報や内容は予告なしに変更される場合があります。また技術サポートは無期限に提供されるものではないことをご了承ください。

● お問い合わせ先
株式会社 高電社 ユーザーサポート係
所在地　〒545-0011　大阪市阿倍野区昭和町3-7-1
受付時間　9:15-12:00　13:00-17:30　（月～金　但し、祝日・夏期休暇・年末年始休暇は除く）
TEL　06-6628-2882　FAX 06-6629-3841（24時間待機）
Mail　support@kodensha.jp
ホームページ　http://www.kodensha.jp/sstec/
※お名前、登録No.、製品名、ご利用のOS・アプリケーションを必ずご通知ください。

電話サポートは、受付時間のみの対応となります。FAXでのご質問は、PDFマニュアルのサポート用紙をご利用ください。お問い合わせ内容によっては、調査のため回答に時間がかかる場合があります。あらかじめご了承下さい。
また、以下に列挙する事項はサポートの対象外となります。
・当社が明示する動作環境以外の環境下でのご使用に関する事項
・本製品以外の製品に関する事項
・お客様固有の動作環境（OS・ハードウェア・ネットワーク環境）に関する事項

● アフターサービス
・　製品ご購入時のDVD-ROMやCD-ROMの破損やマニュアルの落丁などの初期不良交換サービス（ 無償 ）
・　DVD-ROMやCD-ROMの破損やマニュアルの紛失などの修復サービス（ 有償 ）
・　バージョンアップサービス（ 有償 ）、新製品発売のご案内（ 無償 ）

■ロボワード for J北京7

本製品に含まれる「 ロボワード for J北京7 」は、株式会社テクノクラフトの製品です。本製品の技術的な内容やトラブルについては、株式会社テクノクラフトのホームページ上でも最新情報の提供、修正モジュールの配布などを行っておりますのでご利用下さい。

● ユーザ登録
サポートには、ユーザ登録が必要です。[スタート]-[すべてのプログラム]-[ロボワード for J北京7]-[ユーザ登録]を実行し、オンラインで登録する場合は「インターネットオンライン登録」を、郵送で登録する場合は「 FAX・郵送用「rtf」ファイル 」をクリックしてください。

● お問い合わせ先
株式会社 テクノクラフト　サポートセンター
E ・ Mail　roboword@technocraft.co.jp
ホームページ　http://www.a2001.com

■ABBYY FineReader 10 Professional Edition

本製品に含まれる「 ABBYY FineReader 10 Professional Edition 」は、ABBYY社の製品です。本製品の技術的な内容やトラブルについては、ABBYY社(米国)が対応となります。

● ユーザ登録
サポートには、ユーザ登録が必要です。本ソフト起動時にインターネットに接続し登録をおこなってください。

● お問い合わせ先
ABBYY 日本 サポート窓口
所在地　〒194-8510 東京都町田市鶴間 658-1
TEL　042-796-6125　FAX 042-796-6125
電子メール　sales@abbyyusa.com　(英語)
サポート電子メール　support@abbyyusa.com　(英語)
ホームページ　http://www.abbyy.com
※お名前(会社名)、TEL(またはFAX、Mail)、ご使用の ABBYY FineReader パッケージのシリアル番号、ビルド番号([ヘルプ]〉[バージョン情報…]を参照し、[ビルド]フィールドで確認) 、ご利用のOSを必ずご通知ください。

Chapter2 インストール

1 動作環境

本製品を利用する場合は、以下の環境が必要です。必要な環境を満たしているか、あらかじめご確認下さい。

OS	Windows 7/Vista/XP (各 32bit) 日本語版　※SP(サービスパック）は最新版が必要 Windows 7(64bit)　日本語版
対応 PC	上記 OS が正常に動作する Intel 社または、Intel 社互換 CPU を搭載した本体
ハードディスク フルインストール時	J 北京 7 スタンダード：　2.7GB ＋ 1.5GB（FineReader ） J 北京 7 エキスパート：　2.7GB ＋ 1.5GB（FineReader ） J 北京 7 プレミアム：　4.3GB ＋ 1.5GB（FineReader ）
提供メディア	J 北京 7 スタンダード： DVD-ROM 1 枚 ＋ CD-ROM 1 枚 J 北京 7 エキスパート： DVD-ROM 1 枚 ＋ CD-ROM 1 枚 J 北京 7 プレミアム： DVD-ROM 1 枚 ＋ CD-ROM 3 枚 ※インストールには DVD-ROM ドライブが必要
Office アドイン翻訳	Word/Excel/PowerPoint 2010(64bit)、2010/2007/2003/2002/2000 (32bit)
メールアドイン翻訳	Windows Live メール、Windows メール Outlook（2010/2007/2003/2002/2000)、OutlookExpress 6.0
IE アドイン翻訳	Internet Explorer　9.0/8.0/7.0/6.0
対応スキャナ	TWAIN32bit ドライバに対応したスキャナ
※ OS・Office・IE 等がバージョンアップした際の対応状況は高電社サポートページでご確認ください。	

2 旧バージョンの J 北京をご利用の方へ

旧バージョンをアンインストール後、J北京7をインストールすることを推奨しております。J北京 V4/V5/V6各バージョンのマニュアルの手順（V4はP1-10、V5はP1-13、V6はP6-18）に従って、アンインストールを行ってください。旧バージョンでのユーザ辞書や翻訳メモリをJ北京7でも利用する場合は旧バージョンをアンインストールする前にファイルを残しておいてください。

3 インストール

■本製品はハードディスクへインストールして利用するソフトウェアです。起動しているすべてのアプリケーションを終了した後、この章で記述されている内容に従ってインストールを行ってください。
■旧バージョンの J 北京をご利用の方は、・・６のご注意をお読みください。
■本製品は使用者 1 名に限りお使いいただける１ユーザライセンスです。
■本製品をネットワークサーバーにインストールし複数クライアントから使用することはできません。
■本製品をインストールする場合のユーザ名は、管理者グループ（Administrators）に所属している必要があります。管理者グループ（Administrators）に所属していないユーザ名でログインした場合、本製品のインストールを行うことはできません。
■本製品のインストール後、インストール時の Windows のユーザ名を削除しないでください。削除された場合、本製品のアンインストール・インストールが実行できなくなりますので十分ご注意ください。

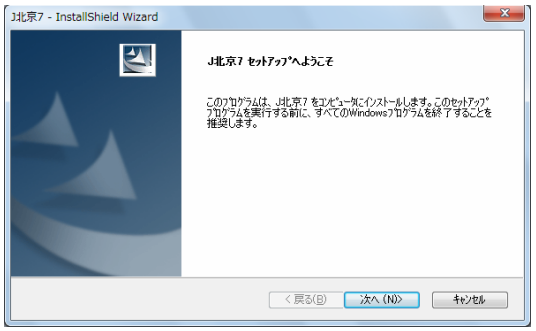
■インストールには Windows Installer3.1 等が必要となります。ご利用の環境にこのプログラムが無い場合は自動でインストールされますが、ご利用の環境によっては 30 分ほどかかる場合があるのでご了承ください。

1. **J 北京 7 の DVD-ROM をコンピュータのドライブ装置へセットします。**

   自動でインストールが始まる前に「自動再生」のダイアログが開いた場合は[setup.exe の実行] をクリックしてください。自動でインストールが始まらない場合は、[スタート] −[コンピュータ]から DVD-ROM のアイコンをダブルクリックし、「 Setup(.exe)」ダブルクリックしてください。
   ※ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、
   [続行]または [許可] を選択してください。

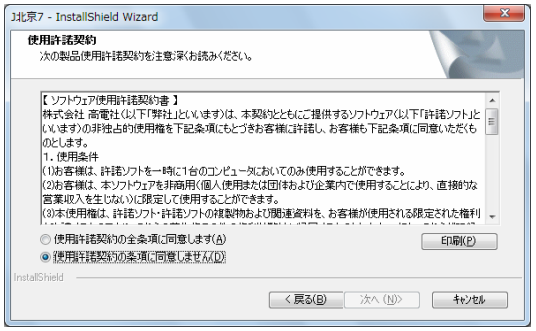
2. **セットアップのオープニング画面が表示されます。**

   [次へ(N)]ボタンをクリックします。



3. **使用許諾契約画面が表示されます。**

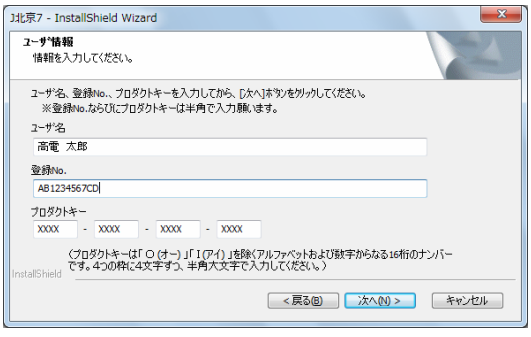
   「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択して、[次へ(N)]ボタンをクリックします。



4. **ユーザ情報の入力画面が表示されます。**

   「ユーザ名」「登録No.」「プロダクトキー」を入力します。登録No.、プロダクトキーは、J 北京 7 ご購入時に同梱されている「ユーザ登録ハガキ」または「本ユーザズマニュアル扉ページ」に記載されています。ダウンロード版をご利用の場合は購入元から届いた E-mail に記載されています。
   ＜登録No.の入力＞
   登録No.はアルファベットおよび数字からなる 11 桁のNo.です。半角・大文字で入力してください。
   ＜プロダクトキーの入力＞
   プロダクトキーは「 O(オー)」「 I (アイ)」を除くアルファベットおよび数字からなる 16 桁のNo.です。半角・大文字で入力してください。

   [次へ(N)]ボタンをクリックします。

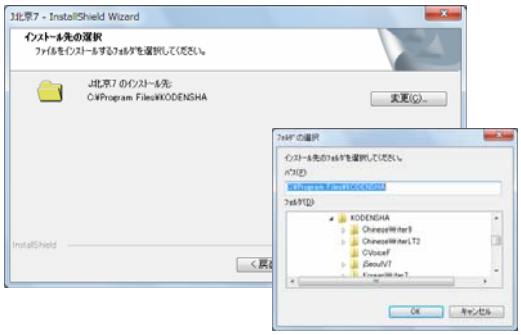


5. セットアップタイプを選択する画面が表示されます。

セットアップタイプを選択して、
[次へ(N)]ボタンをクリックします。

標準(T)：J 北京 7 の機能が、すべてインストールされます。
カスタム(U)：インストール先フォルダやインストールするプログラムやフォントを選択できます。

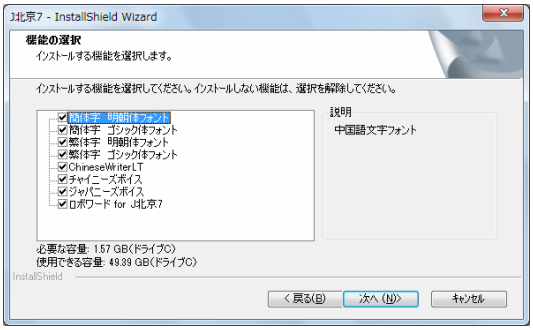
[「カスタム(U)」を選択した場合]



1）J 北京 7 のインストール先フォルダを選択する画面が表示されます。

[変更(C)]ボタンをクリックすると、インストール先のフォルダを変更することができます。変更する場合は、フォルダを選択し[OK]ボタンをクリックしてから、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

2）インストールする機能の画面が表示されます。

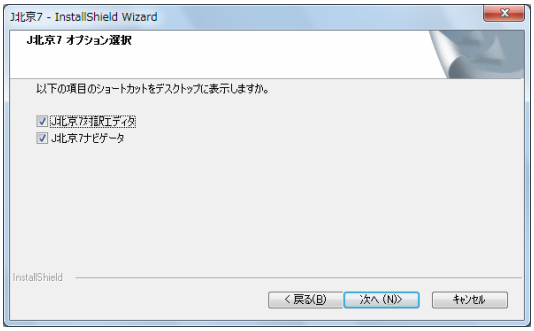


ご利用に応じてインストールする機能にチェックを入れ、[次へ(N)] ボタンをクリックします。

※各機能をクリックすると、右側に機能の説明が表示されます。

※ J北京7 プレミアムをご利用の場合、ChineseWriterLTのインストールは不要なため画面に表示されません。

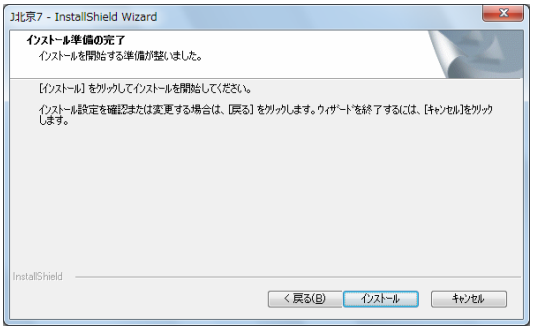
6. オプション選択画面が表示されます。



必要なショートカットにチェックを入れ、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

7. インストール準備の完了画面が表示されます。

[インストール]ボタンをクリックすると、インストールが開始します。

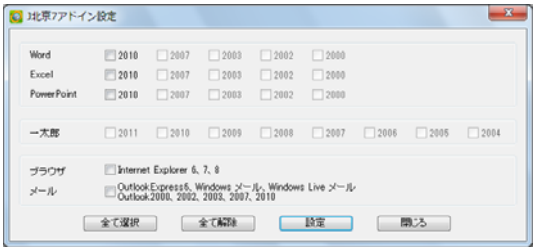


8. インストールが開始され、インストール状況が表示されます。

9. J 北京アドイン設定の画面が表示されます。

アドイン翻訳を使用する場合は設定します。
設定はインストール後でも可能です。
設定方法は Chapter9 をご参照ください。

設定後、[閉じる]ボタンをクリックします。

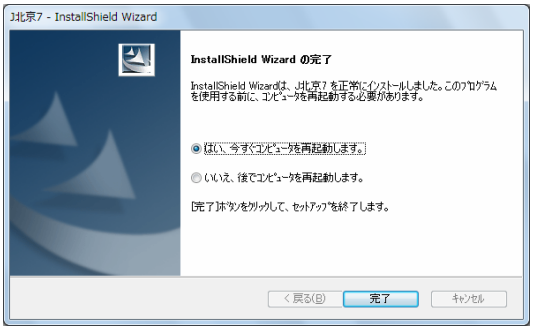


10. 正常にインストールが終了すると、セットアップの完了画面が表示されます。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、[完了]ボタンをクリックします。

Windows の再起動後、 J 北京 7 の DVD-ROM をドライブ装置から取り出して下さい。

つづいて次項の「最新プログラムの確認」作業をおこなってください。



J北京7 プレミアムをご購入されたユーザ様は、J北京7のインストール完了後にChineseWriter9のインストール作業を行ってください。（ChineseWriter9ユーザーズマニュアルP7）
ChineseWriter9をインストールしない場合、弊社ソフトに付属の中国語入力や表示機能がご利用になれませんのでご注意ください。

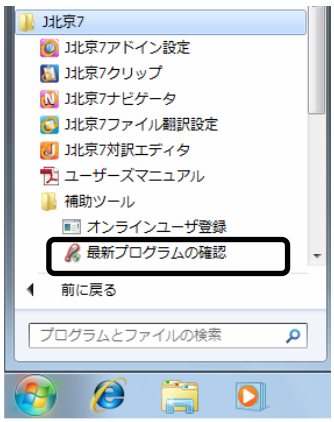
4 最新プログラムの確認

最新のプログラムをダウンロードすることが出来ます。

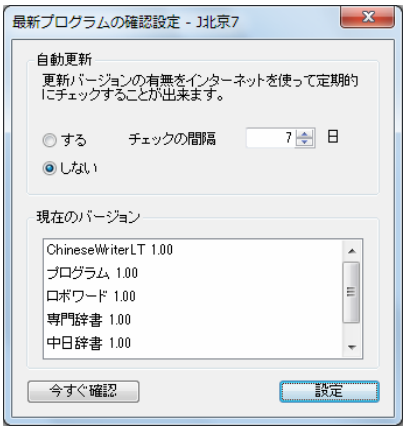
1. **[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[J北京７]ー[補助ツール]ー[最新プログラムの確認]をクリックして起動します。**

   ※最新プログラムにアップデートするときは、管理者権限のあるユーザ ID でログインしてから実行して下さい。

   ※ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、
   [続行]または [許可] を選択してください。

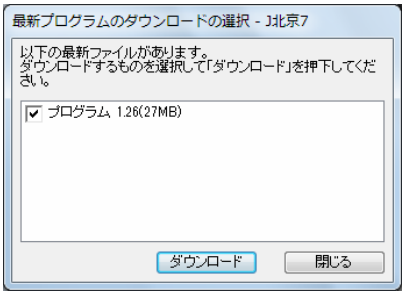


2. **現在のプログラムバージョンが表示されます。
   [今すぐ確認]をクリックします。**



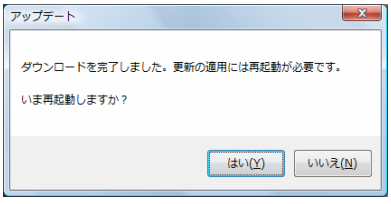
3. **[ダウンロード] をクリックし、最新のプログラムをダウンロードします。**

   お使いのプログラムが最新の場合は「適用できる更新がありません」と表示されますので、[OK] をクリックして、終了してください。



4. **ダウンロード完了後、アップデートの確認画面が表示されます。
   [はい]をクリックしてパソコンを再起動してください。**

   再起動すると、新しいプログラムのインストール画面が始まりますので、画面の指示通りに進んでください。

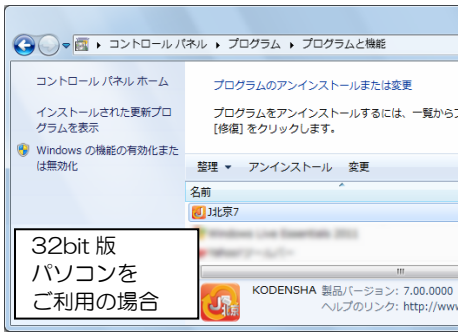


5 アンインストール

インストールした本製品は、アンインストールを実行することで削除することができます。

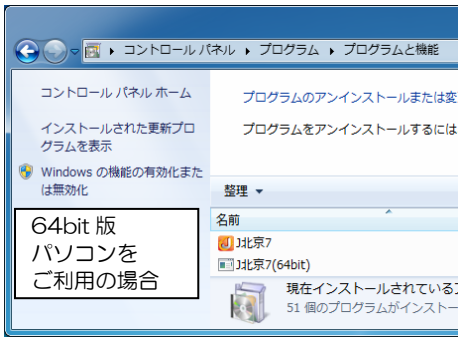
■本製品を削除する場合は、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。
■管理者グループ（Administrators）に所属していないユーザ名でログインした場合、本製品のアンインストールを行うことはできません。
■アンインストールによってハードディスクから削除されるのは、J北京7のシステムファイルのみです。J北京7の導入後に作成した文書ファイル、ユーザ辞書、翻訳メモリは削除されずにハードディスクに残ります。

1. **コントロールパネルから削除を行います。**
   [スタート]－[コントロールパネル]－[プログラムと機能]をクリックします。



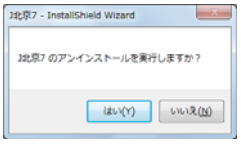
2. **一覧から J 北京 7 を選択し、[アンインストール] をクリックしてください。**

   Windows7(64bit)をご利用の場合、一覧に「J 北京 7」「J 北京 7（64bit)」の 2 つが表示されます。先に「J 北京 7（64bit)」をアンインストールし、引き続き「J 北京 7」をアンインストールしてください。



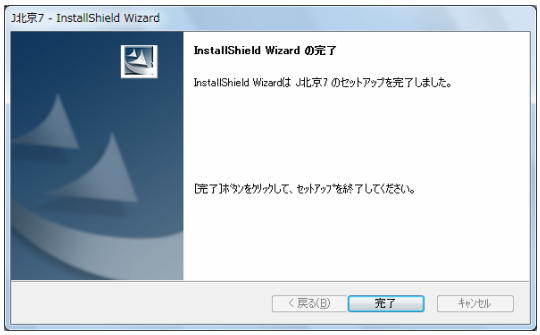
3. **アンインストールの確認メッセージが表示されます。**

   [はい（Y）]ボタンをクリックするとアンインストールを開始します。



4. **進行状況が表示された後、アンインストールが完了します。**

   Windows7(64bit)をご利用の場合は、つづいて[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]をクリックし一覧から J 北京 7(64bit)を選択し、上記と同様の手順でアンインストール作業をおこなってください。



6 J 北京 7 の変更と修正

J北京7のインストール後に、J北京7のプログラムを変更・修正することができます。

1. **J 北京 7 の DVD-ROM をコンピュータのドライブ装置へセットします。**

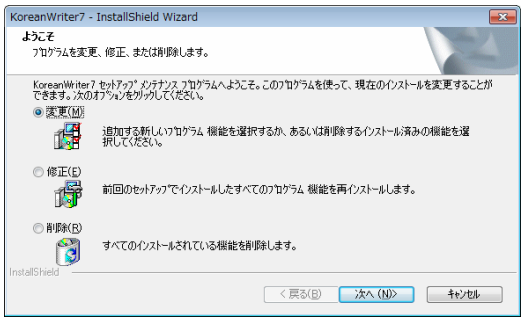
   自動でインストールが始まる前に「自動再生」のダイアログが開いた場合は[setup.exe の実行] をクリックしてください。自動でインストールが始まらない場合は、[スタート] −[コンピュータ]から DVD-ROM のアイコンをダブルクリックし、「 Setup(.exe)」ダブルクリックしてください。
   ※ユーザアカウント制御画面が表示された場合は、
   [続行]または [許可] を選択してください。

2. **J 北京 7 のプログラム変更・修正・削除画面が表示されます。**

   ・「変更(M)**」**
   現在インストールされている J 北京 7 のプログラムの内容の一部を削除したり追加したりすることができます。
   手順は、P 9 の [カスタム(U)] を選択した場合の 2.をご参照ください。

   ・「修正(E)**」**
   現在インストールされている J 北京 7 のプログラムの内容を新しくインストールしなおします。

   ・「削除(M)**」**
   すべてのインストールされている機能を削除します。



7 よくある質問

■中国語フォントがインストールされない場合について

Windows のフォントキャッシュやレジストリに問題がある場合、使用可能なフォントが少なくなったり、新たにフォントを登録できないことがあります。次の方法でご確認ください。

① WindowsをSafeモードで起動します。キーボードの[F8] キーを押しながら起動するとSafeモードで起動します。※ 詳しくはパソコンに付属のマニュアル等をご参照ください。

② Windowsを再起動します。Windowsの再起動後、[コントロールパネル(C)] − [フォント]に、本製品のフォント名(「KS 」「KW」等で始まるフォント)が登録されているかご確認ください。上記で復旧しない場合は下記へお進みください。

③ 再度、WindowsをSafeモードで起動します。

④ エクスプローラを起動し、[ツール(T)]ー[フォルダオプション(オプション)]ー[表示]を開き、「すべてのファイルを表示する」にチェックを入れます。

⑤ スタートボタンから、検索で「FNTCACHE(.DAT)」を探して削除してください。表示されない場合は、②のエクスプローラの設定で「すべてのファイルを表示する」にチェックが入っていることをご確認ください。（この削除作業は通常の起動モードではなく、Safeモードで行なう必要があります。）

⑥ Windowsを再起動します。Windowsの再起動後、[コントロールパネル(C)]ー[フォント] に、本製品のフォント名が登録されているかご確認ください。

■J 北京 7 のインストール後に ChineseWriter の IME のツールバーが表示されなくなった場合の対処方法

「インストール時と異なるユーザ名でログインした場合」と同じ手順を実行してください。

■インストール時と異なるユーザ名でログインした場合

初回利用時にのみご利用のパソコンの環境に応じて以下の手順を実行してください。

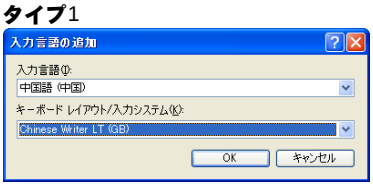
	Office XPを導入していない	Office XPを導入している
Windows XP	**タイプ1**	**タイプ2**
Windows Vista、7	**タイプ3**	

1. **タイプ**1 / **タイプ**2 [コントロールパネル]ー[地域と言語のオプション] を開きます。
   タイプ3 [コントロールパネル]ー[時計、言語、および地域]ー[地域と言語のオプション]を開きます。

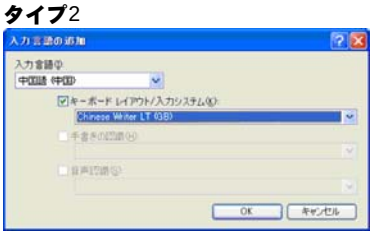
2. **タイプ**1 / **タイプ**2 [言語] のタブをクリックして、[詳細] ボタンをクリックします。
   タイプ3 [キーボードと言語]タブをクリックし、[キーボードの変更] ボタンをクリックします。

3. [追加] ボタンをクリックします。

4. **タイプ**1



タイプ2

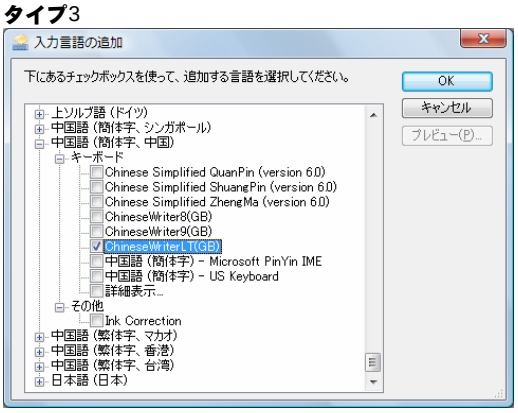


タイプ 1 / **タイプ** 2

「入力言語(I))」に中国語(中国)を選択し、「キーボードレイアウト/入力システム(K)」に「ChineseWriterLT(GB)」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

ChineseWriterLT(BIG5)を利用する場合は、上記の操作を繰り返し行います。このとき、「入力言語(I))」に中国語(台湾)を、「キーボードレイアウト/入力システム(K)」に「ChineseWriterLT(BIG5)」を選択します。

タイプ3



タイプ 3

中国語(簡体字、中国)を選択し、キーボードの一覧にある「ChineseWriterLT(GB)」のチェックボックスにチェックを入れ［ OK ］ボタンをクリックします。

ChineseWriterLT(BIG5)を利用する場合は、中国語(繁体字、台湾)を選択し、キーボードの一覧にある「ChineseWriterLT(BIG5)」のチェックボックスにチェックを入れ[OK ］ボタンをクリックします。

5.［ OK ］ボタンにてダイアログをとじていき設定を完了させます。

Chapter2-2 インストール　FineReader 10

1 動作環境

FineReader 10 のご利用には、以下の環境が必要です。

OS	Windows 7/Vista/XP（各 32bit）日本語版　※SP(サービスパック）は最新版が必要
	Windows 7(64bit)　日本語版
対応 PC	上記 OS が正常に動作する Intel 社または、Intel 社互換 CPU を搭載した本体
ハードディスク	1.5GB
対応スキャナ	TWAIN32bit ドライバに対応したスキャナ
接続環境	インストール後のライセンス認証とユーザ登録には、インターネット接続が必要。

【重要】
本製品のご利用には、インストール後、インターネットによるライセンス認証とユーザ登録が必要です。お客様のインターネット接続環境をご確認の上、インストールおよび、ライセンス認証とユーザ登録を行ってください。

2 インストール

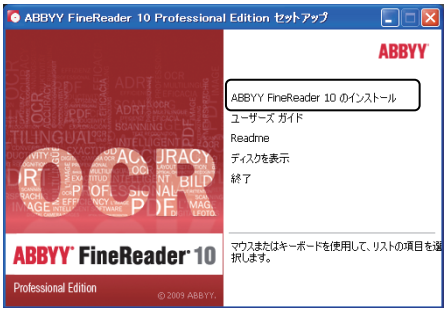
1. FineReader 10 の CD をコンピュータのドライブ装置へセットします。

【Windows 7、Vista をご利用の場合】
インストールが始まる前に「自動再生」のダイアログが開きます。
[setup.exe の実行] をクリックしてください。

インストール時にユーザアカウント制御が表示された場合、
[続行]または [許可] を選択し作業をすすめてください。

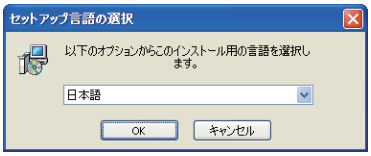
2. セットアップ画面が表示されます。

「ABBYY FineReader 10 のインストール」
をクリックします。

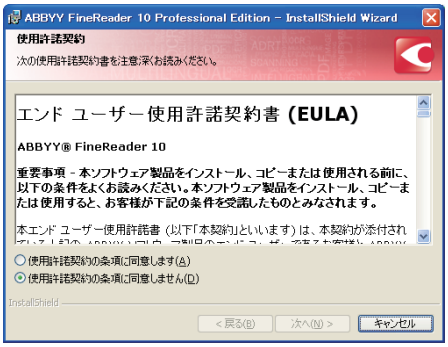


3. セットアップ言語の選択画面が表示されます。

「日本語」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

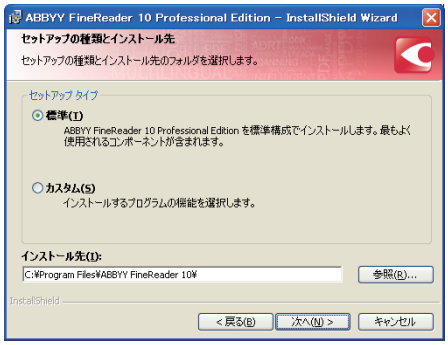


4. 使用許諾契約画面が表示されます。



「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択し、
[次へ(N)]ボタンをクリックします。

5. セットアップタイプの種類とインストール先を選択する画面が表示されます。

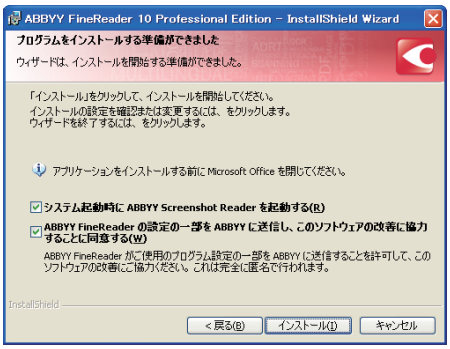


「セットアップタイプ」を選択します。
標準(T)：標準構成でインストールします。
カスタム(S)：インストールするプログラムを選択できます。

「インストール先（I)」を確認します。
インストール先のフォルダは[参照(R)]ボタンをクリックすると、変更することができます。

[次へ(N)]ボタンをクリックします。

6. インストール準備の完了画面が表示されます。



[インストール（I）]ボタンをクリックすると、インストールが開始します。

7. インストール状況が表示されます。

ご利用の環境によって所要時間は異なりますので、ご了承ください。

8. 正常にインストールが終了すると、セットアップの完了画面が表示されます。

[完了(E)]をクリックします。

3 ライセンス認証とユーザ登録

・ABBYY FineReader 10 のご利用には、インターネットを経由したライセンス認証とユー登録が必要です。この手順を行う前にインターネットに接続されていることを確認してください。
・ライセンス認証には ABBYY FineReader 10 の CD ケースに貼られているシリアル番号が必要です。お手元にご用意ください。

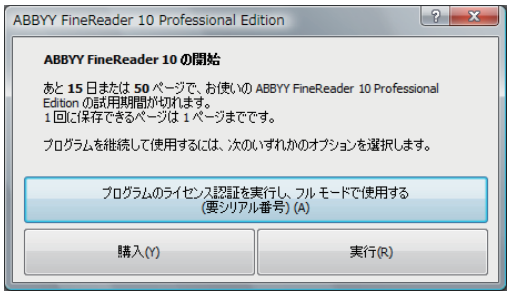
1. FineReader 10 を起動します。

[すべてのプログラム]-[ABBYY FineReader 10]- [ABBYY FineReader 10　Professional Edition]をクリックすると起動します。

初回起動時には、右図の ABBYY FineReader10 の開始ウィンドウが表示されます。

「プログラムのライセンス認証を実行し、フルモードで使用する（要シリアル番号）(A)」をクリックします。

※本画面は体験版プログラムとの兼用のため「購入(Y)」ボタンが表示されますが、製品版では利用しないボタンです。また「実行(R)」ボタンをクリックすると、体験版プログラムが起動しフルモードでご利用できなくなりますので、製品版では利用しないボタンです。

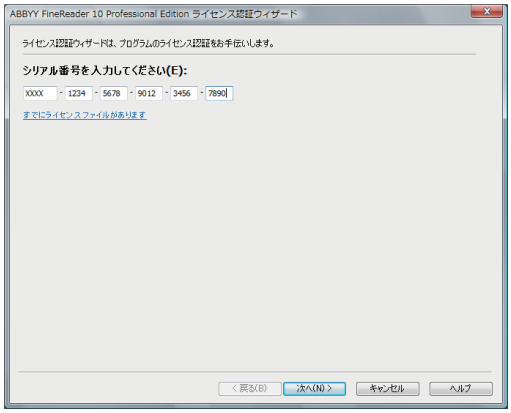


2. シリアル番号の入力画面が表示されます。

ABBYY FineReader 10 の CD ケースに貼られているシリアル番号を入力してください。

各 4 ケタを 6 つの入力ボックスに、お間違えのないように入力してください。

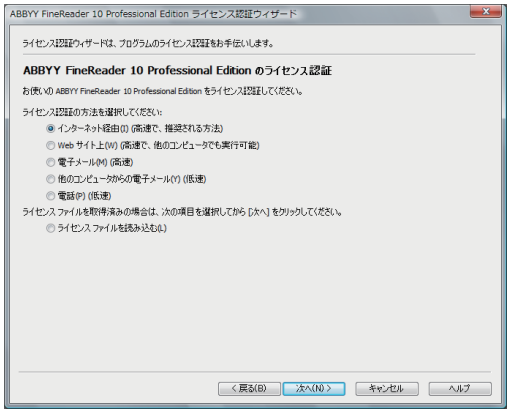
[次へ(N)]ボタンをクリックします。



3. ライセンス認証画面が表示されます。

「インターネット経由(I)(高速で、推奨される方法)」を選択して、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

※上記以外の方法は、お客様が直接 ABBYY USA のサポートセンターへ英語で認証を依頼する必要が生じますので、選択されないことをお勧めします。

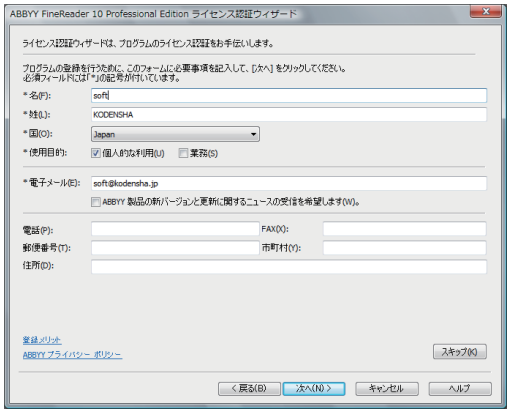


4. プログラムの登録（ユーザ登録）画面が表示されます。

＊印は必須入力事項です。「名」「姓」「国」「使用目的」「電子メール」を入力してください。

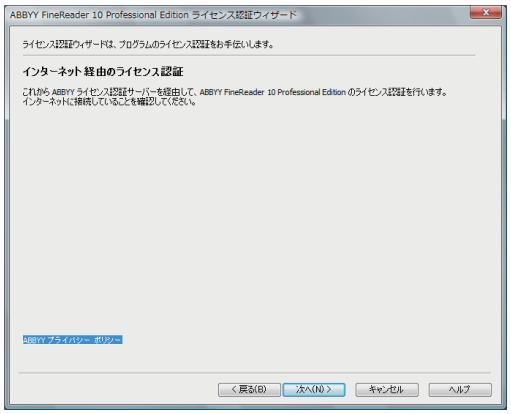
※この情報は、技術サポートやアフターサポートをご利用になる際に必要になりますので、入力内容をお手元に控えることをお勧めします。

[次へ(N)]ボタンをクリックします。

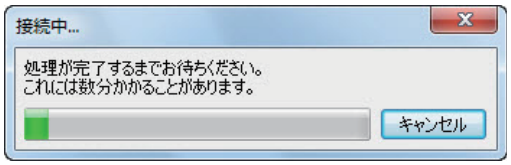


5. インターネット経由のライセンス認証画面が表示されます。

インターネットに接続されていることを確認して、[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

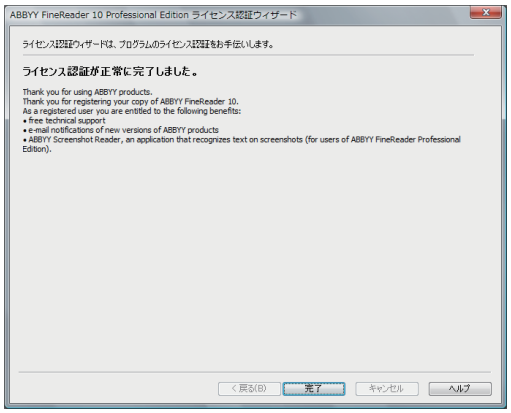


6. 接続中画面が表示されます。



7. ライセンス認証の完了画面が表示されます。

ライセンス認証は完了しました。[完了]ボタンをクリックして、FineReader10 をご利用ください。



4 補足事項

・FineReader10 の詳しいご利用方法は、[すべてのプログラム]-[ABBYY FineReader 10]- [User's Guide]をクリックして表示される PDF ファイルをご参照ください。

・ABBYY FineReader は、ライセンス認証を実行したコンピュータであれば何度でも再インストールできます。この場合、再度ライセンス認証を行っていただく必要はありません。

・ライセンス認証は、FineReader10 の［ヘルプ］メニューから、[ABBYY FineReader のライセンス認証...］を選択して実行することもできます。

・ユーザ登録は、FineReader10 の[ヘルプ］メニューから［今すぐ登録...］を選択して実行することもできます。

・テクニカルサポート情報の一部は、[ABBYY FineReader について］ダイアログ ボックスで、[システム情報...］をクリックしてご利用になれます。

Chapter 3　J北京対訳エディタ

1 良い翻訳結果を得るために

良い翻訳結果を得るためには、次の点にご注意下さい。

1. 機械翻訳は、少なからず人間の手を必要とします。

機械翻訳では、原文にもよりますが１００%の翻訳結果を得るのは困難です。
機械翻訳を行った結果で不適切な部分については、人間が修正を加えることでより正確で自然な文章を完成することができます。

2. 長い文を機械翻訳すると翻訳精度が低下する場合があります。

長い文章を機械翻訳すると、文の前後のつながりや切れ目などが判断しにくくなり、誤った翻訳結果が出力される原因になります。長い文章は、あらかじめ短い文に分けておくことをおすすめします。

3. あいまいな表現や人間的感情を表現した文章は機械翻訳に適していません。

機械翻訳は人間的な感情表現やあいまいな表現をもっとも苦手としています。
機械翻訳を行う場合には、文章を基本的な文章表現に修正したのち、翻訳することをおすすめします。

4. 省略した語句を補う。

原文中に省略された語句があると、正しく翻訳できない場合があります。
翻訳を行う前に省略された語句がないか確認した後、翻訳することをお勧めします。

5. 特殊な構文は利用しない。

特殊な構文を使った文は、正しく翻訳できない場合があります。
簡単な構文に修正したのち、翻訳することをおすすめします。

6. ユーザ辞書に登録を行う。

辞書にない専門用語や固有名詞など、頻繁にお使いになる単語をユーザ辞書に登録することで、最適な翻訳結果を得ることができます。

7. 翻訳メモリに登録を行う。

繰り返し利用する文章や固定表現の多い文章など、原文とその正しい訳文をペアにして登録することで、以降の同じ原文または類似文の原文の翻訳に反映させることができます。

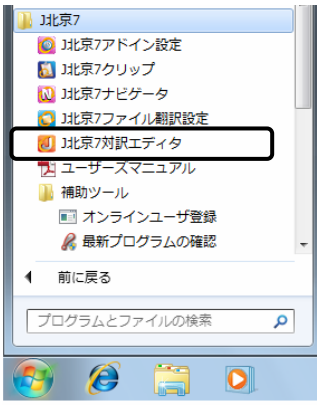
8. 意味のない登録は行わない。

機械翻訳は、辞書の内容によって大きく翻訳結果が変わります。意味のない登録は、翻訳スピードを下げ精度を落とす結果につながりますので、登録は慎重に行うよう心掛けて下さい。

2 起動方法と終了方法

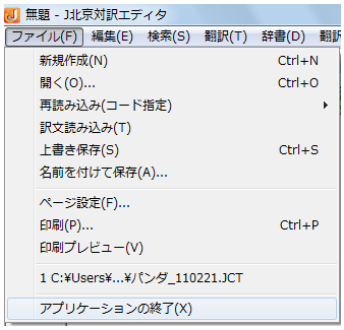
◆ 起動方法

1. **タスクバーから［ スタート ］ボタンをクリックします。**
2. **［ すべてのプログラム ］ー［ Ｊ北京７ ］の順でポイントします。**
3. **［ Ｊ北京７対訳エディタ ］をクリックすると起動します。**



◆ 終了方法

メニューバーから ［ ファイル(F)］ー［ アプリケーションの終了(X)］ をクリックすると終了します。

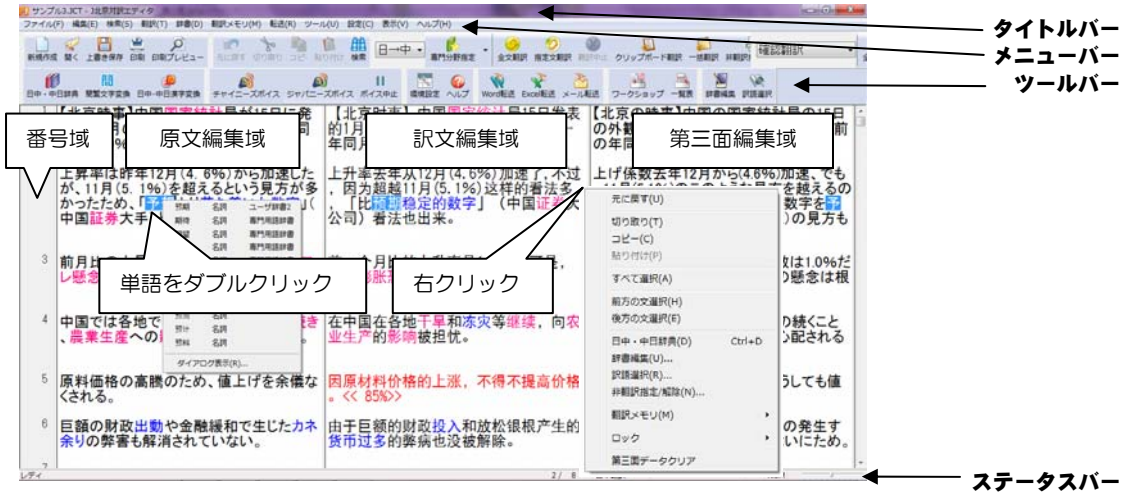


3 キー操作について

Ｊ**北京対訳エディタ**では編集域の移動などに以下のキーを使用します。

キー	説明	キー	説明
[↑]	１行上へ移動します。	[Shift]+[Enter]	次の文へ移動します。
[↓]	１行下へ移動します。	[Ctrl]+[Home]	最初の文へ移動します。
[←]	１文字左へ移動します。	[Ctrl]+[End]	最後の文へ移動します。
[→]	１文字右へ移動します。	[PageUp]	１ページ上へ移動します。
[Tab]	原文編集域、訳文編集域、第三画面を、右方向に移動します。	[PageDown]	１ページ下へ移動します。
[Ctrl]+[Tab]	翻訳方向を切り替えます。	[Shift]+[←]	文字列を選択します。（前方へ拡張）
[Shift]+[Tab]	原文編集域、訳文編集域、第三画面を、左方向に移動します。	[Shift]+[→]	文字列を選択します。（後方へ拡張）
[Enter]	文章中にカーソルがある場合は文を２つに分割します。文章の先頭、後尾にカーソルがある場合は新しい行を作成します。		

4 J北京対訳エディタの画面

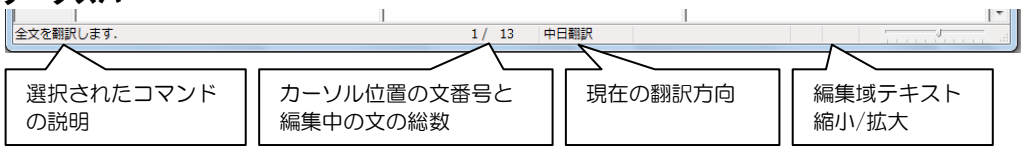


メニューバー
メニューバーから目的のコマンドを選択して実行することができます。P 85

番号域
J北京対訳エディタ では各文を番号単位に管理しており、文を選択する場合は、この領域の文番号をクリックして行います。最大99,999文まで作成することができます。

原文編集域　/ 訳文編集域　/ 第三面編集域
原文・訳文・第三面（確認翻訳、簡繁表示、ピンイン、翻訳メモリなど）を表示・編集する領域です。

ステータスバー



ツールバー
アイコンをクリックすると、割り当てられているコマンドが実行されます。アイコンの表示/非表示は、メニューの[表示(V)]をクリック（または、ツールバー内で右クリック）で選択できます。P 83

色分け
訳語が引用された辞書の種類を色分けで表示します。初期表示では、ユーザ辞書適用時：紫、専門用語辞書適用時：ピンク、翻訳メモリ（100%：赤、99-80%：青、79-1%　茶）P 21

ダブルクリック
単語をダブルクリックすると、訳語リストが表示されます。P 101

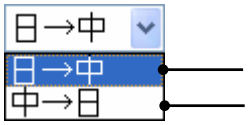
右クリック
編集画面で右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。P 104

5 原文の入力操作

翻訳する原文を入力する

J **北京対訳エディタ** で翻訳を行う場合は、J **北京対訳エディタ** の原文編集域に、翻訳する文章をキーボードから入力するか、ファイルを読み込んでテキストを表示する必要があります。

1. **翻訳方向を設定します。**



日本語を中国語に翻訳する場合に設定します。
中国語を日本語に翻訳する場合に設定します。

2. **原文編集域にカーソルを表示し、キーボードから翻訳する文章を入力します。**

カーソルを表示すると、設定されている翻訳方向に応じて入力システムが切り替わります。日→中に設定されている場合は日本語の入力システム、中→日に設定されている場合は ChineseWriterLT などの中国語入力システムに切り替わります。
入力システムの切り替えを行うには、[設定(C)]ー[環境設定(I)] の「入力システム」で、各言語の入力システムを指定する必要があります。P 99

☞ [Enter] キーを 1 回押すと、新しく文番号がつき次の原文を入力することができます。

翻訳する原文をファイルから読み込む

J 北京対訳エディタで読み込むことができるのは、メモ帳で読み込み可能な標準テキスト形式ファイル(.TXT)、J 北京対訳エディタ で作成された対訳ファイル(.JCT)、j・北京シリーズ(旧バージョン)で作成された対訳ファイル(.CJ、.JC)です。MS-Word や一太郎などのワープロ形式で保存したファイルを読み込むことはできません。

1. **J北京対訳エディタのツールバーから をクリックするか、メニューバーから[ファイル(F)]ー[開く(O)] をクリックして、開くダイアログを表示します。**

☞ 開くコマンドを実行した場合は、[環境設定] ダイアログの [既定のフォルダ設定] の「文書フォルダ」に指定されているフォルダが表示されます。詳細は、P 101 をご覧下さい。

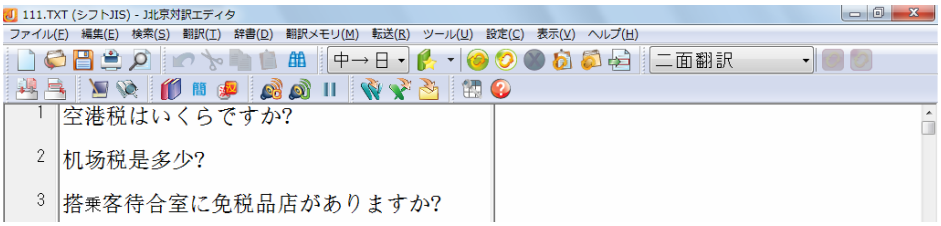
2. **開くダイアログで、読み込むファイルが保存されている「ファイルの場所(I)」「ファイル名(N)」「ファイルの種類(T)」「エンコード」を指定します。**

旧バージョンのj・北京シリーズで作成された対訳ファイル(.CJ、JC)をご利用の場合は、すべてのファイル（*.*）を指定してください。

◆ エンコードについて ◆

J**北京対訳エディタ**では、ご利用のファイルの言語と文字コードを自動識別して、対訳エディタに表示しますが、あらかじめ言語および文字コードを指定することもできます。言語および文字コードの詳細は、P 85 をご覧下さい。

3. [**開く**(O)] **ボタンをクリックすると、指定したファイルが読み込まれます。このとき、翻訳方向が自動で切り替わります。**



6 文の選択操作

J **北京対訳エディタ**では、選択した文に対して翻訳などのコマンドが実行されます。

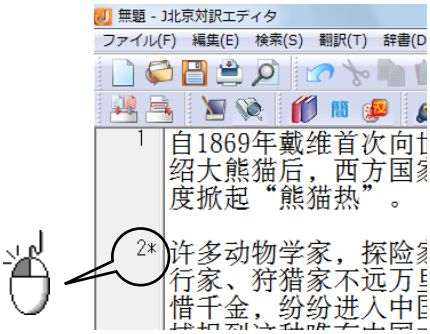
> ☞ J **北京対訳エディタ**には、マウスで番号域をクリックして文を選択する方法の他に、編集メニューのコマンド[前方の文選択(H)]、[後方の文選択(E)] を実行して文を選択する方法もあります。 P 88

★ **一文の選択方法**

番号域から選択したい文番号をクリックします。
選択された文番号には「＊」が表示されます。

文２が選択され、文番号に＊が表示されます。

また、カーソルのある文は、＊ が表示されていなくても選択されています。

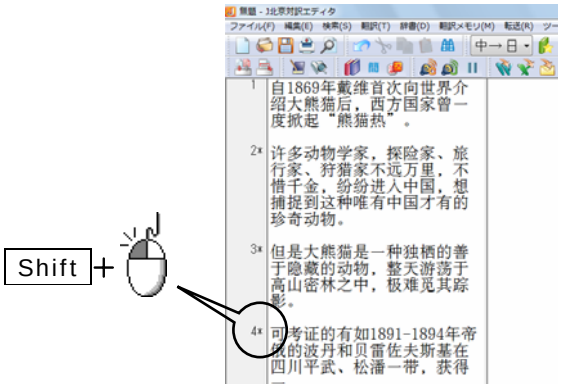


★ **複数文の選択方法**

◆ 連続した文番号を複数選択する場合 ◆

１文を選択した後、【 Shift 】キーを押しながら他の文番号をクリックします。

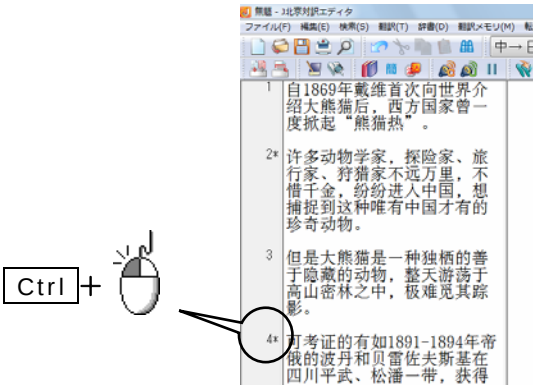
２行から４行までの文が選択されます。



◆ 不連続な文番号を複数選択する場合 ◆

１文を選択した後、【 Ctrl 】キーを押しながら
他の文番号をクリックします。

２行と４行が選択されます。

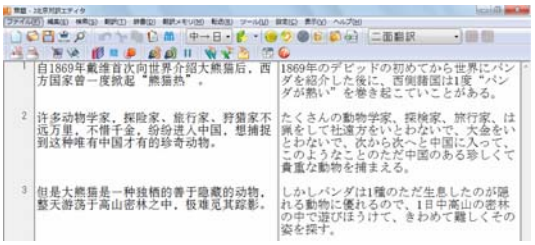


7　翻訳操作（二面翻訳）

J **北京対訳エディタ** の翻訳機能には、指定文翻訳、全文翻訳、クリップボード翻訳、一括翻訳の４種類があります。

全文翻訳・指定文翻訳

全文翻訳は、原文編集域のすべての文を翻訳する機能です。
指定文翻訳は、カーソル位置または選択された行のみ翻訳する機能です。



1. **翻訳を行う原文を表示します。**

2. **全文翻訳の場合、メニューバーから［ 翻訳(T) ］ー［ 全文翻訳(A)］を実行、または、ツールバーから** **をクリックします。**

   指定文翻訳の場合、メニューバーから［ 翻訳(T) ］ー［ 全文翻訳(A)］を実行、または、ツールバーから **をクリック、または、キーボードでCtrl+Tを押します。**

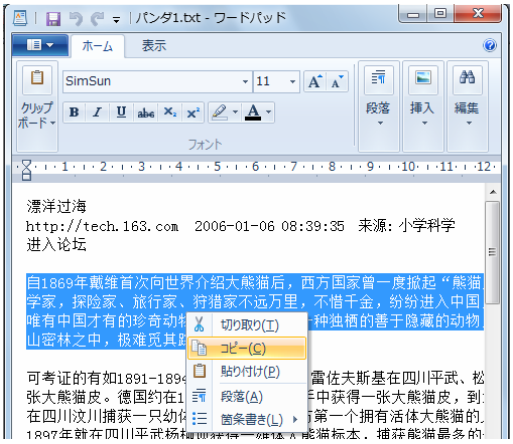
3. **翻訳が完了すると、訳文編集域に翻訳結果が表示されます。**

クリップボード翻訳

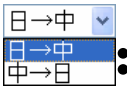
クリップボード翻訳は、Windowsのクリップボードに転送されているテキストを翻訳します。
クリップボード翻訳を実行するには、翻訳するテキストをあらかじめクリップボードに転送しておく必要があります。

1. **アプリケーションに表示されているテキストを右クリックしてコピーします。（ここでは例として、ワードパッドで、右クリックしてコピーします。）**

   この作業によって、テキストがクリップボードに転送された状態になっています。

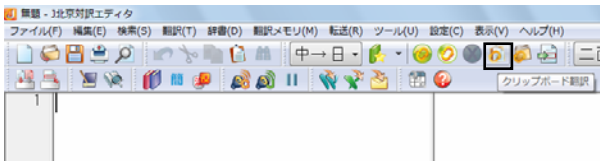


2. **格納されているテキストに応じて、翻訳方向を指定します。**

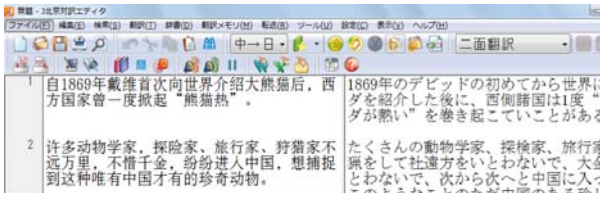


日本語を中国語に翻訳する場合に設定します。
中国語を日本語に翻訳する場合に設定します。

2. **ツールバーから** **をクリックするか、メニューバーから[翻訳(T)]ー[クリップボード翻訳(L)]を実行します。**



3. **クリップボードのテキストが原文編集域に表示され、翻訳結果が訳文編集域に表示されます。**

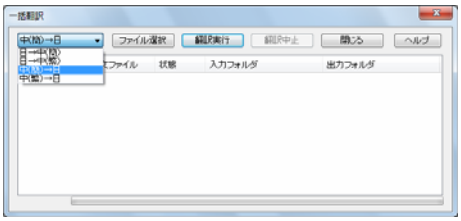


一括翻訳

一括翻訳は、J北京対訳エディタ にテキストを表示することなく、複数のファイルをファイル単位で翻訳する機能です。翻訳可能なファイルの種類は、テキスト（.txt）、HTML（.htm、.html）、Word （.doc、.docx、.rtf）、Excel（.xls、.xlsx）、PowerPoint（.ppt、.pptx）の５種類で、複数のファイル種類でも一括で翻訳することができます。

一括翻訳で一度に翻訳する翻訳方向は一方向です。
ファイル名が中国語の場合、正常に動作しない場合があります。ファイル名はアルファベットまたは日本語に変更してください。

1. **ツールバーから** **をクリックするか、メニューバーから［ 翻訳(T)］ー［ 一括翻訳(F)］をクリックし、一括翻訳ダイアログを表示します。**



2. **翻訳方向を指定します。**

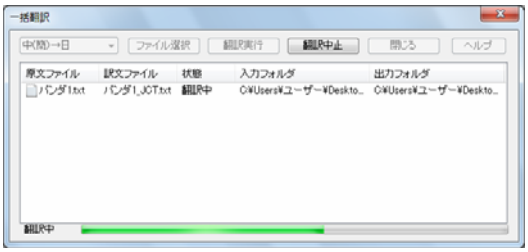
   初期表示では、対訳エディタ画面の翻訳方向になっています。

3. **一括翻訳ダイアログから［ ファイル選択 ］ボタンをクリックし、原文ファイル名指定ダイアログで、ファイルの種類を選択後、ファイル名を指定します。**

   ※ テキストファイル以外のファイルで一括翻訳を利用するために予め対象のアプリケーションソフトにアドイン設定を設定しておく必要があります。

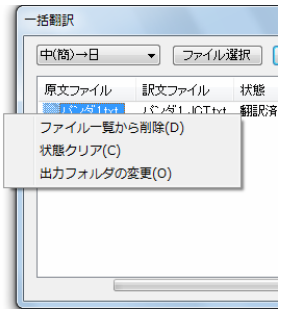
4. 3 **で指定したファイルの情報が、一括翻訳ダイアログに登録されます。**

   3 の手順を繰り返して、複数のファイルを選択することができます。



   ※ 訳文ファイルは原文ファイル名の拡張子左側に「_JCT」が付加されたファイル名で自動作成されます。
   すでに訳文ファイルが生成されている場合は上書きされます。訳文ファイル名の変更は、エクスプローラなどで行ってください。

   ※ 訳文ファイルの出力先フォルダは初期値では入力フォルダと同じですが、ファイル別に変更することができます。

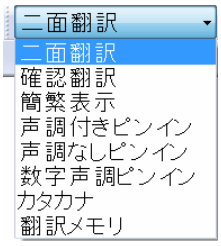


   ■ファイル選択時のメニュー
   ファイルを選択して右クリックするとメニューが表示されます。
   ■ファイル一覧から削除(D)
   選択したファイルを一覧から削除します。
   状態クリア(C)
   状態が「翻訳済」「エラー」の場合に、初期状態「未翻訳」にもどします。
   出力フォルダの変更(O)
   訳文ファイルの出力先フォルダを変更することができます。

5. **［ 翻訳実行 ］ボタンをクリックすると、一括翻訳が開始され、出力フォルダに訳文ファイルが保存されます。**

   ※［ 翻訳中止 ］ボタンをクリックすると、翻訳を中止します。

8 第三面翻訳操作



J北京対訳エディタ は、確認翻訳、簡繁表示、ピンイン表示、翻訳メモリ表示を行う第三面が用意されています。

※ 初期値では第三面表示を指定時に、自動的に全文第三面翻訳コマンドが実行されます。手動で第三面の翻訳を行うには、ツールバーから[設定(C)]ー[環境設定(I)] の「翻訳設定」で「第三面表示選択時に第三面を連動させる」のチェックを外し、ツールバーから[翻訳(T)]ー[全文第三面翻訳(R)] または「指定文第三面翻訳(K)」を実行します。P 96

※ 簡繁表示、ピンイン表示は本来翻訳ではなく変換機能ですが、同コマンド(「全文第三面翻訳(R)」または「指定文第三面翻訳(K)」)を実行して行いますのでご了承ください。

第三面表示選択

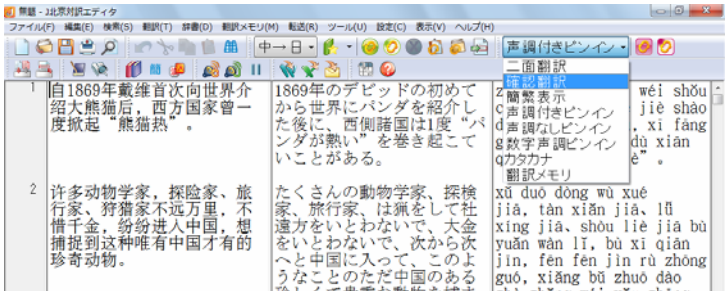
第三面表示選択から、表示内容を指定します。

二面翻訳	原文と訳文のみの表示です。
確認翻訳	確認翻訳は、訳文を原文の言語に再翻訳して第三面に表示する機能です。通常、確認翻訳で表示されるテキスト（確認文）は、原文表示域のテキストとは一致しませんが、原文と確認文を比較することによって、翻訳が正しくなされているかどうかの目安となります。原文と確認文の意味が大きく異なる場合には、確認文を参照して原文を修正し再翻訳することで、より正確な翻訳結果を得ることができます。
簡繁表示	原文または訳文に表示されている中国語の字種について、簡体字の場合は繁体字を、繁体字の場合は簡体字を第三面に表示します。
声調付きピンイン	原文または訳文に表示されている中国語について、声調付きピンイン変換を行い第三面に表示します。
声調なしピンイン	原文または訳文に表示されている中国語について、声調なしピンイン変換を行い第三面に表示します。
数字声調ピンイン	原文または訳文に表示されている中国語について、数字声調付きピンイン変換を行い第三面に表示します。
カタカナ	原文または訳文に表示されている中国語について、その発音をカタカナ変換し第三面に表示します。
翻訳メモリ	翻訳メモリを利用した翻訳結果を第三面に表示します。詳細は、P 35 をご覧下さい。

確認翻訳　簡繁表示　ピンイン表示　カタカナ表示

1. **第三面表示選択から、任意の表示を選択します。**

2. **第三面に、選択した結果が表示されます。**



翻訳メモリ

翻訳メモリを利用した翻訳結果を第三面に表示します。

1. **第三面表示選択から、翻訳メモリを指定します。**

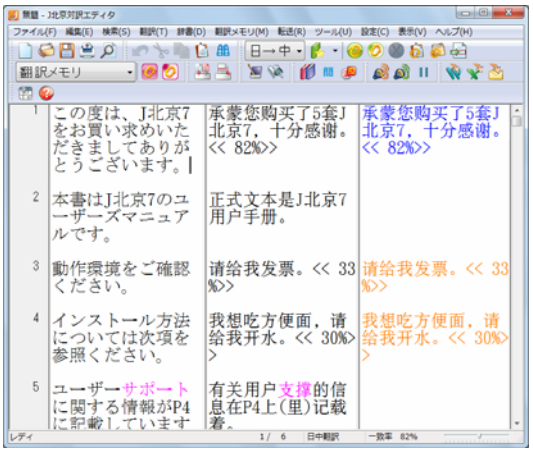
   第三面表示域が表示され、翻訳メモリを利用して原文の翻訳を実行します。

2. **第三面に、翻訳結果と翻訳メモリの一致率が表示されます。訳文は、一致率に応じて色分けされています。**

   色分けは、一致率が100%：赤，99~80%：青，79%以下：オレンジになっています。

   各編集領域は、以下を表示します。
   原文編集域：原文
   訳文編集域：翻訳メモリを使用しない翻訳結果
   第三画面表示域：翻訳メモリ使用した翻訳結果
   P 96

   一致率の表示や文字色は[設定(C)]－[環境設定(I)] にて変更することができます。
   P 101

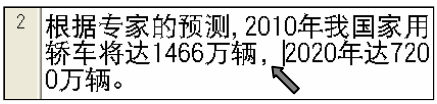


9 編集操作

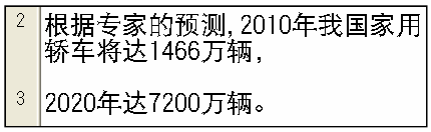
文の分割や削除などの編集操作について説明します。

文を分割する

1. **文の分割位置へカーソルを移動します。**

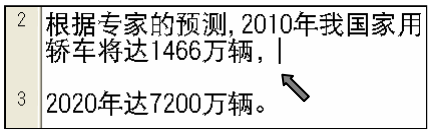


2. [Enter] **キーを押します。**
カーソル位置で１文が２文に分割されます。

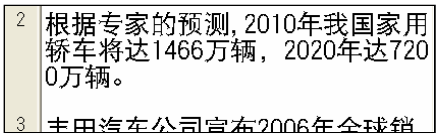


文を結合する

1. **結合する文の文末へカーソルを移動します。**



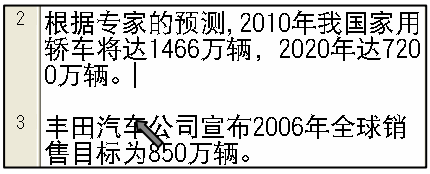
2. [Delete] **キーを押します。**
カーソル位置の下の文が、カーソル位置の前の文と結合されます。



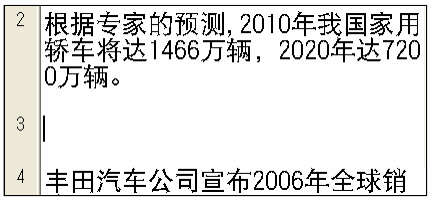
文を挿入する

J北京対訳エディタ では、文単位にテキストが管理されますので、現在編集中のテキストに文を挿入する場合は、次の方法で新しく文領域を作成し、そこへ原文を入力して下さい。

1. **文領域を挿入したい位置の１つ前の文の文末にカーソルを移動します。**



2. [Enter] **キーを押します。**
新しい文領域が作成されます。



文を削除する

1. **削除する文を範囲指定します。**

※ 連続した複数の文を範囲指定することもできます。

3	丰田汽车公司宣布2006年全球销售目标为850万辆。
4	诺基亚(Nokia)估计2005年手机市场增长率将低于10%。
5	联想电脑将向2006年都灵冬季奥运会和2008年北京奥运会提供设备和技术支持。

2. **[Delete] キーを押します。**
選択した文が削除されます。

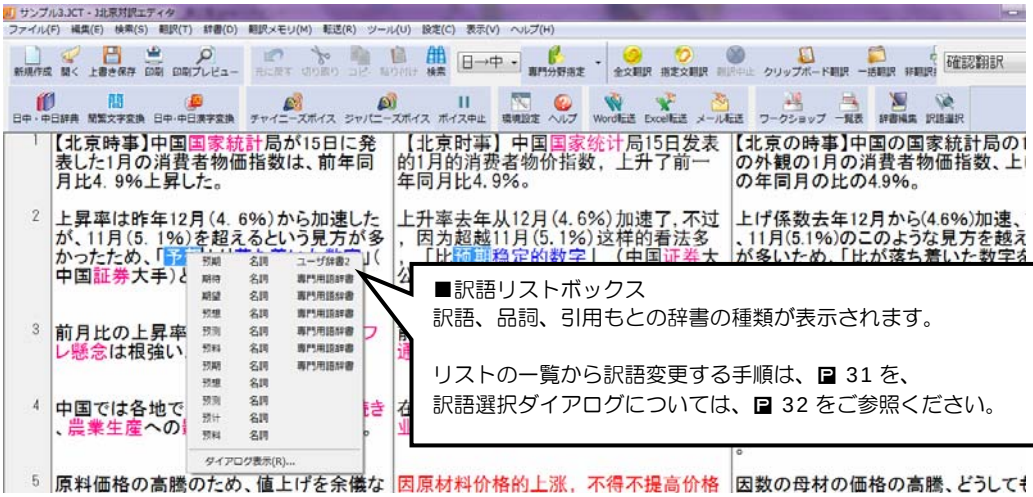
※ 文領域が不要な場合は、再度［Delete］キーを押すと文領域が削除されます。

3	丰田汽车公司宣布2006年全球销售目标为850万辆。
4	
5	联想电脑将向2006年都灵冬季奥运会和2008年北京奥运会提供设备和技术支持。

10 翻訳結果の編集操作

対応語表示

翻訳後、原文または訳文中のテキスト上でダブルクリックすると、対応する原文または訳文のテキストが選択表示され、訳語リストを表示します。

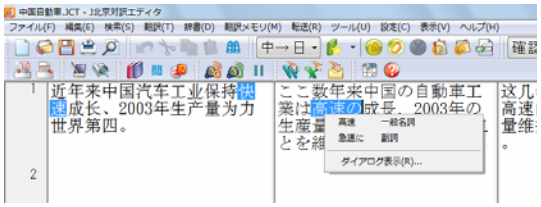


訳語リストボックスから訳語選択　［例］　中国語の「快速」の訳語を「高速」→「急速に」に変更

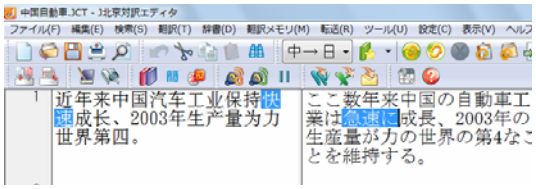
J北京対訳エディタの基本辞書には、一つの原語に対して複数の訳語が登録されている単語があります。翻訳結果の訳語が適当でない場合は、以下の手順で変更することができます。また、学習機能を利用することで、次回の翻訳にも反映させることができます。

1. **原文編集域から訳語の優先順序を変更する単語「快速」を範囲指定、または対応語表示します。**

2. **ツールバーから をクリックするか、メニューバーから［ 辞書(D)]ー[訳語選択(R)] を実行します。**



3. **訳語のリストボックスから翻訳結果に反映させたい訳語「急速に」を選択すると訳語が変更されました。**



4. **訳語が変更されて表示されます。**

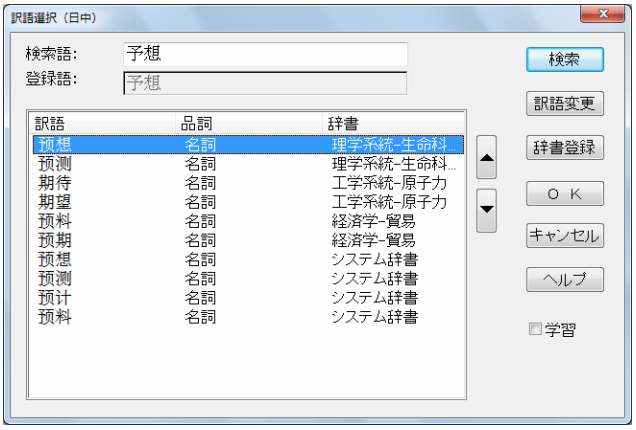
「快速」の訳語が「高速」から「急速に」に変更されます。

◆ J北京対訳エディタ の翻訳では構文解析時の情報が優先されるため、訳語の優先順序を変更して上位に設定した単語が必ず翻訳結果に反映されるとは限りません。これはＪ北京対訳エディタ の仕様によるものですから、あらかじめご了承ください。

訳

訳語選択ダイアログ

訳語リストボックスから「ダイアログ表示（R）」を選択すると、訳語選択ダイアログが表示されます。



◆ 学習機能を利用する場合 ◆

選択した訳語を、今後の翻訳に反映させるには、ダイアログ表示を選択します。
反映させたい訳語（急速に）を選択して、上ボタンをクリックして最上段に移動させ、【学習】のチェックボックスにチェックを入れて、[ＯＫ] ボタンをクリックします。

※ 訳語のリストボックス内は、
上へ位置する訳語ほど優先順位が高くなります。

検索語	訳語の順序を変更する単語を入力します。 ※ 原文編集域から文字列を範囲指定後に訳語選択コマンドを実行すると、検索語の文字列を編集域から引用することができます。 ※ 訳文編集域から単語を引用した場合は、プログラムの解析を通じて選択した訳語に対応する原語が取得されます。ただし、この場合は 100%正確に対応する言語が得られるとは限らないため、注意が必要です。 ※ 動詞、形容詞、形容動詞は終止形で入力してください。 ※ 日中では「する」「ずる」「くる」「来る」を入力して検索することはできません。
登録語	検索語に対応する単語を表示します。辞書編集の際に繁体字で入力・登録された場合にも、実際の辞書登録は簡体字で行っていますので、簡体字で表示されます。 なお、検索語と完全に一致する単語が辞書ファイルに登録されていない場合は、検索語の前方から比較して、一致する最も長い単語が該当語に表示されます。
訳語	登録されている訳語が一覧表示されます。一覧から訳語を選択して、順序の [▲][▼] ボタンをクリックすると、選択した訳語が矢印の方向へ移動します。 ※ 一覧に表示された訳語は、上に位置するほど優先順序が高くなります。 ※ 訳語選択では 辞書 1 ⇒ 辞書2 ⇒ 辞書3 ⇒ 基本辞書の順に、検索語の単語が登録されている辞書ファイルを検索します。なお、複数の辞書ファイルに同じ単語が登録されている場合は、優先度が高い辞書ファイルの情報が表示されます。
品詞	登録されている訳語の品詞を表示します。
辞書	検索語の単語が登録されている辞書ファイル名が表示されます。

非翻訳指定

原文に、人名や地名などの固有名詞が含まれている場合、辞書ファイルにその単語が登録されていないと、固有名詞が翻訳されて意味の分からない訳が出力される場合があります。固有名詞を辞書編集で登録するか、原文に対して「非翻訳指定」を行うと、固有名詞をそのまま訳文に表示するようになります。

非翻訳指定を行うと、原文の各文字は以下のように変換されます。

原文	漢字 対応漢字あり	対応漢字なし	英数字	ひらがな（中国語）	カタカナ（中国語）
非翻訳指定後	↓	↓	↓	↓	↓
中日翻訳	漢字（日本語）	ピンイン	英数字	ひらがな（日本語）	カタカナ（日本語）
日中翻訳	漢字（中国語）	?	英数字	ローマ字	ローマ字

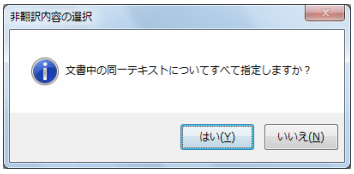
1. **原文編集域から非翻訳指定する単語（小川奈々子）を範囲指定、または対応語表示します。**

   ※ 解除の際は、非翻訳指定以外の記号も含めて指定してください

2. **ツールバーから をクリックするか、メニューバーから［ ツール(T)］ー［ 非翻訳指定／解除(N)］を実行します。**

   マウス右ボタンをクリックして表示されるコンテキストメニューからも実行できます。

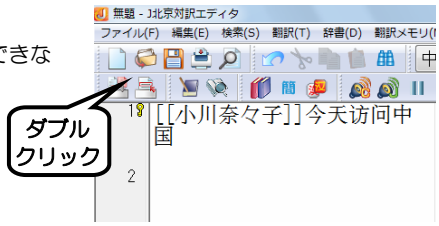
   原文の状況によって、文書中の同一テキストすべてに反映させる場合は［ はい(Y)］を、そうでない場合は［ いいえ(N)］をクリックします。



3. **再度翻訳を実行すると、指定した単語が非翻訳指定の変換で表示されます。**

ロック機能

ロック機能を利用すると、原文と訳文を保護することができます。
行番号表示域上でダブルクリックすると、その行がロックされ編集できない状態になります。（鍵マーク が行番号の右に表示されます。）



再度ダブルクリックすると、ロックが解除されます。

また、原文表示域及び訳文表示域上で右クリックして表示されるショートカットメニューからもロックができます。

［ 指定文ロック ］
カーソル位置の文をロックします。複数文を指定してから実行すると複数文まとめてロックできます。（複数文の選択方法については、P 23 をご覧下さい。）

［ 全文ロック ］　全文がロックされます。

［ 指定文ロック解除 ］　カーソル位置にある文のロックを解除します。

［ 全文ロック解除 ］　全文のロックが解除されます。

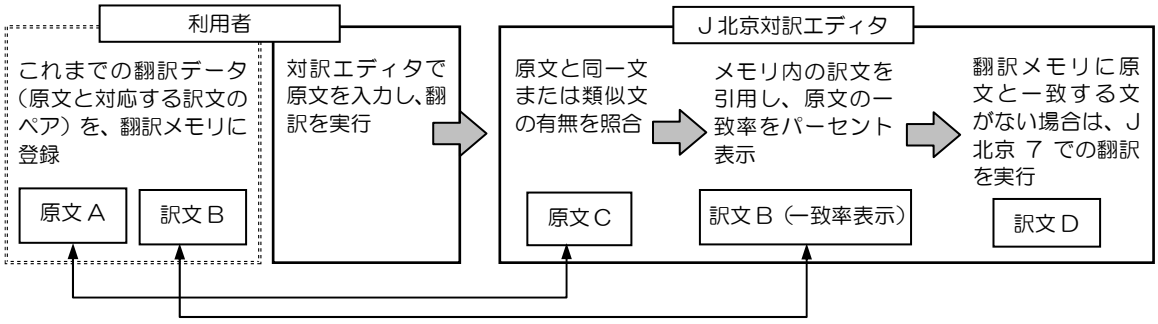
Chapter 4　翻訳メモリ

翻訳メモリとは、原文と対応する訳文をメモリ辞書にあらかじめ登録・蓄積することで、以後の翻訳作業を効率化する翻訳支援ツールです。翻訳しようとする原文と同一または類似の文章がメモリ辞書に登録されていれば、翻訳実行時にその訳文を引用して一致率（%）を表示しますので、訳文の修正作業が軽減され、整合性のある高品質の翻訳結果を得ることができます。

翻訳メモリは中国語レベルが中上級者向けの機能です。J 北京 7 の機械翻訳では思い通りの翻訳ができない場合や、整合性のある翻訳を必要とする場合などにご利用ください。正しい文法の知識なく、不正確な対訳データを多数登録した場合、J 北京 7 の翻訳スピードの低下、翻訳精度の低下につながりますのでご注意ください。

1　翻訳メモリの概要

翻訳メモリによる翻訳の流れを図解すると、以下のようになります。



翻訳メモリは、これまでの翻訳作業で得られた適切な訳文を再利用するためのツールです。同じフレーズを持つ文書や、過去に作成した文書のリメイク（マニュアルのバージョンアップや定期刊行物）、規定の文書の微修正（見積書や注文書等）の翻訳などに適しています。

また、翻訳メモリを利用することにより、以下のような効果が期待できます。

訳文の整合性……同一または類似の文章翻訳において、統一した翻訳が得られます。繰り返しの多い文章の翻訳や過去に翻訳した訳文を利用したい場合など、整合性のある訳出を実現します。

作業時間の短縮……登録データとの一致率(%)が表示されるため、完全一致文（一致率100%）は修正不要、部分一致文(一致率が100%に満たない場合)は一致率に応じて作業負担が図れます。

辞書カスタマイズ…複数のメモリ辞書を作成することができ、原文に応じてメモリ辞書を指定し翻訳することができます。一括でメモリ辞書に登録したい場合には、日本語と中国語を対で入力したテキストファイルをインポートして登録することができ、過去の翻訳資産を有効に活用できます。

サンプル……日常会話、空港、ホテル、食事、観光、ショッピング、乗り物、エンタメ、通信・郵便、銀行・両替、トラブルなど、約2,800の文例を搭載しています。サンプル文例の内容は、Excelの翻訳メモリ辞書から読み込みを利用して確認することができます。P 50, P 118

2 翻訳メモリへのデータ登録方法

翻訳メモリを活用するには、あらかじめ過去の翻訳作業で得られた適切な訳文を原文とペアにして登録する必要があります。以下で、翻訳メモリへの登録方法を示します。

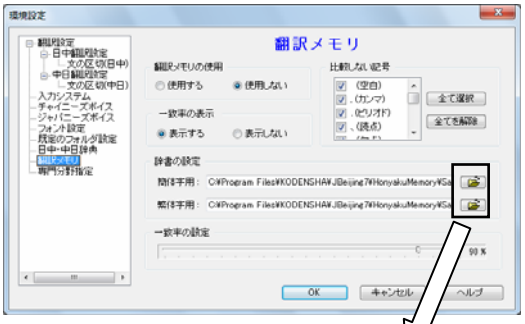
メモリ辞書の作成および指定方法

翻訳資産のデータベースを登録するメモリ辞書は、複数作成することができます。そのため、どの辞書に登録するかをあらかじめ指定する必要があります。新規に辞書ファイルを作成する際にもこの手順で作成します。

1. **J北京対訳エディタのメニューバーから［ 設定(C) ］－［ 環境設定(I) ］を実行し、左ペインの一覧から翻訳メモリをクリックします。**

   ［ 翻訳メモリ ］設定画面が表示されます。

   初期値では、簡体字用、繁体字用それぞれにサンプルファイルが指定されています。



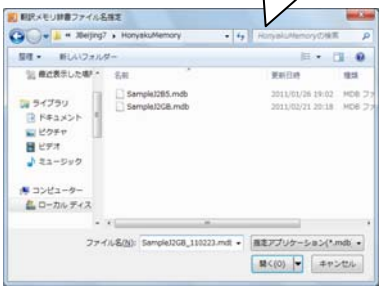
2. **辞書の設定で、簡体字用、繁体字用それぞれデータを保存する辞書のファイル名を入力します。**

   ファイル名は、ドライブ名を含めたフルダ＋ファイル名でファイルのパス名を入力してください。

   ボタンをクリックすると、エクスプローラから選択することができます。

   新規ファイル名を入力すると、新規のメモリ辞書が作成されます。

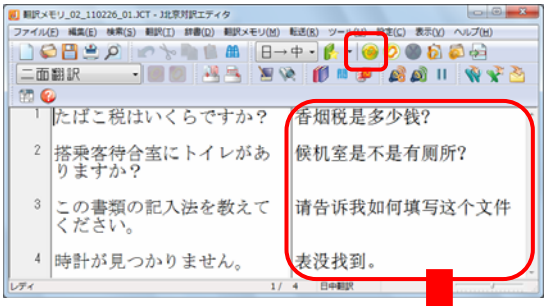
   既存のファイルに登録するときには、そのファイル名を指定し、［ 開く ］ボタンをクリックしてください。



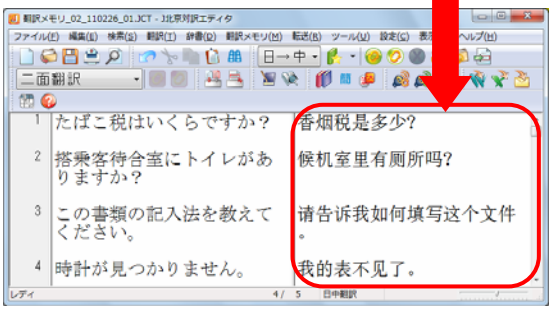
対訳エディタからの登録

対訳エディタで表示されている原文と訳文を、翻訳メモリに登録する。

1. **ここでは対訳エディタに原文（日本語）を入力し、全文翻訳を実行します。**

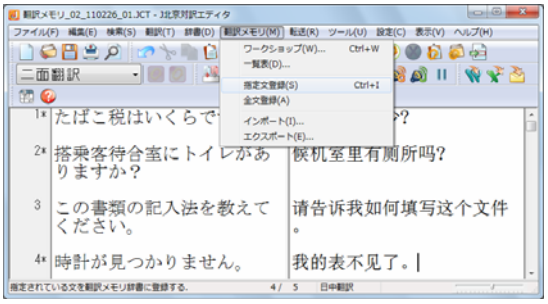


2. **訳文を手入力で修正します。**

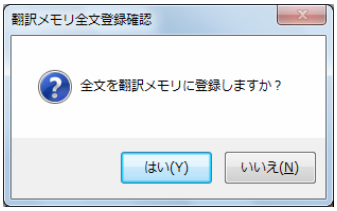


3. **ここでは翻訳メモリに文番号1、2、4のみ登録します。キーボードのCtrlキーを押しながら、番号域の1、2、4を選択し、メニューバーから［ 翻訳メモリ(M)］ー［ 指定文登録(S)］を実行する、または、編集域で右クリックして表示されるコンテキストメニューからも［ 翻訳メモリ(M)］ー［ 指定文登録(S)］をクリックします。**

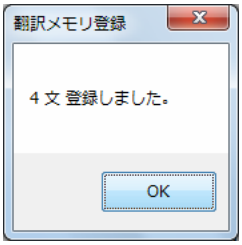
   全文を登録するときは［ 全文登録(A)］を、指定文のみ登録するときは［ 指定文登録(S)］を実行してください。
   複数の文番号の指定方法は P 23 をご覧下さい。

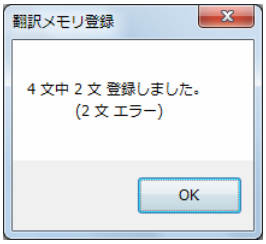


4. **確認メッセージが表示されます。翻訳メモリに登録してよければ［ はい(Y)］ボタンをクリックします。**



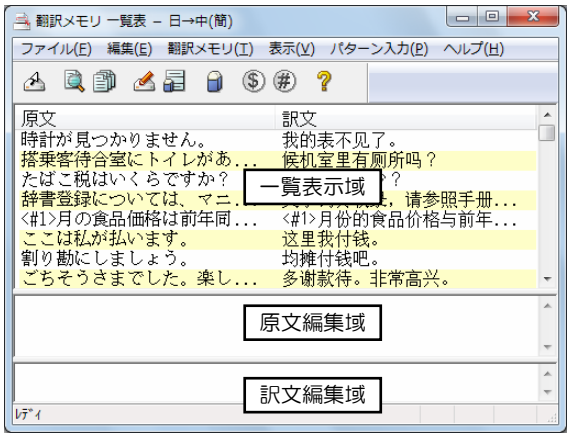
5. **登録結果の確認画面が表示されます。**





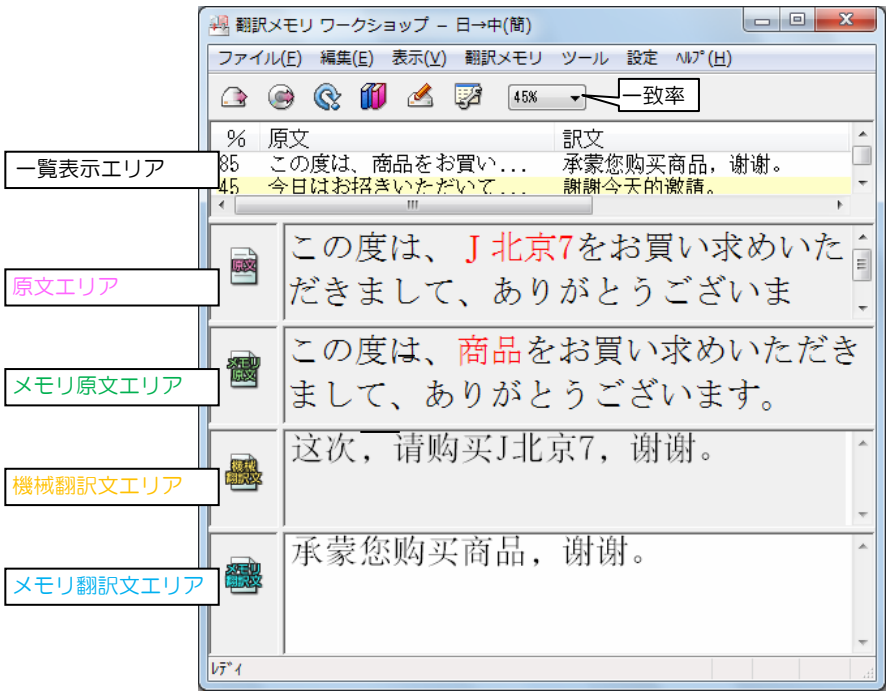
6. **メニューバーから［ 翻訳メモリ(M)］－［ 一覧表(D)］を実行すると現在設定されている翻訳メモリ辞書の登録内容を一覧で表示します。**

一覧表の詳しい使用方法は、P 42をご参照ください。



ワークショップからの登録

対訳エディタで表示されている原文と訳文を、ワークショップコマンドを利用して翻訳メモリに登録する。



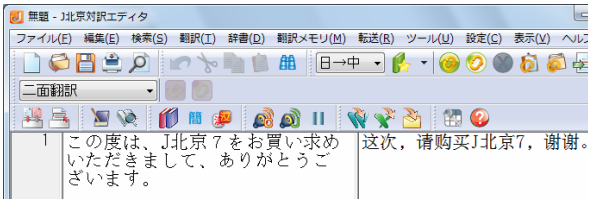
一覧エリア·	対訳エディタのカーソル位置の原文と、翻訳メモリに登録されているデータを比較し、一致率以上のデータを一覧表示エリアに出力します。原文とメモリ原文の一致していない文字を赤色で表示します。
原文エリア	対訳エディタのカーソル位置の原文を表示。 （右クリックを使用できますが、このエリアは編集できません。）
メモリ原文エリア	選択したメモリ原文を表示。 （右クリックを使用できますが、このエリアは編集できません。）
機械翻訳文エリア	原文に対する翻訳メモリを使用しなかった翻訳結果 （右クリックを使用できますが、このエリアは編集できません。）
メモリ翻訳文エリア	原文に対する翻訳メモリを使用した翻訳結果 （メニューバーや右クリックを使用し、このエリアを編集することができます。）

コマンド	アイコン	機能
メモリ翻訳文転送		メモリ翻訳文エリアの訳文を、対訳エディタの訳文に反映します。 メニューバー [翻訳メモリ]—[メモリ翻訳文転送] からも実行できます。
機械翻訳文転送		機械翻訳文エリアの訳文を、対訳エディタの訳文に反映します。 メニューバー [翻訳メモリ]—[機械翻訳文転送] からも実行できます。

再読み込み		メモリ翻訳文エリアを編集前の状態に戻します。 メニューバー［翻訳メモリ］―［再読み込み］からも実行できます。
日中・中日辞典		［ 環境設定(I)］―［ 日中・中日辞典 ］で設定した辞書が起動します。
登録		原文エリアの原文とメモリ翻訳文エリアの訳文を、翻訳メモリに登録します。 メニューバー［翻訳メモリ］―［登録］からも実行できます。
設定		①一致率 翻訳メモリ辞書データとの一致率を設定します。一致率以上の翻訳メモリのデータが一覧表示されます。ここで設定した一致率は保存されません。保存する場合は［ 環境設定 ］の「翻訳メモリ」で設定してください。 ②表示 チェックボックスのチェックのあるエリアが表示されます。クリックするとチェックのON／OFFが切り替わります。 ③表示順序 エリアの順序を設定します。▲　▼　で上下の順序を変更します。 メニューバー［ 設定 ］―［ 設定 ］からも設定画面が開きます。

1. **対訳エディタで翻訳を実行します。**

   この時点では、訳文は正しく修正されていません。

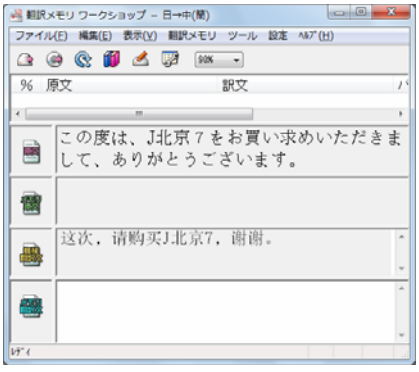


2. **ツールバーから ボタンをクリックする、または、メニューバーから［ 翻訳メモリ(M)］―［ ワークショップ(W)］を実行するとワークショップウィンドウが表示されます。**

   また、対訳エディタ上で右クリックして表示されるコンテキストメニューからも［ 翻訳メモリ(M)］―［ ワークショップ(W)］を実行できます。

   一致率以上の翻訳メモリデータがある場合は、一覧表示エリアに表示され、最も一致率の高いメモリ原文と訳文がメモリ原文エリア，メモリ翻訳文エリアに表示されます。

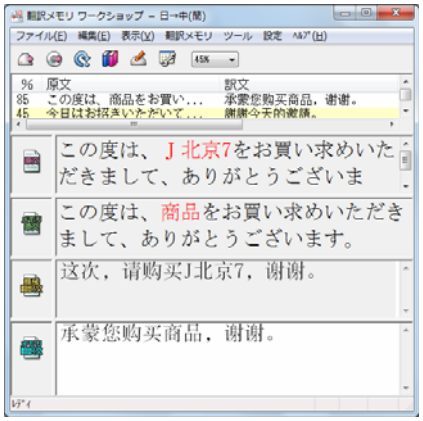
   例として、右図では一致率が90%に設定されています。一覧表示エリアにもメモリ原文エリアにもメモリ翻訳文エリアにも何も表示されていません。



3. **一致率を45%に下げてみましょう。**

   メモリ翻訳文エリアで編集して訳文を作る場合は、必要に応じて一致率を変更します。
   これまでに登録してきたメモリの中から今回利用できるものがあれば、ダブルクリックし、メモリ原文エリア、メモリ翻訳文エリアに表示させます。

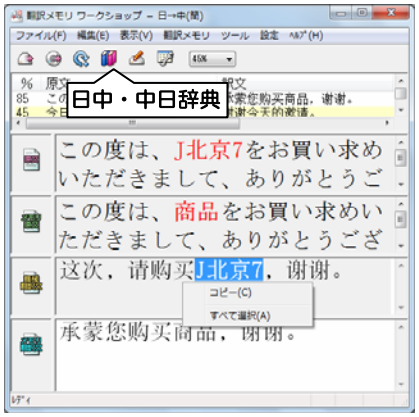
   原文とメモリ原文の一致していない文字は赤色で表示されます。



4. **一覧表示エリアにある一致率の高いものをダブルクリックすると、メモリ原文エリア、メモリ翻訳文エリアに翻訳メモリ内容が表示されました。**

5. **表示された内容を活用して、メモリ翻訳文エリアを原文に対する訳文に正しく修正します。**

   編集できるのは、メモリ翻訳文エリアのみです。
   直接入力のほか、編集メニューや辞典ツールも利用できます。



6. **ワークショップウィンドウのメニューバーから［ 翻訳メモリ ］−［ 登録 ］を実行、またはツールバーから ボタンをクリックすると登録されます。**

7. **訳文完成後、メモリ翻訳文エリアの訳文をエディタに転送する場合は、 ボタンまたは、メニューバーから［ 翻訳メモリ ］−［ メモリ翻訳文転送 ］をクリックします。機械翻訳文エリアの訳文を転送する場合は、 ボタンまたは、メニューバーから［ 翻訳メモリ ］−［ 機械翻訳文転送 ］をクリックします。**

一覧表からのパターン入力

すでに登録済みの翻訳メモリをアレンジして新たな登録をしたり、パターンを活用した登録も可能です。

■パターン入力とは

従来の翻訳メモリは登録された訳文がそのまま出力されますが、パターン入力を利用することで、単語等を差し替えた訳文が出力できるようになります。

【利用例】
①登録原文：「この度は、J北京7を5セットお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」
②登録訳文：「承蒙您购买了5套J北京7，十分感谢。」

上記①②を翻訳メモリに登録すると、類似の文章に対しても登録された訳文が出力されます。
③原　　文：「この度は、JSeoulを10セットお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」
④メモリ訳文：「承蒙您购买了5套J北京7，十分感谢。」

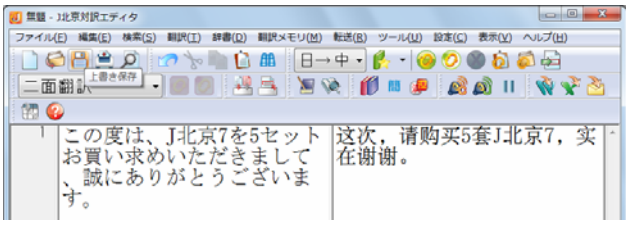
この「J北京7」「5」の単語部分を<$1>や<#1>に置き換えて登録するのがパターン入力です。
⑥登録原文：「この度は、<$1>を<#1>セットお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」
⑦登録訳文：「承蒙您购买了<#1>套<$1>，十分感谢。」

上記⑥⑦を翻訳メモリに登録することで、類似の文章に対しても適切な単語に置き換えて訳文が出力されます。
③原　　文：「この度は、j･SeoulV8を10セットお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」
④メモリ訳文：「承蒙您购买了10套j･SeoulV8，十分感谢。」

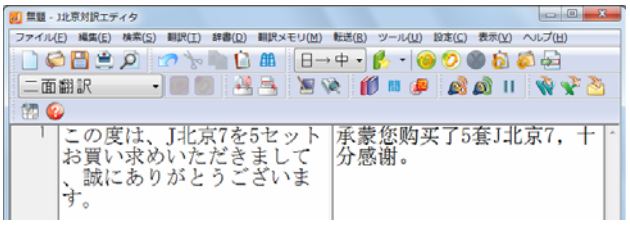
以下で登録の手順を説明します。

1. **対訳エディタに原文「**この度は、J北京7を5セットお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。**」を入力します。**

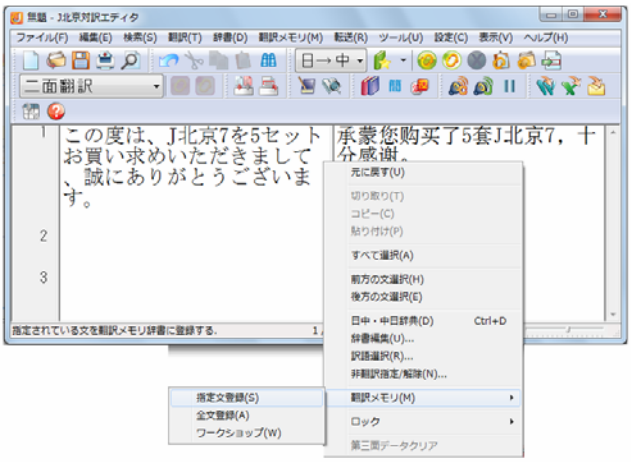
   ツールバーから **をクリックする、または、メニューバーから［翻訳(T)］ー［全文翻訳(A)］を実行すると、訳文「**这次，请购买5套J北京7，实在谢谢。**」が表示されます。**



   手入力で訳文を「承蒙您购买了5套J北京7，十分感谢。**」と修正します。**



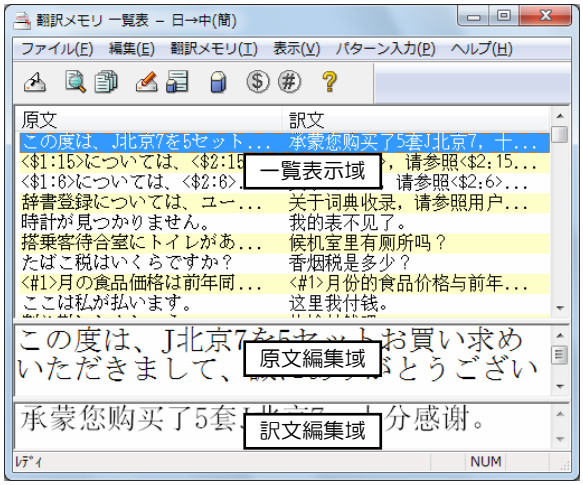
2. **メニューバーから［ 翻訳メモリ(M)］ー［ 指定文登録(S)］を実行する、または、編集域で右クリックして表示されるコンテキストメニューから［ 翻訳メモリ(M)］ー［ 指定文登録(S)］を実行すると翻訳メモリに登録されます。**



3. **ツールバーから ボタンをクリックする、または、メニューバーから［ 翻訳メモリ(M)］ー［ 一覧表(D)］を実行すると翻訳メモリ一覧表ダイアログを表示します。**

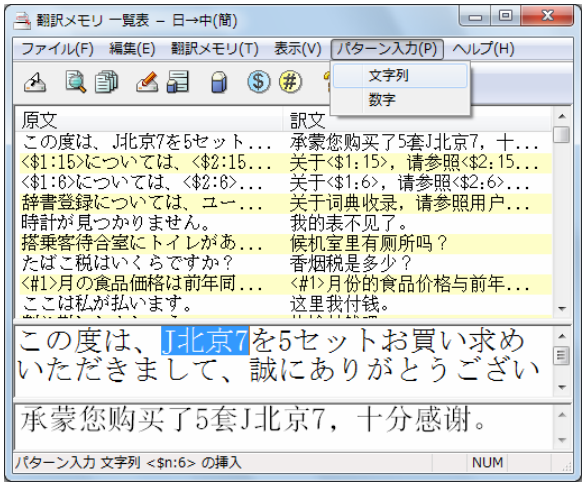
   一覧表示域には登録順で最新のものが最上段に表示されます。

4. **一覧表示域の1行目をダブルクリックすると、原文編集域と訳文編集域に翻訳メモリが表示されます。**

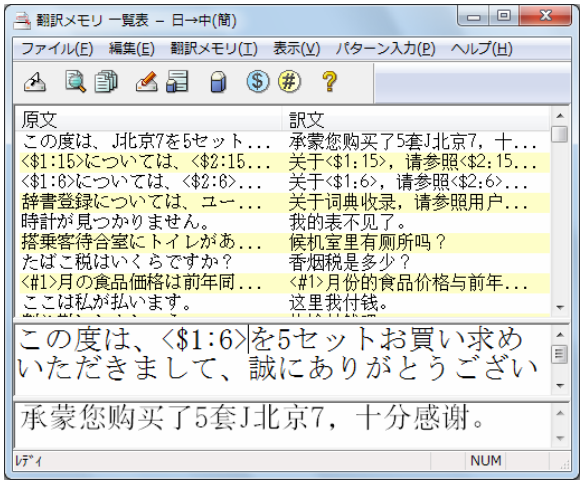


5. **原文表示域にある「J北京7」を選択し反転させます。**

6. **ツールバーから をクリック、またはメニューバーから［ パターン入力 ］ー［ 文字列 ］を実行します。**



7. 「J北京7」が、「〈$1：6〉」に変更されました。



【〈$1：6〉について】

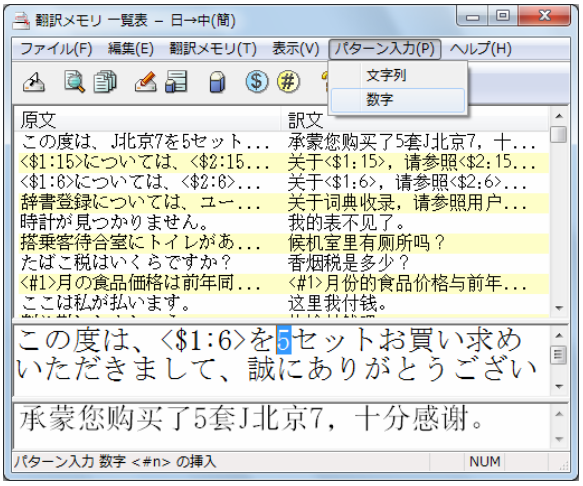
「$」は文字列パターンを表します。
「1」は、この翻訳メモリ内で1つ目のパターン入力であることを意味します。$2、$3のように、複数のパターンを入力することができます。
「：6」は翻訳時に適用される原語の制限文字数を意味し、6文字を超える原語については翻訳メモリを適用しないように設定されます。各原語の内容に応じて数字を変更してください。

※「：6」は省略することもできます。この場合、短い原語にも長い原語にも、無制限に適用されることになります。

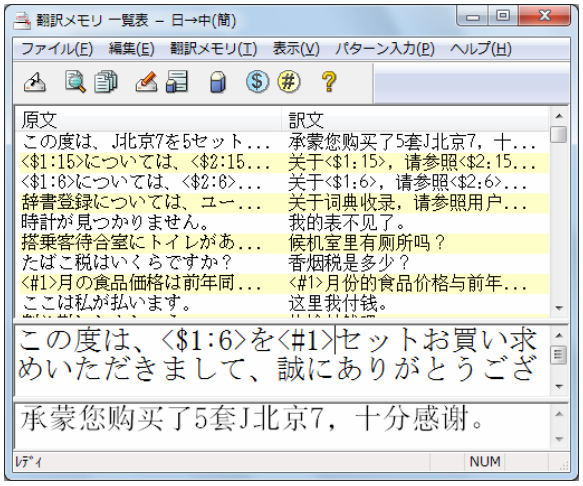
つづいて、数字の「5」にパターン入力を実行してみましょう。

8. 「5セット」の数字「5」の部分を選択し反転させます。

ツールバーから ＃ をクリック、または、メニューバーから［ パターン入力 ］ー［ 数字 ］を実行します。



9. 「5」の部分が、「〈＃1〉」に変更されました。



【〈＃1〉について】

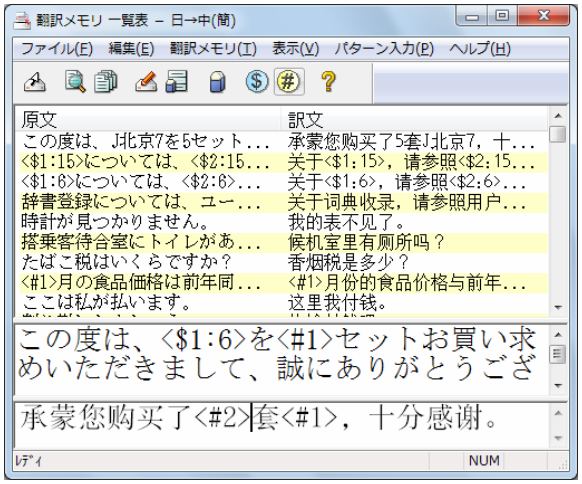
「＃」は数字パターンを表します。
「1」は、この翻訳メモリ内で1つ目のパターン入力であることを意味します。＃2、＃3のように、複数のパターンを入力することができます。

※「＃1：3」のように桁数制限をすることもできます。「：3」は、翻訳時に3ケタまでの数字に対し翻訳メモリを適用する設定になります。
省略時には、数字に対して無制限に適用されることになります。

10. **訳文表示域にも原文で入力したパターンと対になるように、パターン入力を行います。**

    中国語文中に、〈$1：10〉や〈＃1〉を入力します。
    ※文字制限「:6」や「:10」は、言語によって異なっても構いません。それぞれ適切に設定してください。

11. **ツールバーから** **をクリックする、または、メニューバーから［ 編集 ］－［ 登録 ］を実行し、翻訳メモリに登録します。**



コマンド		アイコン	機能
選択			一覧から選択されたデータベースの内容を表示します。
検索			登録されているデータベースの中から、検索語を含むものを検索して表示します。
全体表示			検索実行後など、全体を再表示するとき等に利用します。
登録			原文編集域の原文と訳文編集域の訳文を、翻訳メモリ辞書に登録します。
削除			選択されているデータベースを、翻訳メモリ辞書から削除します。
一括削除			原文編集域の原文と訳文編集域の訳文を消去します。
パターン入力	文字列		〈$1:6〉等の文字列パターンが入力できます。P 42
	数字		〈#1〉等の数字パターンが入力できます。 P‥

インポートコマンドによる登録

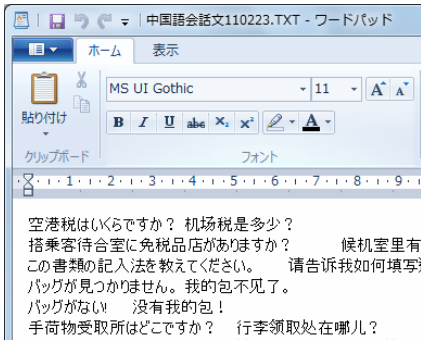
過去の翻訳資産を一括で登録する場合にはインポートコマンドのご利用が便利です。日本語と中国語をタブ区切りでペアにした Unicode 形式のテキストファイル(.txt)からインポートすることができます。

データベースとなるテキストファイルは、Unicode 形式のタブ区切りテキストファイルとして保存することが可能なアプリケーションで行う必要があります。(例) Microsoft Excel、ワードパッド、メモ帳等。

1. **[日本語] + [タブ] + [中国語] を1行とするデータベースを作成します。(右図参照)**

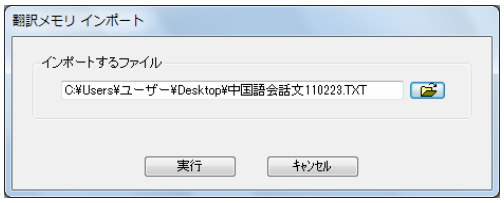
2. **お使いのアプリケーションの保存コマンドで、Unicode形式のタブ区切りテキストファイルで保存します。**

3. **J北京対訳エディタを起動し、対訳エディタの簡繁文字変換を、データの中国語字種（簡体字または繁体字）に応じて切り替えます。**



4. **J 北京対訳エディタのメニューバーから [翻訳メモリ(M)]－[インポート(I)] を実行します。**

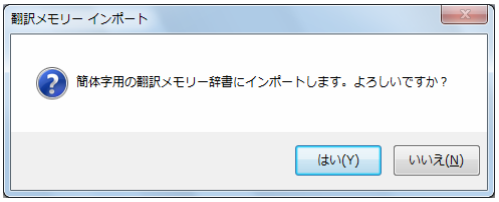
   インポート画面が表示されます。ファイルのパス名を入力（あるいは [参照] ボタンをクリックしてフォルダを検索後、ファイルを選択またはファイル名を入力）します。



5. **実行ボタンをクリックすると、インポート先の確認画面が表示されます。**

   [はい(Y)] を選択するとインポートを開始します。
   [いいえ(N)] を選択するとキャンセルされます。

   ※ 対訳エディタの簡繁文字変換で繁体字が指定されている場合は、繁体字用の翻訳メモリ辞書にインポートされます。



6. **メニューバーから [翻訳メモリ(M)]－[一覧表(D)] を実行すると登録内容が確認できます。**

☞ 入力ファイルをExcel 画面で作成した場合は、Excel 画面のメニューバーから [J北京７]—[J北京７ 翻訳メモリ辞書に書き出し(W)]－[簡体字辞書に書き出し(K)] または [繁体字辞書に書き出し(H)] を実行して一括登録することもできます。P 117

★ 原文と訳文のテキストを別々に持っている場合 ★

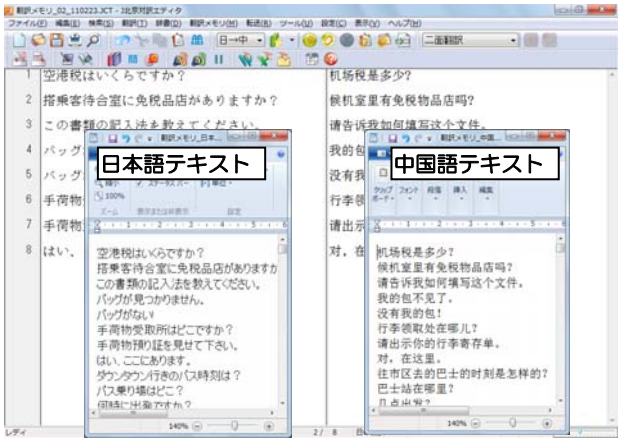
「訳文読み込み」機能で、対訳エディタに原文と対になるように訳文を表示し、翻訳メモリに登録することもできます。

① 原文を読み込みます。(翻訳する原文をファイルから読み込む P 22)

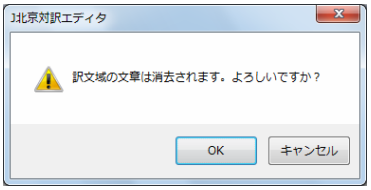
② メニューバーから［ ファイル(F)］—［ 訳文読み込み(T)］を実行します。

③ 確認メッセージが表示されます。よければ［ OK ］ボタンをクリックします。

④［ 開く ］ダイアログが表示されますので、読み込む訳文テキストを指定します。指定できるファイルの種類は、テキストファイル(.TXT)です。



⑤［ 開く ］ボタンをクリックすると、読み込みを開始します。

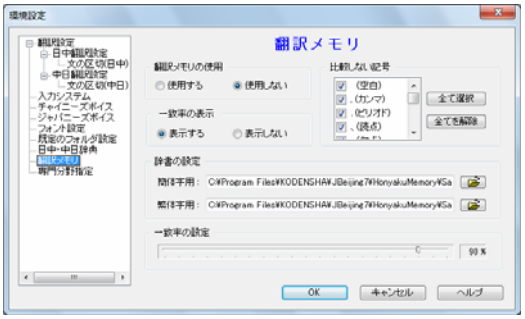


3 翻訳メモリを利用した翻訳方法

翻訳方法

登録されたメモリ辞書を利用して翻訳する方法を示します。翻訳メモリを利用した翻訳を実行するには、ご利用になる翻訳メモリ辞書をあらかじめ指定する必要があります。

1. **J北京対訳エディタのメニューバーから［ 設定(C)]ー[環境設定(I)] を実行し、左ペインの一覧から翻訳メモリをクリックします。**

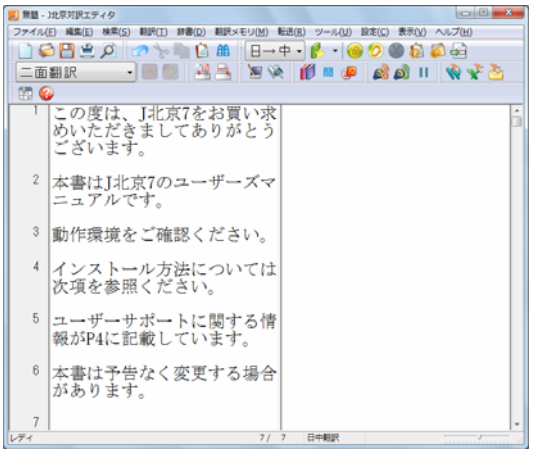


［翻訳メモリ］設定画面が表示されます。

［翻訳メモリの使用］にて「使用する」をチェックします。
［辞書の設定］にてご利用になる辞書の指定を行います。

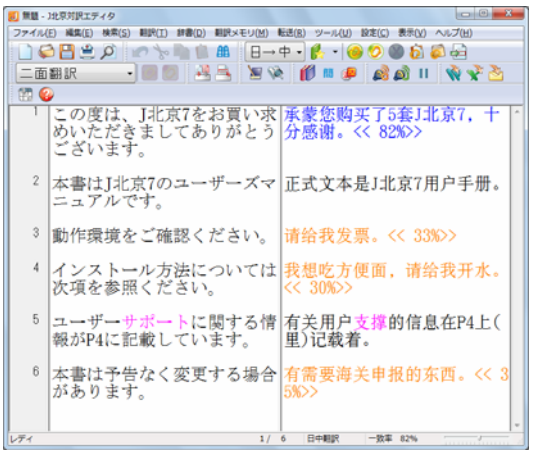
※ 辞書の設定については、P 36 をご覧下さい。

2. **J北京対訳エディタで、翻訳を実行するファイルを開くか、テキストを入力します。**



3. **ツールバーから(全文翻訳) または (指定文翻訳) を クリックして、翻訳を実行します。**

4. **翻訳メモリの翻訳実行結果が訳文エリアに表示されます。**



原文と登録されているデータとを照合し、一致する場合は最も一致率の高いデータを訳文として表示し、その一致率をステータスバーに表示します。

訳文は登録されているデータをそのまま表示していますので、一致率に応じて訳文の修正を行ってください。
（右の例では、製品の名称や、ページ数の変更を行うだけで適切な訳文が完成します。）

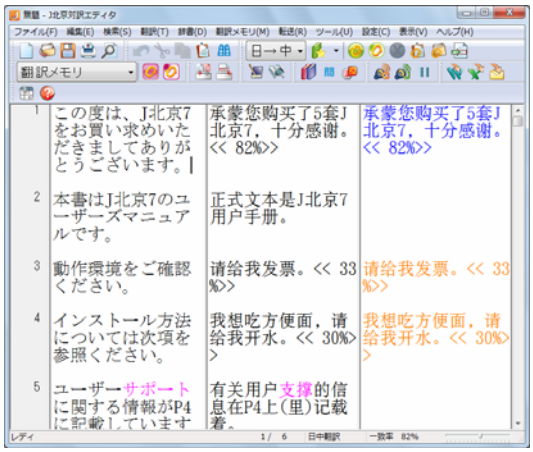
一致するデータがない場合は、J北京7の翻訳結果を表示します。

※ ここで得られた適切な訳文を、新たにメモリ辞書に登録すると以降のメモリ翻訳に再利用できます。

5. **第三画面表示に切り替え、翻訳メモリを表示することも可能です。**

   各編集領域は、以下を表示します。
   ・原文編集域:原文
   ・訳文編集域＝翻訳メモリを使わない機械翻訳結果
   ・第三画面表示域＝翻訳メモリを使った翻訳結果

   ※ご利用の用途に合わせて、二画面表示か第三画面表示を使用するのか選択してください。



ワークショップで作成した内容を対訳エディタに反映させる

1. **訳文完成後、メモリ翻訳文エリアの訳文をエディタに転送する場合は、ボタンまたは、メニューバーから［ 翻訳メモリ ］—［ メモリ翻訳文転送 ］をクリックします。機械翻訳文エリアの訳文を転送する場合は、ボタンまたは、メニューバーから［ 翻訳メモリ ］—［ 機械翻訳文転送 ］をクリックします。** P 39

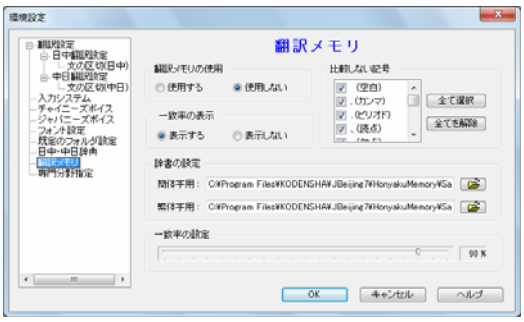
4 翻訳メモリのエクスポート

翻訳メモリとして登録されたデータの書き出し（エクスポート）の手順を示します。

◆ エクスポートするメモリ辞書の指定

エクスポートするメモリ辞書を指定します。
指定する手順は、「メモリ辞書の作成および指定方法」
P 36 の手順をご覧下さい。

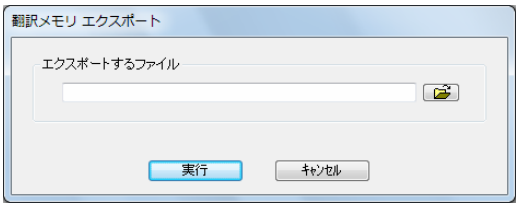
初期値のファイルはサンプルファイルになっています。



エクスポートコマンドの実行

1. **J北京対訳エディタの簡繁文字変換を、出力するメモリ辞書の中国語字種（簡体字または繁体字）に応じて切り替えます。**

2. **J 北京対訳エディタのメニューバーから**
   [翻訳メモリ(M)]ー[エクスポート(E)] を実行します。
   エクスポート画面が表示されます。



3. **書き出し先のテキストファイルを指定します。**
   ファイルのパス名を入力（あるいは［ 参照 ］ボタンをクリックしてフォルダを検索後、ファイルを選択またはファイル名を入力）します。
   例として、ドキュメントの中に「memory」というテキストファイルにして書き出してみる場合のパス
   Windows7、Vista
   C:¥Users¥（ユーザ名）¥Documents ¥memory.txt
   Windows XP
   C:¥Documents and Settings¥西尾佳子¥My Documents¥ memory.txt

4. **［ 実行 ］ボタンをクリックすると、エクスポートを開始します。**

Excelファイルへ出力する場合は、出力先ファイルであるExcel画面のメニューバーから［J北京７］―［J北京 7 翻訳メモリ辞書から読み込み(R)］ー［ 簡体字辞書から読み込み(K)］または［ 繁体字辞書から読み込み(H)］を実行して出力することもできます。P 117

Chapter 5　ツールの利用方法

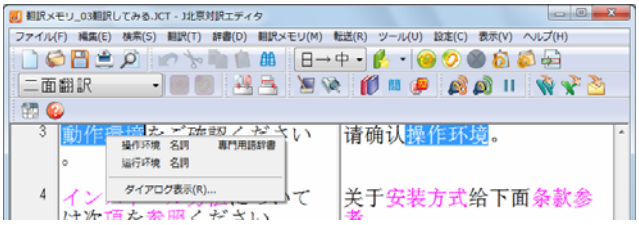
対訳エディタのツール機能には、「日中・中日辞典」「簡繁文字変換」「漢字変換」「チャイニーズボイス」「ジャパニーズボイス」の５つがあります。

1 日中・中日辞典

翻訳後、原文または訳文のテキストを選択して辞書引きを行うことができます。

1. **原文編集域または訳文編集域で、辞書引きを行うテキストを範囲指定します。**

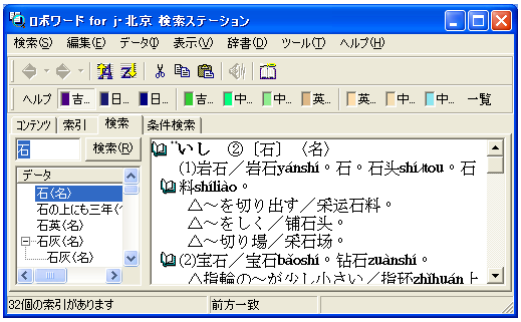
   または、対応語検索(原文、または訳文のテキストをダブルクリック)で選択表示します。



2. **ツールバーから** **をクリックする、またはメニューバーから[ツール(U)]ー[日中・中日辞典(D)] を実行します。**

   ChineseWriter9をご利用の場合
   デジタルマルチ大辞典が起動し、辞書引き結果が表示されます。

   ChineseWriter9をご利用でない場合
   「ロボワード for J北京 の検索ステーション」が起動し、辞書引き結果が表示されます。P 149



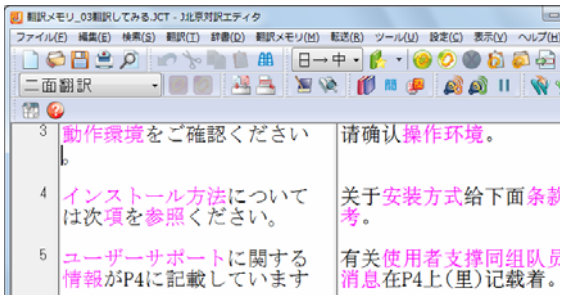
☞ ・対訳エディタで、テキストを範囲指定せずに日中・中日辞典ボタンをクリックして利用することもできます。ロボワードあるいはデジタルマルチ大辞典のテキスト入力欄に入力して[検索(R)]ボタンをクリックします。
・起動する辞典は、対訳エディタの [設定(C)]ー[環境設定(I)]で変更することができます。P 101

2 簡繁文字変換

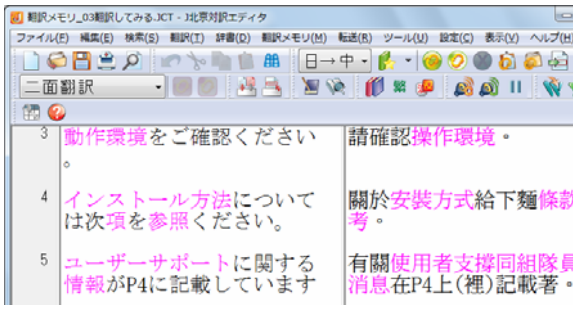
中国語の簡体字と繁体字の表示を切り替えます。

ツールバーから 簡 または 繁 ボタンをクリックする、または、メニューバーから[ツール(U)]ー[簡繁文字変換(J)] を実行します。

翻訳実行前にこのボタンを指定すると、翻訳結果も選択された字種（簡体字または繁体字）で表示されます。



表示されている中国語の字種が切り替わります。

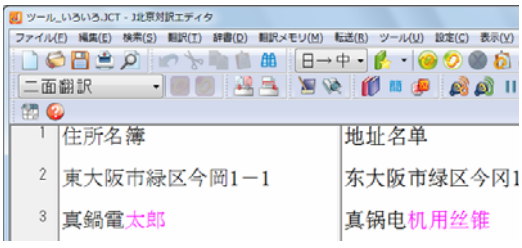


3 日中・中日漢字変換

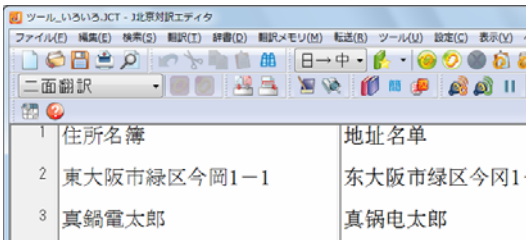
住所や人名などの翻訳を実行すると正しく表示されない場合があります。この場合は、日中・中日漢字変換機能を利用すると便利です。原文が日本語の場合は対応する中国漢字を、原文が中国語の場合は対応する日本漢字に変換して表示します。

漢字変換を行う行を指定後、ツールバーから 漢 ボタンをクリックする、または、メニューバーから [ツール(U)]ー[日中・中日漢字変換(K)]を実行します。

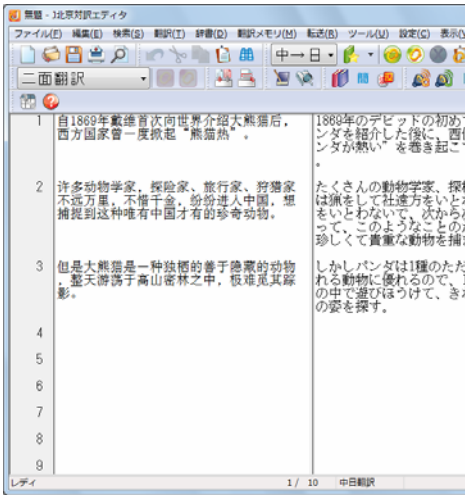
複数の文番号の指定方法は、P 23 をご覧下さい。



指定された文番号の日本語が中国漢字に変換されます。



4 チャイニーズボイス　ジャパニーズボイス



1. **読み上げるテキストを範囲指定します。**

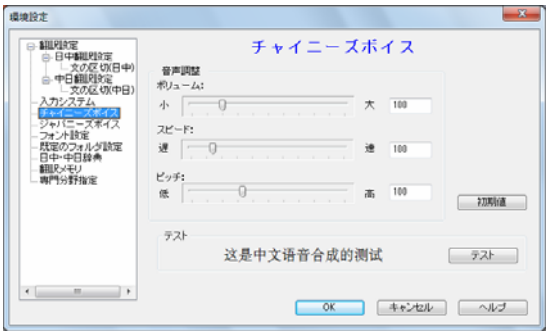
2. **ツールバーから中国語の場合は 、日本語の場合は をクリックする、または、メニューバーから［ツール(U)］－［チャイニーズボイス(V)］または［ジャパニーズズボイス(P)］を実行します。**

3. **選択した音声で読み上げを開始します。**

   範囲指定していない場合は、カーソル位置のテキストを読み上げます。

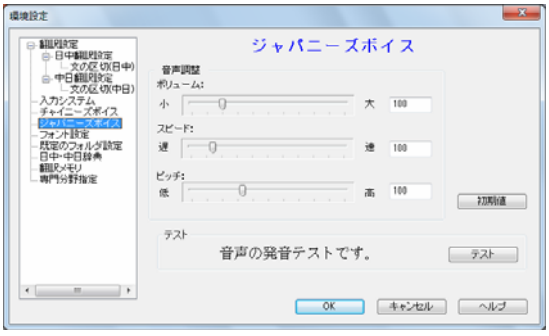
4. **ツールバーからをクリックするか、メニューバーから［ツール(U)］－［ボイス中止(S)］を実行すると、読み上げを中止します。**

◆ チャイニーズボイスの環境設定について



対訳エディタの［設定(C)］－［環境設定(I)］の［チャイニーズボイス］では、読み上げ時の音声の設定を変更することができます。
詳細は＜Chapter８　機能の詳細＞の「環境設定」をご覧ください。P 100

◆ ジャパニーズボイスの環境設定について



対訳エディタの［設定(C)］－［環境設定(I)］の［ジャパニーズボイス］では、読み上げ時の音声の設定を変更することができます。
詳細は＜Chapter８　機能の詳細＞の「環境設定」をご覧照ください。P 100

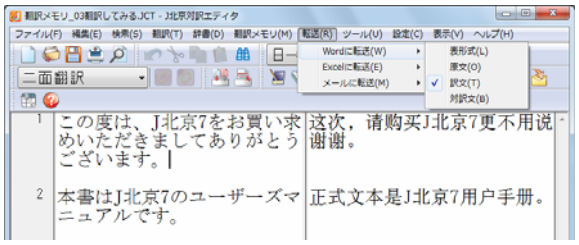
Chapter 6　Word／Excel／メールに転送

対訳エディタで翻訳した文書を、Word，Excel，メールに転送することができます。
転送できるアプリケーションは、Word，Excel，メール(Outlook Express，Outlook，Windowsメール)です。

◆ Word に転送する

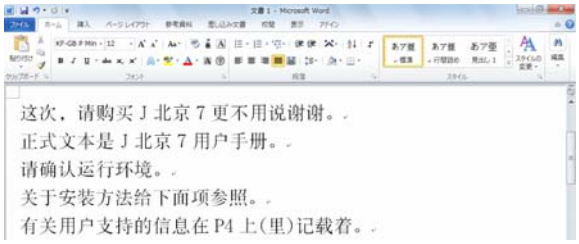
1. **メニューバーから[転送(R)]ー[Wordに転送(W)] をクリックし、転送するテキスト種別をクリックします。ツールバーから[Word転送ボタン]** **をクリックすると、メニューで選択されているテキスト種別で転送を開始します。**

   [表形式]：全てのテキストを表の形式（左から行番号，原文，訳文)で転送します。
   [原　文]：原文表示域の全てのテキストを転送します。
   [訳　文]：訳文表示域の全てのテキストを転送します。
   [対訳文]：原文・訳文全てのテキストを上下に並べて転送します



2. **選択した対訳エディタの文書が Word へ転送されます。**

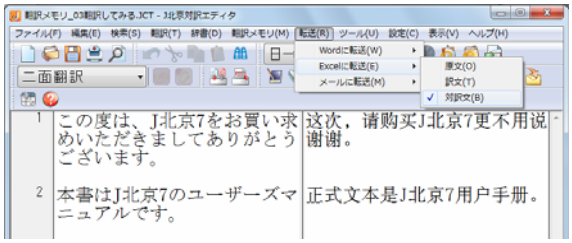
   右図は原文を転送した例です。Word が起動し、対訳エディタの原文が転送されます。



◆ Excel に転送する

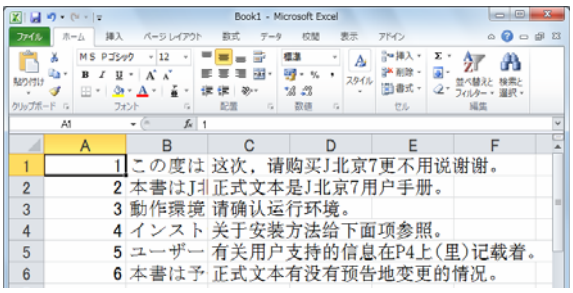
1. **メニューバーから[転送(R)]ー[Excelに転送(E)] をクリックし、転送するテキスト種別をクリックします。ツールバーから[Excel転送ボタン]** **をクリックすると、メニューで選択されているテキスト種別で転送を開始します。**

   [原　文]：原文表示域の全てのテキストを転送します。
   [訳　文]：訳文表示域の全てのテキストを転送します。
   [対訳文]：原文・訳文全てのテキストを左右に並べて転送します



2. **選択した対訳エディタの文書が Excel へ転送されます。**

   右図は訳文を転送した例です。Excel が起動し、対訳エディタの訳文が転送されます。



※ Excel2000 と 2002 をご利用の場合、Excel の標準フォントが初期値の MSP ゴシックのままだと、中国語が正しく表示されない場合があります。その場合は、標準フォントを KF-GB Gothic または KF-B5 Gothic UB 等に変更してください。

◆ メールに転送する

Windows Live メール、Windows メール、Outlook Express 6.0、Outlook へ転送することができます。
ご利用のバージョンによっては転送できない場合がありますので、ご了承ください。

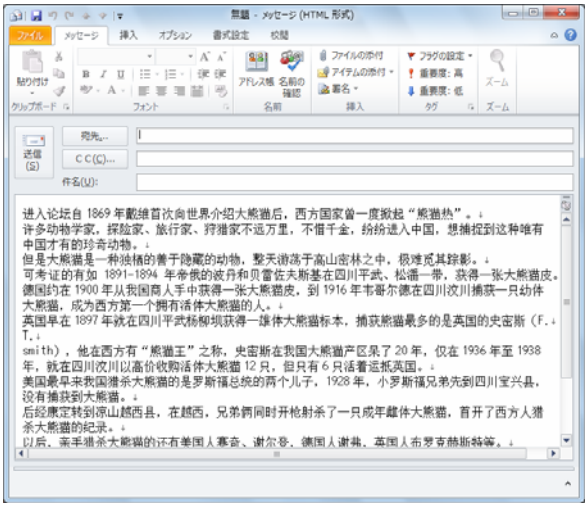
転送先のメールソフトは Windows の「規定のプログラム」に設定されているメールソフトです。
「規定のプログラム」は、スタートボタンをクリックし、Windows7/Vista の場合は「既定のプログラム」、XP の場合は「プログラムのアクセスと規定の設定」にて設定を変更することができます。

1. **メニューバー［ 転送(R)］ー［ メールに転送(M)］から転送する文書を［ 原文(O)］［ 訳文(T)］［ 対訳文(B)］から選択します。または、メール転送ボタン をクリックします。**

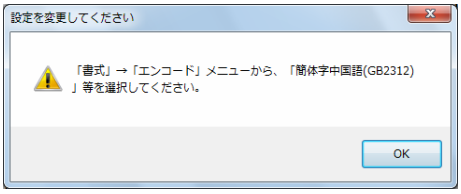
   ［原　文］：原文表示域の全てのテキストを転送します。
   ［訳　文］：訳文表示域の全てのテキストを転送します。
   ［対訳文］：原文・訳文全てのテキストを左右に並べて転送します

2. **メールソフトの新規メール作成画面が開き、選択した対訳エディタへのテキストがメールへ転送されます。**

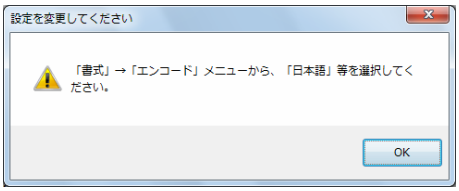
3. **転送されたテキスト種別に従って、エンコードの変更を促すメッセージが表示されます。ダイアログのメッセージに従い、言語を指定します。**



日中翻訳［ 訳文(T)］選択時



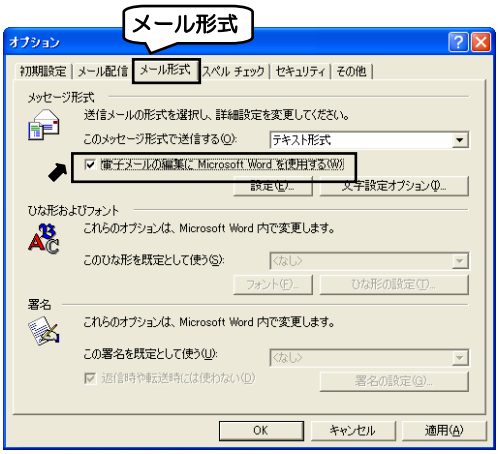
日中翻訳［ 対訳文(B)］選択時



Outlook へのメール転送には、事前に以下の確認、設定が必要です。

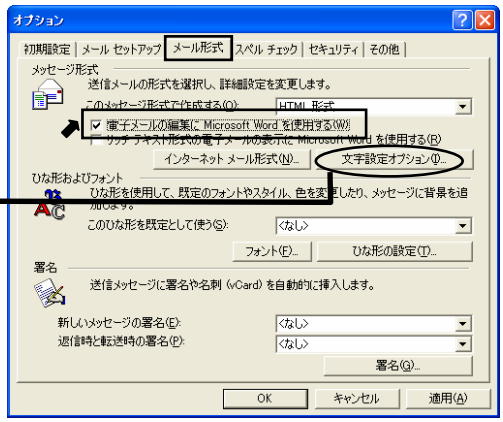
★ Outlook 2000 の場合 ★

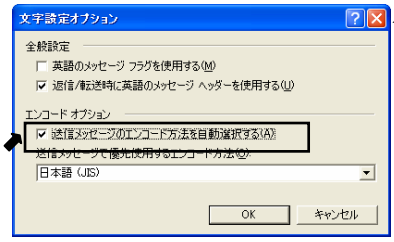
1. Outlook2000 を起動し、メニューから［ ツール ］ー［ オプション ］を実行します。
2. オプションダイアログで［ メール形式 ］タブを選択します。
3. メッセージ形式で「電子メールの編集に Microsoft Word を使用する」のチェックを外します。



★ Outlook 2002(XP)の場合 ★

1. Outlook2002 を起動し、メニューから［ ツール ］ー［ オプション ］を実行します。
2. オプションダイアログで［ メール形式 ］タブを選択します。
3. メッセージ形式で「電子メールの編集に Microsoft Word を使用する」のチェックを外します。
4. ［ 文字設定オプション ］ボタンを押し、エンコードオプションの「送信メッセージのエンコード方法を自動選択する」のチェックを外します。

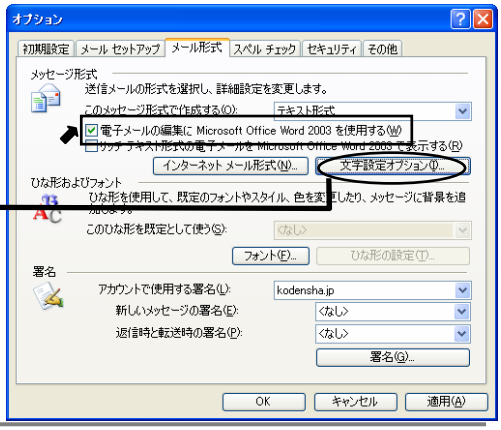


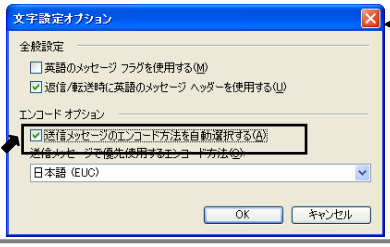


★ Outlook 2003 の場合 ★

1. Outlook2003 を起動し、メニューから［ ツール ］ー［ オプション ］を実行します。
2. オプションダイアログで［ メール形式 ］タブを選択します。
3. メッセージ形式で「電子メールの編集に Microsoft Office Word 2003 を使用する」のチェックを外す。
4. ［ 文字設定オプション ］ボタンを押し、エンコードオプションの「送信メッセージのエンコード方法を自動選択する」のチェックを外します。

※ Outlook 2002 と 2003 の手順は全く同じです。Word の表記が違うだけです。





Chapter 7　ユーザ辞書編集

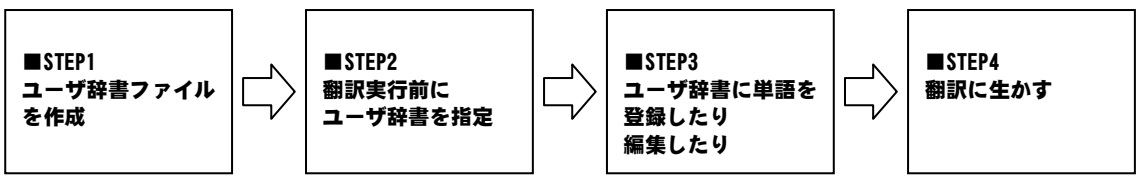
J 北京 7 の基本辞書には、利用頻度の高い単語があらかじめ登録されていますが、専門的な単語や固有名詞（地名、人名）など一般的に利用されない単語は、基本辞書に登録されていない場合があります。基本辞書に登録されていない単語は、ユーザが任意に辞書編集（ 単語の新規登録、修正、削除 ）することにより、翻訳結果へ反映させることができます。

ネットワークで接続した複数のパソコンに J 北京 7 がインストールされている場合、ネットワーク上でユーザ辞書を共有することができます。辞書を共有することにより、知識の共有や翻訳結果の整合性を図ることが可能になります。辞書には、パスワードが設定でき、辞書編集の権限に制限を与えます。パスワードの設定については、P 58, 62 をご参照下さい。
また、ネットワークで接続されていなくても、「ユーザ辞書一括出力」機能で辞書データを出力し、一括登録によって別のパソコン上で利用することもできます。「ユーザ辞書一括出力」については、P 72, 117 をご参照下さい。

1 翻訳時に使用している辞書ファイルについて

基本辞書	基本単語が収録されている辞書ファイルで、本製品に標準搭載されています。 翻訳を行う場合に常に参照される辞書で、ユーザがこの辞書を編集することはできません。	
ユーザ辞書	**本章での「ユーザ辞書編集」は、この辞書ファイルに対して行います。** ユーザが編集したり、新たに作成可能な辞書ファイルです。	
付属辞書	中日翻訳の場合にのみ利用できる辞書です。翻訳する中国語の文書に合わせて使用すると、翻訳率を向上することができる辞書ファイルです。インストール時の設定では、付属辞書を利用しないようになっています。付属辞書を利用して翻訳を行う場合は、辞書指定ダイアログに参照する付属辞書を設定する必要があります。 P 47 ※ 付属辞書は、J 北京 7 のシステムフォルダ（ C:¥Program Files¥KODENSHA¥jBeijingV6 ）の下にある（ CjUserdic)フォルダに保存されています。 ※翻訳する文と参照する辞書の対応には注意が必要です。搭載されている言語の対象とならない中国文を翻訳すると翻訳率が低下する場合があります［例］中国大陸の中国文を GANGTAI.DIC を参照して翻訳した場合や、台湾や香港など繁体字圏の中国文を CHINA.DIC を参照して翻訳すると翻訳率が低下する場合があります。	
	CHINA.DIC	中国大陸の地名や時事用語が収録されています。 中国大陸の中国文を翻訳する場合に参照することにより、翻訳率が向上します。
	GANGTAI.DIC	香港や台湾など繁体字圏で用いられる用語が収録されています。 繁体字圏の中国文を翻訳する場合に参照することにより、翻訳率が向上します。
	JAPAN.DIC	日本の企業名や用語が収録されています。 日本について書かれている中国文を翻訳する場合に参照することにより、翻訳率が向上します。

2 ユーザ辞書を作成し、翻訳に生かすまで



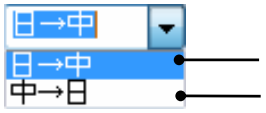
■STEP1　ユーザ辞書ファイルを作成

インストール時には、日中のユーザ辞書には【辞書名１】に「JCuser.DIC」、中日のユーザ辞書には【辞書名１】に「CJuser.DIC」が初期値として指定されています。初期値のファイルを１つのみ使用しつづけるのであれば新しくユーザ辞書ファイルを作成する必要はありませんが、複数のユーザ辞書を作成し、原文の内容や分野に応じて使い分けることなどで翻訳精度を向上させることも可能です。※ユーザ辞書を新しく作成する場合は、STEP2 の３を参照ください。

■STEP2　翻訳実行前にユーザ辞書を指定

ユーザ辞書を使用するには、ユーザ辞書ファイルを作成し J **北京対訳エディタ**にある辞書指定ダイアログの【辞書名１】～【辞書名３】にユーザ辞書を指定しなければなりません。

1. **翻訳方向を設定します。**

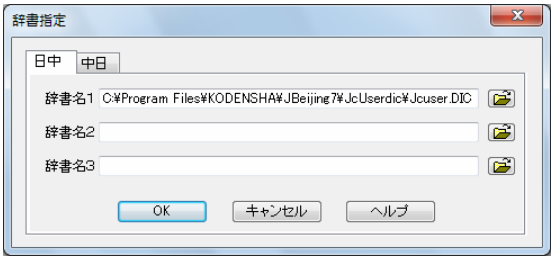


日中のユーザ辞書の辞書指定を行う場合に設定します。

中日のユーザ辞書の辞書指定を行う場合に設定します。

2. J **北京対訳エディタのメニューバーから [辞書 (D)] ー [辞書指定 (S)] をクリックします。**

辞書指定ダイアログが表示されます。
右図は、日中の辞書指定ダイアログです。



3. **新しくユーザ辞書を作成する場合はファイルのパス名を入力（または** **ボタンからファイルを選択）して、[OK]ボタンをクリックします。**

例）[辞書名 2]にドキュメントフォルダにある「JC_01.dic」を指定する場合は、事前にドキュメントフォルダ内に「MyDictionary_JBeijing7」フォルダを作成しておき、辞書名２に下記のフルパスを入力し[OK]ボタンをクリックします。C:¥Users¥（ユーザ名）¥Documents¥MyDictionaryJBeijing7¥JC_01.dic

> J **北京対訳エディタ**が作成するのは、ユーザ辞書ファイルのみです。特定のフォルダを作成する場合は、あらかじめエクスプローラ等を利用して作成しておく必要があります。

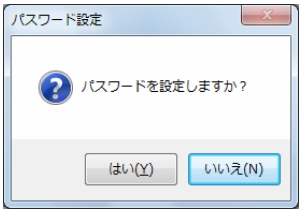
4. **新規作成を確認するダイアログが表示されます。**

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、ユーザ辞書ファイルが作成されます。

5. **パスワード設定のダイアログが表示されます。**

[はい(Y)] ボタンをクリックすると、
「パスワード設定」ダイアログが表示されます。

設定する必要がなければ、[いいえ(N)]をクリックして閉じます。
（パスワードを設定するには、P 62 へ）



☞ ■一度に指定できるユーザ辞書は【辞書名１】【辞書名２】【辞書名３】の３つまでとなります。（3 つ全てを使う必要はありません。）同じ原語が複数の辞書にある場合は、「辞書１⇒辞書２⇒辞書３⇒基本辞書」の順で参照され翻訳が実行されます。

■ユーザ辞書ファイルは幾つでも作成することができるので、原文に適したユーザ辞書があれば、辞書指定しなおして利用することも可能です。

■辞書指定ダイアログの [参照]ボタンをクリックして表示されるフォルダは、[設定(C)]－[環境設定（E）]の[既定のフォルダ設定]内の「日中ユーザ辞書フォルダ」「中日ユーザ辞書フォルダ」に指定されているフォルダです。ご利用になるユーザ辞書の保存場所を指定すると、ユーザ辞書が容易に検索できます。（詳しくは P 101「既定のフォルダ設定」へ）

■STEP3　ユーザ辞書に単語を登録したり編集したり

詳細は、次項目の辞書編集の操作でご確認ください。

■STEP4　翻訳に生かす

辞書指定の【辞書名１】【辞書名２】【辞書名３】のいずれかにユーザ辞書が指定されていれば、特に特別な手順は不要です。ユーザ辞書で登録した単語が翻訳に反映されます。全文翻訳、指定文翻訳、アドイン翻訳、ファイル翻訳など、ご利用に応じた翻訳を実行してください。

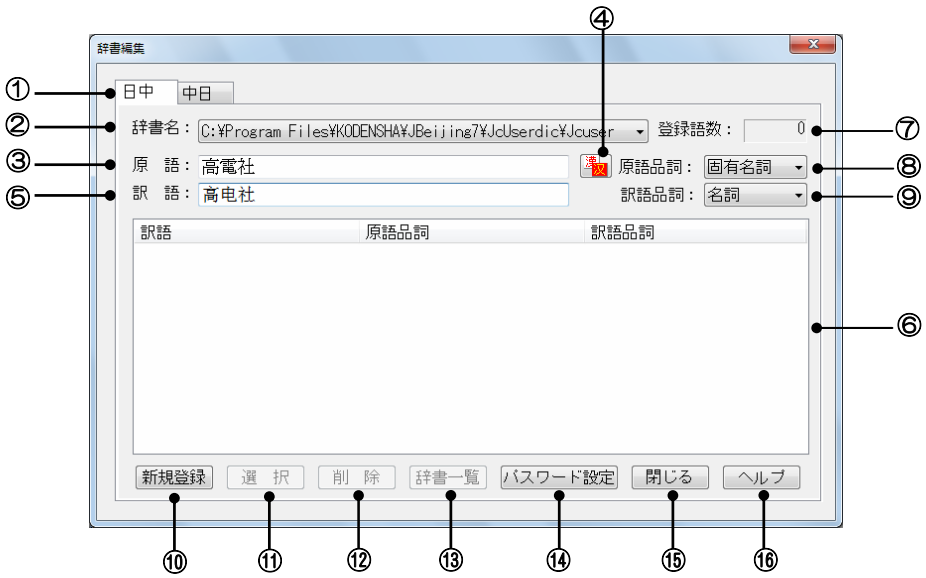
※ユーザ辞書に登録したけれども翻訳に反映されない単語について
J 北京 7 が行なう機械翻訳は、構文解析時の情報が最も優先されます。構文解析の結果、通常の翻訳方法では難しい特殊な単語に関しては、プログラムの内部で処理して適切な訳語を出力しています。
従って、辞書編集で単語を登録しても、特別に処理される単語などは訳文に反映されない場合があります。また「辞書指定」ダイアログにユーザ辞書を設定すると、翻訳時に参照する辞書ファイルが増えるため、翻訳速度が遅くなる場合があります。これは、**J 北京 7** の仕様によるものですので、あらかじめご了承ください。

3 画面構成と各部の概要について

◆辞書編集ダイアログについて

辞書編集は、J **北京対訳エディタ** のツールバーから をクリック、
またはメニューバーから［ 辞書(D)］−［ 辞書編集(U)］を実行して表示される辞書編集ダイアログで行います。

辞書編集を行う場合は、辞書指定ダイアログの［ 辞書名１ ］〜［ 辞書名３ ］のいずれかに、ユーザ辞書を設定しておく必要があります。



① 辞書の種類

編集する辞書の種類が日中辞書の場合は［ 日中 ］タブを、中日辞書の場合は［ 中日 ］タブを選択します。
初期値は対訳エディタでの翻訳方向と同じになっています

② 辞書名

辞書編集するユーザ辞書を指定します。[▼] ボタンをクリックすると、指定されているユーザ辞書が最大で３つ表示されます。編集を行うユーザ辞書を選択します。
指定した辞書ファイルは、次回の辞書編集実行時に辞書名の初期値となります。

③ 原語

登録する単語の原語を入力します。辞書編集(日中)では日本語、辞書編集(中日)では中国語を入力します。

・辞書編集(中日)の場合、「原語」欄には、原文編集域での簡繁文字変換の設定に対応して、簡体字でも繁体字でも中国語入力ができますが、実際に登録される原語は簡体字（GB コード）のみです。
・中国語は、すべての簡体字と繁体字が１対１で対応しているとは限りません。繁体字で原語を入力したときに、既に登録されているにもかかわらず該当する訳語が表示されない場合がありますのでご了承下さい。

※ 日本語に対応する簡体字の中国語漢字がない場合は “=” で、繁体字の中国語漢字がない場合は、全角の “?” で出力されます。

④ 日中･中日漢字変換ボタン

日中・中日漢字変換は、原語と訳語で同一の漢字を使用する単語（人名や地名など）を登録する場合に利用すると便利です。
辞書編集(日中)の場合、原語ボックスに入力した日本語の漢字、ひらがな、カタカナを、対応する中国語の漢字、ひらがな、カタカナに変換して訳語ボックスに転送します。
辞書編集(中日)の場合、原語ボックスに入力した中国語の漢字、ひらがな、カタカナを、対応する日本語の漢字、ひらがな、カタカナに変換して訳語ボックスに転送します。

⑤ 訳語

登録する単語の訳語を入力します。辞書編集(中日)では日本語、辞書編集(日中)では中国語を入力します。

・辞書編集(日中)の場合、「原語」欄には、原文編集域での簡繁文字変換の設定に対応して、簡体字でも繁体字でも中国語入力ができますが、実際に登録される原語は簡体字(GB コード)のみです。
・中国語は、すべての簡体字と繁体字が１対１で対応しているとは限りません。繁体字で原語を入力したときに、既に登録されているにもかかわらず該当する訳語が表示されない場合がありますのでご了承下さい。

⑥ 訳語一覧

原語ボックスに入力されている原語で登録されている訳語と品詞が一覧表示されます。

⑦ 登録語数

辞書名に指定されているユーザ辞書に登録されている単語数が表示されます。

⑧ 原語品詞

原語の品詞を設定します。辞書編集(日中)では１７種類、辞書編集(中日)では１９種類の品詞が用意されています。
各品詞の詳細は、「品詞の分類」をご覧下さい。 P 74

⑨ 訳語品詞

訳語の品詞を設定します。辞書編集(日中)では１３種類、辞書編集(中日)では１９種類の品詞が用意されています。
各品詞の詳細は、「品詞の分類」をご覧下さい。 P 74

⑩ 新規登録ボタン

ユーザ辞書へ単語を登録する場合にクリックします。

⑪ 選択ボタン

訳語一覧で訳語を選択後、このボタンをクリックすると選択した訳語の修正ができます。

⑫ 削除ボタン

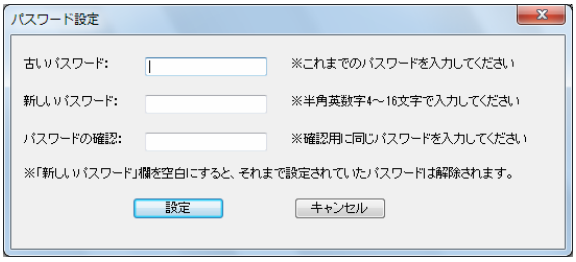
訳語一覧で選択後、このボタンをクリックすると選択した訳語をユーザ辞書から削除します。

⑬ 辞書一覧ボタン

このボタンをクリックすると、登録されている単語を一覧表示する、辞書一覧ダイアログが表示されます。 P 66

⑭ パスワード設定

パスワードを設定した場合、次回対訳エディタを起動したときからパスワードを要求されます。



◆ **新規にパスワードを設定する場合** ◆

古いパスワード欄は空白にします。新しいパスワード欄に新しいパスワード(半角英数字 4～16 文字)を入力します。パスワードの確認欄には、再度新しいパスワードを入力します。

◆ パスワードを変更する場合 ◆

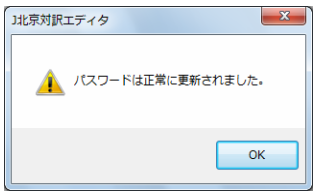
古いパスワード欄にこれまでのパスワードを入力し、新しいパスワード欄に新しいパスワード(半角英数字 4～16 文字)を入力します。パスワードの確認欄には、再度新しいパスワードを入力します

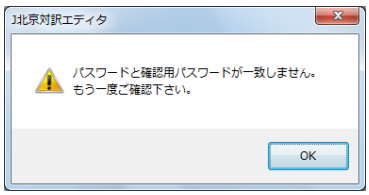
◆ パスワードの設定を解除する場合 ◆

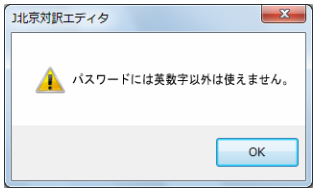
古いパスワード欄にこれまでのパスワードを入力し、新しいパスワード欄とパスワードの確認欄は空白にします。

◆ エラーについて ◆

入力に誤りがあるとエラーメッセージが表示され、設定されません。再入力したパスワードを確認ください。





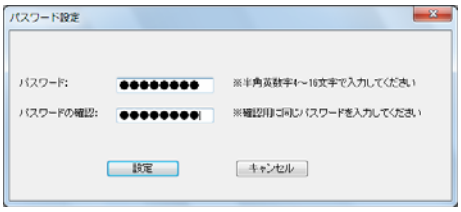


◆ユーザ辞書作成時にパスワードを設定する場合　58 へ

① 「パスワード設定」ダイアログで、[はい(Y)] をクリックします。

② パスワード設定ダイアログが表示されますので、新しいパスワード欄にパスワードを半角英数字 4～16 文字で入力します。

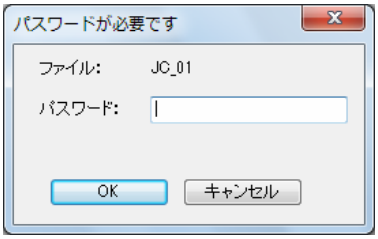
パスワードの確認欄にも再度同じパスワードを入力します。



③ [設定] をクリックすると、パスワードを設定して画面を閉じます。
入力に誤りがあるとエラーメッセージが表示され、設定されません。
再度入力をご確認ください。

◆ 「パスワードが必要です」ダイアログについて

パスワードを設定した辞書を編集，登録，一括登録，一括出力を行うには、パスワードが必要です。
「パスワードが必要です」ダイアログで一度パスワードを入力すると、対訳エディタを閉じるまで、再度パスワードの入力を求められることはありません。



⑮ 閉じるボタン

辞書編集ダイアログを閉じます。

⑯ ヘルプボタン

辞書編集についてのヘルプを表示します。

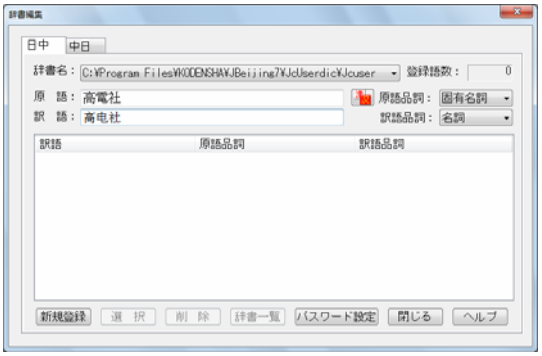
4 辞書編集操作

単語の新規登録　　**基本辞書にない見出し語（ 単語 ）を新規登録する。**
[例]　単語“高電社”を新規登録する。

1. J **北京対訳エディタのメニューバーから［ 辞書(D)]ー[辞書編集(U)] を実行します。**

   辞書編集ダイアログが表示されます。

   原文編集域から辞書編集を行う単語を範囲指定後、辞書編集コマンドを実行すると、自動的に見出し語のテキストボックスに入力されます。



2. **登録する辞書の種類を［ 日中 ］［ 中日 ］タブで選択します。**

   初期値は対訳エディタでの翻訳方向と同じになっています。

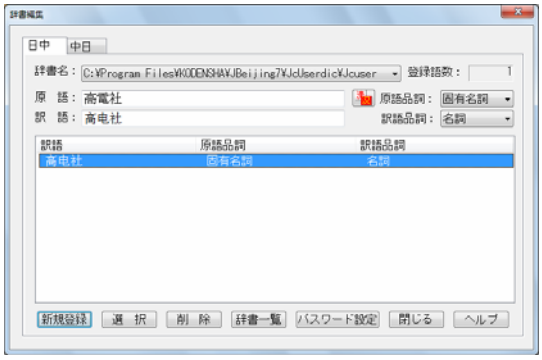
3. **登録する辞書名を選択します。［ ▼ ］をクリックすると作成したユーザ辞書を選択できます。**

4. **登録する単語（ 高電社 ）の原語と訳語を入力し、それぞれ原語品詞（固有名詞）と訳語品詞（名詞）を選択します。**

   ※ 固有名詞等では、漢字変換ボタン をクリックすると訳語に原語の漢字変換結果が表示され便利です。

5. **［ 新規登録 ］ボタンをクリックします。**

   登録が完了すると一覧に追加されて表示されます。



   ※ 登録する辞書にパスワードが設定されている場合は、パスワードが必要です。

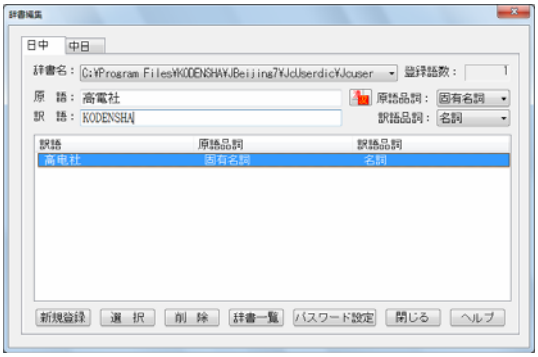
   複数の単語をまとめて登録する[一括登録]については P 59, 116 をご参照ください。

訳語の追加登録　　登録済みの見出し語（単語）に訳語を追加登録する。

［例］　先ほど登録した単語“高電社”に“KODENSHA”の訳語を追加登録する。

1. J **北京対訳エディタのメニューバーから［辞書(D)］ー［辞書編集(U)］を実行します。**

   辞書編集ダイアログが表示されます
   原文編集域から辞書編集を行う単語を範囲指定後、辞書編集コマンドを実行すると、自動的に見出し語のテキストボックスに入力されます。



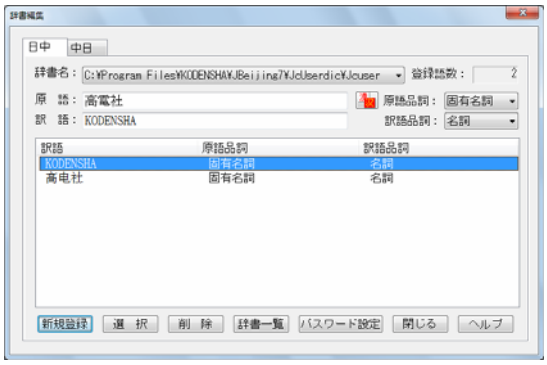
2. **登録する辞書の種類を［日中］［中日］タブで選択します。**

   初期値は対訳エディタでの翻訳方向と同じになっています。

3. **登録する辞書名を選択します。［▼］をクリックすると作成したユーザ辞書を選択できます。**

4. **登録する単語（高電社）の原語と訳語を入力し、それぞれ原語品詞（固有名詞）と訳語品詞（名詞）を選択します。**

   原語を入力して確定した時点で、既に登録済みの単語が一覧に表示されます。



5. ［**新規登録**］**ボタンをクリックします。**

   前回登録済みの訳語に追加されて、新規登録された訳語が
   表示されます。

   ※ 登録する辞書にパスワードが設定されている場合は、追加登録を行うためにパスワードが必要です。

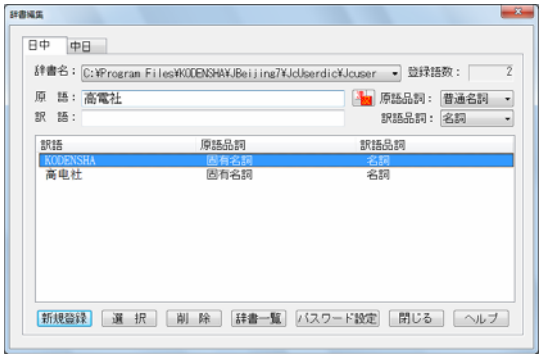
訳語の削除　　登録済みの見出し語（単語）の訳語を削除する。

［例］　先ほど登録した単語“高電社”の訳語“KODENSHA”を削除する。

1. J **北京対訳エディタのメニューバーから［辞書(D)］ー［辞書編集(U)］を実行します。**

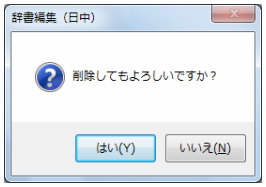
2. **削除する単語の登録されている辞書の種類［日中］と辞書名を選択します。**

3. **削除する単語（高電社）の原語を入力して確定すると、訳語が一覧に表示されます。**



4. **一覧から削除する訳語（KODENSHA）を選択し、[削除] ボタンをクリックします。**

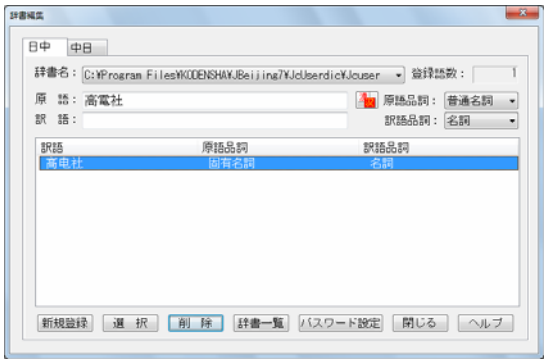
確認メッセージが表示されます。



[はい(Y)] をクリックすると訳語一覧から削除されます。

全ての訳語が削除された場合、見出し語（原語）は
ユーザ辞書から削除されます。

※ 削除する辞書にパスワードが設定されている場合は
パスワードが必要です。



訳語の修正　　**登録済みの見出し語（ 単語 ）の訳語を修正する。**

[例]　先ほど登録した単語“高電社”の訳語“高电社”を“株式会社　高电社”に修正する。

1. J **北京対訳エディタのメニューバーから [辞書(D)]ー[辞書編集(U)] を実行します。**

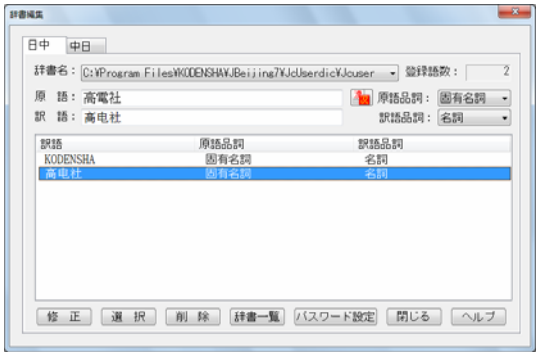
2. **修正する単語の登録されている辞書の種類 [日中] と**
辞書名を選択します。

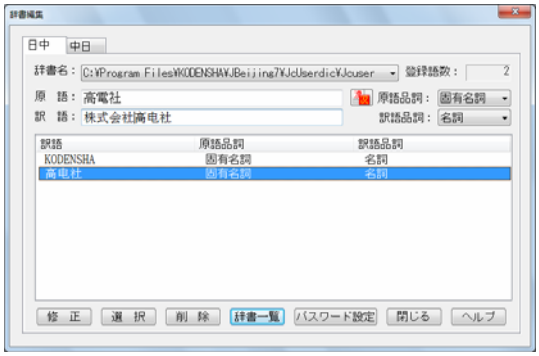
3. **修正する単語（ 高電社 ）の原語を入力して確定すると、**
訳語が一覧に表示されます。

4. **一覧から修正する訳語（ 高电社 ）を選択してダブルクリッ**
クすると、[新規登録] ボタンが [修正] ボタンに切り替
わります。

訳語に修正後の訳語を入力し、[修正] ボタンをクリック
すると修正されます。

※ 修正する辞書にパスワードが設定されている場合は
パスワードが必要です。

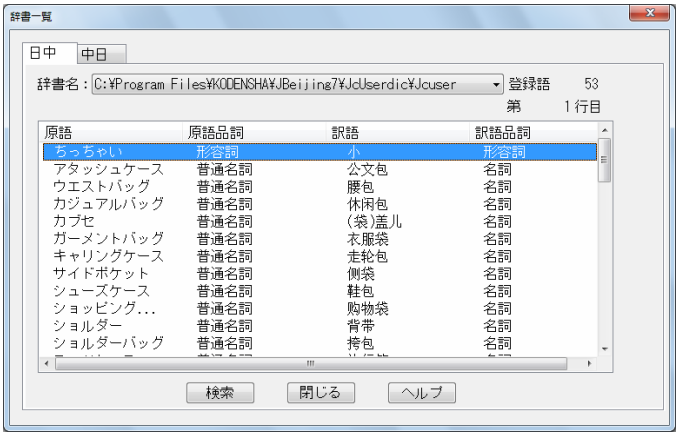




辞書一覧　　ユーザ辞書に登録されている単語を一覧形式で表示します。

1. J **北京対訳エディタのメニューバーから［ 辞書(D)]ー[辞書編集(U)] を実行します。**

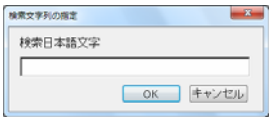
2. J **北京辞書編集ダイアログの［ 辞書一覧 ］ボタンをクリックすると、ユーザ辞書に登録されている単語が一覧表示されます。**



辞書編集ダイアログの［ 辞書一覧 ］ボタンをクリックすると、ユーザ辞書に登録されている単語が一覧表示されます。

※ パスワードが設定されている辞書一覧を開くには、パスワードが必要です

※ 日中翻訳用と中日翻訳用の辞書は画面が分かれています。閲覧したい辞書の種類タブを切り替えてください。「辞書指定ダイアログ」にユーザ辞書が設定されていない場合、このコマンドを使用することはできません。また、基本辞書の内容を辞書一覧で閲覧することはできません。

辞書名	辞書一覧で辞書内容を一覧表示するユーザ辞書を選択します。
検索	「検索文字列の指定ダイアログ」が表示されます。右記のダイアログに文字列を入力して[OK]ボタンをクリックすると、入力した文字列で登録されている原語が辞書一覧に表示されます。 

原語および訳語入力時の注意点

◆ 原語および訳語入力時の注意点

辞書編集 （日中）	原語入力時 （日本語）	◆ 入力可能な文字は「漢字」と「全角の記号」です。 半角文字、全角の空白と「。」「?」の記号は使用できません。 ◆ 品詞に「動詞」「形容詞」「形容動詞」のいずれかを指定して単語を登録する場合は、２文字以上の語句を入力しないと登録できません。 ◆ 品詞に「動詞」を指定した場合、「する」「ずる」「くる」「来る」の語句は登録できません。 ◆ 品詞に「動詞」を指定して単語を登録する場合は、「書く」「着る」のように「終止形」で入力して下さい。 ◆ 品詞に「形容詞」を指定して単語を登録する場合は、「美しい」「高い」のように「終止形」で入力して下さい。 ◆ 品詞に「形容動詞」を指定して単語を登録する場合は、「静かだ」「きれいだ」のように「終止形」で入力して下さい。
	訳語入力時 （中国語）	◆ ChineseWriterLT または、弊社 ChineseWriter シリーズを利用して入力を行って下さい。 ◆ 半角の「?」「&」を使用することはできません。 ◆ 全角の「…」を使用することはできません。
辞書編集 （中日）	原語入力時 （中国語）	◆ ChineseWriterLT または、弊社 ChineseWriter シリーズを利用して入力を行って下さい。 ◆ 入力可能な文字は「漢字」と「全角の記号」です。 半角文字、全角の空白と「.」「：」「；」「！」「。」「？」の記号は使用できません。
	訳語入力時 （日本語）	◆「?」を使用することはできません。 ◆ 動詞は、「終止形」「過去形」「否定形」で入力して下さい。 終止形（ ウ段の音で終わる ）　【例】書く、着る 否定形（「い」で終わる ）　【例】来ない、泣かない 過去形（「た」「だ」で終わる ）【例】見た、飛んだ ◆ 形容詞、形容動詞は、「終止形」で入力して下さい。 形容詞は「い」で終わる言葉　【例】美しい、高い 形容動詞は「だ」で終わる言葉　【例】静かだ、きれいだ

◆ 登録可能な文字数と登録可能語数について

日中辞書	原語（日本語）	全角２０文字
	訳語（中国語）	全角２０文字
	登録可能語数	無制限（ただし、ハードディスクの空き容量に依存します。）
中日辞書	原語（中国語）	全角１５文字
	訳語（日本語）	全角２０文字
	登録可能語数	無制限（ただし、ハードディスクの空き容量に依存します。）

◆特別な品詞で登録されている単語について

中日辞書には、翻訳精度を向上させるために、一般的な辞書とは異なった方法で単語を登録しています。
そのため、特殊な品詞の定義を行っている場合がありますが、これは **J 北京 7** の仕様によるものですので、
あらかじめご了承下さい。

【例】「 短嗤駅勘 」（訳語：～必要ない）

※ この言葉は、本来「動詞＋名詞」の組み合わせですが、「助動詞／副詞」として登録しています。

◆ 特別に処理される単語について

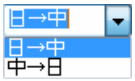
J 北京 7 の翻訳では、構文解析時の情報が最も優先されます。構文解析の結果、通常の翻訳方法では難しい特殊な単語（例：一部の介詞）に関しては、プログラムの内部で処理して適切な訳語を出力しています。

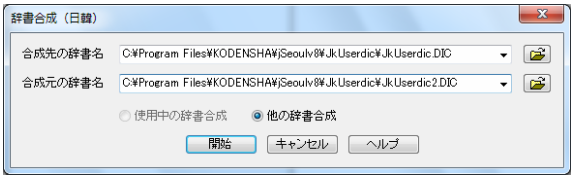
訳語は、辞書ファイルに登録されているものではなく、翻訳プログラムで生成するものです。従って、辞書編集で単語を登録しても訳文に反映することはできません。これは、**J 北京 7** の仕様によるものですので、予めご了承下さい。

2 つのユーザ辞書を合成して 1 つにする方法

２つのユーザ辞書を合成して１つにします。[合成元の辞書] に指定された辞書ファイルが、[合成先の辞書名] に指定されている辞書ファイルに追加されます。

1. **翻訳方向を指定します。**





2. **メニューより [辞書（D）]-[辞書合成（M）] をクリックすると、辞書合成ダイアログが起動します。**

3. **辞書名を入力し [開始] ボタンをクリックするとユーザ辞書が合成されます。**

合成先の辞書名	合成先のユーザ辞書のパス名をフルパスで設定します。ここで設定したユーザ辞書に、合成元で指定したユーザ辞書の単語が転送されます。
合成元の辞書名	合成元のユーザ辞書のパス名をフルパスで設定します。ここで指定した辞書ファイルは更新されません。
使用中の辞書合成	辞書指定されているユーザ辞書に対して辞書合成する場合に指定します。合成先の辞書名、合成元の辞書名の[▼]をクリックして一覧からユーザ辞書を指定することができます。 ※ 「辞書指定ダイアログ」に２つ以上のユーザ辞書が設定されている場合に指定することができます。 重複した辞書内容を参照しないようにするために[合成元の辞書名]に指定された辞書ファイルが「辞書指定ダイアログ」より解除されます。そのため、合成元に指定した辞書を利用する場合は、再度「辞書指定ダイアログ」で辞書を指定する必要があります。
他の辞書合成	「辞書指定ダイアログ」に設定されていないユーザ辞書の合成を行う場合に指定します。

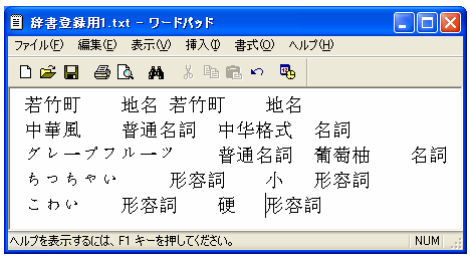
複数の単語をユーザ辞書に一括で登録する方法

1. **一括で登録するためのファイルを作成します。**

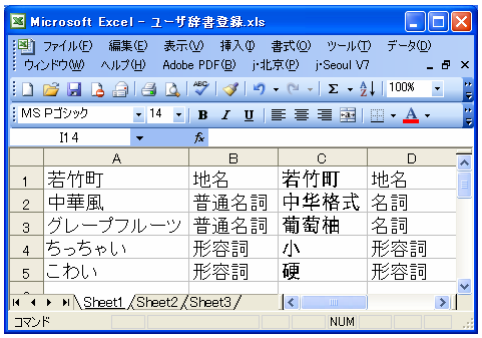
【作成に使用するアプリケーション】
Excel で作成することを推奨しますが、Windows のメモ帳やワードパッド等の Unicode テキスト形式に対応しているアプリケーションでも作成することができます。

【入力ファイルの形式】
Unicode のテキストファイル（txt）、または Excel ファイル（xls、xlsx）

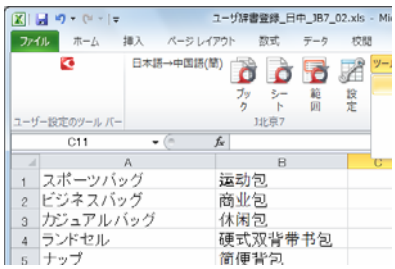
【入力ファイルの作成方法】
■メモ帳　／　ワードパッドで作成する場合
原語＋タブ＋原語品詞＋タブ＋訳語＋タブ＋訳語品詞
Unicode で作成したタブ区切りテキストファイル(項目と項目をタブで区切って作成されたファイル)から、
ユーザ辞書ファイルへ単語を一括登録します。



■Excel で作成する場合　P 116
1）品詞を登録する場合
A 列：原語、B 列：原語品詞、C 列：訳語、D 列：訳語品詞



2）品詞を登録する場合
A 列：原語、B 列：訳語



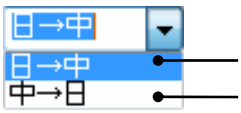
・日中辞書
日本語は普通名詞、中国語は名詞として登録されます。

・中日辞書
中国語は一般名詞、日本語は名詞として登録されます。

2. **1. で作成したファイルを保存します。**

ファイルの保存形式は Unicode のテキストファイル（txt）、または Excel ファイル（xls、xlsx）にしてください。
入力ファイルの作成は、Unicode テキスト形式に対応しているアプリケーションで行います。
ファイル保存時に、以下のような Unicode テキストファイル形式を選択してください。
Windows のメモ帳やワードパッド等で作成することができます。

3. **翻訳方向を指定します。**



日中のユーザ辞書の辞書指定を行う場合に設定します。

4. **メニューより［辞書（D）］－［辞書一括登録（M）］をクリックすると、辞書合成ダイアログが起動します。**

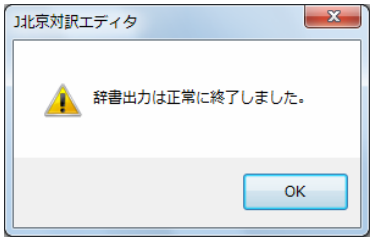
5. **辞書名、入力ファイル名を入力します。**

登録辞書名	一括登録で単語を転送するユーザ辞書ファイルを指定します。
入力ファイル名	一括登録を行う単語が保存されている Unicode のテキストファイルを設定します。
辞書種別	辞書の種類を［ 日中ユーザ辞書 ］または［ 中日ユーザ辞書 ］から選択します。
中国語文字種	入力ファイルの中国語文字コードを、簡体字または繁体字から選択します。

6. **「開始」ボタンをクリックすると、一括登録が実行されます。**

【 一括登録実行時のエラーが表示された場合 】

エラーの内容がエラーログファイルに出力されます。
※エラーログファイルは、「ERRORLOG.TXT 」のファイル名で、初期値では C:¥Program Files¥KODENSHA¥jbeijing7 に作成されます。エラーログファイルを参照すると、エラーの発生した行とエラーの内容が簡単に確認できます。
※ エラーログファイルはテキスト形式ファイルですので、Windows のメモ帳などで内容を閲覧することができます。



◆ エラーメッセージと内容について ◆

中日翻訳の場合

エラーメッセージ	解説
形式が不正です。	「原語」＋ タブ ＋「原語品詞」＋ タブ ＋「訳語」＋ タブ ＋「訳語品詞」の形式になっていないなど、データの構成が不正な場合に表示されます。

中国語に半角文字は使用できません。	「原語」に半角の文字が使用されている場合に表示されます。
中国語に登録できない文字 "？" がありました。	「原語」に登録できない文字が使用されている場合に表示されます。
日本語に登録できない文字 "？" がありました。	「訳語」に登録できない文字が使用されている場合に表示されます
中国語の長さが 15 文字(30 バイト)を超えています。	「原語」の文字数が 15 文字(30 バイト)を超えている場合に表示されます。
日本語の長さが 20 文字(40 バイト)を超えています。	「訳語」の文字数が 20 文字(40 バイト)を超えている場合に表示されます。

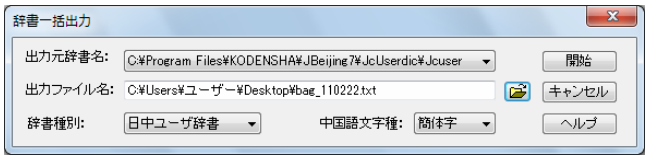
日中翻訳の場合

エラーメッセージ	解説
形式が不正です。	「原語」＋ タブ ＋「原語品詞」＋ タブ ＋「訳語」＋ タブ ＋「訳語品詞」の形式でない等、データの構成が不正な場合表示されます。
日本語の長さが 20 文字(40 バイト)を超えています。	「原語」部分の文字数が 20 文字(40 バイト)を超えている場合に表示されます。
日本語の品詞名が正しくありません。	「原語の品詞」に誤った品詞名を指定している場合に表示されます。
日本語に登録できない文字 "。" がありました。	「原語」に登録できない文字を指定している場合に表示されます。
中国語の長さが 20 文字(40 バイト)を超えています。	「訳語」の文字数が 20 文字(40 バイト)を超えている場合に表示されます。
中国語の品詞名が正しくありません。	「訳語の品詞」に誤った品詞名を指定している場合に表示されます。
中国語に登録できない文字 "？" がありました。	「訳語」に登録できない文字を指定している場合に表示されます。

入力ファイルを Excel 画面で作成した場合は、Excel 画面のメニューバーから［J 北京 7］—［J 北京 7 ユーザ辞書に書き出し(E)］を実行して一括登録することもできます。参照 P 116

ユーザ辞書に登録されたデータの書き出しをする方法

1. **メニューより[辞書（D）]-[辞書一括出力（O）]をクリックすると、辞書一括出力ダイアログが起動します。**



2. **出力辞書名を選択し、出力ファイル名を入力し（または、参照ボタンから選択します）、辞書種別、中国語文字種を選択します。**

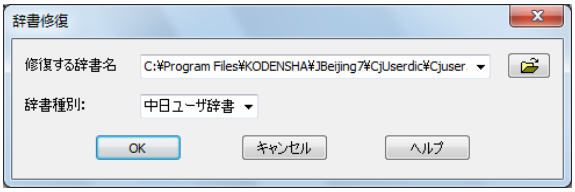
出力元辞書名	一括出力するユーザ辞書ファイルを指定します。辞書種別に応じた辞書名が選択できます。
出力ファイル名	出力先のファイルのパス名（あるいは [参照] ボタンをクリックしてフォルダを検索後、ファイルを選択またはファイル名を入力）します。
辞書種別	出力元辞書名の辞書の種類 [中日ユーザ辞書][日中ユーザ辞書] を選択します。
中国語文字種	出力ファイルの中国語文字コードを、簡体字または繁体字から選択します。

3. **[開始]ボタンをクリックすると、一括出力を開始します。**

Excel ファイルへ出力する場合は、出力先ファイルである Excel 画面のメニューバーから［Ｊ北京７］―［Ｊ北京７ ユーザ辞書から読み込み(I)］を実行して出力することもできます。参照 P 117

ユーザ辞書が壊れた場合に修復する方法

1. **メニューより[辞書（D）]-[辞書修復（T）]をクリックすると、辞書修復ダイアログが起動します。**



2. **修復する辞書名を入力し（または、参照ボタンから選択します）、辞書種別を選択します。**

修復する辞書名	修復するユーザ辞書ファイルを指定します。辞書種別に応じた辞書名が選択できます。
辞書種別	出力元辞書名の辞書の種類 [中日ユーザ辞書][日中ユーザ辞書] を選択します。

3. **[OK]ボタンをクリックすると、修復します。**

■出力ユーザ辞書の修復時のご注意
ユーザ辞書保存先フォルダ（初期値）
日中：C:¥Program Files¥KODENSHA¥jBeijingV7¥JcUserdic
中日：C:¥Program Files¥KODENSHA¥jBeijingV7¥CjUserdic
上記フォルダを削除しないでください。

■参考
日中ユーザ辞書
1 つのユーザ辞書（初期値　Jcuser.dic）は、プログラム内部で 6 つのファイルから構成されています。（Jcuser.dic, Jcuser.ddb, Jcuser.dc1, Jcuser.db1, Jcuser.ctl, Jcuser.cct）6 つのファイルは同じ階層に保存しておく必要があります。

中日ユーザ辞書
1 つのユーザ辞書（初期値　Cjuser.dic）は、プログラム内部で 3 つのファイルから構成されています（Cjuser.dic, Cjuser.ddb, Cjuser.ctl）。3 つのファイルは同じ階層に保存しておく必要があります。

※拡張子が.dic ファイルのものだけ保存しても意味はありませんのでご注意ください

4 品詞の分類

◆ 日中辞書の品詞について

「辞書編集(日中)」で登録できる品詞は原語（日本語）が 17 種類、訳語（中国語）が 13 種類です。

原語（日本語）の品詞一覧

	品詞	解説	例
1	普通名詞	人、または物事の名称を表す。	道路（祇揃）
2	サ変名詞	「する」が付いて動詞になる名詞。	運動（遼強）
3	固有名詞	商品名やブランド名などの特定のものを表す名詞。	j・北京（j・北京）
4	人名	人の名前を表す。	田中（弥嶄）
5	地名	場所の名前を表す。	大阪（寄易）
6	組織名	組織の名前を表す。	国連（選栽忽）
7	時間名詞	時間を表す。	今年（書定）、元旦（圷稀）
8	動詞	人または物事の動作、変化、存在、状態等表す。	笑う（ヽ）
9	形容詞	性質・状態などを表し、「い」で言い切るもの。	美しい（胆洗）
10	形容動詞	性質・状態などを表し、「だ」で言い切るもの。	静かだ（芦床）
11	副詞	主に動詞、形容詞等を修飾する。	最も（悠）、すでに（厮将）
12	連体詞	体言を修飾し、活用がない自立語で主語にならないもの。	大いなる（寄議）
13	助数詞	人または物事の単位、またはその動作、行いの単位を表す。	束（束）
14	接続詞	語句を続けるために使うもの。	その上（遇拝）
15	感嘆詞	感動、応答、呼びかけなどを表す。	もしもし（旅）
16	擬声語	音や声を真似て表す。	ワンワン（濫濫）
17	成語	言葉の流れに既に定着された特殊な句。	百聞は一見にしかず （為療音泌匯需）

※ 原語（日本語）の品詞に「動詞」「形容動詞」を選択した場合は、詳細な情報を追加するために追加質問ダイアログが表示されます。追加質問ダイアログの詳細は、< 追加質問について >の「日中辞書の追加質問」をご覧下さい。
P 77, 78

訳語（中国語）の品詞一覧

	品詞	解説	例
1	名詞	人、または物事の名称を表す。	寄遜（大陸）
2	人名	人の名前を表す。	谷夾叫（毛沢東）
3	地名	場所の名前を表す。	臼獎（北京）
4	動詞	人または物事の動作、変化、存在、状態等を表す。	僥（学ぶ）
5	形容詞	人または物事の形状、性質またはその動作、行い、変化等の状態を表す。	酔（速い）
6	副詞	動詞、形容詞を修飾し、程度、語気、時間、範囲等を表す。	不裏（少し）
7	連体詞	体言を修飾し、活用がない自立語で主語にならないもの。	寄議（大いなる）
8	量詞	人または物事の単位、またはその動作、行いの単位を表す。	束（束）
9	接続詞	単語、文、段落を繋げ、それらの間の論理関係を表す。	辛頁（しかし）
10	感嘆詞	感動、応答、呼びかけなどを表す。	旅（もしもし）
11	擬声語	音や声を真似て表したもの。	濫濫（ワンワン）
12	擬態語	身ぶり・状態の感じを表して作ったもの。	糠袖糠袖（ころころ）
13	成語	言葉の流れに既に定着された特殊な句。 通常、４文字からなる。	高咐貌収 （光陰矢のごとし）

※ 訳語（中国語）の品詞に「動詞」を選択した場合は、詳細な情報を追加するために追加質問ダイアログが表示されます。追加質問ダイアログの詳細は、< 追加質問について >の「日中辞書の追加質問」をご覧下さい。 P 77, 78

◆ 中日辞書の品詞について

「辞書編集(中日)」で登録できる原語（中国語）と訳語（日本語）の品詞は、それぞれ１９種類です。

原語（中国語）の品詞一覧

	品詞	解説	例
1	名詞	人、または物事の名称を表す。	旦徨（机）
2	人名	人の名前を表す。	谷夾叫（毛沢東）
3	地名	場所の名前を表す。	臼奨（北京）
4	動詞	人、または物事の動作、変化、存在、状態等を表す。	僥楼（学ぶ）
5	形容詞	人、または物事の形状、性質またはその動作、行い、変化等の状態を表す。	酔（速い）
6	代詞	人、または物事を指す役割を果たす単語またはその代わりを表す。	壑断（私達）
7	方位詞	方向、位置、ある特定の時間を表す。	貧、和（上、下）
8	副詞	動詞、形容詞を修飾し、程度、語気、時間、範囲等を表す。	不裏（少し）
9	介詞	名詞、代名詞または名詞を中心とする句の前に付いて時間、場所、方式、原因等を表す。	貫（…から）
10	接続詞	単語、文、段落を繋げ、それらの間の論理関係を表す。	倦夸（さもなくば）
11	数詞	数字そのものを表す。	眉（三）
12	量詞	人または物事の単位、またはその動作、行いの単位を表す。	崩（束）
13	時間名詞	時間を表わす名詞。	今年（書定）
14	助詞	単語、句、文に付いて、付加の意味または付加の語気を表す。	宅（…か）
15	成語	言葉の流れに既に定着された特殊な句。 通常、４文字からなる語。	暢嶬匯頁（意見がまとまらない）
16	熟語・俗語	長さが決まっていないことわざ、俗語等。	眉倖株討蹴琵狛幗乞疏 （三人寄れば文殊の知恵）
17	擬声語	音や声を真似て表す。	猝（とん）
18	擬態語	身ぶり・状態の感じを表す。	奨賎職芽（きびきび）
19	感嘆詞	感動、応答、呼びかけなどを表す。	旅（もしもし）

※ 原語（中国語）の品詞に「動詞」を選択した場合は、詳細な情報を追加するために追加質問ダイアログが表示されます。追加質問ダイアログの詳細は、< 追加質問について >の「中日辞書の追加質問」をご覧下さい。 P 80

訳語（日本語）の品詞一覧

	品詞	解説	例
1	一般名詞	人、または物事の名称を表す。	自動車（廿概）
2	代名詞	人、事物、場所、方角を表す。	私（厘）
3	地名	場所の名前を表す。	大阪（寄易）
4	人名	人の名前を表す。	田中（弥嶄）
5	方位詞	方向、位置、ある特定の時間を表す。	上、下（貧、和）
6	数詞	数字そのものを表す。	三（眉）
7	助数詞	人または物事の単位、またはその動作、行いの単位を表す。	束（崩）
8	時間名詞	時間を表す名詞。	今年（書定）
9	動詞	事物の動作、存在、状態を表し、ウ段の音で終わるもの。	書く（亟）
10	形容詞	性質・状態などを表し、「い」で言い切るもの。	美しい（胆洗）
11	形容動詞	性質・状態などを表し、「だ」で言い切るもの。	静かだ（芦床）
12	副詞	主に動詞、形容詞を修飾する。	最も（悠） すでに（厮将）
13	助詞	付属語であり、活用がなく、文節と文節の関係を示し一定の意味を添えるもの。	の（議）
14	連体詞	体言を修飾し、活用がない自立語で主語にならないもの。	いかなる（販採） 親愛なる（牌握議）
15	接続詞	語句を続けるために使うもの。	その上（遇拝）
16	擬声語	音や声を真似て表したもの。	わんわん（汪汪）
17	擬態語	身ぶり・状態の感じを表して作ったもの。	きびきび（奨賎職芽）
18	感嘆詞	感動、応答、呼びかけなどを表す。	もしもし（旅）
19	成語・熟語	言葉の流れに既に定着された特殊な句。	百聞は一見にしかず（為療音泌匪需）

※ 訳語（日本語）の品詞に「動詞」「時間名詞」を選択した場合は、詳細な情報を追加するために追加質問ダイアログが表示されます。追加質問ダイアログの詳細は、< 追加質問について >の「中日辞書の追加質問」をご覧下さい。
P 80

5 追加質問について

日本語品詞が「動詞」の場合、品詞欄に記入する内容は次のようになります。

[**自動詞** または **他動詞** または **自他動詞**][**１段** または **５段** または **サ変** または **ザ変** または **カ変**]

[自動詞 または 他動詞 または 自他動詞]の分類

自動詞	目的語を取らない動詞
他動詞	目的語を取る動詞
自他動詞	自動詞にも他動詞にもなる動詞

[変格活用の分類]

1 段	「見る」→「見ない」のように、動詞の末尾から「る」を取って「ない」を付けることで否定形になる動詞
5 段	「行く」→「行かない」のような、それ以外の否定形の作り方をする動詞で、次に挙げる「サ変」「ザ変」「カ変」のいずれでもないもの
サ変	「勉強する」→「勉強しない」のように、「する」→「しない」となる動詞
ザ変	「論ずる」→「論じない」のように、「ずる」→「じない」となる動詞
カ変	「やってくる」→「やってこない」のように、「くる」→「こない」または「来る」→「来ない」となる動詞（日中辞書登録では、原語が「来る」「くる」「する」「ずる」のみから成るものは登録できません）

「着る」の場合：
　目的語を取り（「～を着る」と言える）、また「ない」を付けることで否定形になる（「着る」→「着ない」と言える）ため、品詞は「他動詞１段」となります。
「散る」の場合：
　目的語を取らず（「～を散る」と言えない）、また否定形の作り方が「散る」→「散らない」となるため、品詞は「自動詞５段」となります。
中国語品詞が「動詞」の場合、品詞欄に記入する内容は、「無賓語動詞」「単賓語動詞」「双賓語動詞」「兼語動詞」「賓語従句動詞」のいずれかになります。

◆ 日中辞書の追加質問

辞書編集（日中）で原語（日本語）の品詞に「動詞」または「形容動詞」を選択した場合と、訳語の品詞に「動詞」を選択した場合は、登録する単語に詳細な情報を与えるためのダイアログが表示されます。

★ 原語の品詞に「動詞」を指定した場合

登録する単語に適切な「動詞の種類」と「動詞の活用」を指定して下さい。

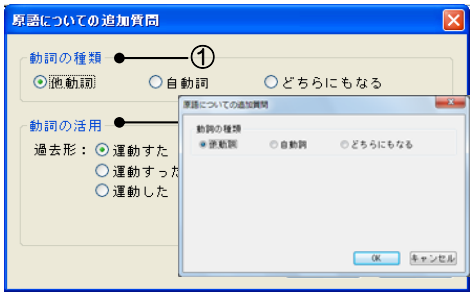
① 動詞の種類

前頁の同項目をご参照ください。

② 動詞の活用

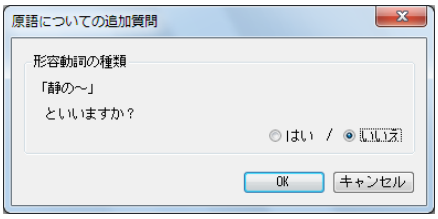
原語に入力した日本語を元にいくつかの「過去形」（または、「過去形」＋「命令形」）の動詞が表示されます。表示された選択肢の中から適切なものを指定して下さい。

※ 原語に入力した日本語によっては、「動詞の活用」が表示されない場合もあります。



★ 原語の品詞に「形容動詞」を指定した場合

ダイアログに表示された言い回しをする場合は「はい」を指定し、そうでない場合は「いいえ」を指定します。



★ 訳語の品詞に「動詞」を指定した場合

訳語（中国語）の品詞に「動詞」を選択した場合、より詳細な情報を与えるために右記のダイアログが表示されます。登録する単語に適切な「動詞の種類」を指定して下さい。動詞の種類については、P 78 をご参照ください。

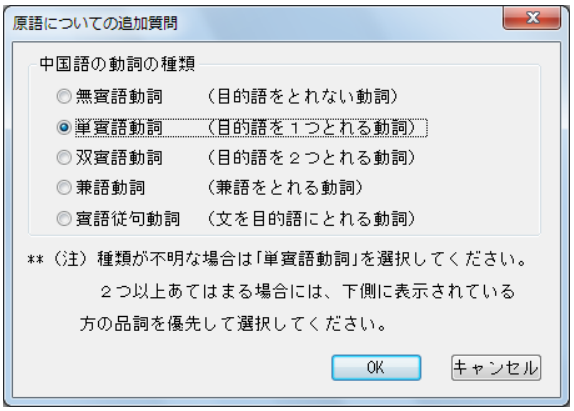
◆ 中日辞書の追加質問

原語（中国語）の品詞に「動詞」を選択した場合と、訳語の品詞に「動詞」または「時間名詞」を選択した場合は、登録する単語に詳細な情報を与えるためのダイアログが表示されます。

★ 原語の品詞に「動詞」を指定した場合

◆ 追加品詞の優先順位

動詞によっては、「動詞の種類」の複数の性質を兼ね備えているものがありますが、**J 北京 7** では１つの性質しか登録できないため、より優先順位の高い「動詞の種類」を選択して下さい。



優先順位	動詞の種類	内容
低 ↕ 高	**無賓語動詞**	目的語をとれない動詞の場合に指定します。 【 原文 】鋒状　　【 訳文 】眠る
	単賓語動詞	目的語を１つとれる動詞の場合に指定します。 【 原文 】嬉　　【 訳文 】打つ
	双賓語動詞	目的語を２つとれる動詞の場合に指定します。 【 原文 】厘公低鵜徨　　【 訳文 】私はあなたにコップをあげる
	兼語動詞	兼語をとれる動詞の場合に指定します。 【 原文 】厘斑低肇　　【 訳文 】私はあなたを行かせる ※「動詞１＋名詞＋動詞２」という構成の序列において、名詞が動詞１の目的語かつ、動詞２の主語である場合、この名詞は動詞１の“兼語”と言います。
	賓語従句動詞	文を目的語にとれる動詞の場合に指定します。 【 原文 】析弗傍麿苧爺栖　　【 訳文 】先生は彼が明日来ると言う

例えば、中国語の「想」という動詞は、「単賓語動詞」にも「賓語従句動詞」にもなり得ますが、辞書編集（中日）で登録を行う場合は、「単賓語動詞」より優先順位の高い「賓語従句動詞」を選択します。

単賓語動詞	厘(バー)紋(ワッ)ト	私は故郷を思う
賓語従句動詞	厘(バー)麿苧爺栖巷望。	私は彼が明日会社に来ると思う

※ 動詞の種類が分類不明な場合は、「単賓語動詞」を指定して下さい。

★ 訳語の品詞に「動詞」を指定した場合

訳語（日本語）の品詞に「動詞」を選択した場合、詳細な情報を与えるためのダイアログが表示されます。

※ 入力した訳語（終止形、否定形、過去形）により、表示される動詞の追加質問ダイアログの内容は変わります。

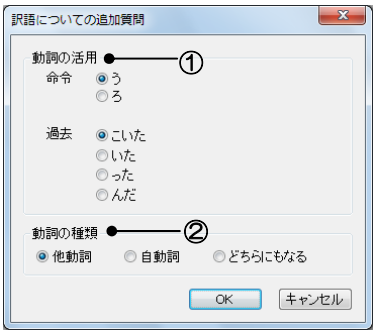
◆ 終止形の訳語を入力した場合 ◆

終止形（ウ段の音で終わる）の訳語を入力した場合は、右記のダイアログが表示されます。
登録する訳語に適切な「動詞」の活用と「動詞の種類」を指定して下さい。

① 動詞の活用

訳語に入力した日本語を元にいくつかの過去形の動詞が表示されます。
表示された過去形の中から適切なものを指定して下さい。

※「命令形」の設定によって、適切な過去形が無い場合は過去形の
　指定項目がダイアログから無くなります。

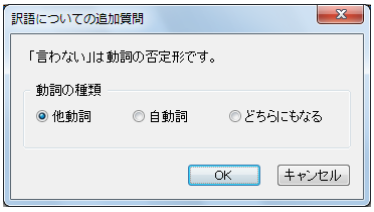


② 動詞の種類

動詞の種類を指定します。
他動詞…目的語を必要とする動詞　【例】（ボールを）**投げる**
自動詞…目的語を必要としない動詞【例】（雨が）**降る**
どちらにもなる…他動詞、自動詞のどちらにもなるもの
　　【例】（花が）**開く**　（傘を）**開く**

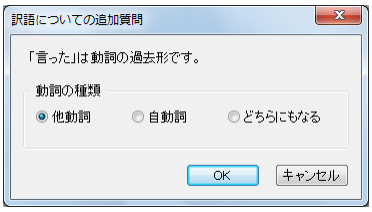
◆ 否定形の訳語を入力した場合 ◆

否定形（「い」で終わる）の訳語を入力した場合は、右記のダイアログが表示されます。
登録する訳語に適切な「動詞の種類」を指定して下さい。



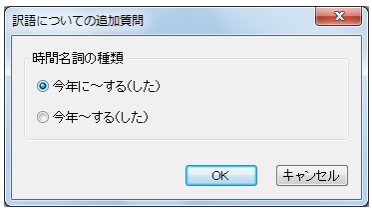
◆ 過去形の訳語を入力した場合 ◆

過去形（「た」または、「だ」で終わる）の訳語を入力した場合は、右記のダイアログが表示されます。
登録する訳語に適切な「動詞の種類」を指定して下さい。



★ 訳語の名詞に「時間名詞」を指定した場合

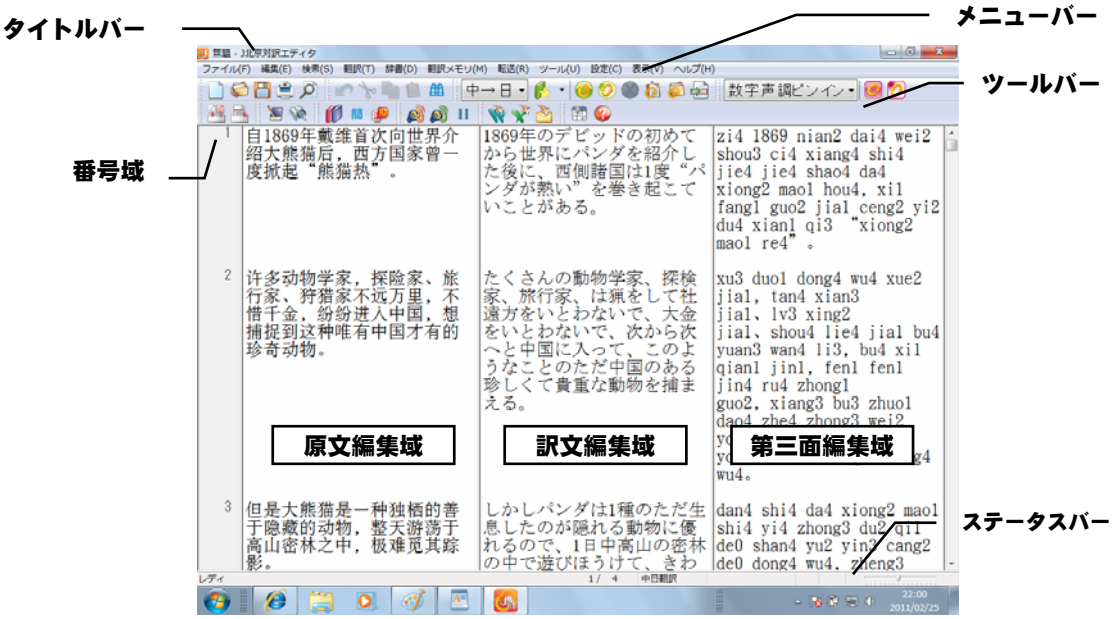
訳語（日本語）の品詞に「時間名詞」を選択した場合、詳細な情報を与えるために右記のダイアログが表示されます。
登録する訳語に適切な「時間名詞の種類」を指定して下さい。
どちらが適切か判断しにくい場合は、他動詞を「～する」の部分に当てはめると分かり易くなります。



Chapter 8　機能の詳細

はじめに　画面構成と各部の概要について

J **北京対訳エディタ**の画面構成と各部の概要について説明します。



メニューバー

メニューが一覧表示されています。メニューバーから各メニューをクリックするとコマンドが一覧表示され、目的のコマンドを選択して実行することができます。各コマンドの詳細は、P 85 をご覧下さい。

番号域

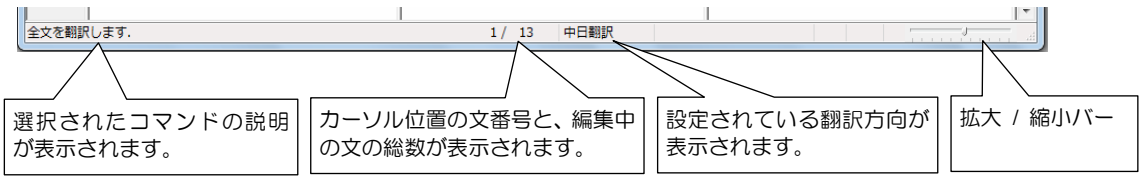
J北京対訳エディタ では各文を番号単位に管理しており、文を選択する場合は、この領域の文番号をクリックして行います。最大99,999文まで作成することができます。文の選択方法については、＜Chapter3 翻訳の基本＞の「文の選択操作」をご覧下さい。 P 23

原文編集域　/ 訳文編集域　/ 第三面編集域

原文・訳文・第三面（確認翻訳、簡繁表示、ピンインなど）を表示・編集する領域です。

ステータスバー

ステータスバーにはコマンドの説明や文番号、翻訳方向等の情報が表示されます。



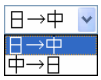
ツールバー

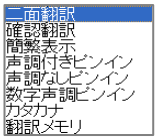
各アイコンをクリックすると、割り当てられているコマンドが実行されます。

■アイコンの表示/非表示
メニューの[表示(V)]をクリック（または、ツールバー内で右クリック）すると、アイコンの表示/非表示を選択できます。

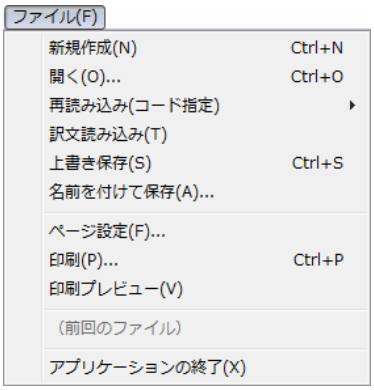
■アイコンの大きさ変更とボタン名の表示/非表示
[カスタマイズ(C)] をクリックするとアイコンの大きさを変更したり、ボタン名の表示/非表示を選択できます。

■アイコンの場所変更
各メニュー毎にある区切り線をドラッグし任意の位置にドロップすると、アイコンの場所を変更することができます。

メニュー	コマンド名	アイコン	機能
ファイル P 85	**新規作成**		編集域(原文、訳文)の文をすべてクリアします。 ショートカットキー：Ctrl+N
	開く		テキストファイル(*.TXT)、対訳ファイル(*.JCT)等のファイルを読み込みます。P 22 ショートカットキー：Ctrl+O
	保存		新規に作成した場合やテキストファイルを読み込んだ場合は「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。対訳ファイルを読み込んだ場合は上書き保存します。 ショートカットキー：Ctrl+S
	印刷		原文編集域、訳文編集域の内容を印刷することができます。P 86,87 ショートカットキー：Ctrl+P
	印刷プレビュー		印刷イメージを画面上に表示します。P 87
編集・検索 P 88	**元に戻す**		直前に行った編集作業を取り消して、作業前の状態に戻します。 ショートカットキー：Ctrl+Z
	切り取り		範囲指定されているテキストを切り取って、クリップボードにコピーします。 ショートカットキー：Ctrl+X
	コピー		範囲指定されているテキストを、クリップボードにコピーします。 ショートカットキー：Ctrl+C
	貼り付け		クリップボードにあるテキストをカーソル位置に貼り付けます。 ショートカットキー：Ctrl+V
	検索		検索する文字列や条件を設定します。 ショートカットキー：Ctrl+F
翻訳 P 89	**翻訳方向**		J北京対訳エディタの翻訳方向を設定します。「日→中」に設定すると日中翻訳を、「中→日」に設定すると中日翻訳を行います。 ショートカットキー：Ctrl+Tab
	専門分野指定		J北京7 エキスパート、J北京7 プレミアムに搭載されている専門分野辞書の分野を指定します。P 22
	全文翻訳		原文編集域に表示されているすべての文を翻訳します。P 24
	指定文翻訳		カーソル位置または、選択文の翻訳を行います。P 24 ショートカットキー：Ctrl+T
	翻訳中止		実行中の翻訳を中止します。
	クリップボード翻訳		クリップボードに格納されているテキストを原文表示域に表示し、翻訳結果を訳文表示域に表示します。P 25

	一括翻訳		ファイル単位に一括して翻訳を行います。P 26
	非翻訳 指定／解除		原文中の固有名詞などのテキストを範囲指定してこのボタンを指定すると、翻訳を行わずに訳文に表示するようになります。P 29
三面翻訳 P 27	**第三面表示 選択**		J北京対訳エディタの第三面に表示する内容を設定します。「二面翻訳」を指定すると第三面は非表示になります。P 24
	全文 第三面翻訳		全文について、第三面表示選択で指定された翻訳(または変換)を実行して、第三面に表示します。P 27
	指定文 第三面翻訳		カーソル位置または選択文について、第三面表示選択で指定された翻訳(または変換)を実行して、第三面に表示します。P 27 ショートカットキー：Ctrl+U
翻訳メモリ P 94	**ワーク ショップ**		翻訳メモリのワークショップウィンドウを呼び出し、カーソル位置の原文と訳文を表示し編集作業を行うウィンドウです。P 39 ショートカットキー：Ctrl+W
	一覧表		登録済みの翻訳メモリを一覧で表示します。P 42
辞書 P 91	**辞書編集**		基本辞書に登録されていない単語や訳語を、ユーザ辞書に新規に登録します。P 57
	訳語選択		訳語を検索して変更します。P 30,31
	日中･中日 辞典		範囲指定したテキストについて、辞典検索を行います。P 51 ショートカットキー：Ctrl+D
	簡繁文字変換		表示されている中国語の字種を、簡体字から繁体字、繁体字から簡体字に切り替えます。P 52 ショートカットキー：Ctrl+J
	日中･中日 漢字変換		原文が日本語の場合は対応する中国漢字を、原文が中国語の場合は対応する日本漢字に変換して表示します。P 52 ショートカットキー：Ctrl+K
音声 P 100	**チャイニーズ ボイス**		カーソル位置の中国語文または、範囲指定した中国語テキストを読み上げます。P 53,100 ショートカットキー：Ctrl+M
	ジャパニーズ ボイス		カーソル位置の日本語文または、範囲指定した日本語テキストを読み上げます。P 53,100
	ボイス中止		読み上げを中止します。P 53
転送 P 95	Word**転送**		Word にテキストを転送します。
	Excel**転送**		Excel にテキストを転送します。
	メール転送		メールにテキストを転送します。
設定・ヘルプ P 96	**環境設定**		環境設定を表示します。
	ヘルプ		ヘルプを表示します。

1 ファイル（F）



★ 新規作成(N)

編集域（ 原文、訳文 ）のテキストをすべてクリアします。

★ 開く(O)

「開く」ダイアログが表示され、テキスト形式ファイル（.TXT）と、対訳ファイル（JCT）を開くことができます。
[開く] 実行時に表示されるフォルダは、[設定(C)]ー[環境設定(I)]の「既定のフォルダ設定」で指定されたフォルダが開かれます。P 101

◆ エンコードについて ◆

J北京対訳エディタ では、ご利用のファイルの言語と文字コードを自動識別して、対訳エディタに表示しますが、あらかじめ言語および文字コードを指定することもできます。識別可能な言語および文字コードは以下の通りです。

自動識別	ファイルの言語を自動識別します。初期値に設定されています。
日本語(シフト JIS)	日本語の標準規格シフト JIS ファイルを開くときに指定します。
簡体字(GB2312)	中国本土で最も多く使われる簡体字(GB 2312コード)のファイルを開くときに指定します。
繁体字(BIG5)	台湾などの中国語圏で使われている繁体字(BIG５コード)のファイルを開くときに指定します。
簡体字(ChineseWriter)	日本語 Windows 対応の簡体字のファイルを開くときに指定します。 ※ Chinese Writer は弊社オリジナルの文字コードです。
繁体字(ChineseWriter)	日本語 Windows 対応の繁体字のファイルを開くときに指定します。 ※ Chinese Writer は弊社オリジナルの文字コードです。
日本語(Unicode)	Unicode 形式で保存された日本語のファイルを開くときに指定します。
簡体字(Unicode)	Unicode 形式で保存された簡体字のファイルを開くときに指定します。
繁体字(Unicode)	Unicode 形式で保存された繁体字のファイルを開くときに指定します。
日本語(UTF-8)	UTF-8 形式で保存された日本語のファイルを開くときに指定します。
簡体字(UTF-8)	UTF-8 形式で保存された簡体字のファイルを開くときに指定します。
繁体字(UTF-8)	UTF-8 形式で保存された繁体字のファイルを開くときに指定します。

★ 再読込みコード指定

開くコマンドでテキストファイルを読み込み後、テキストが正しく表示されていない場合などに文字コードを再指定する場合に利用します。変更したい文字コードを選択すると、原文のテキストを指定したコードで再表示します。現設定の文字コードはグレーアウトされています。※ 各文字コードの詳細は上記表をご覧下さい。

★ 訳文読み込み(T)

指定した訳文テキストを、訳文表示域に読み込みます。

★ 上書き保存(S)

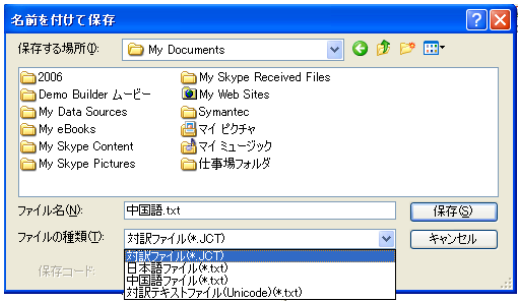
読み込んだファイルに、編集結果を保存します。新規作成された無題の場合は、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます

読み込んだファイルがテキスト形式（.TXT）の場合は、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

対訳ファイル(.JCT)読み込み時に上書き保存を行うと、読み込んだファイルの元の内容は失われます。

★ 名前を付けて保存(A)

ファイルに名前を付けて保存します。このコマンドを実行すると、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

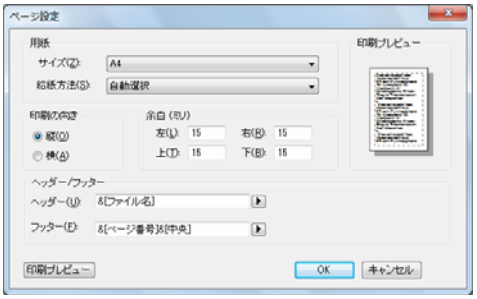


ファイルの種類	保存内容
対訳ファイル	原文と訳文を、J **北京対訳エディタ** 独自の対訳ファイル形式で保存します。（拡張子「.JCT」） ※ 対訳ファイルは、他のアプリケーションで利用することはできません。
日本語ファイル	翻訳方向で指定された日本語表示域（原文または訳文）のテキストを、標準テキスト形式で保存します。（拡張子「.TXT」） 日本語ファイルを指定すると、保存コードを「日本語(シフト JIS)」「Unicode」「UTF-8」のいずれかを選択することができます。
中国語ファイル	翻訳方向で指定された中国語表示域（原文または訳文）のテキストを、標準テキスト形式で保存します。（拡張子「.TXT」） 中国語ファイルを指定すると、保存コードを、簡体字の場合は「簡体字(GB2312)」「ChineseWriter 簡体字」「Unicode」「UTF-8」、繁体字の場合は「繁体字(BIG5)」「ChineseWriter 繁体字」「Unicode」「UTF-8」のいずれかを選択することができます。
対訳テキストファイル	原文と訳文を行ごとに対訳にし、標準テキスト形式で保存します。（拡張子「.TXT」） 対訳テキストファイルを指定すると、保存コードを「Unicode」「UTF-8」のいずれかを選択することができます。

J **北京対訳エディタ**では、原文ファイルの読み込み時に、不要な改行やスペースなどのコードを削除して画面に表示していますが、保存ファイル形式に「日本語ファイル」「中国語ファイル」を選択した場合は、読み込んだ元の原文ファイルに含まれる改行やスペース（文字間のスペースを除く）が保存時に反映されます。

★ ページ設定(F)

印刷時のページ設定を行います。



◆ ヘッダー／フッターについて ◆

印刷時にヘッダー、フッターへ付加する文字列や情報を設定します。
文字列以外に次頁の定型句を設定することができます。設定は、右側の［▶］をクリックして付加したい項目を選択

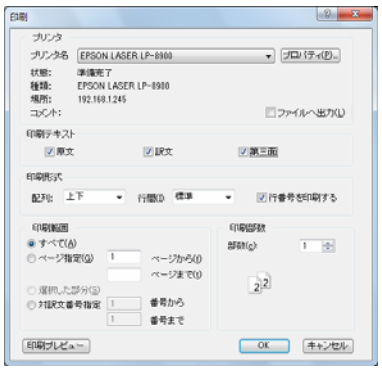
して行います。

ファイル名	&[ファイル名]	文書ファイル名
ページ番号	&[ページ゛番号]	ページ番号
現在時刻	&[時刻]	コンピュータのシステム時刻
日付	&[日付]	コンピュータのシステム日付
左端揃え	&[左端]	上記の定型句をページの左端に印刷します。
中央	&[中央]	上記の定型句をページの中央に印刷します。
右端揃え	&[右端]	上記の定型句をページの右端に印刷します。

例）ヘッダーのテキストボックスを中日翻訳結果の出力 &［ ファイル名 ］&［ 左端 ］とした場合、用紙のヘッダー部左端の印刷は「中日翻訳結果の出力 C:¥Users¥(ユーザ名)¥Documents¥ファイル名.txt」となります。

★ 印刷(P)

［ 印刷 ］コマンドを実行すると、「印刷」ダイアログが表示され、原文編集域、訳文編集域の内容を印刷することができます。



◆ 印刷テキスト◆

印刷する領域にチェックを入れます。

◆ 印刷形式について ◆

印刷形式を下記のいずれかより選択して設定します。

印刷形式	印刷内容	
対訳リスト(上下)	原文と訳文を上下に並べて印刷します。	◆ 印刷時の行間を以下のいずれかより指定することができます。 なし… 行の間隔がなくなります。 狭く…「標準」よりも行の間隔が狭くなります。 標準… 行間の基本値です。 広く…「標準」よりも行の間隔が広くなります。
対訳リスト(左右)	原文と訳文を左右に並べて印刷します。	
三面対訳リスト(上中下)	第三画面表示時にのみ有効となります。原文と訳文と第三面を左右に並べて印刷します。	
三面対訳リスト(左中右)	第三画面表示時にのみ有効となります。原文と訳文と第三面を上下に並べて印刷します。	
原文のみ出力	原文のみ印刷します。	◆「行番号を印刷する」にチェックが入っていると、原文，訳文，第三面に文番号が印字されます。
訳文のみ出力	訳文のみ印刷します。	
第三面のみ出	第三面のみ印刷します。	

J 北京対訳エディタでは、原文ファイルの読み込み時に不要な改行やスペースなどのコードをカットして画面に表示していますが、印刷形式に「原文のみ出力」「訳文のみ出力」を選択して印刷した場合は、読み込んだ元の原文ファイルに含まれる情報（改行やスペースなど）を反映して印刷を行うため、画面のレイアウトと異なることがあります。（印刷時の表示は、「日本語ファイル」「中国語ファイル」形式で、原文や訳文を保存するときと同じ表示となります。）

★ 印刷プレビュー(V)

印刷イメージを画面上に表示します。

★ 最近利用したファイル名

最近利用したファイル名が最大で４件まで表示されます。

★ アプリケーションの終了(X)

Ｊ**北京対訳エディタ**を終了します。編集中の文が保存されていない場合、保存を確認するメッセージが表示されます。

2 編集（E）

★ 元に戻す(U)、切り取り(T)、コピー(C)、貼り付け(P)

★ すべて選択(A)

カーソルのある編集域（原文または訳文）のテキストをすべて選択します。

★ 前方の文選択(H)

カーソル位置よりも前方(上部)の文(カーソル位置の文も含む)を選択します。選択された文は、文番号の横に ＊ が表示されます。

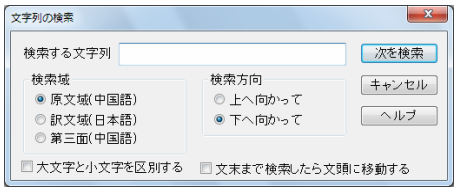
★ 後方の文選択(E)

カーソル位置よりも後方(下部)の文(カーソル位置の文も含む)を選択します。選択された文は、文番号の横に ＊ が表示されます。

3 検索（S）

★ 検索(F)

編集域より任意の文字列を検索する場合に利用します。
このコマンドを実行すると、「文字列の検索」ダイアログが表示されます。
「検索する文字列」に検索語を入力し、
「検索域」「検索方向」を設定後、[次を検索]ボタンをクリックすると、
指定した文字列の検索が開始されます。



編集域内にある文字列を検索する場合には、
あらかじめ文字列を範囲指定後［ 検索 ］ボタンをクリックすると、
「検索する文字列」ボックスに自動的に入力されます。

★ 前を検索(B)

前回、検索した文字列を使って、カーソル位置よりも上にある文を検索します。

★ 次を検索(N)

前回、検索した文字列を使って、カーソル位置よりも下にある文を検索します。

★ 置換(R)

編集域の文字列を任意に指定した文字列へ置換する場合に利用します。このコマンドを実行すると、「文字列の置換」ダイアログが表示されます。「置換域」で言語を指定後、「置換前の文字列」「置換後の文字列」を入力し［ 次を検索 ］ボタンをクリックすると文字列の検索が開始します。

置換の対象となる文字列が見つかった場合（反転表示）は、以下のボタンをクリックします。

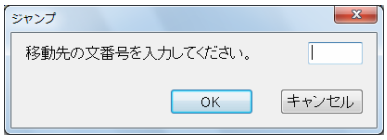
次を検索	対象となった文字列を置換せずに、次の文字列を検索します。
置換して次に	対象となった文字列を置換して、次の文字列を検索します。
全てを置換	対象となる全ての文字列を置換します。

☞ 編集域内にある文字列を置換する場合には、あらかじめ文字列を範囲指定後「置換」ボタンをクリックすると、「置換前の文字列」ボックスに自動的に入力されます。

★ 先頭(T)

編集域の先頭の文へカーソルを移動します。

★ ジャンプ(G)

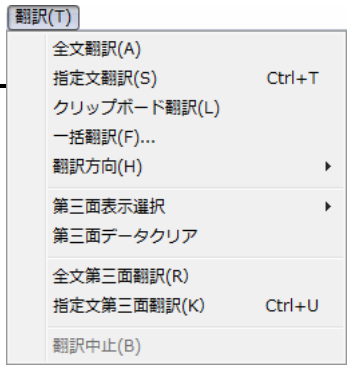


このコマンドを実行すると右記のダイアログが表示されます。移動する文番号を半角で入力して、［ OK ］ボタンをクリックすると指定した文番号の原文編集域へカーソルを移動します。

★ 最後(E)

原文編集域の最後の文へカーソルを移動します。

4 翻訳（T）



★ 全文翻訳(A)

原文編集域に表示されているすべての文を翻訳します。

P 24

★ 指定文翻訳(S)

選択されている原文または、カーソル位置の原文を翻訳します。

P 24

※ 第三面表示時に全文翻訳（または指定文翻訳）を実行すると、自動的に全文第三面翻訳（または指定文第三面翻訳）も実行されます。第三面の自動翻訳を解除したい場合は、［ 設定(C)］−［ 環境設定(I)］の［ 翻訳設定 ］で、「翻訳時に第三面を連動させる」のチェックをはずしてください。

P 96

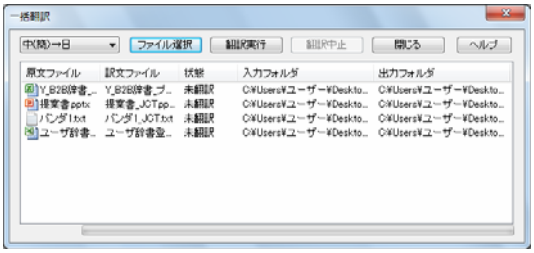
★ クリップボード翻訳(L)

クリップボードに格納されているテキストを原文編集域に表示し、翻訳後、翻訳結果を訳文編集域に表示します。

P 25

★ 一括翻訳(F)

一括翻訳は、J **北京対訳エディタ** にテキストを表示することなく、複数のファイルをファイル単位で翻訳する機能です。このコマンドを実行すると、「一括翻訳」ダイアログが表示されます。P 26



翻訳方向 「日→中(簡)」 「日→中(繁)」 「中(簡)→日」 「中(繁)→日」	翻訳方向を設定します。 翻訳方向はファイル選択で指定されたすべてのファイルに適用されます。
ファイル選択	一括翻訳を行うファイルを選択するための「原文ファイル名指定」ダイアログを表示します。このダイアログで選択した原文ファイル名は、「一括翻訳」ダイアログの原文ファイル覧に表示されます。
翻訳実行	ファイル選択で指定されたすべてのファイルの翻訳を開始します。訳文ファイルは、原文ファイルと同じフォルダに保存されます。既に同じ名前の訳文ファイルがある場合、ファイルは上書きされます。
翻訳中止	一括翻訳を中止します。
閉じる	一括翻訳ダイアログを終了します。
原文ファイル	「ファイル選択」で選択された原文ファイル名が表示されます。
訳文ファイル	翻訳結果を出力する訳文ファイル名が表示されます。訳文ファイルは、原文ファイル名の拡張子左側に"_JCT"を付加したファイル名で自動作成されます。 ※ 訳文ファイル名の変更は、エクスプローラなどをご利用下さい。
状態	一括翻訳で翻訳される状態(未翻訳，翻訳済，エラー)を表示します。
入力フォルダ	原文ファイルの保存元フォルダを表示します。
出力フォルダ	原文ファイルの保存元フォルダに出力されます。

◆ 翻訳可能なファイルについて ◆

一括翻訳で翻訳可能なファイルは、テキスト（.txt)、HTML（.htm、.html)、Word(.doc、.docx、.rtf)、Excel(.xls、.xlsx)、PowerPoint(.ppt、.pptx)の６種類です。複数の種類のファイルを一括で翻訳することもできます。

※ 一括翻訳を実行するには、「J 北京アドイン設定」でそれぞれのアプリケーションにアドイン翻訳が設定されている必要があります。

◆ HTML ファイル翻訳時のご注意 ◆

1) HTML ファイルの翻訳を行った場合、翻訳が正しく行われなかったり翻訳結果が正しく表示されない場合があります。これは原文ファイルのエンコードの指定が正しく行われていないことが考えられます。この場合は、原文ファイルを Internet Explorer に表示して、メニューバーから［ ファイル(F)］ー［ 名前を付けて保存(A)］で、「エンコード(E)」の設定を言語に応じて正しく指定して（例：日本語の場合は「日本語(シフト JIS)」、中国語の場合は「中国語(簡体字)」等）保存し、再度翻訳を行ってください。FrontPage をお使いの場合には、［ ファイル(F)］ー［ プロパティ(A)］の「言語」タブで、HTML エンコードの「保存時の HTML エンコード(S)」を正しく指定して保存後、翻訳を実行してください。

2) HTML ファイルのファイル名や関連付けられたフォルダ名に漢字やひらがな等の日本語が含まれる場合、翻訳結果のHTMLファイルが用途によっては正しく利用できない場合があります(例:訳文ファイルを中国語のホー

ムページとしてアップロードする、中国語圏で閲覧する等）。この場合は、原文ファイルのファイル名を半角英数字のみに変更後、再度翻訳を実行してご利用ください。

★ 翻訳方向(H)

中国語を日本語に翻訳する場合は「日中」、日本語を中国語に翻訳する場合は「中日」をクリックします。

★ 第三面表示選択(H)

第三面に表示する内容を指定します。従来の「二面翻訳」を指定すると第三面は表示されません。訳文を原文と同じ言語に翻訳する「確認翻訳」、その他「簡繁表示」「声調付きピンイン」「声調なしピンイン」「数字声調ピンイン」「カタカナ」、翻訳メモリと機械翻訳を並列で表示する「翻訳メモリ」のいずれかを指定すると第三面が表示され、全文について指定した翻訳（または変換）結果を表示します。

★ 第三面データクリア(H)

第三面が表示されているときのみ有効で、このコマンドを実行すると第三面の表示がすべて消去されます。

★ 全文第三面翻訳(R)

第三面が表示されているときのみ有効で、全文について第三面表示選択で指定された設定にしたがって、翻訳（または変換）を実行し、第三面に表示します。P 27

★ 指定文第三面翻訳(K)

第三面が表示されているときのみ有効で、選択されている行またはカーソル位置の文について、第三面表示選択で指定された設定にしたがって、翻訳（または変換）を実行し第三面に表示します。P 27

★ 翻訳中止(B)

翻訳を中止します。翻訳が中止されるのは、全文翻訳や全文第三面翻訳実行時、または複数文の指定文翻訳や指定文第三面翻訳中です。
※ 翻訳中の文について、翻訳を中止することはできません。

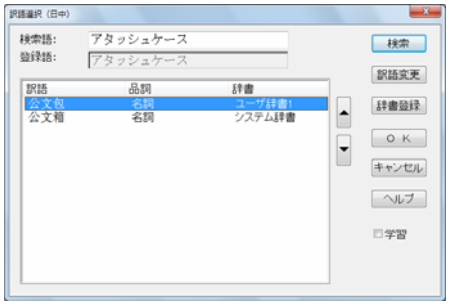
5 辞書（D)

★ 辞書編集(U)

J 北京対訳エディタの基本辞書に登録されていない単語や訳語を、
ユーザ辞書へ登録・修正・削除等を行う場合に利用します。
辞書編集を行う場合は、「辞書指定ダイアログ」の[辞書名１]～[辞書名３]のいずれかにユーザ辞書が設定されている必要があります。詳しくは
＜Chapter7 ユーザ辞書編集＞をご覧下さい。

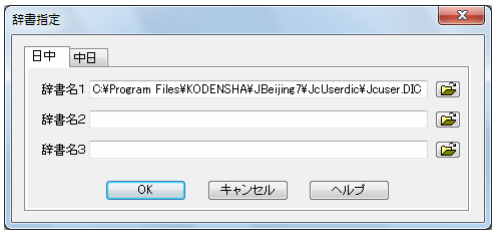
★ 訳語選択(R)

翻訳の実行時に訳語の参照順序を変更する場合に利用します。
詳しくはP 30,31 をご参照ください。



★ 辞書指定(S)

翻訳時に参照するユーザ辞書ファイルを設定します。
詳しくはP 58 をご参照ください。

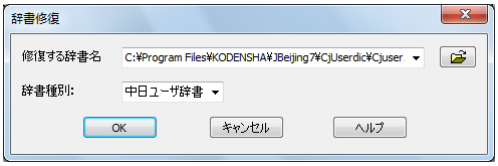


★ 辞書合成(M)

２つのユーザ辞書を合成して１つにします。
詳しくはP 68 をご参照ください。

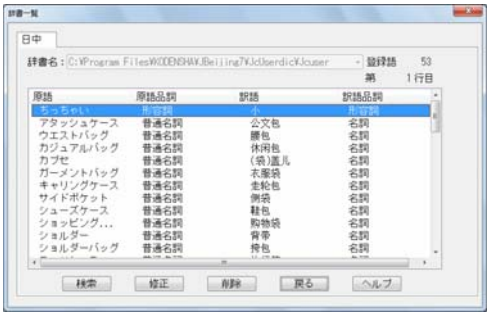
★ 辞書修復(T)

ユーザ辞書が壊れた場合に修復を行います。
詳しくはP 72 をご参照ください。



★ 辞書一覧(L)

ユーザ辞書に登録されている単語を一覧形式で表示します。
「辞書一覧ダイアログ」が表示されます。
詳しくはP 32 をご参照ください。



★ 辞書一括登録(I)

Excel で作成したファイル（xls、xlsx）や、Unicode で作成したタブ区切りテキストファイル（txt）から、ユーザ辞書ファイルへ単語を一括登録します。
詳しくは🅿 69,116 へ

★ 辞書一括出力(O)

ユーザ辞書の内容を Excel 形式（xls、xlsx）またはタブ区切りテキストファイル（txt）形式で一括出力します。
詳しくは🅿 72 へ

6 翻訳メモリ（M）

★ ワークショップ(W)

このコマンドを実行すると、翻訳メモリ・ワークショップウィンドウが表示されます。対訳エディタのカーソル位置の原文と、翻訳メモリに登録されているデータを比較し、一致率以上のデータを一覧表示域に出力します。より適切な訳文を一覧から選択して対訳エディタに反映させたり、編集域で修正後、翻訳メモリに登録したり、翻訳メモリに関する様々な作業を行うウィンドウです。

★ 一覧表(D)

現在設定されている翻訳メモリ辞書の登録内容を一覧で表示します。P 39

★ 指定文登録(S)

J **北京対訳エディタ**で選択されている文番号、またはカーソル位置の原文と訳文をペアにして、翻訳メモリ辞書に登録します。
操作方法の詳細については、＜Chapter4 翻訳メモリ＞をご覧下さい。P 37

★ 全文登録(A)

J **北京対訳エディタ**に表示されているすべての原文と訳文をペアにして、翻訳メモリ辞書に登録します。操作方法の詳細については、＜Chapter4 翻訳メモリ＞をご覧下さい。P 37

★ インポート(I)

過去の翻訳資産を一括で翻訳メモリ辞書に登録（インポート）します。日本語と中国語をタブ区切りでペアにしたUnicode 形式のテキストファイル(.txt)からインポートすることができます。
操作方法の詳細については、＜Chapter4 翻訳メモリ＞をご覧下さい。P 46

★ エクスポート(E)

翻訳メモリとして登録されたデータベースの書き出し（エクスポート）を行います。
操作手順の詳細については、＜Chapter4 翻訳メモリ＞をご覧下さい。P 50

7 転送（R）

★ Word に転送(W)

対訳エディタに表示されている原文、訳文、または対訳文を Word に転送します。P 54

★ Excel に転送(E)

対訳エディタに表示されている原文、訳文、または対訳文を Excel に転送します。P 54

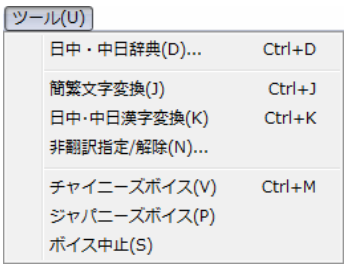
★ メールに転送(M)

対訳エディタに表示されている原文、訳文、または対訳文をメールに転送します。P 55

8 ツール（U)

★ 日中・中日辞典(D)

編集域で範囲指定されたテキストについて、辞典検索を行います。このコマンドを実行すると、環境設定で選択されている辞典が起動します。
「ロボワード for J 北京」については、＜Chapter18 ロボワード for J 北京＞
「ChineseWriter9 搭載の中国語デジタルマルチ大辞典」については、別冊の「ChineseWriter9 ユーザーズマニュアル」をご覧下さい。



★ 簡繁文字変換(J)

原文または訳文に表示されている中国語の簡体字と繁体字の表示を切り替えます。

★ 日中・中日漢字変換(K)

原文が日本語の場合は対応する中国漢字に、原文が中国語の場合は対応する日本漢字に変換します。名前や住所などの固有名詞等で利用すると便利です。P 51

★ 非翻訳指定／解除(N)

人名や地名などの固有名詞に対して「非翻訳指定」を行うと、翻訳を行わずに訳文に表示するようになります。P 33

★ チャイニーズボイス(V)

カーソル位置の中国語または範囲指定した中国語テキストを読み上げます。チャイニーズボイスの操作手順の詳細については、＜Chapter5 ツールの利用方法＞をご覧下さい。P 53

★ ジャパニーズボイス(P)

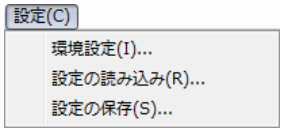
カーソル位置の日本語または範囲指定した日本語テキストを読み上げます。ジャパニーズボイスの操作手順の詳細については、＜Chapter5 ツールの利用方法＞をご覧下さい。P 53

★ ボイス中止(S)

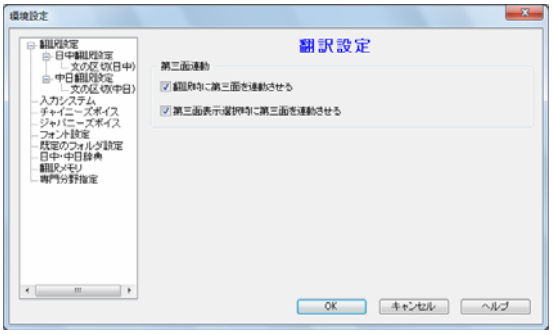
読み上げを中止します。

9 設定（C）

★ 環境設定



◆ 翻訳設定

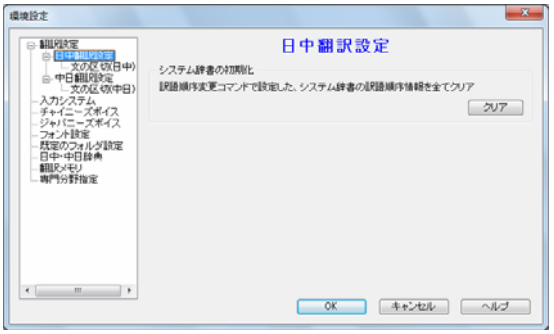


第三面連動

「**翻訳時に第三面を連動させる**」をチェックすると、第三面表示を行っている際に、全文翻訳と全文第三面翻訳を同時に実行します。また指定文翻訳と前文指定文翻訳も同時に実行します。

「**第三面表示選択時に第三面を連動させる**」をチェックすると、
第三面表示選択を変更した場合に、全文第三面翻訳を同時に実行します。

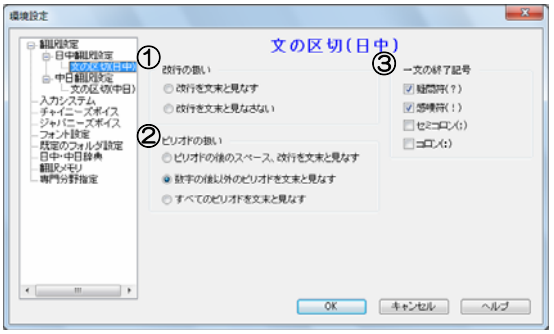
◆ 日中翻訳設定



システム辞書の初期化

［ クリア ］ボタンをクリックすると、「訳語選択」ダイアログで設定した訳語の優先順位の情報をクリアして、インストール直後の状態に戻します。

◆ 文の区切（日中）設定



① 改行の扱い

原文内の改行コード(CRLF)の扱いを設定します。

改行を文末と見なす	改行コード(CRLF)を文の区切りと見なします。
改行を文末と見なさない	原文内の改行コード(CRLF)を文の区切りと見なしません。

通常の翻訳作業を行う場合は、「改行を文末と見なさない」に設定して下さい。
他の設定の場合、予期せぬ部分で文切りが行われて正しく翻訳できない場合があります。

② ピリオドの扱い

原文内のピリオドの扱いを設定します。

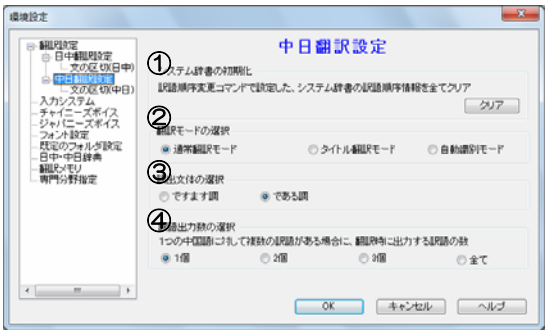
ピリオドの後のスペース、改行を文末と見なす	ピリオドの後にスペースまたは、改行コード(CRLF)があれば、文の区切りと見なします。
数字の後以外のピリオドを文末と見なす	ピリオドが数字の後以外であれば、文の区切りと見なします。
すべてのピリオドを文末と見なす	ピリオドをすべて文の区切りと見なします。

③ 一文の終了記号

原文中の特定の記号を文の終わりとする場合に、以下の各オプションを有効にします。
文の終わりに以下の記号があった場合、文の区切りと見なします。

疑問符(?)	疑問符を１文の終わりと見なす場合にこのオプションを有効にします。
感嘆符(！)	感嘆符を１文の終わりと見なす場合にこのオプションを有効にします。
セミコロン(；)	セミコロンを１文の終わりと見なす場合にこのオプションを有効にします。
コロン(：)	コロンを１文の終わりと見なす場合にこのオプションを有効にします。

◆ 中日翻訳設定



① システム辞書の初期化

［ クリア ］ボタンをクリックすると、「訳語選択」ダイアログで設定した訳語の優先順位の情報を全てクリアして、インストール直後の状態に戻します。

② 翻訳モードの選択

通常翻訳モード（初期値）	従来の翻訳結果を出力します。
タイトル翻訳モード	主に動詞よりも名詞を優先した翻訳結果を出力します。
自動識別モード	各文章に最適なモードを自動識別して翻訳結果を出力します。

③ 訳出文体の選択

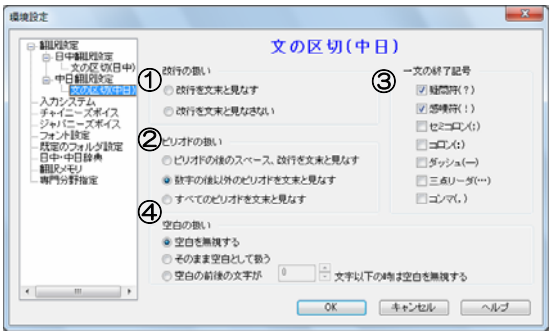
訳文の文末の形を「ですます調」「である調」より選択します。

④ 訳語出力数の選択

１つの中国語に対して複数の日本語の訳がある単語の場合に、翻訳時に出力する訳語の数を設定します。
2個目以降の訳語は、（　）内に出力されます。

１個	出力される訳語が１つになります。※ １部の単語は、訳語の出力数を「１個」に設定していても、２つ以上の訳語が出力される場合があります。
２個	出力する訳語の数が２つになります。
３個	出力する訳語の数が３つになります。
全て	登録されている全ての訳語が出力されます。

◆ 文の区切り（中日）



① 改行の扱い

原文内の改行コード(CRLF)の扱いを設定します。

改行を文末と見なす	改行コード(CRLF)を文の区切りと見なします。
改行を文末と見なさない	改行コード(CRLF)を文の区切りと見なしません。

通常の翻訳作業を行う場合は、「改行を文末と見なさない」に設定して下さい。
他の設定の場合、予期せぬ部分で文切りが行われて正しく翻訳できない場合があります。

② ピリオドの扱い

原文内のピリオドの扱いを設定します。

ピリオドの後のスペース、改行で文末と見なす	ピリオドの後にスペースまたは、改行コード(CRLF)があれば、文の区切りと見なします。
数字の後以外のピリオドを文末と見なす	ピリオドが数字の後以外であれば、文の区切りと見なします。
すべてのピリオドを文末と見なす	ピリオドをすべて文の区切りと見なします。

③ 一文の終了記号

原文中の特定の記号を文の終わりとする場合に、以下の各オプションを有効にします。
文の終わりに以下の記号があった場合、文の区切りと見なします。

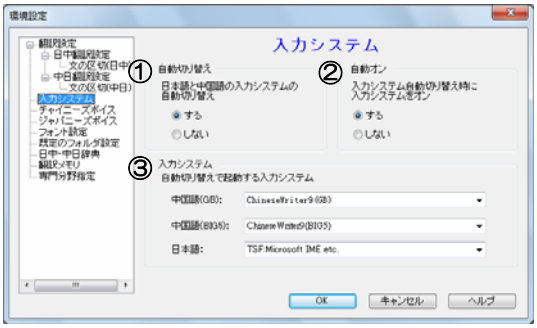
疑問符(?)	疑問符を１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
感嘆符(！)	感嘆符を１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
セミコロン(；)	セミコロンを１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
コロン(：)	コロンを１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
ダッシュ(ー)	ダッシュを１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
三点リーダ(…)	三点リーダを１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。
コンマ(，)	コンマを１文の終わりと見なす場合に、このオプションを有効にします。

④ 空白の扱い

原文内の空白(スペース)の扱いを設定します。

空白を無視する	空白(スペース)を削除します。
そのまま空白として扱う	空白(スペース)を空白のまま処理します。
空白の前後の文字がＸＸ文字以下の時は空白を無視する	空白(スペース)の前後の文字が指定した文字数以下の場合は空白を削除します。

◆ 入力システム



① 自動切り替え

入力システムの自動切り替えの有無を設定します。

する	入力システムを自動的に切り替えます。 例えば中日翻訳の場合、原文編集域にカーソルを移動した場合は、「入力システム」の中国語に設定されている入力システム(ChineseWriterLT(GB)等)を自動的に起動します。訳文編集域にカーソルを移動した場合は「入力システム」の日本語に設定されている入力システムを自動的に起動します。
しない	入力システムを自動的に切り替えません。

② 自動オン

入力システムの切り替え時に、入力システムを自動的にオンにするか否かを設定します。
「しない」の場合、入力システムはオフになりアルファベット入力になります。

③ 入力システム

J 北京対訳エディタ で利用する中国語入力システム、日本語入力システムを設定します。

中国語（GB）	自動切り替えを「する」に設定している場合、中国語編集域で自動的に切り替える中国語(簡体字)入力システムを設定します。 ※ 本製品には「ChineseWriterLT(GB)」が付属していますが、弊社 ChineseWriter シリーズの製品版がインストールされている場合は、「ChineseWriterLT(GB)」よりも優先して使用されます。
中国語（BIG5）	自動切り替えを「する」に設定している場合、中国語編集域で自動的に切り替える中国語(繁体字)入力システムを設定します。 ※ 本製品には「ChineseWriterLT(B5)」が付属していますが、弊社 ChineseWriter シリーズの製品版がインストールされている場合は、「ChineseWriterLT(B5)」よりも優先して使用されます。
日本語	自動切り替えを「する」に設定している場合、日本語編集域へ移動した時に自動的に切り替える日本語入力システムを設定します。 初期値は、Windows に設定されている標準の IME が設定されています。 ※ 日本語入力システムにMS-IME95を利用している場合、IMEの切り替えが頻繁に行われると、MS-IME95のツールバーが表示されなくなることがあります。これは、MS-IME95の仕様によるものですのであらかじめご了承下さい。

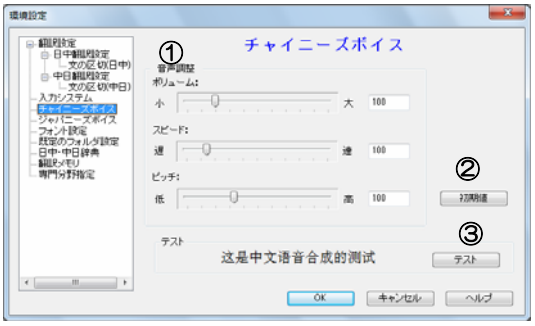
◆ チャイニーズボイス

チャイニーズボイス利用時の設定を行います。

① 音声調整

スライドバーのつまみを左右にドラッグして、読み上げ時のボリューム、スピード、ピッチ、語間の休止の長さを設定します。

つまみ	左	初期値	右
ボリューム（音量）	小	100	大
スピード　（速度）	遅	100	速
ピッチ　　（音質）	低	100	高



② 初期値ボタン

このボタンをクリックすると、チャイニーズボイスの設定が、インストール直後の状態に戻ります。

③ テスト

このボタンをクリックすると、現在の設定をテスト文で確認することが出来ます。

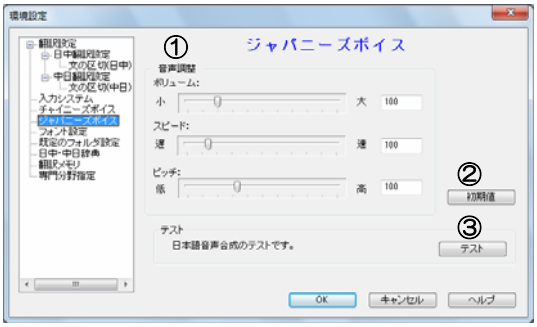
◆ ジャパニーズボイス

ジャパニーズボイス起動時の設定を行います。

① 音声調整

スライドバーのつまみを左右にドラッグして、読み上げ時のボリューム，スピード，ピッチ，文章間の休止の長さを設定します。

つまみ	左	初期値	右
ボリューム　（音量）	小	100	大
スピード　（速度）	遅	100	速
ピッチ　　（音質）	低	100	**高**



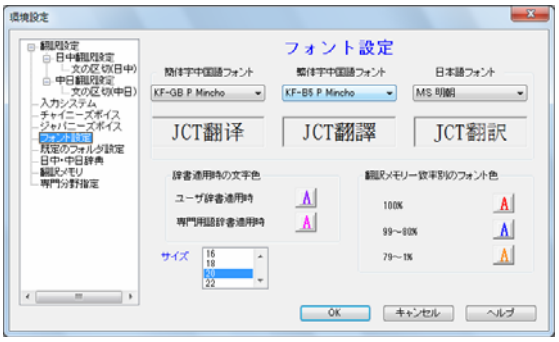
② 初期値ボタン

このボタンをクリックすると、ジャパニーズボイスの設定が、インストール直後の状態に戻ります。

③ テスト

このボタンをクリックすると、現在の設定をテスト文で確認することが出来ます。

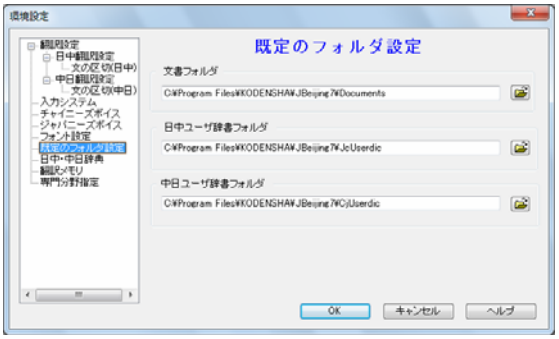
◆ フォント設定



対訳エディタに表示される中国語簡体字、中国語繁体字、日本語のフォントとフォント色を各々設定します。

各「A」ボタンをクリックしてフォント色を変更できます。
（色の初期値）ユーザ辞書適用時　紫
専門用語辞書適用時　ピンク
翻訳メモリ　100%　赤
99-80%　青
79-1%　茶

◆ 既定のフォルダ設定



「開く」コマンド実行時に最初に表示されるフォルダを指定します。

ボタンをクリックして、既存のフォルダを変更することができます。

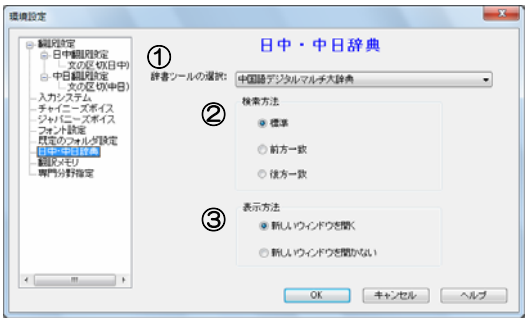
◆ 日中・中日辞典

① 辞書ツールの選択

J 北京 7 プレミアムに付属の ChineseWriter9 がインストールされている場合のみ、辞書ツールを選択することができます。それ以外の場合は、「ロボワード for J 北京 検索ステーション」のみが設定されます。

《 ロボワード for J 北京 検索ステーション 》
株式会社テクノクラフトの辞書を J 北京 7 に対応させた辞書です。
中国吉林教育出版社の日漢双解詞典，漢日詞典をはじめ 10 種類、合計 46 万語の見出し語を有する辞書が利用できます。

《 中国語デジタルマルチ大辞典 》
ChineseWriter9 に搭載されている辞書で、「小学館日中辞典」「小学館中日辞典」「愛知大学／大修館書店 中日大辞典」「大修館書店 中国語新語ビジネス用語辞典」「日経 BP 日中パソコン用語辞典」の５つの辞典が搭載されています。



② 検索方法

検索ステーション
ロボワード

AI 検索	動詞や形容詞などの活用形を原形に戻す検索をします。
全一致	入力した語句と完全に一致する候補語を検索します。
前方一致(初期値)	入力した語句で始まる候補語を検索します。
後方一致	入力した語句で終わる候補語を検索します。
あいまい検索	入力した語句と似ている候補語を検索します。

中国語デジタル
マルチ大辞典

標準	通常の検索(辞書順またはコード順)を行います。
前方一致	入力した語句で始まる候補語を検索します。
後方一致	入力した語句で終わる候補語を検索します。

③ 表示方法

検索ステーション
ロボワード

新しいウィンドウで開く	検索結果を新しいウィンドウに表示します。
クリップボードにコピー	検索結果をクリップボードに転送します。

中国語デジタル
マルチ大辞典

新しいウィンドウを開く	検索結果を新しいウィンドウに表示します。
新しいウィンドウを開かない	検索結果を同じウィンドウに表示します。

④ 日中辞典

日中辞典検索実行時に、どの辞典で検索を実行するかを指定します。

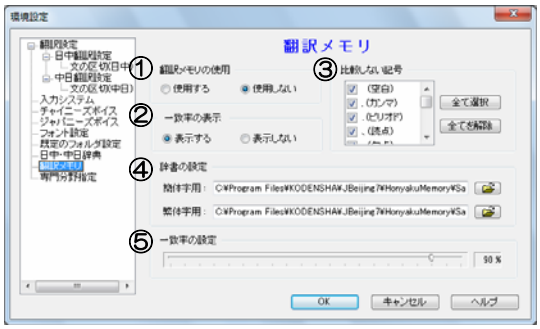
⑤ 中日辞典

中日辞典検索実行時に、どの辞典で検索を実行するかを指定します。

※ 日中辞典、中日辞典ともに複数の辞典を指定することは出来ません。

◆ 翻訳メモリ

翻訳メモリ利用時の設定を変更します。



① 翻訳メモリの使用

全文翻訳または指定文翻訳実行時に、翻訳メモリを使用するか否かを選択します。

② 一致率の表示

翻訳メモリを使用する場合に、二面または三面の翻訳メモリによる訳文に一致率の%表示をするか否かを指定します。

※「表示しない」を選択した場合でも、一致文がある行にカーソルを表示すると、ステータスバーに一致率が表示されます。

③ 比較しない記号

翻訳を実行する原文と、登録されている翻訳メモリ内の原文を比較するときに、各記号を一致とみなすかみなさないかを指定します。

④ 辞書の設定

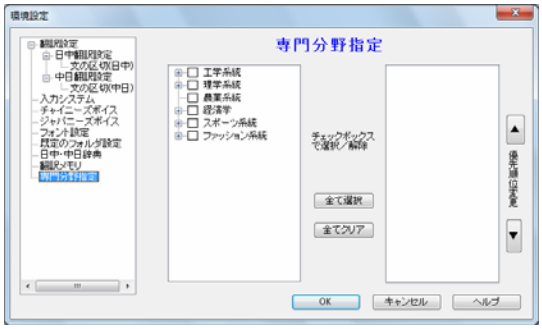
翻訳メモリとして利用する簡体字と繁体字の辞書を指定します。

⑤ 一致率の設定

何パーセントの一致率までを表示するかを設定します。例えば 80%に指定した場合 80%に満たない一致文が見つかったとしても一致率の表示をしないことになります。初期値は 90%です。

◆ 専門分野指定

翻訳するテキスト内容に応じて、専門用語辞書の分野を設定します。専門用語を含むテキストや文書の翻訳率を向上させることができます。
詳細は、＜Chapter19 専門用語辞書＞をご覧下さい。
P 143

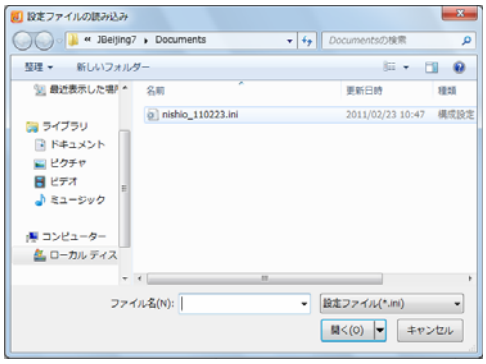


★ 設定の読み込み(R)

J 北京 7 の様々な設定に名前をつけて保存し、保存した翻訳環境を用途に応じて読み込むことができます。

① ツールバーから［設定(C)]—[設定の読み込み(R)］を実行します。
「設定ファイルの読み込み」ダイアログが表示されますのでファイルの場所とファイル名を指定します。

②［ 開く(O)］ボタンをクリックすると、読み込みを実行します。



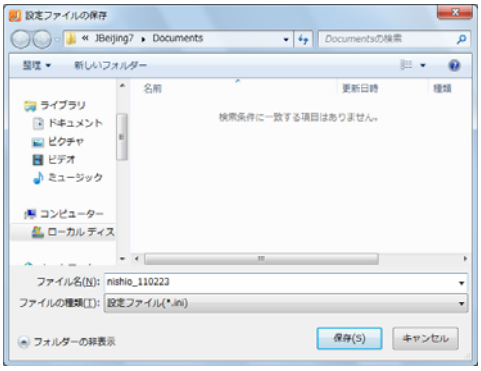
★ 設定の保存(S)

J 北京 7 の様々な設定に名前をつけて保存し、保存した翻訳環境を用途に応じて読み込むことができます。

① 保存する翻訳環境を［環境設定(Ｉ)]で設定します。

② ツールバーから［設定(C)]—[設定の保存(S)］を実行します。「設定ファイルの保存」ダイアログが表示されますので、保存する場所とファイル名を指定します。ファイルの種類は、「設定ファイル(*ini)」になります。

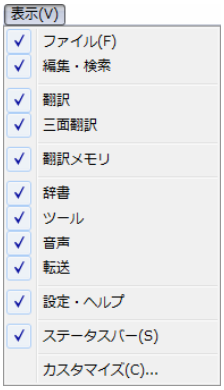
③［ 保存(S)］ボタンをクリックすると、設定が保存されます。



10 表示（V）

★ 表示非表示のチェック

ツールバーアイコンの表示／非表示を設定します。
表示するメニューにチェックを入れてください。P 283

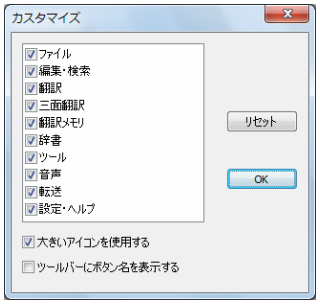


★ ステータスバー(S)

ステータスバーの表示／非表示を設定します。
表示する場合はチェックを入れてください。P 21

★ カスタマイズ(C)

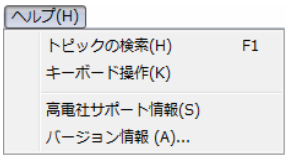
標準ツールバーの表示をカスタマイズします。
ボタン名の表示・非表示や、アイコンのサイズを指定することができます。
［ リセット(E)］ボタンをクリックすると、インストール直後の状態に戻します。



10 ヘルプ（H）

★ トピックの検索(H)

機能や操作方法などの情報を画面上で取得するためのヘルプが表示されます



★ キーボード操作(K)

キーボード操作をヘルプウィンドウに表示します。

★ 高電社サポート情報（S）

インターネットに接続し、高電社製品サポート URL へ移動します。http://www.kodensha.jp/sstec/

★ バージョン情報(A)

バージョン情報とユーザ名、登録 No.を表示します。

11 ショートカットメニュー

編集域でマウスの右ボタンをクリックすると、ショートカットメニューが表示し、操作を効率よく行うことができます。

元に戻す（U）／切り取り(T)
コピー（C）／貼り付け（P）／すべて選択（A）
前方の文選択（H）／後方の文選択（E）
日中・中日辞典（D）
辞書編集（U）
訳語選択（R）
日翻訳指定/解除（N）
翻訳メモリ（M）
ロック
第三面データクリア

Chapter 9　J北京アドイン設定

1　J北京アドイン翻訳について

アドイン翻訳は、各種アプリケーションにＪ北京７の翻訳機能を組み込んで翻訳する機能です。この機能を利用すると、編集中のテキストをお使いのソフト上で直接翻訳できるようになります。

◆ 準備・確認事項

アプリケーションのバージョンが新しくなった場合、J北京7では「修正モジュール」にて対応を予定しています。高電社ホームページにて対応状況を確認の上、[スタート]-[すべてのプログラム]-[J北京7]-[最新プログラムの確認]（・・15）にてプログラムを更新してください。
アドイン翻訳を組み込むことが可能なアプリケーションの名称及びバージョンは以下の通りです。（2011.04.01 現在）

■Word , Excel, PowerPoint
2010(64bit)
2010,2007,2003,2002,2000(32bit)

■一太郎
2010(64bit)
2010,2009,2008,2007,2006,
2005,2004(32bit)

■Internet Explorer 9.0,8.0,7.0,6.0

■Mail
Windows Liveメール
Windowsメール
Outlook Express 6.0
Outlook 2010,2007,2003,2002,2000

◆ アドイン翻訳使用上の注意

Microsoft Office**アップデート更新のお願い**

- J北京アドイン翻訳で不具合が起こる可能性がありますので、アップデートがある場合は必ず更新してください。
- Word2000をご利用の場合は、Office 2000 Service Release 1（SR－1）をインストール(更新)してください。

Word

- 全文翻訳は段落（改行）単位で翻訳します。そのため、文章の途中に改行が入っている場合、翻訳精度に影響が出ることがあります。
- 翻訳結果の文字属性は段落先頭の属性が引き継がれます。
- フィールドコードを含む文章は、文書に影響が出るため翻訳しません。
- 翻訳結果に脚注/コメント/隠し文字/ブックマーク等が反映されない場合があります。
- 翻訳結果に元の文書のレイアウトを正しく再現できない場合があります。

Internet Explorer

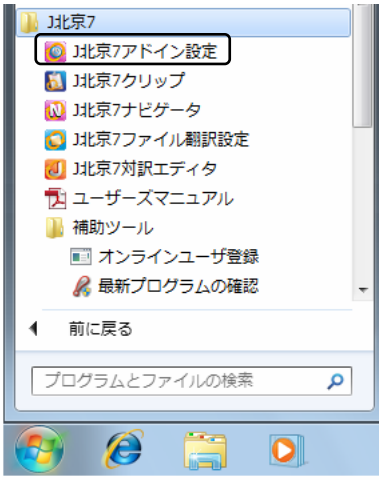
- javaやその他のスクリプト内の文字は正しく翻訳できません。
- 日本語、中国語の混在したWebページは、正しく翻訳できない場合があります。
- 他ドメインをフレーム参照したページの場合、その中のコンテンツは翻訳できません。
  その場合、以下のいずれかを行ってください。
  翻訳されないフレーム上で、コンテキストメニュー（フレーム上で右クリック）から翻訳を行って下さい。
  翻訳前に、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を行い、保存したページを表示させてから翻訳を行ってください。※ 動的なコンテンツを含むページにおいて、「名前を付けて保存」がうまくいかないことがあります。
- ページ翻訳した結果レイアウトが崩れる場合があります。
- 表示されているテキストに対してエンコードの指定が不適切なページでは、正しく翻訳されません。

Outlook,　Outlook Express, Windows**メール**

- テキストと画像が表示されたメールを翻訳した場合、翻訳結果に画像は表示されません。

2　Ｊ北京アドイン翻訳の設定 ／ 解除

設定・解除を行う場合、必ず対象となるアプリケーションを終了させてください。



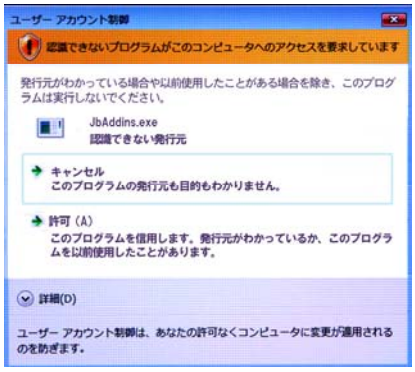
1. **タスクバーから［ スタート ］ボタンをクリックします。**

2. **［ すべてのプログラム ］ー［ Ｊ北京７アドイン設定 ］をクリックします。**
   Ｊ北京アドイン設定ダイアログが表示されます。

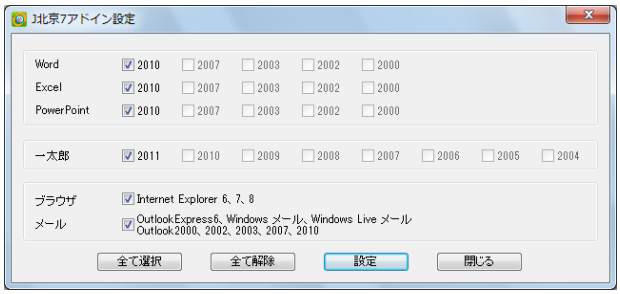
【Windows Vista、７をご利用の場合】
アドイン翻訳の設定画面が始まる前に、右記の確認メッセージが表示されます。

■管理者権限のあるユーザーの場合
[許可(A)]を選択して下さい。

■管理者権限のないユーザーの場合
① 管理者権限のあるユーザー名でログインします。
② ［コントロールパネル］-［クラシック表示］-［ユーザーアカウント］-［ユーザーアカウント制御の有効化または無効化］を選択します。「ユーザーアカウント制御（UAC）を使ってコンピューターの保護に役立たせる」のチェックを外し、再起動して下さい。
③ 管理者権限のないユーザー名でログインし、アドイン翻訳の設定をします。
④ 管理者権限のあるユーザー名で再度ログインし、②でチェックを外した部分に再びチェックを入れて下さい。



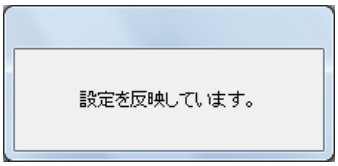
4. **アドインを組み込むアプリケーションのチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、（解除する場合はチェックをはずし）［ 設定 ］ボタンをクリックします。**



すべてのアプリケーションに組み込む場合は［全て選択］ボタンを、すべて解除する場合は［全て解除］ボタンをクリックします。

※お使いのパソコンに導入されていないアプリケーションやＪ北京７が未対応のアプリケーションはグレイアウトしています。

5. **「設定を反映しています」というダイアログが表示され、選択したアプリケーションにアドイン翻訳の設定（または解除）が行われます。**
   設定が完了していますので、［ 閉じる ］ボタンでダイアログを終了します。



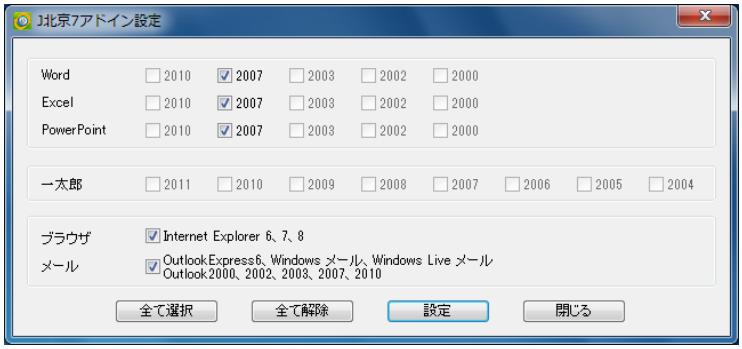
Chapter10　Microsoft Office アドイン翻訳

Microsoft Officeのアドイン翻訳は表示中のファイルを、ファイル単位あるいはテキスト単位で翻訳する機能です。

■ J 北京 7 アドイン設定

ご利用の前に、アドイン翻訳が組み込まれていることを確認してください。

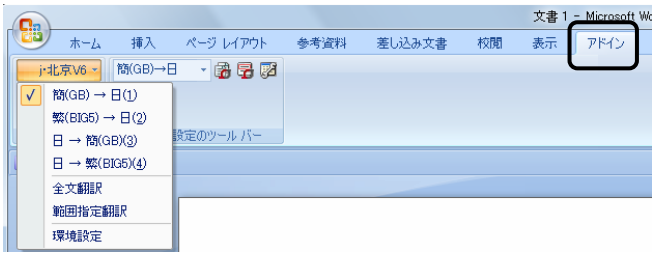
[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[J北京7]ー[J北京7アドイン設定]で表示されるダイアログで、ご利用のアプリケーションにチェックが入っていれば、設定は完了しています。P 90-91



アドイン翻訳を組み込むと、各アプリケーションのメニューやツールバーに、J北京7のコマンドが表示されます。
メニューやツールバーの表示は、Microsoft Officeのバージョンによって、若干異なります。

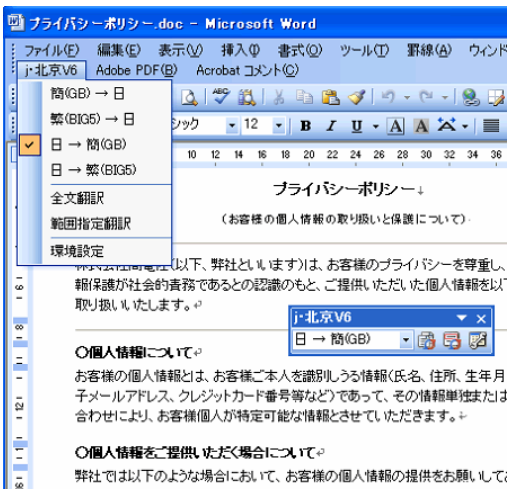
以下は、Microsoft Wordの場合の表示です。

【Word2010,2007 をご利用の場合】
メニューバーの「アドイン」に、J 北京 7 の翻訳機能が組み込まれています。



【Word2003,2002,2000 をご利用の場合】
メニューバーとツールバーに、J北京7の翻訳機能が組み込まれています。

※ ツールバーが表示されていない場合は、メニューバーの [表示(V)]ー[ツールバー(T)] をクリックして表示される一覧から、「J北京7」をクリックすると表示されます。



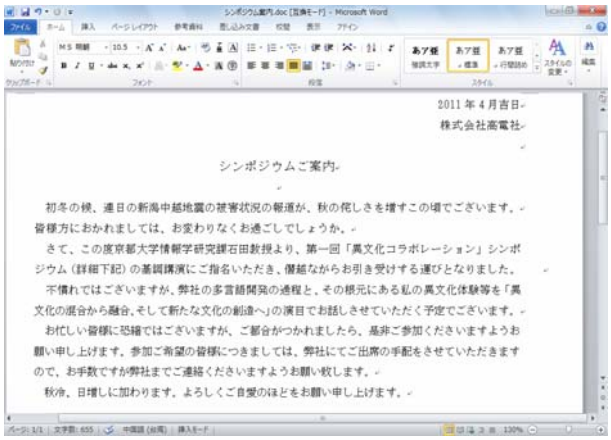
1 Word でアドイン翻訳を使用する

■ 全文翻訳

ファイル内の全テキストを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、翻訳結果を新規ファイルに出力するか、現在の文書を翻訳結果で置き換えます。

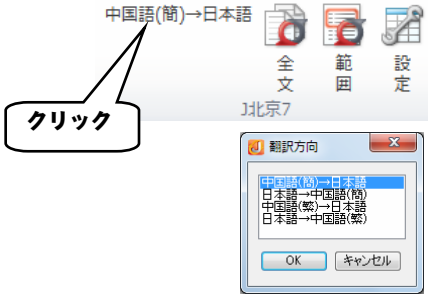
1. Word**を起動します。**

2. **ファイルの読込または、キーボード入力で、原文データを表示します。**



3. **翻訳方向を指定します。**

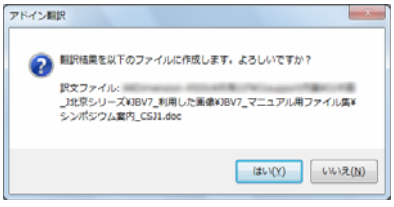
ツールバーの「中国語（簡）→日本語」部分をクリック、あるいはメニューから指定します。



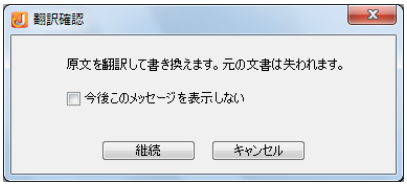
4. Word2010,2007**ではリボンの[全文]** **をクリック、**Word2003,2002,2000**ではツールバーから[全文翻訳]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[J北京7]－[全文翻訳]を実行します。**

5. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果を新規文書に出力する(推奨)」を選択している場合



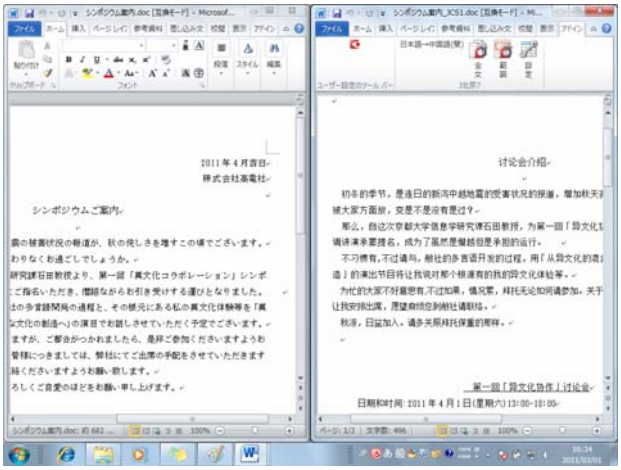
「全文を翻訳結果で書き換える」を選択している場合



6. **翻訳結果が出力されます。**

新規文書に出力した場合、訳文ファイルは原文ファイル名に「_CJ1」「_JC1」等が付加されたファイル名で、原文ファイルと同じフォルダに自動保存されます。

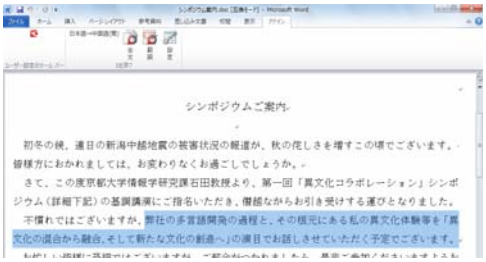
翻訳結果で書き換えた場合、原文ファイルの内容が訳文に書き換えられます。
上書き保存すると原文ファイルが失われますので、「名前をつけて保存」することをお勧めします。



■ 範囲指定翻訳

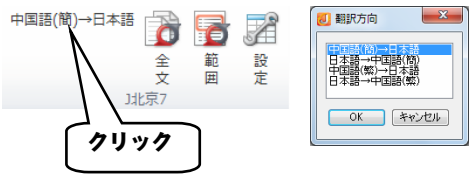
範囲指定したテキストのみを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、訳文がクリップボードに出力されるか、現在の文書の範囲指定された部分を翻訳結果で書き換えます。

1. Word**で、翻訳を行いたいテキスト部分を範囲指定します。**



3. **翻訳方向を指定します。**

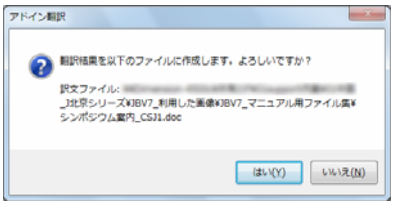
ツールバーの「中国語（簡）→日本語」部分をクリック、あるいはメニューから指定します。



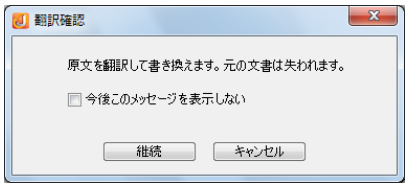
3. Word2010,2007**ではリボンの[範囲ボタン]** **をクリック、**Word2003,2002,2000**ではツールバーから[範囲指定翻訳]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[北京7]－「範囲指定翻訳」を実行します。**

4. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」を選択している場合



「選択範囲を翻訳結果で書き換える」を選択している場合



5. **翻訳結果**

クリップボードに出力した場合は、翻訳結果を他のアプリケーションで利用することもできます。

訳文を挿入したいアプリケーションにカーソルを表示し、右クリックメニューから「貼り付け」を実行してください。

例）メールに貼り付けた場合

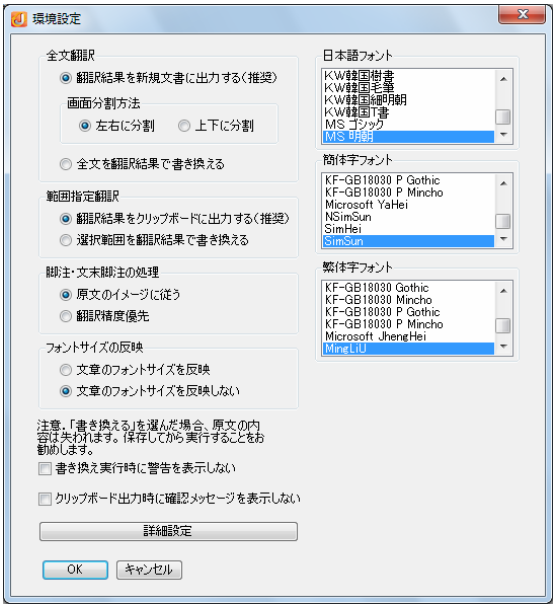
翻訳結果で書き換えるた場合は、Word上の原文テキストが訳文テキストに置き換わります。

■ 環境設定

環境設定では、「全文翻訳」「範囲指定翻訳」の翻訳方法を設定します。

1. **[環境設定]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[J北京7]ー[環境設定]を実行します。**

2. **設定ダイアログが表示されます。**



■全文翻訳
全文翻訳を実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果を新規文書に出力する(推奨)」が選択されています。

画面分割方法
「翻訳結果を新規文書に出力する（推奨）」を指定した場合に、原文ファイルと訳文ファイルを自動で整列します。「左右に分割」を指定した場合は、ウィンドウを左右に整列します。「上下に分割」を指定した場合は、ウィンドウを上下に整列します。

■範囲指定翻訳
範囲指定翻訳を実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」が選択されています。

■脚注・文末脚注の処理
原文ファイルに脚注が含まれる場合の処理方法を設定します。
「原文のイメージに従う」：原文ファイルと同じ位置に翻訳結果を脚注として表示します。
「翻訳精度優先」：脚注の挿入位置に、カッコ書きで翻訳結果を表示します。
脚注で文章が分断されずに翻訳が可能になります。

■フォントサイズの反映
一文内でフォントサイズが異なる場合の処理方法を設定します。
「文章のフォントサイズを反映」：原文に合わせたフォントサイズで翻訳結果を表示します。
「文章のフォントサイズを反映しない」：先頭のフォントサイズで翻訳結果を表示します。

■書き換え実行時に警告を表示しない
「全文を翻訳結果で書き換える」「対訳形式で書き換える」を設定している場合に、警告メッセージを表示するか否かの設定を行います。この項目にチェックを入れると警告なしで現在の文書を書き換えます。

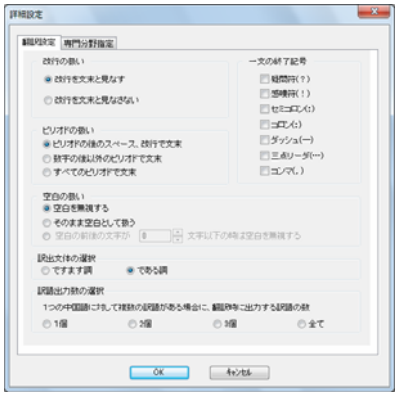
■クリップボード出力時に確認メッセージを表示しない
「翻訳結果をクリップボードに出力する（推奨）」を設定している場合に、確認メッセージを表示するか否かの設定を行います。

■日本語フォント
中日翻訳実行時に訳文の日本語に使用するフォントを設定します。

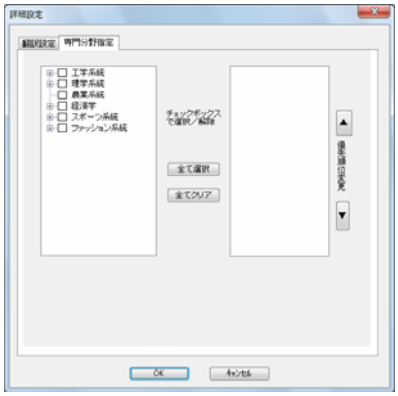
■簡体字フォント
日中（簡）翻訳実行時に訳文の中国語（簡体字）に使用するフォントを設定します。

■繁体字フォント
日中（繁）翻訳実行時に訳文の中国語（繁体字）に使用するフォントを設定します。

■詳細設定
・翻訳設定
翻訳方法の設定を変更することができます。翻訳方向が「日中」の場合は、「空白の扱い」「訳出文体の選択」「訳語出力の選択」は表示されません。（詳しくは P 98をご参照ください。）



・専門分野設定
専門用語辞書を使用する場合の設定を変更することが出来ます。（詳しくは P 163をご参照ください。）



2 Excel でアドイン翻訳を使用する

■ ブック翻訳

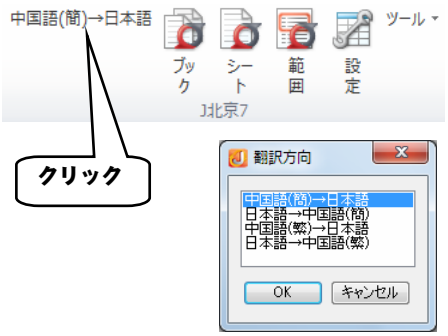
ブック内の全てのシートを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、ブックを新規ブックに出力（推奨）するか、現在のブックに翻訳結果で書き換えます。

1. Excel **を起動します。**

2. **ファイルの読込または、キーボード入力で、原文データを表示します。**

3. **翻訳方向を指定します。**

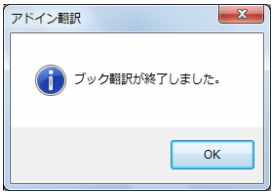
ツールバーの「中国語（簡）→日本語」部分をクリック、あるいはメニューから指定します。



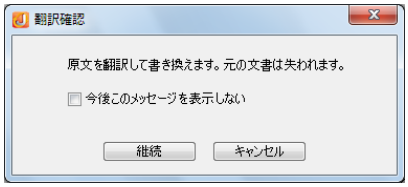
4. Excel2010,2007**ではリボンの[ブック]** **をクリック、**Excel2003,2002,2000**ではツールバーから[ブック翻訳]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[J北京7]ー「ブック翻訳」を実行します。**

5. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果を新規ブックに出力する(推奨)」を選択している場合

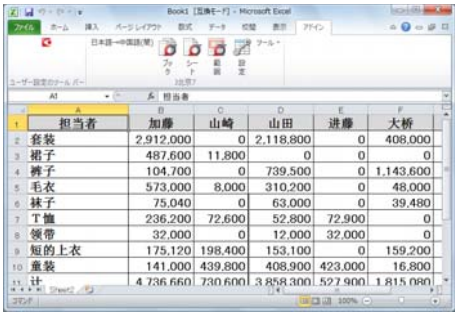


「ブックを翻訳結果で書き換える」を選択している場合



6. **翻訳結果が出力されます。**

新規ブックに出力した場合、訳文ファイルは原文ファイル名に「_CJ1」「_JC1」等が付加されたファイル名で、原文ファイルと同じフォルダに自動保存されます。



翻訳結果で書き換えた場合、原文ファイルの内容が訳文に書き換えられます。
上書き保存すると原文ファイルが失われますので、「名前をつけて保存」することをお勧めします。

■ シート翻訳

現在表示されているシート（一枚）のみを翻訳します。
翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、新規ブックに出力するか、現在のシートを翻訳結果で書き換えます。操作手順はExcelブック翻訳に準じて「シート翻訳」コマンドを実行してください。

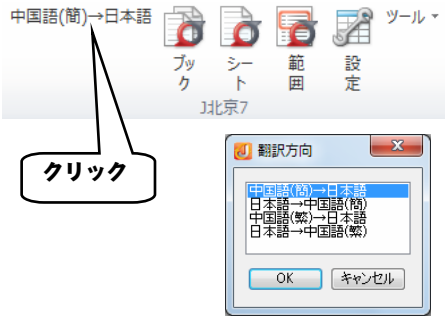
■ 範囲指定翻訳

範囲指定したテキストのみを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、クリップボードに出力されるか、現在の文書の範囲指定された部分を書き換えます。

1. Excel**を起動し、翻訳を行いたい部分を範囲指定します。**

2. **翻訳方向を指定します。**

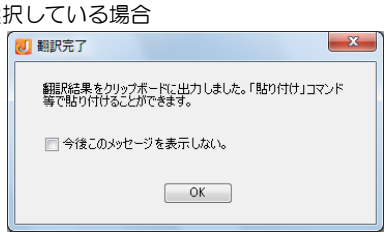
ツールバーの「中国語（簡）→日本語」部分をクリック、あるいはメニューから指定します。



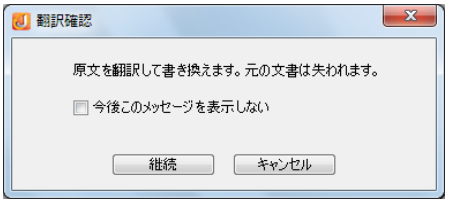
3. Excel2010,2007**ではリボンの［範囲］** **をクリック、**Excel 2003,2002,2000**ではツールバーから「範囲指定翻訳」ボタン** **をクリックするか、メニューバーから［J北京7］ー「範囲指定翻訳」を実行します。**

4. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」を選択している場合



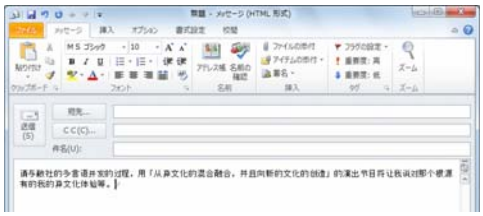
「選択範囲を翻訳結果で書き換える」を選択している場合



5. **翻訳結果**

翻訳結果をクリップボードに出力した場合、翻訳結果は他のアプリケーションで利用することもできます。

訳文を挿入したいアプリケーションでカーソルを表示し、右クリックメニューから「貼り付け」を実行してください。

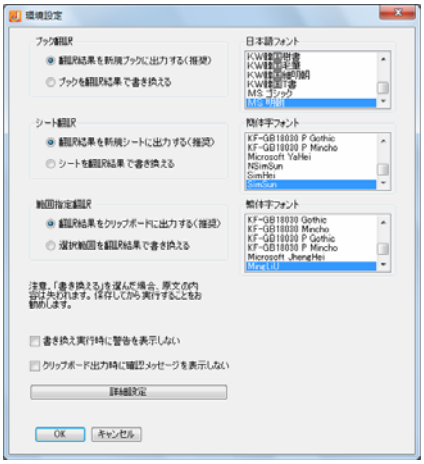


翻訳結果で書き換えた場合は、Excel上の原文テキストが訳文テキストに置き換わります。

担当者	加藤	山崎	山田	進藤	大橋
背広	2,912,000	0	2,118,800	0	408,000
裙子	487,600	11,800	0	0	0
裤子	104,700	0	739,500	0	1,143,600
毛衣	573,000	8,000	310,200	0	48,000
袜子	75,040	0	63,000	0	39,480
T恤	236,200	72,600	52,800	72,900	0
领带	32,000	0	12,000	32,000	0
短的上衣	175,120	198,400	153,100	0	159,200
重装	141,000	439,800	408,900	423,000	16,800
计	4,736,660	730,600	3,858,300	527,900	1,815,080

■ 環境設定

環境設定では、「ブック翻訳」「シート翻訳」「範囲指定翻訳」の翻訳方法を設定します。



1. **[環境設定]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[J北京7]ー[環境設定]を実行します。**

2. **設定ダイアログが表示されます。**

■ブック翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果を新規ブックに出力する(推奨)」が選択されています。

■シート翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果を新規ブックに出力する(推奨)」が選択されています。

■範囲指定翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」が選択されています。

■書き換え実行時に警告を表示しない
「ブックを翻訳結果で書き換える」「シートを翻訳結果で書き換える」「選択範囲を翻訳結果で書き換える」を設定している場合に、警告メッセージを表示するか否かの設定を行います。この項目にチェックを入れると警告なしで現在の文書を書き換えます。

■クリップボード出力時に確認メッセージを表示しない
「翻訳結果をクリップボードに出力する（推奨）」を設定している場合に、確認メッセージを表示するか否かの設定を行います。

■日本語フォント
中日翻訳実行時に訳文の日本語に使用するフォントを設定します。

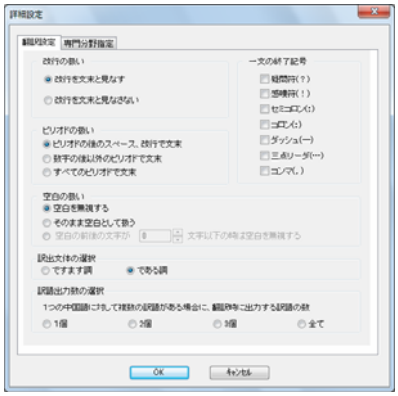
■簡体字フォント
日中（簡）翻訳実行時に訳文の中国語（簡体字）に使用するフォントを設定します。

■繁体字フォント
日中（繁）翻訳実行時に訳文の中国語（繁体字）に使用するフォントを設定します。

■詳細設定

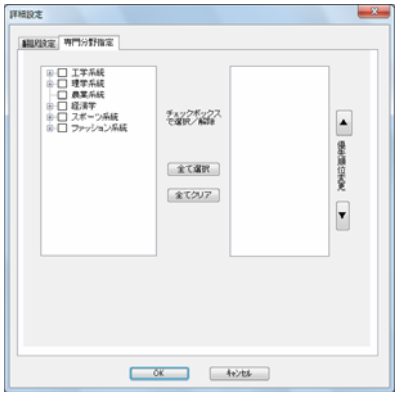
・翻訳設定

翻訳方法の設定を変更することができます。翻訳方向が「日中」の場合は、「空白の扱い」「訳出文体の選択」「訳語出力の選択」は表示されません。（詳しくはP 98をご参照ください。）



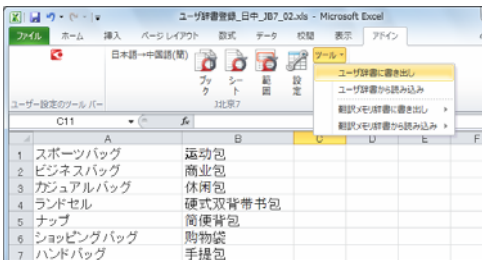
・専門分野設定

専門用語辞書を使用する場合の設定を変更することが出来ます。（詳しくはP 163をご参照ください。）



ユーザ辞書に書き出し　　Excel 画面で作成したデータを、ユーザ辞書へ登録します。

1. **ユーザ辞書に書き出すためのExcelデータを入力します。**

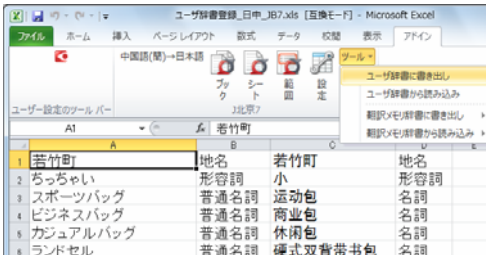


【名詞のみ登録する場合】
「原語」「訳語」の順に登録する単語を入力します。

■日中辞書
日本語は普通名詞、中国語は名詞として登録されます。

■中日辞書
中国語は一般名詞、日本語は名詞として登録されます

【名詞以外の品詞も登録する場合】
「原語」「原語品詞」「訳語」「訳語品詞」の順に登録する単語を入力します。

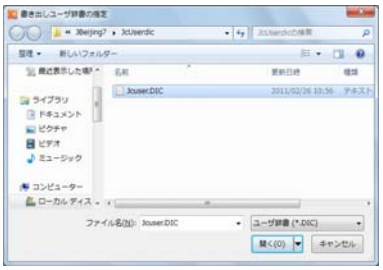


2. **データを表示した状態で、［ツール］－［ユーザ辞書に書き出し］を実行します。**

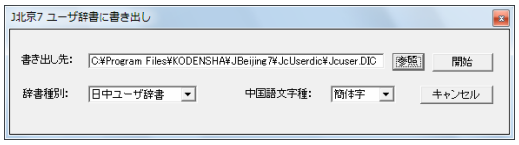
「ユーザ辞書に書き出し」ダイアログが表示されます。

3. **辞書種別と中国語文字種を指定し、書き出し先の辞書を［参照］ボタンから選択します。**

既存の辞書でなく新たに辞書を作成する場合は、書き出し先に新規辞書名を入力します。



4. **［開始］ボタンをクリックすると登録を開始します。**

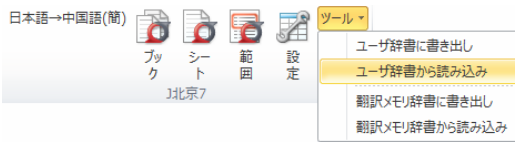


ユーザ辞書の詳細は、＜Chapter7 ユーザ辞書＞をご参照ください。P 57

ユーザ辞書から読み込み　　ユーザ辞書のデータを、Excel 画面に読み込みます。

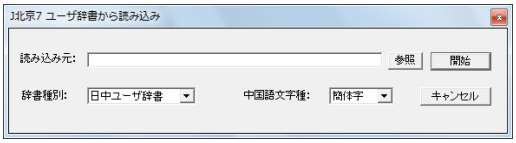
1. **[ツール] - [ユーザ辞書から読み込み] を実行します。**

   「ユーザ辞書に書き出し」ダイアログが表示されます。

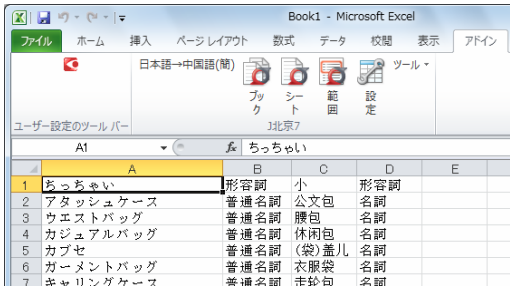


2. **辞書種別と中国語文字種を指定し、読み込み元の辞書を [参照] ボタンから選択します。**

3. **[開始] ボタンをクリックすると読み込みを開始します。**



4. **読み込みが完了すると、Excelに登録内容が表示されます。**

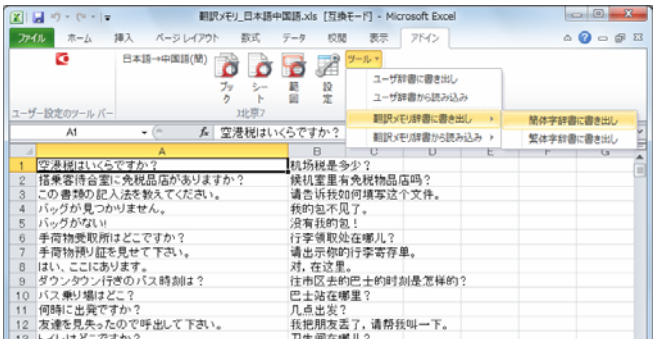


ユーザ辞書の詳細は、<Chapter7 ユーザ辞書>をご参照ください。P 116,117

翻訳メモリ辞書に書き出し　Excel 画面で作成したデータを、翻訳メモリ辞書に登録します。

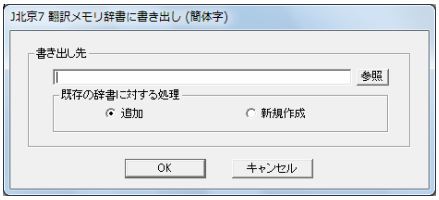
1. **翻訳メモリに登録するためのExcelデータを作成します。**

   「日本語」「中国語」の順に入力します。



2. **データを表示した状態で、[ツール] - [翻訳メモリ辞書に書き出し] ー [簡体字辞書に書き出し] (あるいは [繁体字辞書に書き出し]) を実行します。**

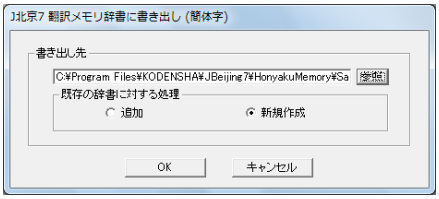
   「翻訳メモリに書き出し(簡体字)」ダイアログが表示されます。



3. **書き出し先の辞書ファイルを [参照] ボタンから選択し、既存の辞書に対する処理を設定します。**

   追　　加：選択した翻訳メモリに追加します。
   新規作成：選択した翻訳メモリのデータを削除して上書きします。

   既存の辞書でなく新たに辞書を作成する場合は、書き出し先に新規辞書名を入力します。

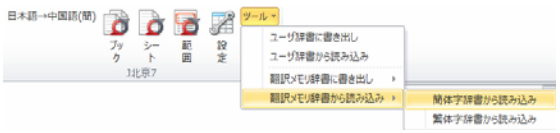


4. [OK] **ボタンをクリックすると登録を開始します。**

翻訳メモリ辞書の詳細は、P 50 をご参照ください。

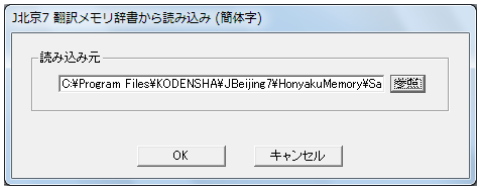
翻訳メモリ辞書から読み込み　　翻訳メモリ辞書のデータを、Excel に読み込みます。

1. **[ツール] - [翻訳メモリ辞書に書き出し] - [簡体字辞書に書き出し] (あるいは [繁体字辞書に書き出し]) を実行します。**



2. **読み込み元の辞書を [参照] ボタンから選択します。**

3. **[OK] ボタンをクリックすると読み込みを開始します。**

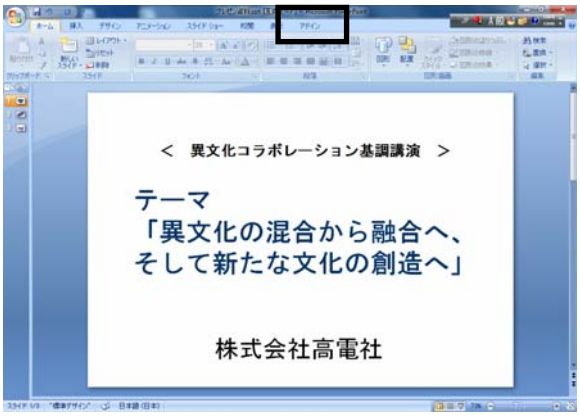


翻訳メモリ辞書の詳細は、P 46 をご参照ください。

3 PowerPoint でアドイン翻訳を使用する

■ プレゼンテーション翻訳

ファイル内の全てのスライドを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、翻訳結果を新規ファイルに出力する（推奨）か、現在のプレゼンテーションを翻訳結果で書き換えます。

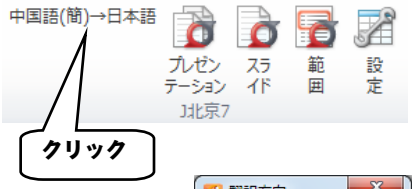


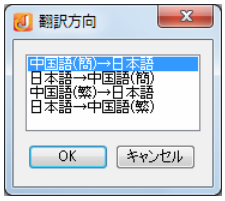
1. PowerPoint**を起動します。**

2. **ファイルの読込または、キーボード入力で、原文データを表示します。**

3. **翻訳方向を指定します。。**

「日本語→中国語」部分をクリックすることで翻訳方向ダイアログを表示できます。

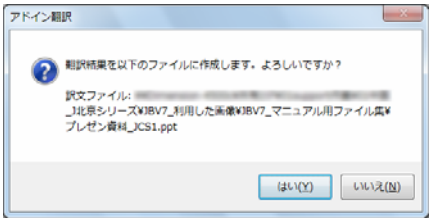




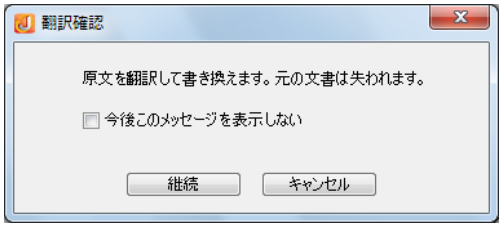
4. PowerPoint2010,2007 **ではリボンの［プレゼンテーション］** **をクリック、** PowerPoint 2003,2002,2000**ではツールバーから「プレゼンテーション翻訳」ボタン** **をクリックするか、メニューバーから［ J北京7 ］ー「プレゼンテーション翻訳」を実行します。**

5. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果を新規ファイルに出力する(推奨)」を選択している場合

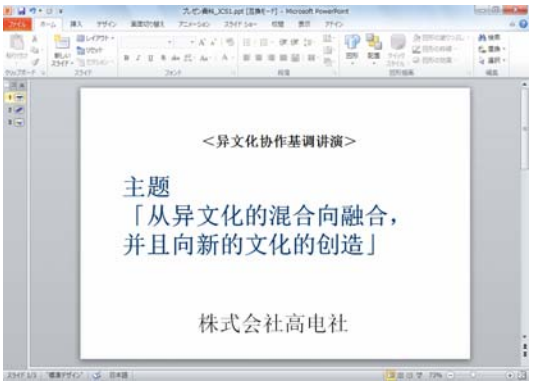


「翻訳結果で書き換える」を選択している場合



6. **翻訳結果が表示されます。**

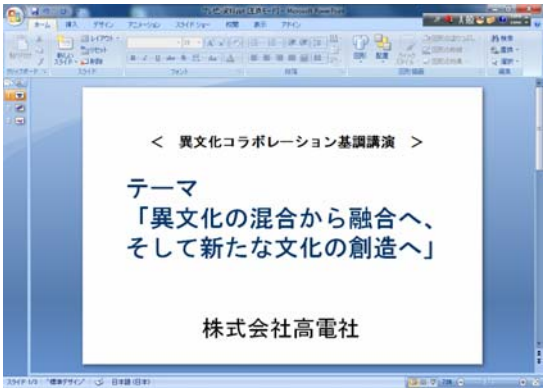
訳文ファイルは原文ファイル名に「_CJ1」「_JC1」等が付加されたファイル名で原文ファイルと同じフォルダに自動保存されます。



■ スライド翻訳

現在表示しているスライドのみを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、翻訳結果を新規ファイルに出力する（推奨）か、スライドを翻訳結果で書き換えます。

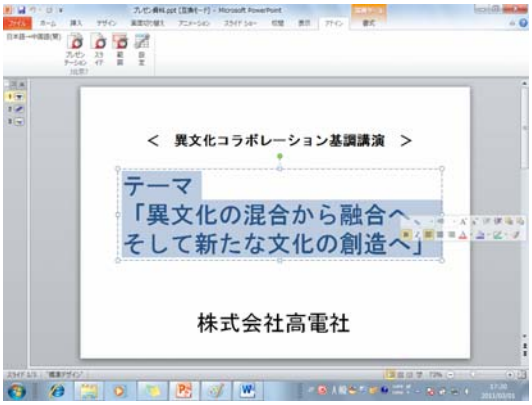
手順はPowerPointプレゼンテーション翻訳に準じて、スライド翻訳コマンドを実行してください。



■ 範囲指定翻訳

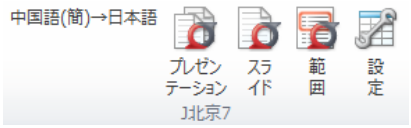
範囲指定したテキストのみを翻訳します。翻訳結果は環境設定で設定された内容に従って、クリップボードに出力されるか、現在の文書の範囲指定された部分を対訳形式で書き換えます。

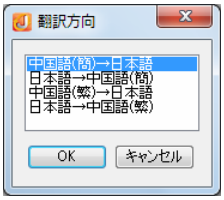
1. PowerPoint**を起動し、翻訳を行いたいテキスト部分を範囲指定します。**



2. **翻訳方向を指定します。**

「日本語→中国語」部分をクリックすることで翻訳方向ダイアログを表示できます。

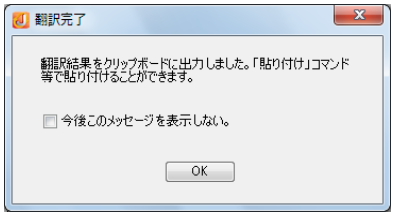




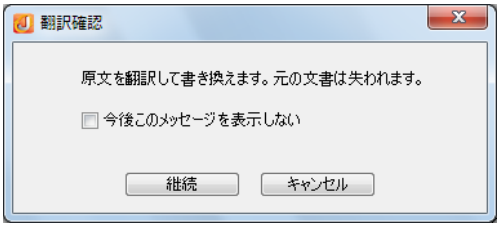
3. Word2010,2007**ではリボンの[範囲]** **をクリック、**Word2003,2002,2000**ではツールバーから「範囲指定翻訳」ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[JJ北京7]ー「範囲指定翻訳」を実行します。**

4. **環境設定によって以下のいずれかの確認画面が表示されます。**

「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」を選択している場合



「翻訳結果で書き換える」を選択している場合



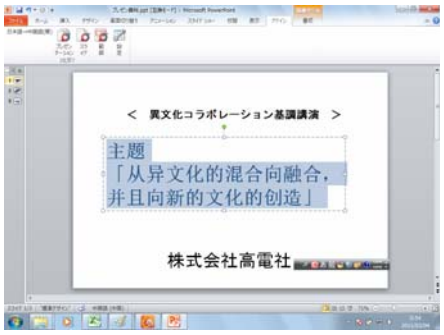
5. **翻訳結果**

クリップボードに出力する場合、翻訳結果は他のアプリケーションで利用することもできます。

訳文を挿入したいアプリケーションにカーソルを表示し、右クリックメニューから「貼り付け」を実行してください。

例）メールに貼り付けた場合

翻訳結果で書き換えた場合は、PowerPoint上の原文テキストが訳文テキストに置き換わります。

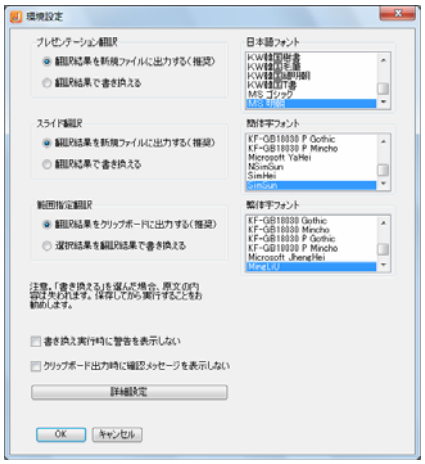


■ 環境設定

環境設定では、「プレゼンテーション翻訳」「スライド翻訳」「範囲指定翻訳」の翻訳方法を設定します。

1. **[環境設定]ボタン** **をクリックするか、メニューバーから[J北京7]ー[環境設定]を実行します。**

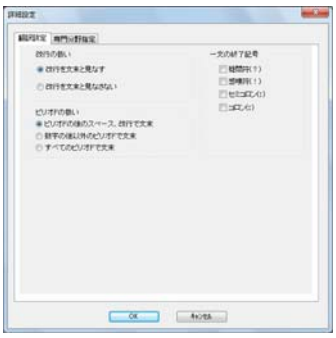
2. **設定ダイアログが表示されます。**



■プレゼンテーション翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果を新規ファイルに出力する(推奨)」が選択されています。

■スライド翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果を新規ファイルに出力する(推奨)」が選択されています。

■範囲指定翻訳
実行したときの動作を設定します。初期状態では「翻訳結果をクリップボードに出力する(推奨)」が選択されています。



■書き換え実行時に警告を表示しない
「翻訳結果で書き換える」を設定している場合に、警告メッセージを表示するか否かの設定を行います。この項目にチェックを入れると警告なしで現在の文書を書き換えます。

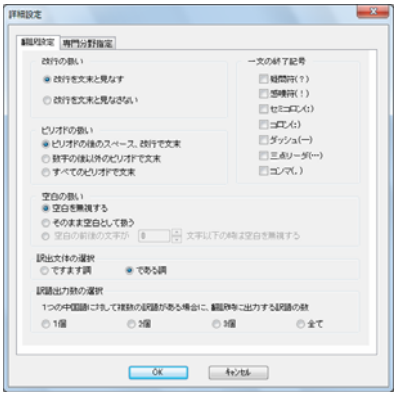
■クリップボード出力時に確認メッセージを表示しない
「翻訳結果をクリップボードに出力する（推奨）」を設定している場合に、確認メッセージを表示するか否かの設定を行います。

■日本語フォント
中日翻訳実行時に訳文の日本語に使用するフォントを設定します。

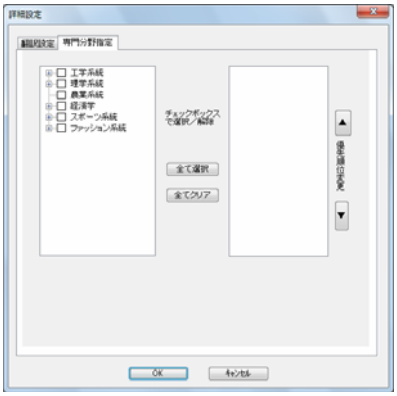
■簡体字フォント
日中（簡）翻訳実行時に訳文の中国語（簡体字）に使用するフォントを設定します。

■繁体字フォント
日中（繁）翻訳実行時に訳文の中国語（繁体字）に使用するフォントを設定します。

■詳細設定



・翻訳設定
翻訳方法の設定を変更することができます。翻訳方向が「日中」の場合は、「空白の扱い」「訳出文体の選択」「訳語出力の選択」は表示されません。P 98



・専門分野設定
専門用語辞書を使用する場合の設定を変更することが出来ます。P 163

Chapter 11　一太郎でのアドイン翻訳

1 一太郎でアドイン翻訳を使用する

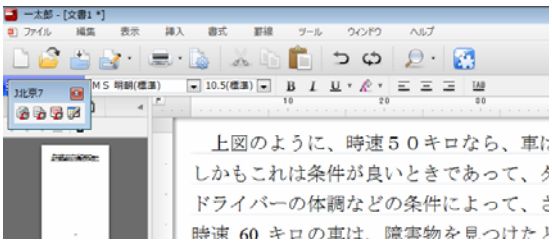
J北京アドイン設定（P 105）によって一太郎に翻訳機能を組みこむことができます。

ツールバーより、①全文翻訳、②段落翻訳、③範囲指定翻訳を実行することができます。
また、翻訳方向や各種設定を④より設定することができます。

全文翻訳　　**ファイル内の全テキストを翻訳する。**

1. **一太郎を起動します。**

   一太郎のツールバーに翻訳機能が組み込まれています。

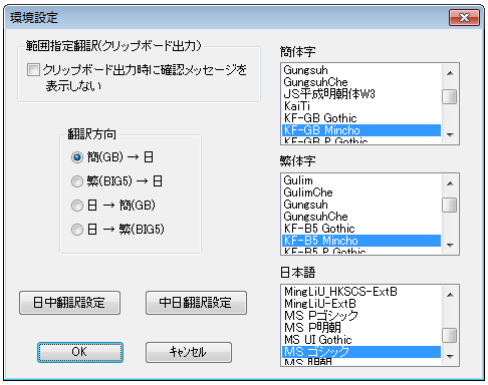


2. **ファイルの読込または、キーボード入力で、原文データを表示します。**

3. **ツールバーから** **[環境設定] ボタンをクリックし、環境設定画面を開いて翻訳方向を設定します。**

   簡(GB)→日　：　簡体字(GBコード)から日本語への翻訳
   繁(BIG5)→日：　繁体字(BIG5コード)から日本語への翻訳
   日→簡(GB)　：　日本語から簡体字(GBコード)への翻訳
   日→繁(BIG5)：　日本語から繁体字(BIG5コード)への翻訳

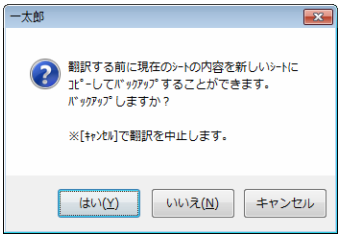
   ※ツールバーが表示されていない場合
   メニューバーから[表示(V)]ー[ツールボックス(T)]ー[表示切替(C)]をクリックし、ツールボックス表示設定ダイアログにある「J北京7」にチェックを入れてください。



4. **ツールバーから** **[全文翻訳] ボタンをクリックします。**

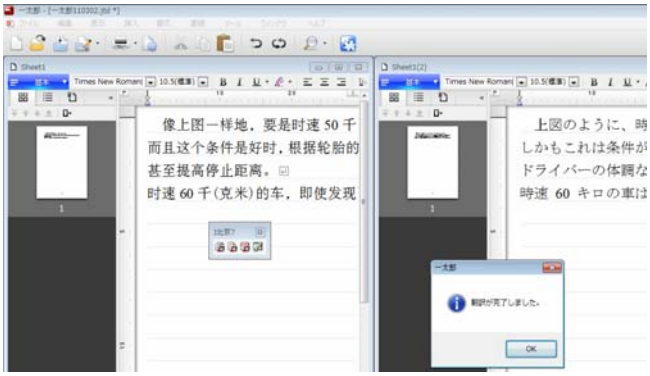
5. **翻訳前のシートの内容をバックアップするか、確認画面が表示されます。**

   [はい(Y)] を選択すると、新しいシートに保存後、翻訳を開始します。[いいえ(N)]を選択すると、保存せずに翻訳を開始します。



6. **全文が翻訳結果に置き換わり、翻訳完了メッセージが表示されます。**

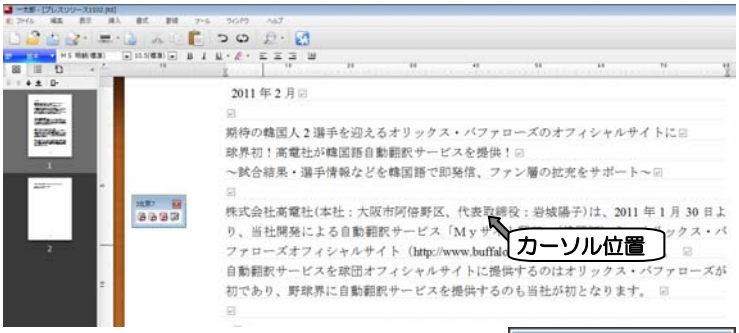
   ［OK］ボタンをクリックしてください。



段落翻訳　　カーソル位置にある段落テキストを翻訳する。

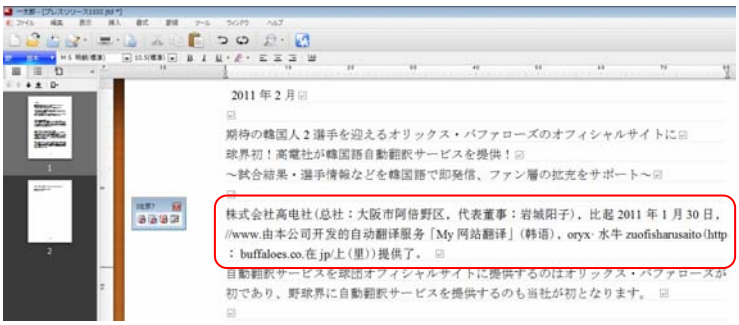
1. **翻訳を行う段落にカーソルをおきます。**

2. **ツールバーから［ 環境設定 ］ボタをクリックし、環境設定画面を開いて翻訳方向を設定します。**



3. **ツールバーから［ 段落翻訳 ］ボタンをクリックし段落翻訳を実行します。**

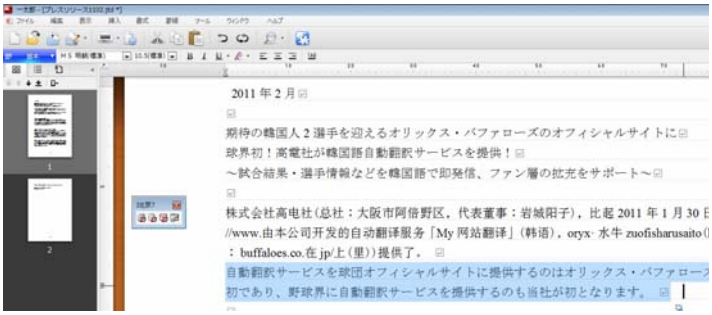
4. **段落文が翻訳結果に置き換わります。**



範囲指定翻訳　　**指定したテキスト範囲を翻訳する。**

1. **翻訳を行うテキストを範囲指定します。**

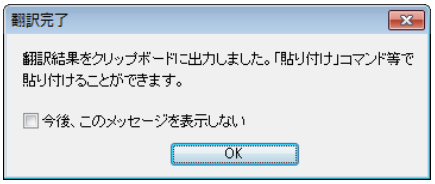
2. **ツールバーから［ 環境設定 ］ボタンをクリックし、環境設定画面を開いて翻訳方向を設定します。**



3. **ツールバーから［ 範囲指定翻訳 ］ボタンをクリックし段落翻訳を実行します。**

4. **翻訳結果をクリップボードに出力する（推奨）」を選択している場合、翻訳結果は他のアプリケーションで利用することもできます。**

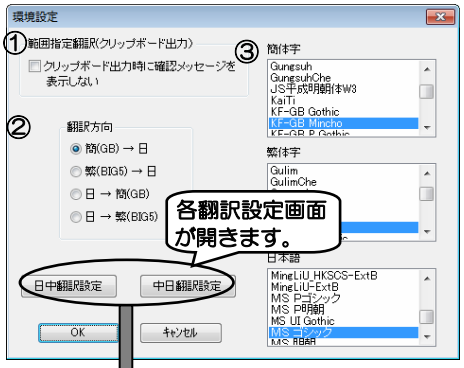
訳文を挿入したい位置にカーソルをおいて表示し、
右クリックメニューから「貼り付け」を実行してください。



◆ 環境設定

環境設定では、翻訳方法を設定します。

ツールバーから［ 環境設定 ］ボタン をクリックします。



① 範囲指定翻訳（クリップボード出力）

「クリップボード出力時に確認メッセージを表示しない」のチェックボックスにチェックを入れると、確認メッセージが表示されません。

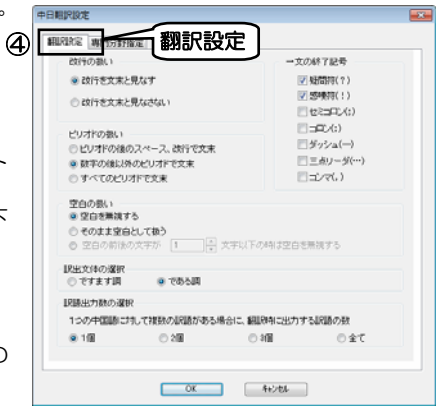
② 翻訳方向

原文から翻訳文への翻訳方向を設定します。

簡(GB)→日　：　簡体字(GBコード)から日本語への翻訳
繁(BIG5)→日：　繁体字(BIG5コード)から日本語への翻訳
日→簡(GB)　：　日本語から簡体字(GBコード)への翻訳
日→繁(BIG5)：　日本語から繁体字(BIG5コード)への翻訳

③ 簡体字フォント／繁体字フォント／日本語フォント

翻訳結果の表示用フォントを ▼ ▲ で上下に表示させ、クリックして選択します。ただし、翻訳結果をクリップボードに出力して貼り付けた文字のフォントはここで設定したフォントにはなりませんので、貼り付け後にフォントを正しくする必要があります。



④ 翻訳設定

翻訳方法の設定を変更することができます。
翻訳方向が「日→簡(GB)」「日→繁(BIG5)の場合は、「空白の扱い」「訳出文体の選択」「訳語出力数の選択」がグレイアウトされます。
各設定の詳細は、＜Chapter8 機能の詳細＞の「環境設定」をご覧下さい。P 98

⑤ 専門分野指定

翻訳するテキストの内容に応じて、使用する専門分野辞書の分野やその優先順位を設定します。
詳細は、＜Chapter19 専門用語辞書＞をご覧下さい。P 163

Chapter 12　Web ブラウザでのアドイン翻訳

1 Internet Explorer で連携翻訳を使用する

J北京アドイン設定（P 105-106）によってInternet Explorerに翻訳機能を組み込めます。

ページ翻訳　　**表示された Web ページのテキストをすべて翻訳する。**

翻訳結果は環境設定で設定された出力形式に従って表示されます。

1. **翻訳したい Web ページを Internet Explorer に表示します。**

2. **中日翻訳 ボタン をクリックします。**

日本語のホームページを簡体字に翻訳する場合は、
日中翻訳(簡体字)ボタン を、
日本語のホームページを繁体字に翻訳する場合は、
日中翻訳(繁体字)ボタン をクリックします。

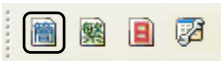
※ J北京７ツールバーが表示されていない場合
メニューより[表示(V)]-[ツールバー]の中にある
「J 北京 7」にチェックを入れてください。
（メニューが表示されていない場合は「Alt キー」を押してください。）

3. **中日翻訳中ダイアログボックスが表示され、翻訳の進行状況が表示されます。**

4. **翻訳が終了すると、Web ページが翻訳結果に置きかわります。**

範囲指定翻訳

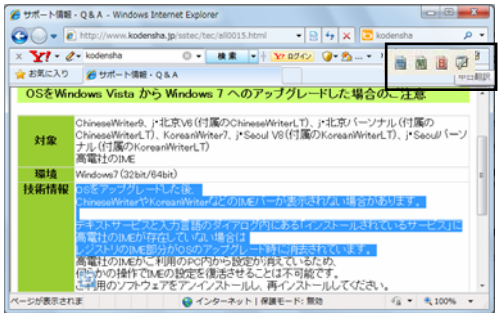
1. **翻訳するテキストを範囲指定し、中日翻訳(簡体字)ボタン をクリックします。**

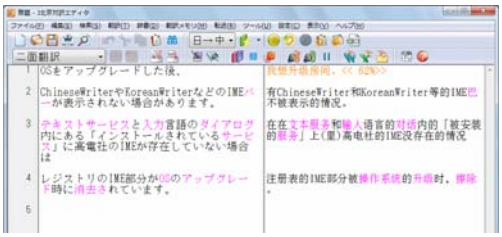


日本語のホームページを繁体字に翻訳する場合は、
日中翻訳(繁体字)ボタン を、
中国語のホームページを日本語に翻訳する場合は、
中日翻訳ボタン をクリックします。

※ J 北京 7 ツールバーが表示されていない場合
メニューより[表示(V)]-[ツールバー]の中にある「J 北京 7」にチェックを入れてください。
（IE7 以降で、メニューが表示されていない場合は「Alt キー」を押してください。）

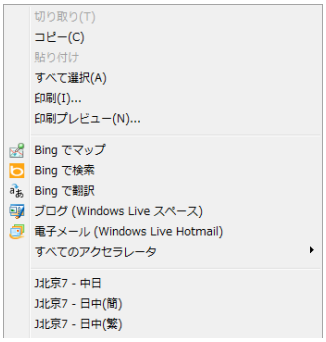
2. **対訳エディタが起動し、原文テキストと翻訳結果が表示されます。**





★ コンテキストメニューからの翻訳

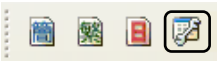
部分的に翻訳されていない場合、追加翻訳したいフレームにカーソルを移動して右クリックすると、コンテキストメニューの中に、「J 北京 7 · 中日」「J 北京 7 · 日中(簡)」「J 北京 7 · 中日(繁)」が表示されます。
翻訳方向に応じていずれかをクリックすると、その部分だけ、新たに翻訳されて表示されます。

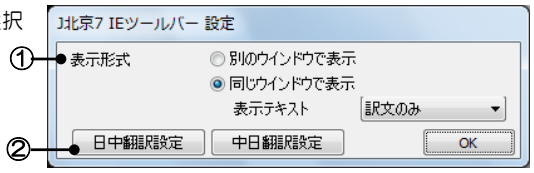


【 Web ページのエンコードについての注意点 】
Web 上に表示されている言語に対してエンコードが適切に設定されていないページでは、翻訳が正しく行われなかったり翻訳結果が正しく表示されない場合があります。この場合は翻訳前に、翻訳するページを表示して Internet Explorer のメニューバーから［ 表示(V)]ー[エンコード(D)]の設定を言語に応じて正しく指定した後（例：日本語の場合は「日本語(シフト JIS)」、中国語の場合は「簡体字中国語(GB2312)」等)、再度翻訳を行ってください。

◆ 環境設定

翻訳設定ボタンをクリックすると、全文翻訳時の出力形式を選択することができます。

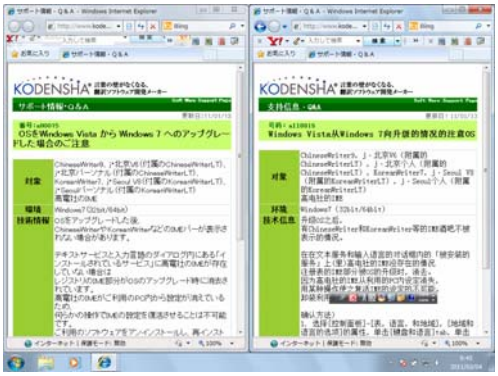




① 表示形式

・別のウインドウで表示

新しいウインドウを表示し、訳文ページを表示します。



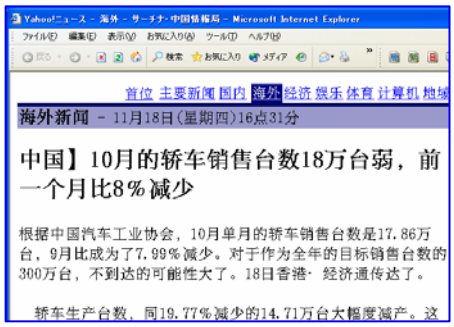
・同じウインドウで表示

原文ページを訳文で書き換えて表示します。

・表示テキスト

【 訳文のみ 】

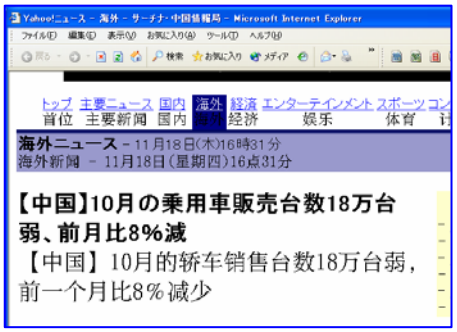
翻訳結果で、原文を書き換えて表示します。



【 対訳表示 】

【 対訳表示(固定色) 】

段落ごとに対訳形式で表示します。



翻訳結果が背景色固定（白）で表示されます。

②日中翻訳設定

専門分野指定画面につきましては
P 163 をご覧下さい。

※ 日中翻訳設定画面には翻訳設定はありません。

② 中日翻訳設定

翻訳設定画面の訳出文体の選択では、訳文の文末の形を「ですます調」「である調」より選択します。

専門分野指定画面につきましては
P 163 をご覧下さい。

Chapter 13　メールソフトでのアドイン翻訳

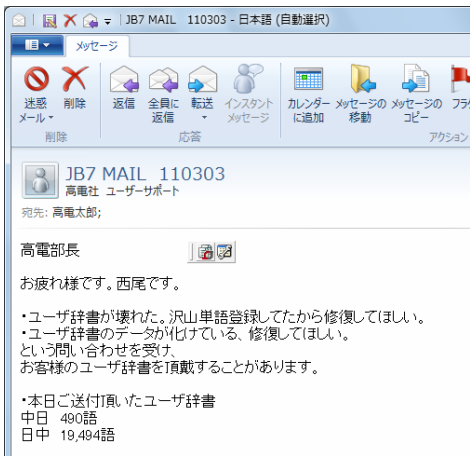
J北京アドイン設定（P 105-106）によってメールに翻訳機能を組み込めます。「Windows Liveメール」「Windowsメール」「Outlook Express」「Outlook」でアドイン翻訳を実行できます。

1 メールソフトで連携翻訳を使用

翻訳の手順

1. Windows Live**メール起動します。**

   J北京アドイン設定でメールに翻訳機能が組み込まれていると、連携翻訳のツールバーが、アプリケーション上に表示されます。



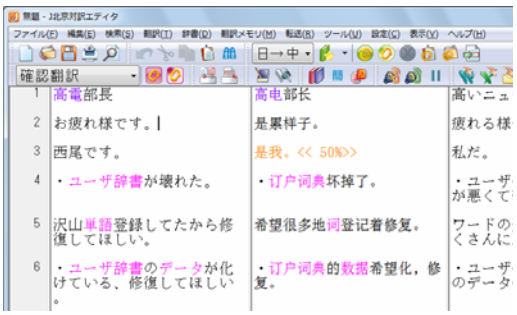
2. **翻訳したいメールを受信フォルダより選択します。**

3. **翻訳ボタンをクリックします。**

   メールのテキストから翻訳方向を
   自動認識後、翻訳します。

※ 日本語と中国語が混在したテキストの場合、正しく翻訳されない場合があります。この場合は、環境設定で翻訳方向を手動に設定し、翻訳方向に応じてボタンをクリックしてください。

4. **対訳エディタが起動し、原文テキストと翻訳結果が表示されます。**

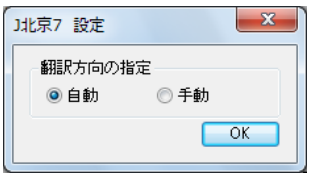


◆ 環境設定

環境設定ボタンをクリックするとツールバーの表示を切り替えることができます。

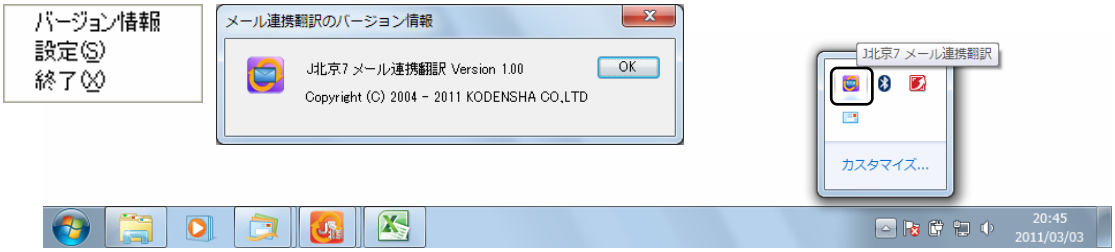
翻訳方向の指定

自動に設定すると、ツールバーのボタンが「全文翻訳ボタン」「環境設定」のみになり、メールのテキストから翻訳方向を自動認識して翻訳します。手動に設定すると「日中翻訳ボタン」「中日翻訳ボタン」「環境設定ボタン」が表示され、翻訳方向を指定して翻訳することができます。



◆ システムトレイアイコンについて

連携翻訳設定で、メールに連携翻訳機能を組み込むと、システムトレイにメール連携翻訳ボタンが表示されます。
メール連携翻訳ボタンをポイントして右クリックするとメニューが表示されます。



システムトレイのアイコンを右クリックして表示されるメニューから［ 終了(X)］を選択した場合等には、連携翻訳のツールバーがアプリケーション上に表示されなくなります。この場合は、再度連携翻訳の設定が必要です。［ スタート ］−［ すべてのプログラム(P)］−［ J 北京 7 ］−［ J 北京 7 アドイン設定 ］を起動し、「メール」を一度解除(チェックをはずして設定)した後、再度組み込み(チェックをつけて設定)を行ってください。

Chapter 14　ファイル翻訳

ファイル翻訳は、ファイルを開いて翻訳するアドイン翻訳とは異なり、Windowsのファイルエクスプローラからファイルを選択するだけでダイレクトに翻訳できる機能です。

1 利用可能なファイルの種類

利用可能なファイルの種類は、テキスト（.txt）、HTML（.htm、.html）、PDF（.pdf）、Word （.doc、docx、.rtf）、Excel（.xls、xlsx）、PowerPoint （.ppt、pptx）の6種です。複数のファイルを一括で翻訳することもできます。

2 ご利用上のご注意

■ファイルについて

- ファイル内に日本語と中国語が混在している場合、正しく翻訳されません。
- ファイル名やファイルのパス名に中国語や仕様外の文字が含まれている場合、正しく翻訳されません。
- 複数のファイルを翻訳する場合、すべてのファイルに同じ翻訳方向（日中翻訳、または中日翻訳）が適用されます。ファイル内のテキストがすべて同じ言語（日本語、または中国語）で作成されている必要があります。

■Office （Word /Excel/ PowerPoint）

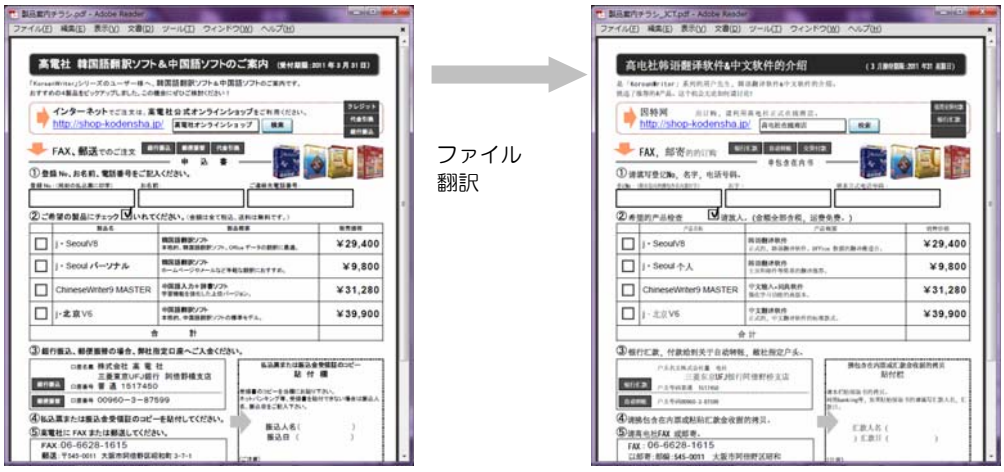
- Word （.doc、docx、.rtf）、Excel（.xls、xlsx）、PowerPoint （.ppt、pptx）のファイル翻訳には、あらかじめJ北京7アドイン設定が完了している必要があります。J北京7アドイン設定は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[J北京7]- [J北京7アドイン設定]で設定してください。
- Word、Excel、PowerPointが起動している場合、Word （.doc、docx、.rtf）、Excel（.xls、xlsx）、PowerPoint（.ppt、pptx）をファイル翻訳することはできません。アプリケーションを終了して、翻訳を実行してください。
- docx、xlsx、pptxは、Office2007、2010のWord、Excel、PowerPointに対応したファイル形式です。このファイルの翻訳には、Office2007、2010がインストールされている必要があります。また、Office2007、2010のご利用環境でdoc、xls、ppt、ファイルを翻訳すると「互換性チェック」画面が表示される場合があります。これはOfficeの仕様によるものですので「続行（C）」をクリックしてください。
- Excel ファイルで、1セルの文字数が255バイトを超えるとコピーオーバーとなり、正しい翻訳結果が得られません。この場合は、ファイル翻訳ではなくExcelアドイン翻訳で「範囲指定翻訳」をご利用ください。
- Officeのサービスパックは最新にしてご利用ください。

■HTML

- HTMLを翻訳する場合、原文ファイルのエンコードの指定が正しく設定されている必要があります。正しく翻訳されない場合は、原文ファイルをお使いのブラウザに表示して、日本語の場合は「日本語(シフトJIS)」、中国語の場合は「中国語」等のエンコードが指定されているかをご確認ください。

■PDF

- PDFファイルの翻訳には、Adobe AcrobatやAdobe Readerは必須ではありませんが、PDFファイルを確認するために必要です。Adobe Acrobat あるいはAdobe Readerに中国語フォントが導入されていない場合は、中国語が正しく表示されません。通常は中国語ファイルを開くと、中国語フォント導入のメッセージが表示されますが、表示されない場合はこちらをご参照ください。http://www.kodensha.jp/sstec/update/jbv7up.html
- ドロー系ソフト（例イラストレーター、フォトショップなど）からPDF化したファイルは正しく翻訳されない場合があります。
- PDF翻訳ご利用時、テキストが画像化されているファイルやセキュリティ保護機能でテキストが抽出できないファイル、また、ファイル作成時に使用したPDF作成ソフトによっては、翻訳できないあるいはレイアウトが保持されない場合があります。
- 縦書きで作成されたファイルは正しく翻訳されない場合があります。

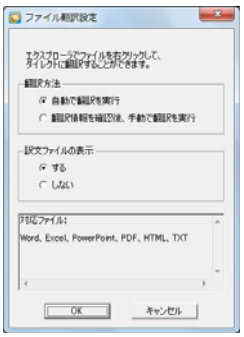


3 設定の変更について

ファイルエクスプローラからファイル翻訳を実行すると、自動で翻訳を実行し訳文ファイルを自動で表示します。

翻訳を手動で実行したい場合や、訳文ファイルを表示したくない場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[J北京7]-[J北京7ファイル翻訳設定]で表示されるダイアログで、「翻訳方法」「訳文ファイルの表示」の設定を変更してください。

※ファイル翻訳設定ダイアログには、対応ファイル情報も表示されます。Word、Excel、PowerPointのアドイン設定状況を確認することができます。



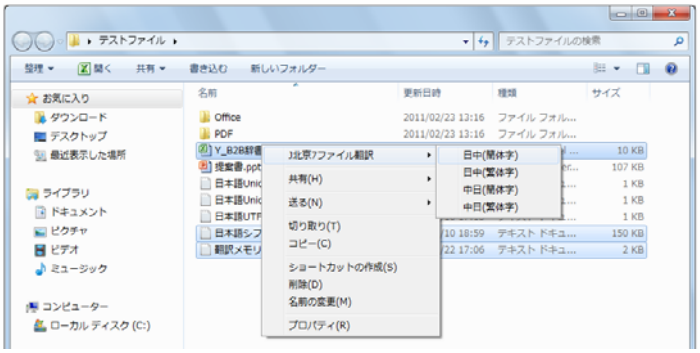
4 自動翻訳を実行する

ファイル翻訳は、初期状態では自動翻訳を実行します。翻訳と訳文ファイルの作成、訳文ファイルの表示が自動で実行されます。

1. **Windowsのファイルエクスプローラから、翻訳するファイルを指定します。**

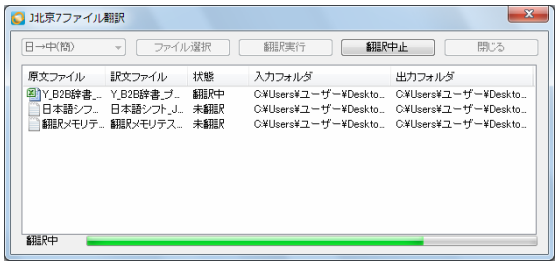
   複数のファイルを指定することができます。

2. **指定したファイルのファイル名を右クリックすると、メニュー内に「J北京7 ファイル翻訳」が表示されます。ご利用の翻訳方向をクリックします。**



3. **J北京7ファイル翻訳ダイアログが起動し、翻訳を開始します。**

   訳文ファイルは、原文ファイル名の末尾に「_JCT」が付加されたファイル名で自動で作成されます。

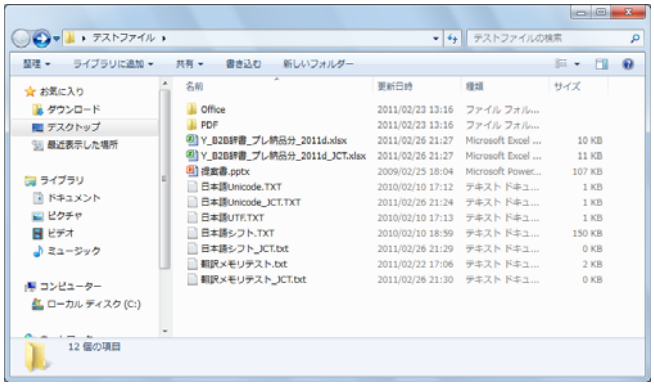


4. **翻訳が完了すると、訳文ファイルが自動表示されます。**

   翻訳したファイルに応じて、メモ帳、ブラウザ、AdobeReader、Word、Excel、PowerPointが起動し、翻訳結果をすぐに確認できます。

   訳文ファイルは、右図のように原文ファイルと同じフォルダに自動で作成されています。

5. **J北京7ファイル翻訳ダイアログを終了してください。**



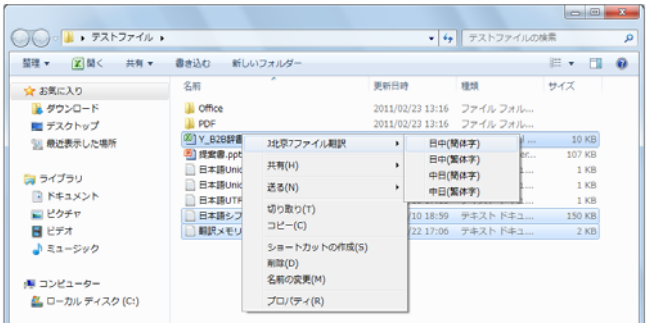
5 手動で翻訳を実行する

訳文ファイルの保存先を変更したい、訳文ファイルの自動表示をなくしたい場合は、手動で翻訳を実行することができます。手動で翻訳を実行するには、[スタート]-[すべてのプログラム]-[J北京7]-[J北京7ファイル翻訳設定]の「翻訳方法」を「翻訳情報を確認後、手動で翻訳を実行する」を選択してください。

1．Windowsのファイルエクスプローラから、翻訳するファイルを指定します。

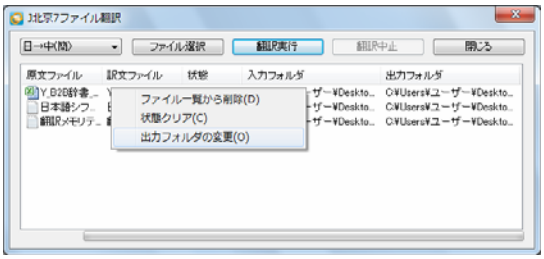
複数のファイルを指定することができます。

2．指定したファイルのファイル名を右クリックすると、メニュー内に「J北京7 ファイル翻訳」が表示されます。ご利用の翻訳方向をクリックします。



3．**J北京7ファイル翻訳ダイアログが起動します。**

自動翻訳と異なり、翻訳は開始されません。
選択したファイルが一覧に表示されていることを確認します。



■ ファイル選択時のメニュー
ファイルを選択して右クリックするとメニューが表示されます。

削除（D）：選択したファイルを一覧から削除します。：

状態クリア（C）：状態が「翻訳済」「エラー」の場合に、初期状態である「未翻訳」に戻します。

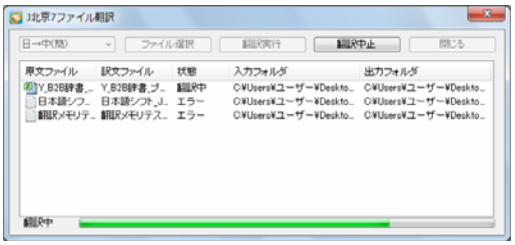
出力フォルダの変更（O）：訳文ファイルの出力先フォルダを変更することが出来ます。

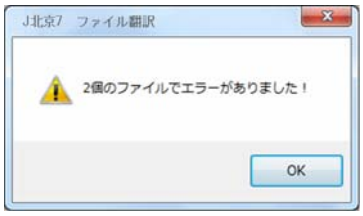
4. **[翻訳実行]ボタンをクリックすると、翻訳を開始します。**

すべてのファイルの状態が「翻訳済」となれば、翻訳は完了です。「閉じる」ボタンをクリックし、出力フォルダで訳文ファイルをご確認ください。

■ ファイル翻訳が失敗した場合

ファイル翻訳が正しく実行されなかった場合、J北京7ファイル翻訳画面の「状態」に「エラー」と表示されたり、エラーメッセージが表示されます。





※翻訳に失敗する要因には以下のようなものがあります。

・Word、Excel、PowerPointのファイルで失敗する場合は、アドイン翻訳が設定されていないことが考えられます。[スタート]-[すべてのプログラム]-[J北京7]-[J北京7アドイン設定]をご確認ください。

・ファイル名に仕様外の文字が含まれていないかご確認ください。中国語や一部の記号が含まれている場合は、英文字や日本語等に変更して、翻訳を実行してください。

Chapter 15　J北京ナビゲータ

J北京ナビゲータは、テキストをサッと範囲指定しアイコンをクリック！というお手軽な操作で日中・中日の翻訳、辞書検索、中国語や日本語での読み上げが可能です。メールや文書の作成時や学習にも手早く活用でき、中国語の用途が格段に広がります。また、J北京７対訳エディタ等のメイン機能を起動するナビゲータとしても活用できます。

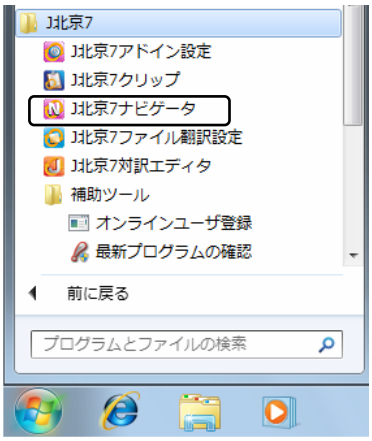
■ 範囲指定できるテキストについて
Windows でコピー可能な Unicode テキストに対応しています。範囲指定したテキストが日本語の場合は、日中翻訳、日中辞書検索、日中翻訳、訳文の中国語の発音をカタカナで表示します。範囲指定したテキストが中国語の場合は、中日辞書検索、中日翻訳、原文の中国語の発音をカタカナで表示します。

■ ご注意
日本語と中国語が混在したテキストでは、正しい結果を表示することはできません。イメージデータ等、画像化されたテキストはご利用になれません。

1　起動方法と終了方法

◆ 起動方法

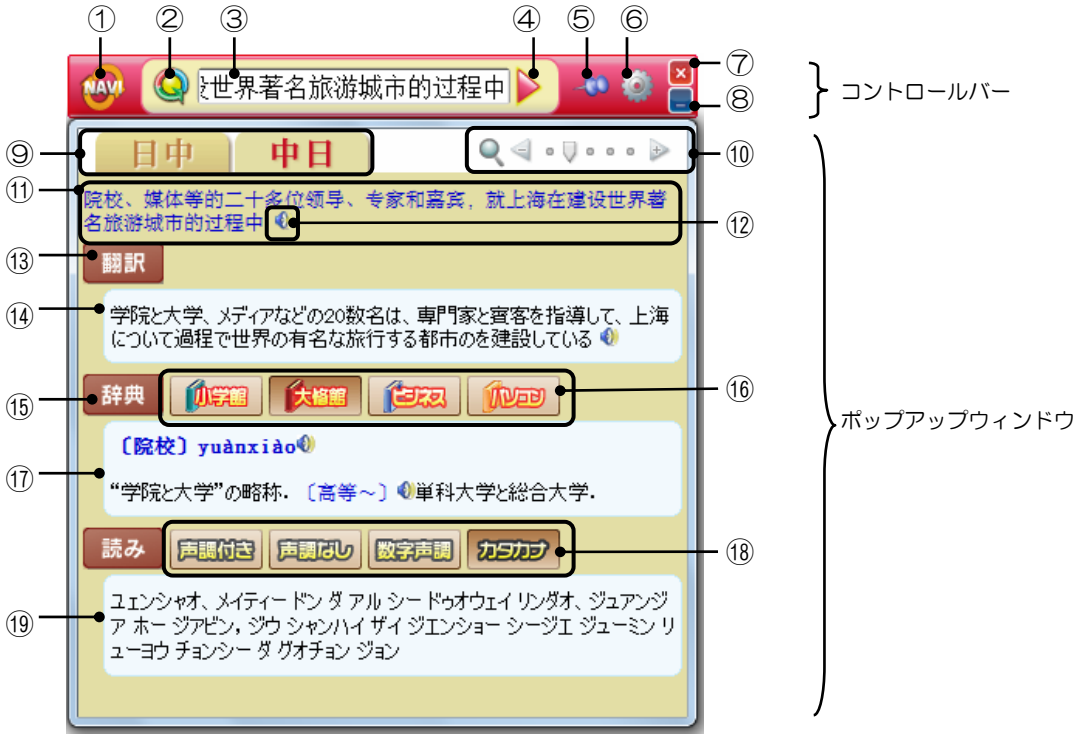
1. **タスクバーから［ スタート ］ボタンをクリックします。**
2. **［ すべてのプログラム ］ー［ J北京７ ］の順でポイントします。**
3. **［ J北京７ナビゲータ ］をクリックして起動します。**



◆ 終了方法

J北京ナビゲータツールバーから［ 閉じる ］ボタンをクリックして終了します。

2 コントロールバーとポップアップウィンドウについて



アイコン名称	コマンド
① J北京ナビゲータアイコン	このアイコン部分にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、任意の位置へツールバーを移動することができます。
② クイックスタディ	範囲指定したテキストを入力BOXに転送し、ポップアップウィンドウにて翻訳・辞典・発音を表示します。P 142
③ 入力BOX	範囲指定したテキストや入力したテキストを400文字まで表示します。
④ エンター	入力BOXのテキストで、ウィンドウの情報を更新。
⑤ プッシュピン	クリックした状態 にすると、ポップアップ部分を固定し画面に留めておくことができます。もう一度、プッシュピンをクリックすると固定ウィンドウが解除され、移動時やマウスが離れた時にポップアップウィンドウが消去されます。
⑥ 環境設定	J北京ナビゲータ の環境を設定します。
⑦ 閉じる	J北京ナビゲータ を終了します。
⑧ 最小化	J北京ナビゲータ を最小化します。
⑨ 日中・中日タブ	入力BOXの文字コードによって自動的に切り替えられます。手動で切り替えることもできます。
⑩ 文字サイズ 拡大 / 縮小	ポップアップウィンドウ内のテキストサイズを拡大/縮小します。
⑪ 原文表示エリア	入力BOX内で確定したテキストが表示されます。

⑫ 音声ボタン	日本語は日本語の合成音声で、中国語は中国語の合成音声で読み上げます。
⑬ 翻訳ボタン	J北京対訳エディタを起動します。
⑭ 訳文表示エリア	訳文を表示します。
⑮ 辞典ボタン	辞典ツールを起動します。
⑯ 辞典切り替え	使用する辞典を切り替えられます。 小学館：「小学館 日中・中日辞典第2版」 大修館：「愛知大学/大修館書店 Unicode版中日大辞典増訂第二版」 ビジネス：「大修館書店 中国語ビジネス用語辞典電子版第二版」 パソコン：「日経BP社 日中パソコン用語辞典改訂版」 ※辞書切り替えボタンはJ北京7 プレミアムをご利用の場合にのみ表示されます。
⑰ 辞書検索表示エリア	・ChineseWriter9がインストールされていない場合は、ロボワードへリンクします。 ・ChineseWriter9がインストールされている場合は、中国語デジタルマルチ大辞典で入力BOXの先頭の単語について辞書検索を行い、語釈を表示します。表示に使用される辞典はプログラムが最適なものを選択します。
⑱ 中国語読み切り替え	読み方の表示を「声調付き」「声調なし」「数字声調」「カタカナ」で切り替えられます。
⑲ 中国語読み表示エリア	原文表示エリアが日本語の場合：翻訳された中国語の読みを表示します。 原文表示エリアが中国語の場合：原文である中国語の読みを表示します。
表示について	
コントロールバーと ポップアップウィンドウ	コントロールバーまたはポップアップウィンドウ内にカーソルがある場合にのみ、ポップアップウィンドウは表示されます。カーソルがそれ以外の場所に移動した場合、1秒後にポップアップウィンドウが消去されます。 コントロールバーの表示位置によって、ポップアップウィンドウはコントロールバーの上部または下部に表示されます。

3 利用方法

翻訳・辞典・中国語読みをクイックに表示するクイックスタディ

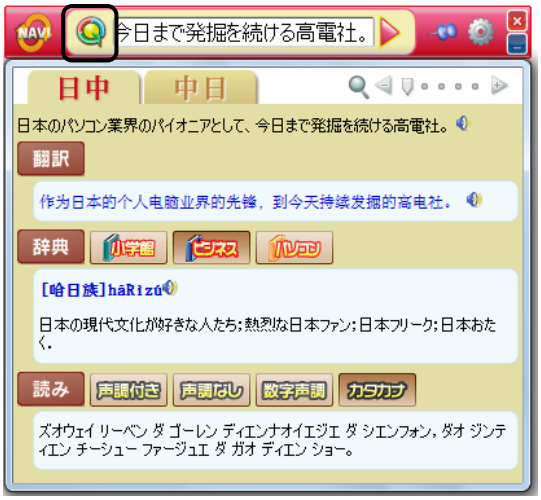
Word や Excel などさまざまなアプリケーションとともにクイックスタディを使用できますが、ここでは例として Internet Explorer 上で使用してみましょう。

1. **J 北京ナビゲータを起動します。**

2. **ご利用のアプリケーションで、クイックスタディしたいテキストを範囲指定します。または、入力 BOX に文字を入力します。**

3. **範囲選択した場合は[クイックスタディ] ボタンをクリックしてください。入力 BOX に文字を入力した場合は、キーボードの Enter キーを押すか、[エンター] ボタンをクリックしてください。**

4. **入力 BOX の文字のコードによって、日中タブ、中日タブが自動的に切り替わり、ポップアップ画面が表示され、翻訳・辞典・中国語読みを表示します。**

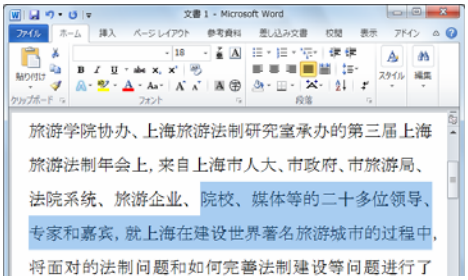


表示エリア
音声ボタン
翻訳ボタン
辞典ボタン
読みボタン
エリアやボタンについての詳細は、
P 140 をご参照ください。

J 北京の機能を起動するナビゲータとして

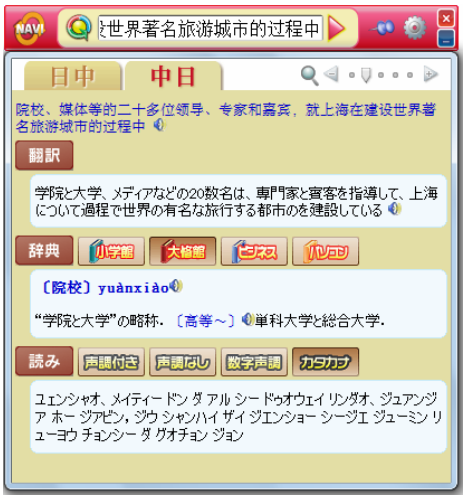
1. J **北京ナビゲータを起動します。**

2. **ご利用のアプリケーションで、クイックスタディしたいテキストを範囲指定します。**

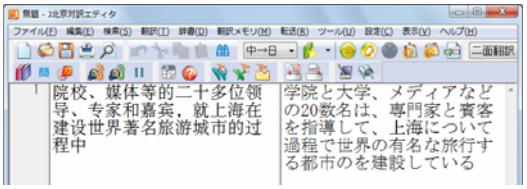


3. [**クイックスタディ**] **ボタンをクリックしてください。**

4. **入力** BOX **の文字のコードによって、日中タブ、中日タブが自動的に切り替わり、ポップアップ画面が表示され、翻訳・辞典・中国語読みを表示します。**

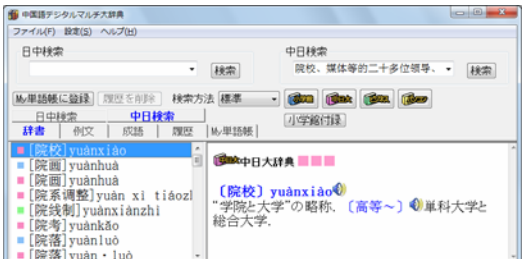


5. [**翻訳**] **ボタンをクリックすると、**J **北京対訳エディタを起動することができます。**



6. [**辞典**] **ボタンをクリックするとロボワードへのリンクまたは、**ChineseWriter9 **搭載の中国語デジタルマルチ大辞典を起動することができます。**

※中国語デジタルマルチ大辞典は、「J 北京 7 プレミアム」をご利用の場合にのみ表示されます。

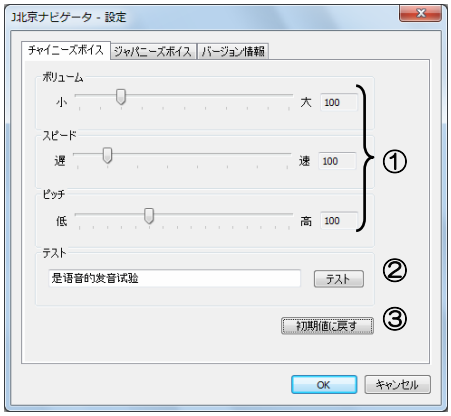


4 環境設定

1. J **北京ナビゲータを起動します。**

2. **利環境設定ボタンをクリックします。**

◆ チャイニーズボイス



チャイニーズボイス起動時の設定を行います。

① ボリューム、ピッチ、スピード

スライドバーのつまみを左右にドラッグして、読み上げ時のボリューム、スピード、ピッチ、語間の休止の長さを設定します。

つまみ	左	右
ボリューム（音量）	小	大
スピード　（速度）	遅	速
ピッチ　　（音質）	低	高

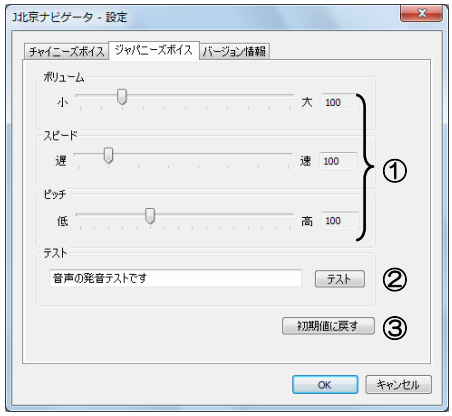
② テスト

このボタンをクリックすると、現設定の状態を試聴することができます。

③ 初期設定ボタン

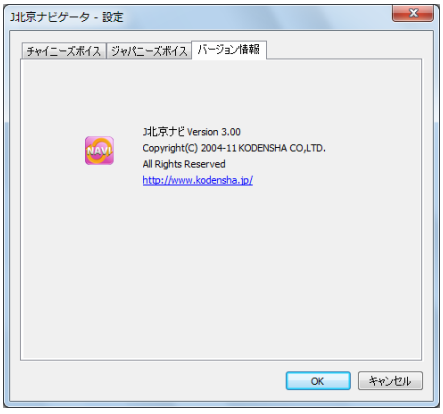
このボタンをクリックすると、設定がインストール直後の状態に戻ります。

◆ ジャパニーズボイス



ジャパニーズボイス起動時の設定を行います。各設定については、チャイニーズボイスを参照ください。

◆ バージョン情報



J 北京ナビゲータ のバージョン情報を表示します。

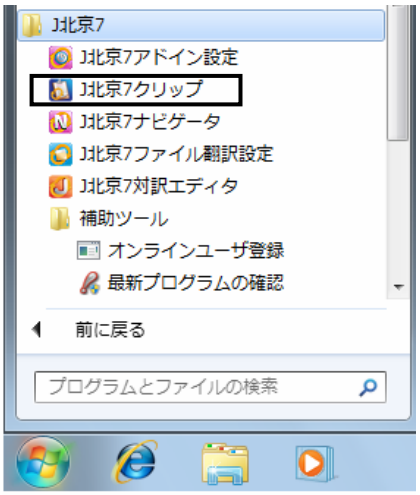
Chapter 16　J 北京クリップ

J 北京クリップとは、アプリケーションの「コピー＆ペースト」コマンドを利用して、Windows のクリップボードに転送されたテキストを翻訳し、翻訳結果を再度クリップボードに格納するプログラムです。J 北京クリップを利用すると、対訳エディタを起動することなく手軽に翻訳結果を出力することができます。

1 起動方法と終了方法

◆ 起動方法

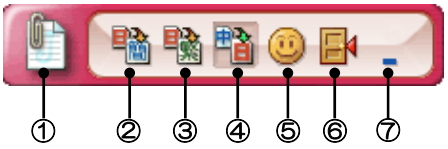
1. **タスクバーから［ スタート ］ボタンをクリックします。**
2. **［ すべてのプログラム**(P)**］ー［ J 北京 7 ］の順でポイントします。**
3. **［ J 北京 7 クリップ ］をクリックして起動します。**



◆ 終了方法

J **北京クリップ**のツールバーから［ 閉じる ］ボタンをクリックして終了します。

2 コントロールバーについて



アイコン名称	コマンド
① **J北京クリップアイコン**	このアイコン部分にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、任意の位置へツールバーを移動することができます。右クリックするとメニュー（「隠す(U)」「設定(S)」「バージョン情報(A)」「閉じる(C)」）が表示されます。
② **日中簡体字翻訳**	翻訳方向が「日中簡体字」に設定されます。クリップボードに日本語テキストが格納されている状態でこのボタンをクリックすると、簡体字に翻訳され、翻訳結果がクリップボードに転送されます。
③ **日中繁体字翻訳**	翻訳方向が「日中繁体字」に設定されます。クリップボードに日本語テキストが格納されている状態でこのボタンをクリックすると、繁体字に翻訳され、翻訳結果がクリップボードに転送されます。
④ **中日翻訳**	翻訳方向が「中日」に設定されます。クリップボードに簡体字または繁体字の中国語テキストが格納されている状態でこのボタンをクリックすると、日本語に翻訳され、翻訳結果がクリップボードに転送されます。 ※中国語のテキストを範囲指定すると、自動的に字種（簡体字または繁体字）の判断を行って翻訳を実行します。
⑤ **モード**	作業状態を表示します。 ：待機モード　：翻訳モード　：休止モード　：失敗後待機モード
⑥ **閉じる**	J北京クリップを終了します。
⑦ **隠す**	J北京クリップをシステムトレイに格納します。

3 利用方法

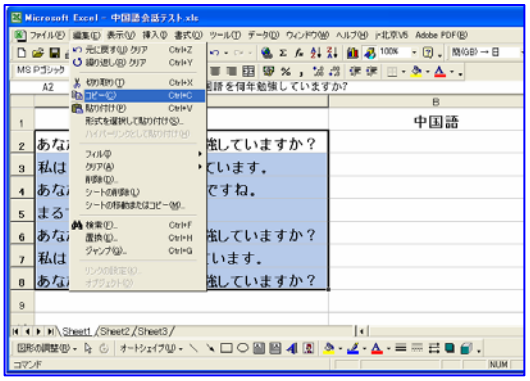
翻訳する

1. **J北京クリップを起動します。**

2. **翻訳方向を決定します。**

日中簡体字翻訳をする場合は、をクリックします。
日中繁体字翻訳をする場合は、をクリックします。
中日翻訳をする場合は、をクリックします。

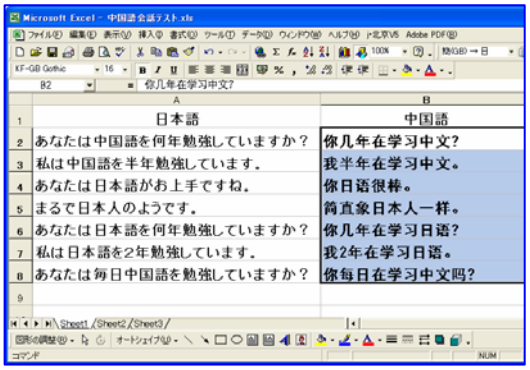
3. **ご利用のアプリケーションで、翻訳するテキストを範囲指定し、コピーコマンドを実行します。**



右記は日中簡体字翻訳の場合です。
クリップボードに送られた日本語テキストを日中簡体字翻訳し、翻訳結果の中国語をクリップボードに格納します。

※ 翻訳に失敗した場合は、モードが失敗待機モード になります。この場合は再度、テキストを範囲指定し、コピーコマンドを実行してください。

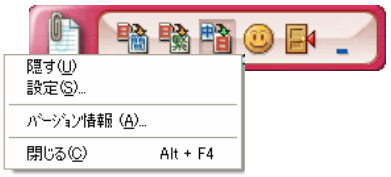
4. **ご利用のアプリケーションで、貼り付け位置を指定後、貼り付けコマンドを実行すると、翻訳結果が表示されます。**



	日本語	中国語
2	あなたは中国語を何年勉強していますか？	你几年在学习中文?
3	私は中国語を半年勉強しています。	我半年在学习中文。
4	あなたは日本語がお上手ですね。	你日语很棒。
5	まるで日本人のようです。	简直象日本人一样。
6	あなたは日本語を何年勉強していますか？	你几年在学习日语?
7	私は日本語を2年勉強しています。	我2年在学习日语。
8	あなたは毎日中国語を勉強していますか？	你每日在学习中文吗?

◆ メニューの詳細

J北京クリップアイコン上で右クリックするとメニューが表示されます。



★ 隠す(U)

メニューから[隠す(U)]を選択すると、J北京クリップツールバーが、タスクトレイに格納されます。

タスクトレイ上での切り替えはダブルクリック、またはクリックで行います。

※ 中日翻訳に失敗した場合は が、日中簡体字翻訳に失敗した場合は が、日中繁体字翻訳に失敗した場合は が表示されます。この場合は再度、テキストを範囲指定後コピーコマンドを実行してください。

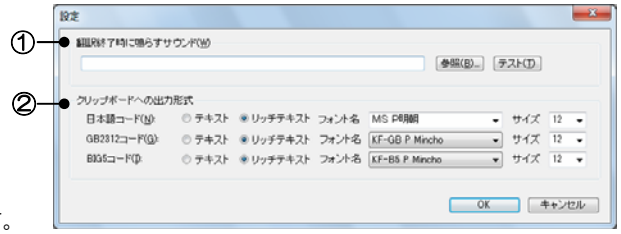
※ タスクトレイ上のアイコンを右クリックして表示されるメニューから［ 表示(U)］をクリックすると、ツールバーが元のサイズで表示されます。

★ **設定**(S)

① **翻訳終了時に鳴らすサウンドの設定(W)**

クリップボード翻訳中に鳴らすサウンド
ファイルを指定することができます。
参照ボタンをクリックするとエクスプローラ
から指定することができます。

テストボタンをクリックすると、一回再生します。



② **クリップボードへの出力形式**

クリップボードへ出力するときの形式をテキスト、リッチテキストのいずれかから指定します。リッチテキスト指定時には、フォント名およびフォントサイズを指定することができ、アプリケーションで貼り付けを実行する際に反映されます。

★ **バージョン情報**(A)

J 北京クリップのバージョン情報が表示されます。

◆ J 北京クリップ待機モード中のご注意

J 北京クリップは、Windows のクリップボードを利用して翻訳を実行する便利なプログラムです。しかし、Windows 上のアプリケーションには、コピーコマンド以外にもクリップボードを利用しているコマンドがあるため、J 北京クリップの「待機モード」中には、アプリケーションのコマンドが正しく実行されない場合があります。J 北京クリップ起動中に、「クリップボードで翻訳」以外の操作をされる場合は、モードを「休止モード」に設定して実行してください。

Chapter 17　ロボワード for J北京

1 ロボワード for J北京 について

「ロボワード for J北京」（以降、ロボワード）は、Windows 上に表示されている文章や単語を、マウスカーソルで指す操作を行うだけで、日中・中日翻訳や日中・中日辞書検索、中英・英中辞書検索を行うことができるマウス翻訳ツールです。

◆ ロボワード 2010 をご利用の方へ

「ロボワード for J北京」と「ロボワード 2010」の共存について
「ロボワード for J北京」は、日中・中日翻訳ソフト「J北京7」シリーズ専用です。
株式会社テクノクラフトから発売されております「ロボワード2010」との同時使用やロボワード旧バージョンの辞書を組み込んで使用することはできません。

◆ ロボワードの翻訳について

ロボワードでは、J北京7の翻訳エンジンを利用して翻訳を実行しています。
そのため、J北京7が導入されていないと、ロボワードの翻訳機能を利用することはできません。

◆ 読み取り可能な文字について

ロボワードで読み取って翻訳を行うことができるのは、Windows 上にテキストとして記述または、表示されている文章や単語に限ります。イメージデータとして画面に表示されている文字をロボワードで翻訳することはできません。中国語のWebページにおいて、エンコードが簡体字中国語(GB2312)や繁体字中国語(BIG5)以外で表示されているテキストは、翻訳できません。（Unicode(UTF-8)等）

◆ 中日翻訳について

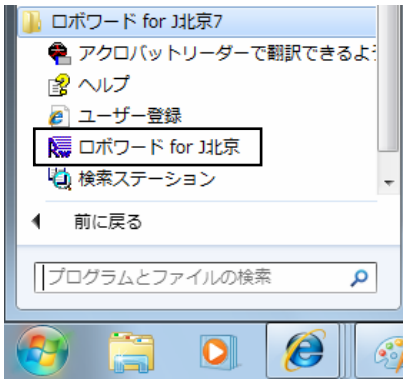
ロボワードで翻訳できるのは、GBコードまたはBIG5コードで記述された中国語です。
「ChineseWriterLT(GB)」「ChineseWriterLT(BIG5)」で入力した中国語は、ロボワードで翻訳を行うことができます。

2 起動方法と終了方法

ロボワードの起動方法と終了方法について説明します。

◆ ロボワードの起動方法

[スタート]ー[すべてのプログラム]ー[ロボワード for J北京７]ー[ロボワード for J北京] を選択してクリックします。



◆ ロボワードの終了方法

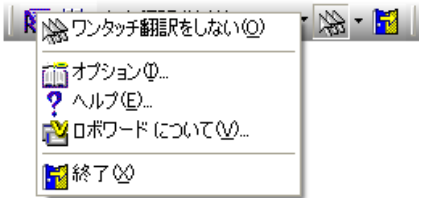
ロボワードコントロールバーの終了ボタンをクリックすると、ロボワードを終了することができます。

3 コントロールバーについて

ロボワードを起動すると表示される「コントロールバー」について説明します。

① ロボワードアイコン

このアイコン部分にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、任意の位置へコントロールバーを移動することができます。
このアイコンを右クリックすると、右記のようにコントロールバーの機能がメニュー形式で表示されます。



② 検索ステーションアイコン

このアイコンをクリックすると、検索ステーションダイアログが表示され、さまざまな検索を行うことができます。
詳細については、<検索ステーション>P 135 をご覧ください。

③ 翻訳セット選択ボタン

使用する辞書の組み合わせ設定がされた「翻訳セット」を選択します。
多くの辞書の中から、辞書を限定して使用するために用いることができ、翻訳セットを切り替えるだけで使用する辞書・翻訳ソフト入れ替えることができます。

④ ワンタッチ翻訳 ON/OFF ボタン

このボタンが押された状態の場合、ワンタッチ翻訳 ON となり、テキストをマウスカーソルで指すと翻訳や辞書検索が行われます。再度クリックするとワンタッチ翻訳が OFF になります。

⑤ 辞書・翻訳選択ボタン

辞書・翻訳の一覧が表示され、ワンタッチ翻訳の辞書または翻訳ソフトを１つに固定して使用することができます。

⑥ オプションボタン

このボタンをクリックすると、**ロボワード**の環境設定を行うためのオプションダイアログが表示されます。
オプションダイアログの各設定項目の詳細については、P 139 ご覧下さい。

⑦ ヘルプボタン

ロボワードの機能を説明したヘルプウィンドウが表示されます。

⑧ 終了ボタン

このボタンをクリックすると、**ロボワード**を終了します。

4 翻訳の仕方

ロボワードの翻訳や辞書検索の利用方法を説明します。

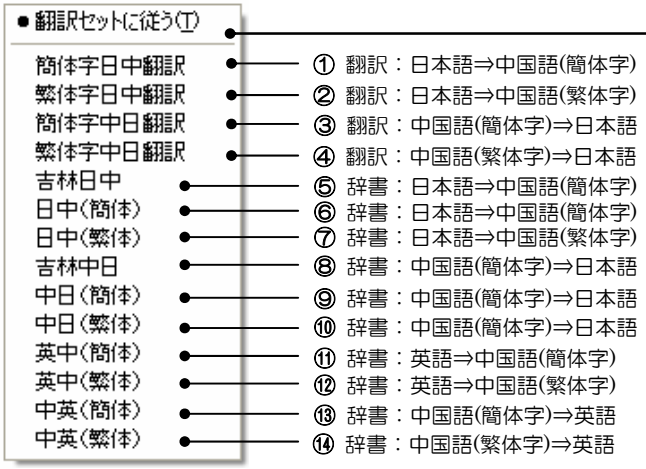
◆ 翻訳セットと辞書・翻訳選択について

ロボワードは、日中・中日翻訳や日中・中日辞書検索、英中・中英辞書という豊富な機能を備えています。そのためワンタッチ翻訳を行う前に、目的に合わせて辞書指定を行う必要があります。

辞書・翻訳選択ボタンをクリックすると、14 種類の辞書が表示されます。文章翻訳を行う場合は①～④の中から、辞書検索を行う場合には⑤～⑭の中から、目的に合わせて選択してください。

「翻訳セット」は、「辞書・翻訳選択一覧」の中から複数の辞書を組み合わせて、日中・中日(簡体字・繁体字自動識別を含む)翻訳などのように双方向の翻訳や辞書検索を、自動で行うために用意されているセットです。翻訳セットを利用する場合には、必ず辞書・翻訳選択一覧から「翻訳セットに従う」を指定してください。（他の辞書を指定している場合は、翻訳セットは無効となります。）

辞書・翻訳選択一覧



翻訳セット一覧

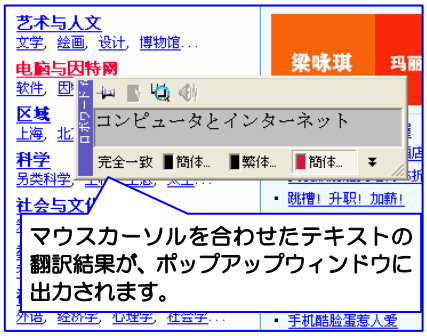
辞書選択一覧	翻訳セット	翻訳/辞書検索	参照する辞書
翻訳セットに従う (他の項目を指定した場合、翻訳セットの選択は無効です。)	文章翻訳(簡体)	翻訳：日本語⇒中国語(簡体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒日本語	①　③　④
	文章翻訳(繁体)	翻訳：日本語⇒中国語(繁体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒日本語	②　③　④
	日中・中日辞書(簡体)	辞書：日本語⇒中国語(簡体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒日本語	⑤　⑥　⑧　⑨　⑩
	日中・中日辞書(繁体)	辞書：日本語⇒中国語(繁体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒日本語	⑦　⑧　⑨　⑩
	英中・中英辞書(簡体)	辞書：英語⇒中国語(簡体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒英語	⑪　⑬　⑭
	英中・中英辞書(繁体)	辞書：英語⇒中国語(繁体字のみ) 中国語(簡体字、繁体字)⇒英語	⑫　⑬　⑭

ワンタッチ翻訳（文章翻訳）

ワンタッチ翻訳は「翻訳セット」や「辞書選択」で指定されている翻訳を実行する機能です。あらかじめ目的に合わせた翻訳セットや辞書を指定してください。

1. **コントロールバーで目的に合わせた翻訳セットまたは辞書を指定し、[ワンタッチ翻訳] ボタンが** ON(**押された状態)であることを確認します。**

2. **ロボワードで翻訳したいテキストにマウスカーソルを合わせると、テキストがロボワードに読み込まれて翻訳が開始されます。翻訳が完了すると、ポップアップウィンドウが表示されて翻訳結果が表示されます。**



※ 文字を指した時の読み取り方法や、翻訳時間は、オプションの全般タブプロパティページで設定することができます。

※ ポップアップウィンドウの表示位置は、オプションの全般タブプロパティページで設定することができます。

※ 文字のように見えて「画像」でできているものや、文字を特殊な方法で表示しているソフトウェア、または設定により搭載している辞書にない単語をさした場合にはポップアップウィンドウは表示されません。（または「候補がありません」と表示されます。）

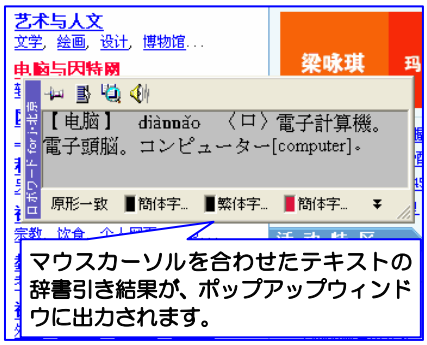
3. **翻訳する辞書をその場で切り替えるときには、ポップアップウィンドウの辞書選択ボタンをクリックします。**

ワンタッチ翻訳（辞書）

ワンタッチ翻訳を使った辞書は「翻訳セット」や「辞書選択」で指定されている辞書を参照して実行する機能です。あらかじめ目的に合わせた翻訳セットや辞書を指定してください。

1. **コントロールバーで目的に合わせた翻訳セットまたは辞書を指定し、[ワンタッチ翻訳] ボタンが** ON(**押された状態)であることを確認します。**

2. **ロボワードで辞書検索したいテキストにマウスカーソルを合わせると、テキストがロボワードに読み込まれて辞書検索が開始されます。辞書検索が完了すると、ポップアップウィンドウが表示されて翻訳結果が表示されます。**



◆ ロボワードの動作を中断する

コントロールバーの［ ワンタッチ翻訳の ON/OFF ］ボタン をクリックすることにより、翻訳のオン／オフを切り替えることができます。

※ Windows の操作や他のアプリケーションの操作が **ロボワード** の翻訳によって妨げられる場合は、［ ワンタッチ翻訳の ON/OFF ］ボタンをオフに設定して下さい。

◆ Acrobat の文書を翻訳する

Acrobat のPDF文書(※)をロボワードで翻訳できるようにするには、以下の実行手順に従って下さい。

※ PDF文書は、米国Adobe Systems社が開発した電子文章配布用のデータ形式です。

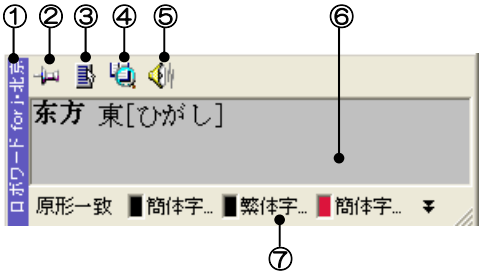
★ 実行手順

［ スタート ］−［ すべてのプログラム ］(あるいは ［ プログラム ］)−［ **ロボワード for J北京** ］−［ アクロバットリーダーで翻訳できるようにする ］ を選択します。

これにより、翻訳用のプラグインモジュールが導入されて、アクロバットのPDF文書が翻訳できるようになります。

5 ポップアップウィンドウについて

ポップアップウィンドウは，翻訳あるいは辞書検索の結果を表示するためのウィンドウです。**ロボワード**で翻訳・辞書検索された結果は、右記のポップアップウィンドウに出力されます。



① タイトルバー

この部分をドラッグすると、ポップアップウィンドウを任意の場所へ移動することができます。

② プッシュピン

このアイコンをクリックして押した状態にすると、固定ウィンドウとなり、マウスカーソルを移動したり、次のテキストを翻訳してもウィンドウが消されずに画面に留めておくことができます。
もう一度、プッシュピンをクリックすると固定ウィンドウが解除されてポップアップウィンドウが消えます。

③ 候補リストボタン

辞書に複数の候補語がある場合は単語リストが表示され、選択すると単語の内容が表示されます。

④ 検索ステーションボタン

検索ステーションが起動し、ポップアップウィンドウに表示している内容が、単語入力欄に表示されます。

⑤ 発音ボタン

発音データを持つ辞書のときに表示され、クリックすると単語の音声が再生されます。

⑥ データ表示部

ロボワードで実行された翻訳結果は、この部分に表示されます。

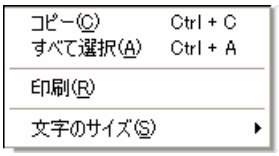
※ 日中翻訳が行われた場合は、ここに中国語で翻訳結果が出力され、中日翻訳が行われた場合は、ここに日本語で翻訳結果が出力されます。

⑦ 辞書選択ボタン

この辞書選択ボタンをクリックすることにより、現在表示している内容を他の辞書で表示することができます。

★ ショートカットメニューについて

データ表示部で右クリックすると、右記のショートカットメニューが表示され、ポップアップウィンドウに出力された翻訳結果をクリップボードへコピーしたり、印刷することができます。

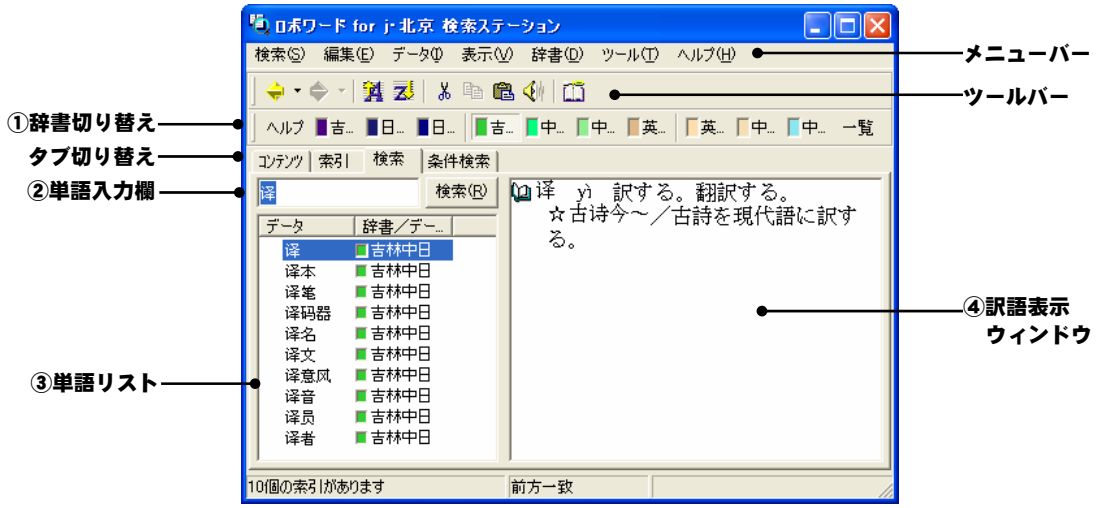


コピー	ポップアップウィンドウに出力された翻訳結果をクリップボードへコピーします。 ※ コピーを行う場合は、クリップボードへコピーするテキストをあらかじめポップアップウィンドウからドラッグして選択しておく必要があります。
すべて選択	ポップアップウィンドウに出力された翻訳結果のテキストを全て選択状態にします。
印刷	ポップアップウィンドウに出力された翻訳結果を印刷します。 ※ 印刷を行う前にポップアップウィンドウでテキストをドラッグして選択すると、選択した部分のテキストのみを印刷することができます。
文字のサイズ	ポップアップウィンドウに出力する翻訳結果の文字の大きさをサブメニューの「大きい」「大きめ」「普通」「小さめ」「小さい」の５種類より選択して設定します。

6 検索ステーション

検索ステーションでは、単語の検索や条件を指定して検索などさまざまな検索を行うことができます。検索ステーションを起動するには、コントロールバーまたはシステムトレイメニューの検索ステーションアイコンをクリックします。

◆ 各部の概要について



① 辞書切り替え

辞書検索する辞書をクリックして切り替えます。各辞書ボタンは［F2］から［F11］のファンクションキーに対応し、10 種類の辞書を切り替えることができます。［ 一覧 ］をクリックすると、一覧ダイアログが表示され、表示順番を変更(ファンクションキーも対応して変更)することができます。

★ 表示順番の変更方法

順番を変更するときは、
辞書を選択して
⇧ ⇩ キーを押して
移動させます。

② 単語入力欄

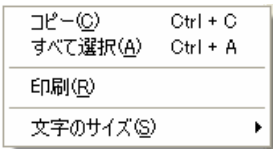
検索したい単語または熟語を入力し、検索ボタンまたはリターンキーを押すと検索が開始されます。
熟語は辞書に登録がある場合に訳が表示されます。

③ 単語リスト

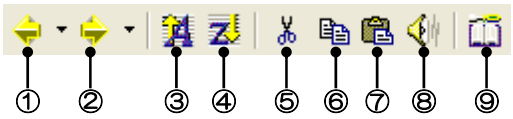
検索された単語一覧が表示されます。クリックして選択すると、該当訳語が表示されます。

④ 訳語表示ウィンドウ

選択された単語の訳が表示されます。訳語表示ウィンドウで右クリックすると右記のメニューが表示されます。目的に応じてマウスでドラッグして選択した部分をコピーしたり、印刷することができます。また訳語を表示する文字サイズを変更することができます。



ツールバー



① **戻るボタン** ： 一つ前の検索結果を表示します。 ▾ をクリックすると、今までに検索した前の単語の一覧が表示されます。

② **進むボタン** ： すでに検索した一つ後の検索結果を表示します。 ▾ をクリックすると、今までに検索した先の単語の一覧が表示されます。

③ **インデックススクロール・前へボタン** ： クリックすると一つ前のインデックスの内容が表示されます。近似の単語を参照することができます。

④ **インデックススクロール・次へボタン** ： クリックすると一つ後のインデックスの内容が表示されます。近似の単語を参照することができます。

⑤ **切り取り** ： マウス選択した文字を切り取ります。

⑥ **コピー** ： マウス選択した文字をコピーします

⑦ **貼り付け** ： マウス選択した文字を貼り付けます。

⑧ **発音再生** ： 候補の音声ファイルが再生されます。

⑨ **オプション** ： 検索ステーションのオプションを起動します。

検索

1. **検索タブを選択します。**

2. **単語入力欄に検索したい単語を入力し、検索ボタンをクリックします。**

3. **単語リストに該当する単語が表示され、選択されている単語の訳が表示されます。**

※ 他の辞書に切り替えるには、辞書ボタンをクリックして選択するか、または対応するファンクションキーを押します。
※ インデックススクロールボタン または を押すと、一つ前または後のインデックスの内容が表示され、近似の単語を参照することができます。

ロボワードには６種類の検索方法があり、メニューバーの「検索」をクリックすると以下の検索方法が表示されます。目的に合わせて選択してください。

AI 検索	動詞や形容詞などの活用形を原形に戻す検索をします。
全一致検索	入力した語句と完全に一致する候補語を検索します。
前方一致検索	入力した語句で始まる候補語を検索します。
後方一致検索	入力した語句で終わる候補語を検索します。
あいまい検索	入力した語句と似ている候補語を検索します。
インクリメンタル検索	入力単語を逐一検索します。

条件検索

1. **条件検索タブを選択します。**

2. **条件入力**(R) **をクリックすると以下の条件検索ダイアログが表示されます。目的に合わせて条件を設定します。（最大で５つの条件を設定することができます。）**

※ 条件検索ダイアログの詳細については、次項をご覧ください。
「品詞」「スピーチレーベル」「分野」については、辞書によって表記が異なるものや、選択できない項目があります。

3. **条件の設定が終了したら［ 検索 ］ボタンをクリックしてください。設定した条件に従い検索結果が表示されます。**

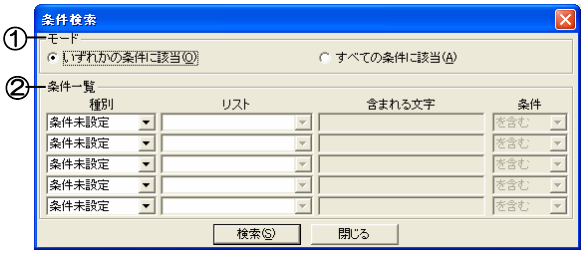
※ 検索結果は最大１００個まで表示できます。

★ 条件検索ダイアログ

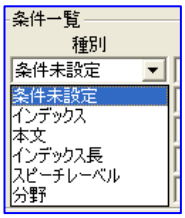
①「モード」の選択

いずれかの条件に該当(O)
：条件一覧で設定する条件のいずれかに該当する見出し語を検索します。

すべての条件に該当(A)
：条件一覧で設定する条件のすべてに該当する見出し語を検索します。



②「条件一覧」「種別」より検索の条件設定



条件となる種別には６種類あります。以下を参照の上、設定してください。

※ 指定できる条件の有無は辞書によって異なります。

種別

インデックス・・・辞書の見出し語の中から目的の見出し語を検索する場合に選択します。

例	検索したい見出し語の文字の一部わかっている場合、特定の文字を含んでいる見出し語を検索する場合など。
設定	◆「種別」で「インデックス」を選択します。 ◆「リスト」は選択できません。 ◆「含まれる文字」に検索する見出し語に含まれる文字を入力します。 ◆「条件」で、検索条件に該当する見出し語を検索する場合は「を含む」、検索条件に該当しない見出し語を検索する場合は「を含まない」を選択します。

本文・・・辞書の内容全てから目的の見出し語を検索する場合に選択します。

例	説明文に特定の文字や文章が含まれている見出し語を検索する場合など。
設定	◆「種別」で「本文」を選択します。 ◆「リスト」は選択できません。 ◆「含まれる文字」に検索条件となる文字を入力します。 ◆「条件」で、検索条件に該当する見出し語を検索する場合は「を含む」、検索条件に該当しない見出し語を検索する場合は「を含まない」を選択します。

インデックス長・・・インデックス（見出し語）の文字数から目的の見出し語を検索します。

設定	◆「種別」で「インデックス長」を選択します。 ◆「リスト」は選択できません。 ◆「含まれる文字」に検索条件となるインデックスの文字数を入力します。 ◆「条件」で、検索条件に該当する見出し語を検索する場合は「を含む」、検索条件に該当しない見出し語を検索する場合は「を含まない」を選択します。

◆ 検索ステーションのオプション

検索ステーションのオプションは、ツールの［ オプションを開く ］ボタンをクリック、またはツールメニューから［ オプション(O)］を選択すると表示されます。

① 表示する候補の最大数

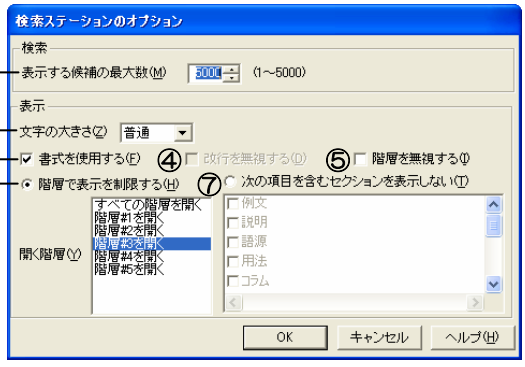
検索された候補表示の上限を 1～5000 の範囲で設定できます。

② 文字の大きさ

ウィンドウ内の文字の大きさを設定します。
サイズは大きい、大きめ、普通、小さめ、小さいと５段階に調節ができます。

③ 書式を使用する

辞書に含まれている書式（階層構造や太字・斜体、文字の大きさ）を有効にします。



④ 改行を無視する

改行が無視されて、辞書内容がすべて連続して表示されます。

⑤ 階層を無視する

辞書内容の階層が表示されなくなります。この項目は「書式を使用する」との併用はできません。

⑥ 階層で表示を制限する

指定された階層までが最初に表示されます。この項目は「次の項目を含むセクションを表示しない」との併用はできません。

⑦ 次の項目を含むセクションを表示しない

例文・説明・語源・用法・コラム・その他・ノート・参照・同意語・対義語・サインポスト・熟語／イディオム・派生語の各項目にチェックしたものが表示されなくなります。この項目は「階層で表示を制限する」との併用はできません。

※ 複数の検索ステーションを開いているときは、オプションの保存は現在アクティブな検索ステーションのオプション設定が保存されます。

7 環境設定

ロボワードの環境設定を行うオプション画面は、コントロールバーの［ オプション ］ボタンをクリックすると表示されます。

オプション画面は、４つのプロパティページで構成されており、ダイアログ上部の「全般」「日本語」「簡体字中国語」「繁体字中国語」のタブをクリックすると、各ページを切り替えることができます。

◆ 全般プロパティページ

オプション画面で「全般」タブをクリックすると、右記のプロパティページが表示されます。
ここでは、全般プロパティページの設定項目と設定内容について説明します。

① 翻訳までの時間

マウスカーソルをテキストに合わせてから文字を読み取るまでの時間をスライドバーのつまみを左右にドラッグして設定します。設定範囲は、0 ～ 5000ミリ秒(5秒)です。

☞ 1000ミリ秒に設定した場合は、マウスカーソルを対象となる単語や文章に合わせてから約１秒後に文字が読み取られて翻訳が開始されます。

② 表示位置

翻訳結果を表示するポップアップウィンドウの表示位置を、６つのボタンのいずれかをクリックして設定します。
表示位置は、翻訳の対象になったテキストを基準にした位置です。

③ 翻訳文字を指したときの読み取り方法

ロボワードで翻訳を行う場合に組み合わせるキーボードのキー(Shiftキー, Ctrlキー)と、テキストの読み取り行数を指定します。

何もキーを押さない	対象となるテキストへマウスカーソルを合わせた時に読み取る行数を【設定内容】から選択して設定します。
[Shift] キーを押しながら	キーボードの [Shift] キーを押しながら、対象となるテキストへマウスカーソルを合わせた時に読み取る行数を【設定内容】から選択して設定します。
[Ctrl] キーを押しながら	キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、対象となるテキストへマウスカーソルを合わせた時に読み取る行数を【設定内容】から選択して設定します。
[Shift]＋ [Ctrl] キーを押しながら	キーボードの[Shift]キーと [Ctrl] キーを押しながら、対象となるテキストへマウスカーソルを合わせた時に読み取る行数を【設定内容】から選択して設定します。

設定内容

読み取らない	マウスカーソルで指しても読み取りを行いません。
指した行だけ読み取る	マウスカーソルで指した行のテキストを読み取ります。
複数行を読み取る	マウスカーソルを指した行を基準にして、以下の「読み取り行数」項目の「上部」「下部」の指定に従ってテキストを読み取ります。
指した行から上を読み取る	マウスカーソルを指した行を基準にして、以下の「読み取り行数」項目の「上部」の指定に従ってテキストを読み取ります。
指した行から下を読み取る	マウスカーソルを指した行を基準にして、以下の「読み取り行数」項目の「下部」の指定に従ってテキストを読み取ります。

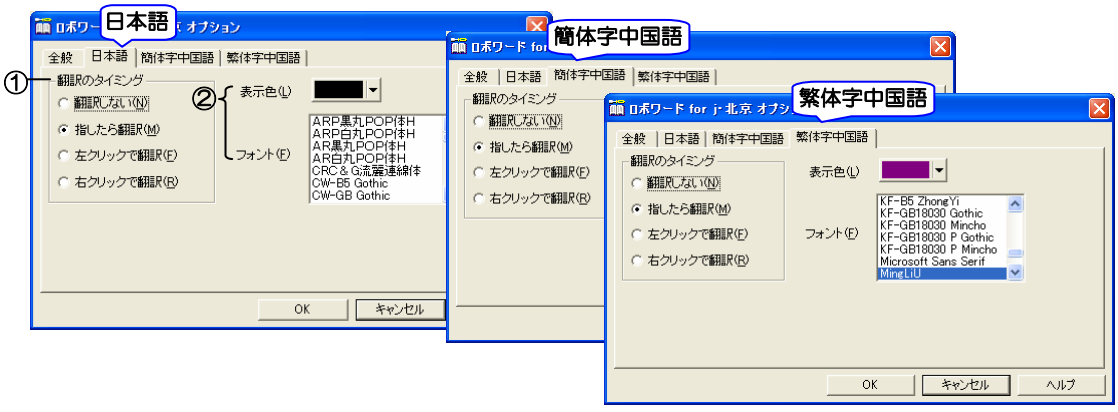
④ 読み取り行数

マウスカーソルを合わせた時に読み取る行数を指定します。「上部」「下部」それぞれに読み取りを行う行数を入力して設定します。

> 「読み取り行数」項目の設定値が有効になるのは、「文字を指した時の読み取り方法」で「複数行」「指した行から上を読み取る」「指した行から下を読み取る」のいずれかを指定している場合です。

◆ 日本語/簡体字中国語/繁体字中国語 プロパティページ

オプション画面で各言語のタブをクリックすると、プロパティページがそれぞれ表示されます。設定項目は同じです。設定内容について説明します。



① 翻訳のタイミング

ロボワードで翻訳の実行を指示する時の操作を指定します。

翻訳しない	テキストにマウスカーソルを合わせても、翻訳が行われません。
指したら翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせるだけで、翻訳が行われるようになります。
左クリックで翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせた後、マウスの左ボタンをクリックすると、翻訳が行われるようになります。
右クリックで翻訳	テキストにマウスカーソルを合わせた後、マウスの右ボタンをクリックすると、翻訳が行われるようになります。

② 表示色 / フォント

翻訳時にポップアップウィンドウへ出力される翻訳結果の表示色とフォントを設定します。表示色の設定は、このボタンをクリックすると表示されるパレットの一覧から指定したい色を直接クリックして設定します。

8 トラブルシューティング

◆ 翻訳が実行されない

ロボワードに翻訳が行われない場合は、以下の内容をご確認下さい。

◆ コントロールバーの［ ワンタッチ翻訳の ON/OFF ］ボタンがオンになっていますか?

コントロールバーの［ ワンタッチ翻訳の ON/OFF ］ボタンをオフに設定していると、ロボワードによる翻訳は行われなくなります。 P 131

◆ 対応する翻訳ソフトを導入していますか？

ロボワードで翻訳を行う場合は、J北京7が導入されていないと、ロボワードの翻訳機能を利用することはできません。

◆ マウスカーソルで指した中国語の文字のコードは適当ですか？

ロボワードの中日翻訳は、中国の標準文字コード(GBコードまたはBIG５コード)で作成された中国語テキストの翻訳にのみ対応しています。ChineseWriterのCWコードで入力した中国語のテキストをロボワードで翻訳することはできません。

◆ オプション設定の全般タブで「文字を指したときの読み取り方法」を「読み取らない」に設定していませんか？

オプション設定でロボワードの翻訳操作が制限されている場合、翻訳できないことがあります。
オプション設定の設定内容を確認し、設定内容を変更して下さい。 P 140

◆ マウスカーソルで指した文字は、イメージデータではありませんか？

ロボワードで翻訳できるのは、テキストデータのみです。
イメージデータとして画面に表示されている文字をロボワードで翻訳することはできません。

◆ 翻訳対象のテキストは、アクロバットのPDF文書ではありませんか？

ロボワードの導入直後の状態では、アクロバットのPDF文書のテキストは、翻訳できません。

PDF文書の翻訳を行う場合は、「ロボワード for J北京」のフォルダに登録されている「 アクロバットリーダで翻訳できるようにする 」を実行して、翻訳用のプラグインモジュールを導入する必要があります。 P 134

◆ Windows やアプリケーションでの操作が妨げられる

ロボワードは文書データに限らず、Windows や各アプリケーションの構成要素(メニューバー等)のテキスト部分に対しても翻訳を行うことができますが、ロボワードの翻訳によって、Windows や各種アプリケーションの操作が妨げられる場合は、以下の操作を行って回避して下さい。

◆ コントロールバーの［ ワンタッチ翻訳の ON/OFF ］ボタンをオフにする。

［ ワンタッチ翻訳のON/OFF ］ボタンをオフに設定すると、ロボワードによる翻訳は行われなくなります。
P 131

◆ 翻訳実行までの時間を長く設定する。

ロボワードがテキストを取得してから翻訳を行うまでの時間は、オプション設定の画面で設定することができ、翻訳が行われるまでの時間を長く設定することにより、Windows や各種アプリケーションでの操作が妨げられにくくすることができます。 P 139

Chapter 18　専門用語辞書

1　専門用語辞書の概要

J北京７ エキスパート、J北京７ プレミアムには、専門用語辞書が搭載されています。翻訳したいテキストの内容に応じて辞書を選択することで、専門用語を含むテキストや文書の翻訳率を向上させることができます。以下の表は、各分野に登録されている収録語数です。

系統	分野	収録語数
工学系統	建設	8,600
	機械工学	155,600
	電気工学	38,900
	電子工学	12,200
	情報処理	78,700
	金属工学	25,400
	化学	42,600
	原子力	12,000
	鉱業	8,300
理学系統	医学	103,200
	生命科学	30,200
	数学	8,300
	地質学・地理学	18,800
	物理学	15,000
	力学	10,400
農学系統	—	11,900
経済学系統	会計	5,800
	貿易	8,900
スポーツ系統	スポーツ	17,200
ファッション系統	アパレル	3,700
合計		615,700

2 専門分野指定方法

J 北京の翻訳時に専門用語辞書を指定するには、対訳エディタの環境設定で行う方法と、アプリケーション上でのアドイン翻訳の環境設定で行う方法の２通りがあります。

☞ 専門分野指定の変更は、J 北京のすべての翻訳に反映されます。J 北京対訳エディタの環境設定の内容は、アドイン翻訳時にも反映されます。アドイン翻訳の環境設定で設定した内容は、J 北京対訳エディタの翻訳時にも反映されます。
専門分野指定は、日中、中日のどちらの翻訳方向の場合も共通です。

■ J 北京対訳エディタで指定する

1. **ツールバーから ボタンをクリックすると、専門用語辞書の分野が一覧表示されます。**

2. **使用する専門用語辞書の左をクリックすると、チェックが入り専門用語辞書を使用することができます。**

3. **ダイアログ表示（R）をクリック、または、メニューバーから［ 設定(C)]ー[環境設定(I)] の「専門分野指定」をクリックすると、環境設定ダイアログの専門分野指定画面が表示されます。**

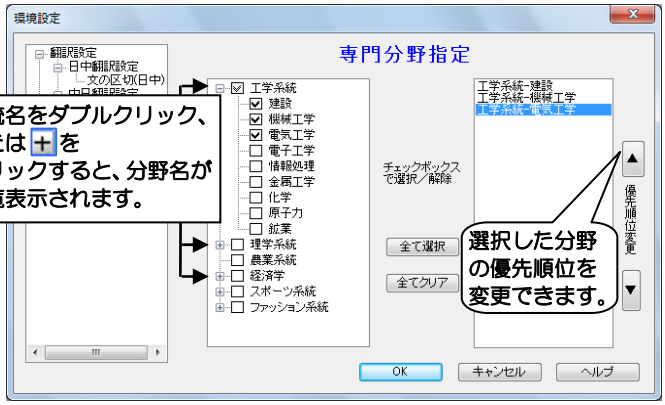
4. **翻訳時に利用する専門用語辞書の分野を選択します。**

   各系統名をダブルクリック（または、左側の ＋ をクリック）すると、分野名が一覧表示されます。
   利用する分野名のチェックボックスをクリックすると、☑ が付いて選択されます。再度クリックするとチェックがはずれ選択が解除されます。
   系統名にチェックを付けると、その系統に含まれる全ての分野が選択されます。一部の分野にチェックが入っている系統名(または上位の分野)には、部分チェック　　が表示されます。
   左画面で選択した専門分野が右画面に表示されます。
   専門用語辞書の利用は選択した順に優先されますが、▼ ▲ ボタンで優先順位を変更することができます。

［ 全て選択 ］ボタン
全ての辞書が選択されます。

［ 全てクリア ］ボタン
辞書の選択が全て取り消されます。

［ OK ］ボタン
設定を確定しダイアログを閉じます。



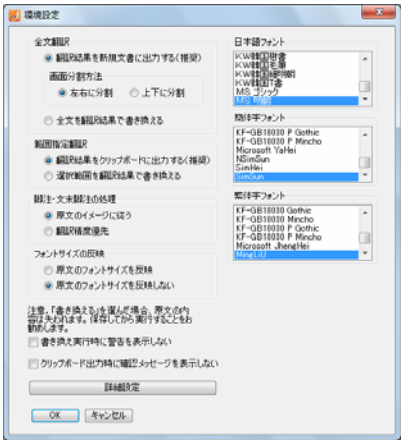
専門用語辞書をご利用の場合は、翻訳するテキストの内容に応じて適切な分野にチェックする必要があります。不適切な分野を選択すると、翻訳率を低下させる要因になりますのでご注意ください。

■ アプリケーションで指定する

アドイン翻訳（P 105）が設定されているアプリケーション上からも専門分野辞書を指定することが出来ます。指定が可能なアプリケーションは、Word、Excel、PowerPoint、一太郎、InternetExplorer のみです。

1. **アプリケーションに組み込まれた J 北京アドイン上にある ボタンをクリックします。**
   アプリケーションにより画面が異なります。

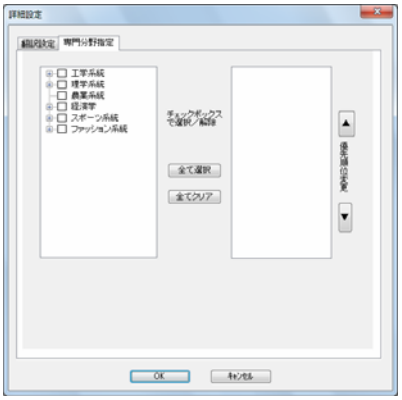
2. **環境設定ダイアログにある［ 詳細設定 ］ボタンをクリックします。**



3. **専門分野指定タブをクリックし、翻訳時に使用する専門用語辞書の分野を指定します。**

   アプリケーションによっては、専門分野指定タブしかないものもあります。

   ご利用の分野をチェックし、［ 詳細設定 ］ボタンをクリックします。



◆ 専門用語を用いた翻訳例

日中翻訳

会計	
日本語原文	新参加球団からの{預り保証金}25 億円が見直される。
未使用	来自新参加职业棒球团的{收存保证金}25 亿日元被重新评估。
使用	来自新参加职业棒球团的{存入保证金}25 亿日元被重新评估。
貿易	
日本語原文	輸出については本邦の輸出港における{本船甲板渡し価格}(FOB)と関連する。
未使用	关于出口与在我国的出口港的{主船甲板摆渡价格}(FOB)有关。
使用	关于出口与在我国的出口港的{船上交货价}(FOB)有关。
アパレル	
日本語原文	附属高校も{詰めえり}の学生服を採用した。
未使用	附属高中也采用了{能填塞}的学生制服。
使用	附属高中也采用了{立领}的学生制服。

中日翻訳

会計	
中国語原文	企业可以按照工资总额的 14%比例计算{应付福利费}，用于支付职工的医疗卫生费用和职工困难补助。
未使用	企業は給与総額の 14%割合の計算によって{福利費に対処する}ことができて、従業員の医療衛生の費用と従業員の困難な補助を支払うことに用いる。
使用	企業は給与総額の 14%割合によって{未払い福利費}を計算することができて、従業員の医療衛生の費用と従業員の困難な補助に支払をすることに用いる。
貿易	
中国語原文	送货单原则上是{一式四联}，特殊情况下可接受{一式三联}。
未使用	積荷明細書を送るのは原則的に{1 式の四聯}で、特殊に状況で{1 式の三聯}を受けることができる。
使用	送り状は原則的に{4 枚綴りセット}で、特殊に状況で{3 枚綴りセット}に引き受けることができる。
アパレル	
中国語原文	{蓄热纤维}可吸收太阳辐射中的可见光与近红外线，而反射人体的热辐射，具有良好的保温功能.
未使用	{熱の繊維を蓄えて}太陽輻射の中の可視光線と近い赤外線を吸収することができて、人体の熱輻射に反射して、良好な保温する機能がある。
使用	{蓄熱繊維}は太陽輻射の中の可視光線と近い赤外線を吸収することができて、人体の熱輻射に反射して、良好な保温する機能がある。

Chapter 20　ChineseWriterLT　概要

1 構成について

◆ 中国語入力システム

本製品には、２種類の中国語入力システムがあり、利用する環境や用途に応じて使い分けることができます。

★ ChineseWriterLT(GB)

中国本土で使用されている中国語(簡体字)の文字コード(GB コード)で、中国語が入力できる中国語入力システムです。中国本土用の文字コードで中国語が入力できますので、直接中国本土へ向けて電子メールを送信することができます。

入力システムがＯＮの時は「赤」で表示
入力システムがＯＦＦの時は「青」で表示

★ ChineseWriterLT(BIG5)

台湾で使用されている中国語（繁体字）の文字コード（BIG5 コード）で、中国語が入力できる中国語入力システムです。台湾で使用されている文字コードと同じコードで中国語が入力できますので、直接台湾へ向けて電子メールを送信することができます。

入力システムがＯＮの時は「赤」で表示
入力システムがＯＦＦの時は「青」で表示

◆ 対応アプリケーションについて

ChineseWriterLT(GB)、**ChineseWriterLT(BIG5)**は、多国語に対応したアプリケーションで利用することができます。弊社にて確認済みの対応アプリケーションは以下のとおりです。

Word 2000 / 2002/ 2003	Excel 2000 / 2002/ 2003
PowerPoint 2000 / 2002/ 2003	FrontPage 2000 / 2002/ 2003
Outlook 2000 / 2002/ 2003	Internet Explorer 5 / 6
Outlook Express 5 / 6	一太郎 9～13 / 2004 / 2005 / 2006
ワードパッド	j・北京 V4 / V5 / V6
チャイニーズパッド	China Scan2 / 3 / 4

メモ帳、ワードパッドでは、検索ダイアログや置換ダイアログで中国語の入力を行うことはできません。

◆ 中国語フォント

ChineseWriterLT から入力した中国語を画面に表示したり、プリンタで出力する場合に使用する中国語の文字が収録されたフォントファイルです。本製品には、各入力システムに対応した 4 種類のフォントが用意されています。

★ ChineseWriterLT(GB) 用 簡体字フォント

ChineseWriterLT(GB)で使用する簡体字の中国語フォントです。
各フォントファイルには、中国ＧＢ規格第１級・第２級簡体字（6763 字）と非漢字（682 字）が含まれています。

フォント名	書体名	サンプル
KF-GB Mincho **KF-GB P Mincho**	みんちょう 明朝	黄河之水天上来奔流到海
KF-GB Gothic **KF-GB P Gothic**	ゴシック	黄河之水天上来奔流到海

※ 「GB」の後に「P」が付かないのは、固定ピッチフォントです。
「GB」の後に「P」が付くのは、プロポーショナルフォントです。

★ ChineseWriterLT(BIG5) 用 繁体字フォント

ChineseWriterLT (BIG5)で使用する繁体字の中国語フォントです。
各フォントファイルには、台湾 BIG5 第 1 水準、第２水準繁体字(13053)字と非漢字(441 字)が含まれています。

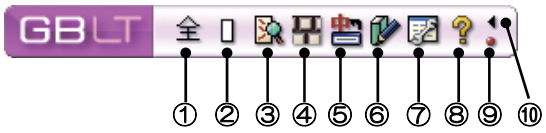
フォント名	書体名	サンプル
KF-B5 Mincho **KF-B5 P Mincho**	みんちょう 明朝	請君為我傾耳聽鐘鼓饌玉
KF-B5 Gothic **KF-B5 P Gothic**	ゴシック	請君為我傾耳聽鐘鼓饌玉

プリンタが多国語に対応していない場合、**ChineseWriterLT** の GB、BIG5 コード用フォントでは中国語の印刷は出来ません。

j・北京対訳エディタ及び j・北京連携翻訳での翻訳時に扱える文字コードは、GB2312 コードのみになります。j・北京対訳エディタで簡体字入力の際には、ChineseWriterLT(GB)での入力は GB2312 で行って下さい。

2 機能について

ChineseWriterLT の各ボタンの機能について説明します。

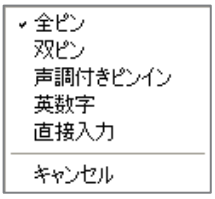


① 入力モードボタン

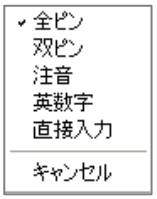
入力モードを切り替えます。
入力モードは、入力モードボタンをクリックして一覧から選択すると切り替えることができます。

※ 各入力モードの詳細は、「入力モードについて」をご覧下さい。 P **149**

ChineseWriterLT(GB)



ChineseWriterLT(BIG5)



② 入力サイズボタン

ChineseWriterLT から入力する文字の大きさ（全角、半角）を切り替えます。
入力サイズボタンはトグル形式のボタンになっていますので、クリックすると半角と全角が交互に切り替わります。

入力モードがひらがな入力モード、カタカナ入力モードの場合は、全角の入力サイズに固定され、声調付きピンイン固定入力モードの場合は、半角の入力サイズに固定されます。

（半角）	半角サイズの文字が入力されます。【例】nimenhao!
（全角）	全角サイズの文字が入力されます。【例】ｎｉｍｅｎｈａｏ！

③ 部首･コード入力ボタン

このボタンをクリックすると、部首･コード入力ダイアログが表示されます。
部首･コード入力ダイアログの機能や詳細は、＜Chapter23 ChineseWriterLT 機能の詳細＞の「部首･コード入力について」をご覧下さい。 P **170**

④ 仮想キーボードボタン

このボタンをクリックすると、仮想キーボードのウィンドウが表示されます。
仮想キーボードの内容については、＜Chapter23 ChineseWriterLT 機能の詳細＞の「仮想キーボード」をご覧下さい。 P **173**

⑤ 日中どこでも翻訳

このボタンをクリックすると、「日中どこでも翻訳」入力ツールが起動します。
「日中どこでも翻訳」の機能の詳細は、＜Chapter23 ChineseWriterLT 機能の詳細＞をご覧下さい。 P **174**

⑥ ユーザー辞書登録ボタン

このボタンをクリックすると、ユーザー辞書登録ダイアログが表示されます。
内容や単語の登録、削除の操作方法については、＜Chapter24 ChineseWriterLT 辞書編集＞をご覧下さい。 P **175**

⑦ 環境設定ボタン

ChineseWriterLTの環境設定を行う場合に利用します。このボタンをクリックすると、環境設定ダイアログが表示されます。環境設定ダイアログの設定項目や設定方法については、<Chapter25 ChineseWriterLT 環境設定>をご覧下さい。P 179

⑧ ヘルプボタン

このボタンをクリックすると、**ChineseWriterLT**の機能や操作方法を説明したヘルプウィンドウが表示されます。**ChineseWriterLT**の機能や操作方法を調べたい場合にご利用下さい。

⑨ IME ON/OFF 切替ボタン

ChineseWriterLTのオン／オフを切り替えます。
IME ON/OFF切替ボタンがオンの場合、IME ON/OFF切替ボタンは赤色で表示され、キーボードから入力した文字は、**ChineseWriterLT**によって制御されます。
キーボードから入力を行うと、**ChineseWriterLT**で指定されている入力モードによって入力される文字が変わり、[変換]キーを押すと中国語へ変換することができます。
IME ON/OFF切替ボタンがオフの場合、IME ON/OFF切替ボタンは青色で表示され、キーボードから入力した文字は、**ChineseWriterLT**に制御されません。
キーボードから入力を行うと、キーボードのキートップに表示されているアルファベットや数字、記号がそのまま入力されます。

⑩ ツールバー切替ボタン

ChineseWriterLTのツールバーに表示するボタンの内容を切り替えます。
環境設定で、ツールバーに表示するボタンと表示しないボタンを設定した場合に利用することができます。すべて表示か設定されたもののみの表示かが切り替わります。

3 入力モードについて

ChineseWriterLTには、各文字の入力に適した以下の入力モードが用意されています。

全	**全ピン**	ピンインを１文字ずつ入力する場合に指定します。 基本的には、キーボードのキートップにプリントされている文字や記号がそのまま入力されます。
双	**双ピン**	ピンインの１音節を声母と韻母に分けて割り当てたキーボード配列になります。 双ピン入力モードに設定すると、ピンインの１音節が２打鍵で入力できるようになります。
注	**注音**	注音の字母を割り当てたキーボード配列になります。 ※ 注音入力モードは、台湾などの繁体字の中国語を使用している国で利用されている入力方式です。
A	**英数字**	キーボードのキートップにプリントされている英数字や記号がそのまま入力されます。
声	**声調付き ピンイン**	声調記号の付いたピンインを入力する場合に切り替えます。 ピンインの１音節入力後に対応した数字声調を入力すると、ピンインに声調記号が付加されます。
A	**直接入力**	**ChineseWriterLT** から制御しません。 キーボードのキートップにプリントされている英数字や記号がそのまま入力されます。

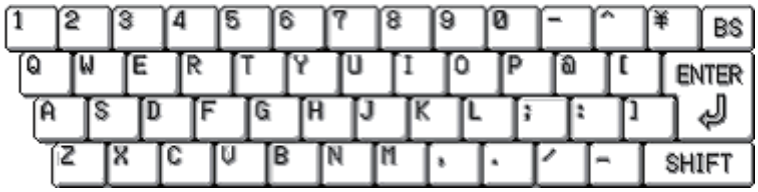
※ **ChineseWriterLT(GB)**には、「注音モード」はありません。
※ **ChineseWriterLT(BIG5)**には、「声調付きピンインモード」はありません。

4 キーボードの割り当てについて

ChineseWriterLT から指定した入力モードによって、キーボードに割り当てられる内容が変わります。

◆ 全ピン入力モード時のキーボード割り当て

基本的には、キーボードのキートップにプリントされている内容と同じ割り当てになります。



★ 環境設定の「ピンイン、注音分かち書き」を「する」に設定している場合、分かち書きを行うキー[; ,]が表示されます。正しく分かち書きが行われなかった場合は、[; ,]キーを入力して分かち書きを行って下さい。

◆ 双ピン入力モード時のキーボード割り当て

入力モードを「双ピン入力」へ切り替えると、キーボードに双ピン（声母、韻母）の読みが割り当てられます。
ピンインの記憶があいまいな場合に利用すると便利です。

各キーに対応した子音が赤色で表示され、入力できないキーはグレイアウトされます。

仮想キーボードの [H h] をクリックすると、[H h] の次に入力可能な母音が青色文字で表示され、入力できないキーはグレイアウトされます。

※ 双ピンで韻母から始まるピンインを入力する場合は隔音キー（[O]キー）入力した後、韻母を入力します。

◆ 注音入力モード時のキーボード割り当て

入力モードを「注音入力」へ切り替えると、キーボードに注音の字母が割り当てられます。

※ 対応キーが数字の場合、テンキーを押して入力することはできません。

Chapter 21　ChineseWriterLT　基本操作

この章では、実際の作業を通して、Windows に標準搭載されているアプリケーション「ワードパッド」へ中国語を入力する方法を練習します。この章で中国語入力の基本的な操作ができるようになりましたら、必要に応じて＜Chapter22 ChineseWriterLT 入力と変換＞をお読み下さい。

中国語を入力する
Windows に標準搭載されているアプリケーション「ワードパッド」に、簡体字中国語“欢迎”を入力する。
（繁体字中国語では、“歡迎”と変換されます。）

1. ワードパッドを起動します。

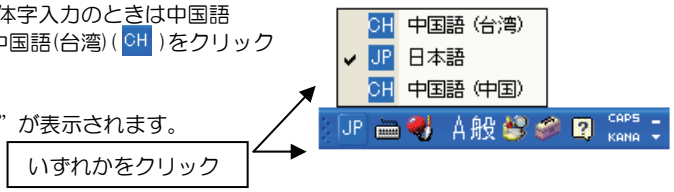
1）タスクバーの［ スタート ］ボタンをクリックします。
2）スタートメニューから［ すべてのプログラム(P)］(あるいは［ プログラム(P)］)をポイントします。
※ ポイントとは、目的の部分にマウスカーソルを合わせる動作を言います。
3）プログラムメニューから［ アクセサリ ］をポイントします。
4）アクセサリのメニューから［ ワードパッド ］をクリックします。

2. 入力システムを切り替えます。

★ Windows XP または Office XP を使用している場合 ★

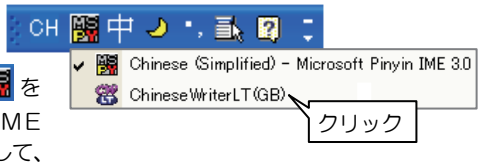
1）言語バーからJP（ JP ）を選択し、簡体字入力のときは中国語（中国）（ CH ）を(繁体字入力のときは中国語(台湾)（ CH ）をクリックします。

※ 選択されている言語には、左横に“✔”が表示されます。



2）入力システムが **ChineseWriterLT(GB)**（または **ChineseWriterLT(BIG5)**）になると、右のように言語バーのアイコンが変わり、画面上に **ChineseWriterLT(GB)**のツールバー（または **ChineseWriterLT(BIG5)**）が表示されます。

ChineseWriterLT(GB)以外に、中国語(簡体字)入力システムがある場合は、右のように表示されることがあります。



この場合は、言語バー上のＩＭＥをあらわすアイコン をクリックし、インストールされている中国語(簡体字)ＩＭＥの一覧を表示し、**ChineseWriterLT(GB)**をクリックして、**ChineseWriterLT(GB)**のツールバーに切り替えて下さい。

※ 中国語（繁体字）入力システムについても同様の手順で切り替えることができます。

★ Windows XP または Office XP 以外を使用している場合 ★

1）タスクバーの右に表示されているタスクトレイから多国語インジケータをクリックして、入力システムの一覧を表示します。

※ 上記の多国語インジケータは、Windows の標準 IME に MS-IME98 を設定している場合に表示されるアイコンです。他の IME が Windows の標準 IME に設定されている場合、上記のアイコンとは異なります。

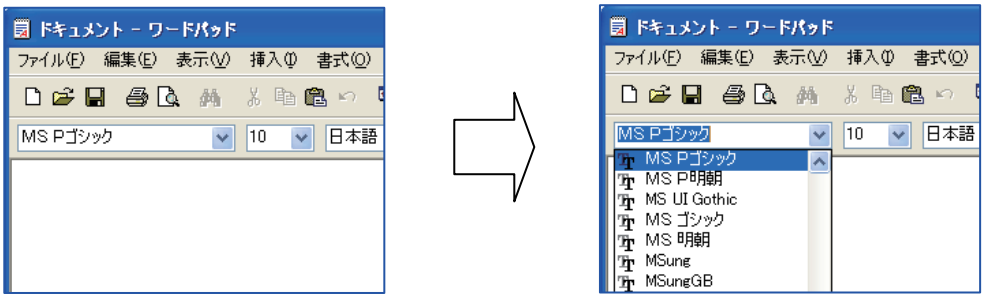
2）入力システムの一覧から、簡体字入力のときは**ChineseWriterLT(GB)**（繁体字入力のときは**ChineseWriterLT(BIG5)**）をクリックします。
選択されている入力システムには、左横に“▶”が表示されます。

3）入力システムが **ChineseWriterLT(GB)** （または**ChineseWriterLT(BIG5)**）になると、以下のように多国語インジケータのアイコンが**ChineseWriterLT**のアイコンに変わり、画面上に **ChineseWriterLT(GB)**（または、**ChineseWriterLT(BIG5)**）のツールバーが表示されます。

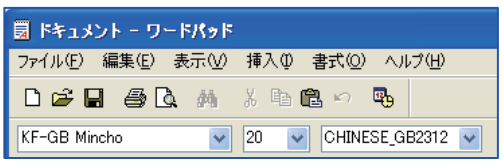
3. ワードパッドのフォント設定を、入力システムに対応したフォントに変更します。

ここでは、例として **ChineseWriterLT(GB)**の簡体字フォント“KF-GB Mincho”を選択します。
（**ChineseWriterLT(BIG5)**をお使いのときは、繁体字フォント“KF-B5 Mincho”を選択してください。）

1）フォントボックス横の ▼ ボタンをクリックしてフォントのリストボックスを開きます。



2）**ChineseWriterLT(GB)**の簡体字入力時に利用するフォント（KF-GB Mincho）をクリックして選択します。
（**ChineseWriterLT(BIG5)**をお使いのときは、
繁体字フォント“KF-B5 Mincho”を選択してください。）

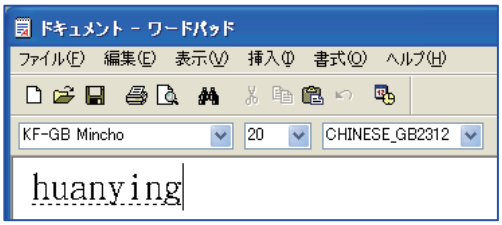


4. キーボードから［ 漢字 ］キーを押すか、IME ON/OFF 切替ボタンをクリックして、ChineseWriterLT を ON にします。

☞ ChineseWriterLT をＯＮにすると、IME ON/OFF 切替ボタンが青色から赤色に変わります。
NEC PC-98 シリーズの［ 漢字 ］キーは［CTRL］+［XFER］、106/109 キーボードの［ 漢字 ］キーは［ 全角/半角 ］、101 キーボードの[漢字]キーは［ Alt ］+［ ~ ］です。

5. キーボードから H U A N Y I N G とキー入力します。

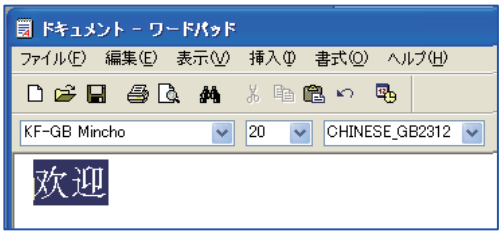
ワードパッドには、右のように表示されます。



6. キーボードから［Space］キーまたは、［ 変換 ］キーを押して中国語へ変換します。

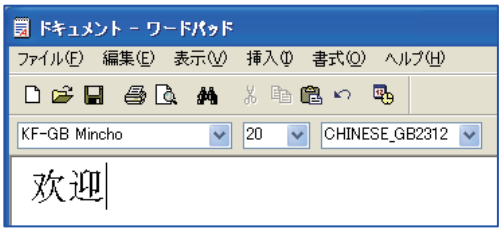
“散哭”と表示されます。

（**ChineseWriterLT(BIG5)**をお使いのときは、”歡迎 ”と表示されます。）



※“huanying”のピンインに該当する候補は複数あります。
「散哭」へ変換されない場合は、［ Space ］キー または、［ 変換 ］キーをもう一度押して下さい。

7. キーボードから［ Enter ］キーを押して、「欢迎」を確定します。



Chapter 22　ChineseWriterLT　入力と変換

1 中国語の入力について

キーボードには、アルファベット、数字、記号など色々な文字が印刷されています。
アルファベットや数字などは、キーボード上の対応するキーを押すと入力することができますが、中国語はキーボード上のキーを押して、直接入力することはできません。
ChineseWriterLT では、中国語の読みをピンインまたは注音で入力して、日本語変換システムと同様に変換キーを押して中国語へ変換して入力します。

ピンイン	中国語の読みを表すものとしては、最もポピュラーなものです。 日本語では、漢字の読みとして仮名を振りますが、中国語では漢字の読みを示すものとしてアルファベット・ローマ字綴りの読み（你好 ⇒ nihao、谢谢 ⇒xiexie）を使います。 ピンインとは、このアルファベット・ローマ字綴りの読みのことを表します。ピンインは、日本人にとって最も馴染み易い中国語の入力方法です。
注音	繁体字圏の中国語の漢字の字音表記に用いられる音標文字で・や・・・のように筆画の簡単な漢字または、漢字の一部を用いて中国語の読みを表したものです。 台湾などで繁体字の中国語を入力するのに用いられている入力方法です。

☞ **ChineseWriterLT** には、中国本土で使用されている簡体字の中国語を入力するために２種類の入力モード(全ピン入力､双ピン入力)と､台湾で使用されている繁体字の中国語を入力するために３種類の入力モード(全ピン入力、双ピン入力、注音入力)が用意されています。

◆ 入力モードの比較

全ピン入力、双ピン入力、注音入力で比較した場合の長所と短所を以下に示します。

入力モード	解説	長所 / 短所	
全ピン入力	簡体字・繁体字の中国語を入力する場合に利用できます。 全ピン入力は、キーボード上のアルファベット表記に従って、ピンインを 1 文字ずつ入力していきます。	長所	キーボード上のアルファベット表記に従って入力するため、新しくキー配列を覚えなくても入力することができる。
		短所	ピンインを１文字ずつ入力するため、キーの入力回数が多くなる。
双ピン入力	簡体字・繁体字の中国語を入力する場合に利用できます。 双ピン入力は、キーボードに割り当てられた声母と韻母を交互に入力してピンインの 1 音節を入力していきます。	長所	全ピン入力よりも少ないキー入力で読みが入力できるため、慣れると、全ピン入力よりも速く入力できる。
		短所	キーボードに割り当てられた双ピンのキーボード配列を新しく覚える必要がある。
注音入力	繁体字の中国語を入力する場合に利用できます。 注音入力は、キーボードに割り当てられた注音の字母を入力していきます。	長所	全ピン入力よりも少ないキー入力で読みが入力できるため、慣れると、全ピン入力よりも速く入力できる。
		短所	キーボードに割り当てられた注音のキーボード配列を新しく覚える必要がある。

2 入力の前に

◆ 連文節変換と単文節変換について

中国語の入力は、「連文節変換」による入力と「単文節変換」による入力とに分けることができます。

「連文節変換」は、すべての読みを１度に入力して、１回の変換操作でまとめて中国語へ変換して入力していきます。
「連文節変換」で入力を行った場合、変換操作が１回で済みますが、文節の区切り間違いによって誤った語へ変換されることがあります。

※ 区切り間違いによって誤って変換された語は、文の区切りを正しく指定し再変換を行う必要があります。

「単文節変換」は、１文節の読みを入力する毎に変換操作を行って、文節単位に中国語を入力していきます。
「単文節変換」で入力を行った場合、１つの文節を入力する毎に変換を行っていきますので、文節の区切り間違いによって誤った語へ変換されることはありませんが、[変換]キーを押す回数が多くなります。

「連文節変換」と「単文節変換」のどちらの方が良いといったことはありませんので、入力し易い方法で中国語を入力してください。

◆ 文字種と文字サイズについて

ChineseWriterLTからピンインを入力して中国語へ変換する場合、入力するピンインの文字サイズや大文字、小文字は問いません。

右のようにピンインを入力した場合、いずれの場合も
“ 低挫 ”へ正しく変換できます。

ＮＩHAO	全角、大文字
ｎｉｈａｏ	全角、小文字
NIHAO	半角、大文字
nihao	半角、小文字

◆「ü」のピンインについて

ピンインでは、アルファベット(Ａ～Ｚ)のほかに「ü」の文字が使われますが、「ü」の文字キーは、キーボード上にないため、**ChineseWriterLT**では、[Ｖ]キーに「ü」を割り当てています。

例えば、「女」の文字はピンインで“nü”となりますが **ChineseWriterLT**では、[Ｎ][Ｖ]と入力して [Space] キーまたは、[変換] キーを押すと「女」の漢字へ変換することができます。

3 中国語(簡体字)を入力する

連文節変換時の入力

簡体字の中国語を「連文節変換」で入力する。

[例]

中国語	低断挫！散哭低断
ピンイン	nimenhao!huanyingnimen

1. キーボードから“ 你们好！欢迎你们 ”のピンインをすべて入力します。

全ピン: N I M E N H A O [Shift]+ ! H U A N Y I N G N I M E N

双ピン: N I M R H D [Shift]+ ! H X Y ; N I M R

nimenhao!huanyingnim

2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

低断挫！散哭低断

3. [Enter] キーを押して確定します。

※ **ChineseWriterLT**では、64文字までのピンインを
1度に入力して変換することができます。

単文節変換時の入力

簡体字の中国語を「単文節変換」で入力する。

[例]

中国語	低断挫！散哭低断
ピンイン	nimenhao!huanyingnimen

1. キーボードから“你们”のピンインを入力します。

全ピン: N I M E N
双ピン: N I M R

2. [Space] キーまたは、[变换] キーを押して中国語へ变换します。

低断

3. キーボードから“好！”のピンインを入力します。

全ピン: H A O [Shift]+ !
双ピン: H D [Shift]+ !

低断 hao!

4. [Space] キーまたは、[变换] キーを押して中国語へ变换します。

低断挫！

5. キーボードから“欢迎”のピンインを入力します。

全ピン: H U A N Y I N G
双ピン: H X Y ;

低断挫！huanying

6. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

低断挫！散哭

7. キーボードから“你们”のピンインを入力します。

全ピン: N I M E N
双ピン: N I M R

低断挫！散哭 nimen

8. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

低断挫！散哭低断

9. [Enter] キーを押して確定します。

低断挫！散哭低断

ピンインの訂正

入力中のピンインを訂正する。

[例] ：誤 nim**ao**hao　正 nim**en**hao]

誤って入力したピンインは、入力中、変換中どちらの状態でも削除して正しく入力し直すことができます。

1. [←] キーを押して、誤って入力されたピンインの後ろへカーソルを移動します。

nimaolhao

2. 誤って入力したピンインを [BackSpace] キーを押して、削除します。

※ 全ピン入力モードでピンインを入力した場合は、[BackSpace] キーを2回、双ピン入力モードでピンインを入力した場合は、[BackSpace] キーを1回押すと、誤って入力されたピンイン（ao）が削除されます。

nimlhao

3. 正しいピンインを入力します。

※ 全ピン入力モードでピンインを入力している場合は、[E] キー, [N] キーを押します。 双ピン入力モードでピンインを入力している場合は、[R]キーを押します。

nimenlhao

4. [→] キーを押してカーソルを文末へ戻します。

nimenhao l

ピンインの訂正

変換後のピンインを訂正する。

鈉丹催 l

1. [Shift] キーを押しながら [Esc] キーを押して、変換された中国語を読みの入力状態へ戻します。

nimaohao l

2. [←] キーを押して、誤って入力されたピンインの後ろへカーソルを移動します。

nimaolhao

3. 誤って入力したピンインを［BackSpace］キーを押して、削除します。

※ 全ピン入力モードでピンインを入力した場合は、［ BackSpace ］キーを2回、双ピン入力モードでピンインを入力した場合は、［BackSpace］キーを1回押すと、誤って入力されたピンイン(ao)が削除されます。

nim▌hao

4. 正しいピンインを入力します。

※ 全ピン入力モードでピンインを入力している場合は、［Ｅ］キー,［Ｎ］キーを押します。 双ピン入力モードでピンインを入力している場合は、［Ｒ］キーを押します。

nimen▌hao

5. [→] キーを押してカーソルを文末へ戻します。

nimenhao ▌

6. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

低断挫

変換結果の訂正　**同音語へ変換された場合に訂正する。**

[例] 誤 低断挫！**暫吩**低断　正 低断挫！**散哭**低断

中国語には同音語（読みの同じ単語）が多いために違う漢字へ変換されたり、文節の区切り間違いによって誤った単語へ変換されることがあります。正しく変換できなかった単語は、再変換や文節の区切りを指定すると正しい中国語の漢字へ変換することができます。

異なる同音語の単語へ変換された場合は、再変換を行うと正しく入力することができます。

1. ピンインを入力します。

nimenhao!huanyingnimen

2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

低断挫！暫吩低断

3. [←]/[→] キーを押して、誤って変換された文節（ 幻影 ）へ移動します。

低断挫！暫吩低断

4. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して、“幻影”を正しい単語“欢迎”へ変換します。

低断挫！散哭低断

5. [Enter] キーを押して確定します。

低断挫！散哭低断

変換結果の訂正　　**不適切な文節の区切りで変換された場合に訂正する。**

［例］　誤　忽社填匝答臣溜垂氏　　正　忽縞安爽謄針溜垂氏

不適切な文節の区切りで変換された場合は、文節を調整すると正しく入力することができます。

1. ピンインを入力します。

2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

忽社填匝答臣溜垂氏

3. [Shift] キーを押しながら、[←] キーを押して文節を正しく指定します。

guoji aolinpikeweiyuanhui

※［ Shift ］キーを押しながら［ ← ］キーを押すと、選択されている語句の文節を文頭方向へ縮めることができます。
［ Shift ］キーを押しながら［ → ］キーを押すと、選択されている語句の文節を文末方向へ伸ばすことができます。

4. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

忽縞安爽謄針溜垂氏

5. [Enter] キーを押して確定します。

忽縞安爽謄針溜垂氏

4 中国語(繁体字)を入力する

繁体字の中国語を「連文節変換」と「単文節変換」で入力する方法を「注音入力モード」を使って説明します。

連文節変換時の入力

[例]

中国語	你們好！歡迎你們
注　音	・・・・・・！・・・・・・・・・・ ※ **ChineseWriterLT (BIG5)** では、注音の「・」は、「ー」で表示されます。

繁体字の中国語を全ピン入力モード、双ピン入力モードで入力する方法については、「中国語（簡体字）を入力する」を参照してください。繁体字の中国語を全ピン、双ピンで入力する場合の操作は、簡体字を入力する場合と同じです。

1. キーボードから“你們好！歡迎你們”のピンインをすべて入力します。

・・・・・・！・・・・・・・・・・

注音: S U A P C L [Shift] + ! C J 0(ゼロ) U / S U A P

2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

你們好！歡迎你們

3. [Enter] キーを押して確定します。

你們好！歡迎你們

※ **ChineseWriterLT** では、43 文字までの注音を、１度に入力して変換することができます。

単文節変換時の入力

[例]

中国語	你們好！歡迎你們
注　音	・・・・・・！・・・・・・・・・・ ※ **ChineseWriterLT (BIG5)** では、注音の「・」は、「ー」で表示されます。

1. キーボードから“你們”の注音を入力します。

注音: S U A P

2. [Space] キーまたは、[変換]キーを押して中国語へ変換します。

你們

3. キーボードから“好！”の注音を入力します。

注音: C L [Shift] + !

你們・・！

4. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

你們好！

5. キーボードから“歡迎”の注音を入力します。

注音: C J 0(ゼロ) U /

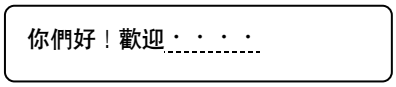
你們好！・・・・・・

6. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

你們好！歡迎

7. キーボードから“你們”の注音を入力します。

注音: S U A P

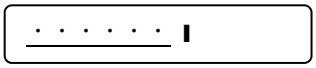


8. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

9. [Enter] キーを押して確定します。

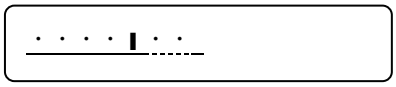
注音の訂正　**入力中の注音を訂正する。**

[例]：誤 ・・・・・・ 正 ・・・・・・

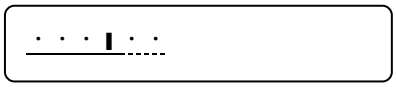


誤って入力した注音は、入力中、変換中どちらの状態でも削除して正しく入力し直すことができます。

1. [←] キーを押して、誤って入力された注音の後ろへカーソルを移動します。

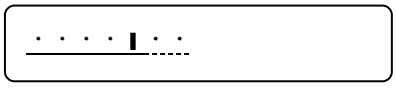


2. 誤って入力した注音を [BackSpace] キーを押して、削除します。



3. 正しい注音を入力します。

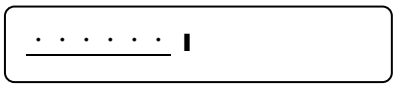
※ ・は、［Ｐ］キーを押すと入力できます。



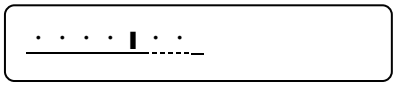
4. [→] キーを押してカーソルを文末へ戻します。

注音の訂正　**変換後の注音を訂正する。**

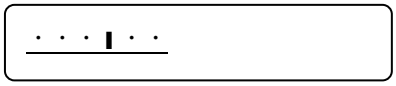
1. [Shift] キーを押しながら [Esc] キーを押して、変換された中国語を読みの入力状態へ戻します。



2. [←] キーを押して、誤って入力された注音の後ろへカーソルを移動します。

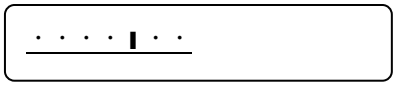


3. 誤って入力した注音を[BackSpace]キーを押して、削除します。



4. 正しい注音を入力します。

※ ・は、［Ｐ］キーを押すと入力できます。



5. [→] キーを押してカーソルを文末へ戻します。

6. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

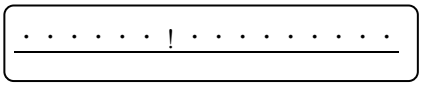
変換結果の訂正　　**異なる同音語の単語に変換された場合**

[例]　誤　你們好！**幻影**你們　　正　你們好！**歡迎**你們

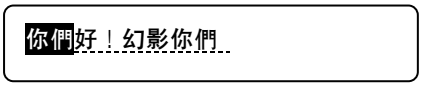
中国語には同音語（読みの同じ単語）が多いために違う漢字へ変換されたり、文節の区切り間違いによって誤った単語へ変換されることがあります。

正しく変換できなかった単語は、再変換や文節の区切りを指定すると正しい中国語の漢字へ変換することができます。

1. 注音を入力します。



2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。



3. [←] / [→] キーを押して、誤って変換された文節（ 幻影 ）へ移動します。

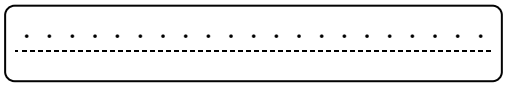
4. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して、“幻影”を正しい単語“歡迎”へ変換します。

5. [Enter] キーを押して確定します。

変換結果の訂正　　**不適切な区切りで変換された場合**

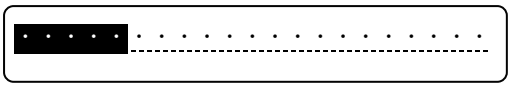
[例]　誤　鍋交臨批棵委員會　　正　國際奧林匹詭委員會

1. 注音を入力します。



2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

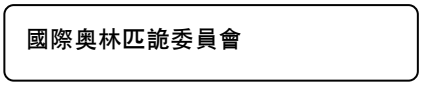
3. [Shift] キーを押しながら、[→] キーを２回押して文節を正しく指定します。



※［Shift］キーを押しながら［ ← ］キーを押すと、選択されている語句の文節を文頭方向へ縮めることができます。
［Shift］キーを押しながら［ → ］キーを押すと、選択されている語句の文節を文末方向へ伸ばすことができます。

4. [Space] キーまたは、[変換] キーを押して中国語へ変換します。

5. [Enter] キーを押して確定します。



5 短縮変換

全ピン入力モードを利用している場合、**ChineseWriterLT** からピンインの１音節の頭文字を入力するだけで変換できる機能があります。変換されない場合でも、一度全てのピンイン入力から変換して入力すると、学習機能によって次回入力時から短縮変換できるようになります。

例えば、“低挫”の中国語を入力する場合、ピンインで「**nihao**」と入力して変換しますが、次に“低挫”を入力する時には、「**nh**」と入力して［Spcae］キーを押すと変換することができます。

※ 学習機能は、**ChineseWriterLT** の環境設定で学習機能が「ON」に設定されている場合に利用できます。

6 声調を付加して変換する

ChineseWriterLTで単漢字を入力する場合、ピンイン（または、注音）を入力して変換すると、100以上の候補が表示されることがあります。
この場合、100以上ある候補の中から目的の候補を選択するのは、大変な作業になります。 **ChineseWriterLT**では、ピンイン（または、注音）に声調を付加して変換すると変換候補を絞り込んで少ないキー操作で目的の漢字を入力することができます。

※ GBコード簡体字の場合は、軽声の声調記号は入りません。

☞ ピンインや注音は、同じ読みでも声調によって１～４声(声の高い低い、声の上げ下げ)と軽声(軽く、短く発音する)に分けられています。

◆ 声調の入力について

★ ピンイン

ピンインで声調を付けて変換する場合は、ピンインの後ろに以下の対応する数字（数字声調）を入力します。

軽声	第１声	第２声	第３声	第４声
0	1	2	3	4

★ 注音の場合

注音で声調を付けて変換する場合は、注音の後ろに以下の声調記号を入力します。

軽声	第１声	第２声	第３声	第４声
・	ㄧ	ˊ	ˇ	ˋ

軽声は、注音入力モード時にキーボードから［７］キーを押すと入力できます。
第１声は、注音入力モード時にキーボードから［@］キーを押すと入力できます。
第２声は、注音入力モード時にキーボードから［６］キーを押すと入力できます。
第３声は、注音入力モード時にキーボードから［３］キーを押すと入力できます。
第４声は、注音入力モード時にキーボードから［４］キーを押すと入力できます。

※ 軽声、第２声、第３声、第４声は、テンキーで入力することはできません。

◆ 声調を付加して変換した場合の優位性

声調を付けて変換を行うと、変換候補を絞り込むことができます。
例えば、ピンインで“ｍａ”と入力して変換する場合、29の候補がありますが声調付きで変換した場合は各声調ごとに候補が絞られるため候補の選択が容易になります。

声 調	入 力	候 補
な　し	ｍａ	吗妈嘛马骂麻码玛嬤摩蚂蟆唛貉祃鎷溤傌犸抹么鰻犘帓枴睹撦閂鰻
軽　声	ｍａ０	吗嘛么蟆
第１声	ｍａ１	妈嬤摩蚂麻抹撦
第２声	ｍａ２	嘛麻蟆吗犘么
第３声	ｍａ３	马码吗玛蚂唛鎷溤犸鰻鰻
第４声	ｍａ４	骂蚂貉祃唛傌帓枴睹閂

左の例では、声調なしで「马」の漢字を選択する場合、29の候補から４番目までを順に見ていかなければなりませんが、ピンインに声調（3声）を付加して変換すると１番目の変換で目的の漢字を入力することができますし、他の漢字についても数回の変換で目的の漢字を入力することができます。
このことから、単漢字を入力する場合には声調を付加して、変換すると非常に効率よく入力を行うことができます。

7 同音語から目的の漢字を選択する

中国語には、同音語がたくさん存在するため、[変換]キーを１回押しただけでは、目的の中国語の漢字が表示されるとは限りません。

複数の同音語から目的の漢字を選択する。［例］ 詩集（ shiji ）

1. キーボードから中国語の読みを入力します。

shiji

2. [Space] キーまたは、[変換] キーを押すと最初の変換候補が表示されます。

目的の単語ではないので、[Space] キーまたは [変換] キーを押して再変換します。

弊射

3. 次の変換候補が表示されます。

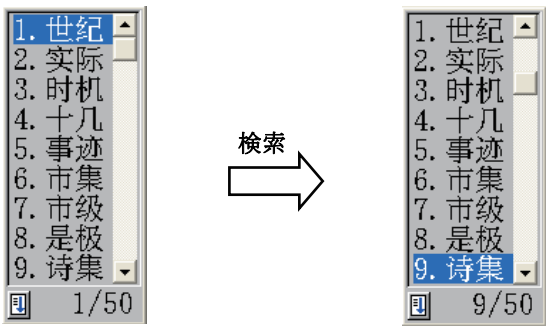
この単語も目的の単語ではないので、[Space] キーまたは [変換] キーを押して再変換します。

糞縞

※ **ChineseWriterLT** の初期値では、カーソル位置で 2 回候補を表示し、3 回目に変換キーを押した時に候補一覧が表示されるように設定されていますが候補一覧を表示するまでの変換回数は、**ChineseWriterLT** の環境設定で変更することができます。**185**

4. 候補一覧が表示されます。

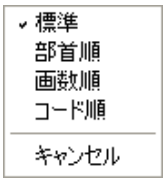
候補一覧から目的の単語を選択後、
[Enter] キーを押して確定します。



◆ 候補一覧に表示される候補の並べ替えについて

候補一覧に表示された候補は、部首や画数などの順に並べ替えることができます。
単漢字を変換した場合、漢字の読みによっては、100以上表示されるものがありますが、候補一覧の ボタンをクリックして並べ替えを行うと、目的の候補が探しやすくなります。

候補一覧から ボタンをクリックすると、以下の一覧が表示されます。



標準	候補一覧に表示されている候補を辞書の登録順に並べ替えます。
部首順	候補一覧に表示されている候補を漢字の部首順に並べ替えます。
画数順	候補一覧に表示されている候補を漢字の画数順に並べ替えます。
コード順	候補一覧に表示されている候補を漢字のコード順に並べ替えます。

一覧から「標準」「部首順」「画数順」「コード順」のいずれかを選択すると、候補一覧に表示されている候補が選択した順に並べ替えられます。

※ 熟語の場合は、先頭の漢字で並べ替えが行われます。

※ 漢字以外の文字が候補一覧に表示されている場合、「部首順」「画数順」を選択しても、すべて「コード順」で並べ替えられます。

8 読みのわからない中国語を入力する

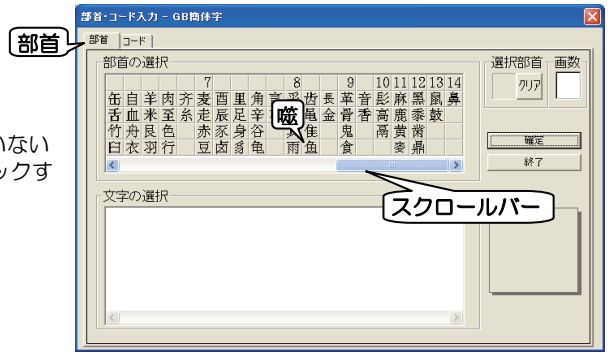
部首入力から中国語を入力する
[例] 訾　　“訾”**の部首**“嗤”**8画**　　“京”**の画数　8画**

読みのわからない中国語は、**ChineseWriterLT** の各種機能を利用すると入力することができます。

1. ChineseWriterLTのツールバーから **ボタンをクリックします。**

部首･コード入力ダイアログが表示されます。

※ 部首･コード入力ダイアログが“部首”になっていない場合は、ダイアログ上部の［ 部首 ］タブをクリックすると、“部首”へ切り替えることができます。



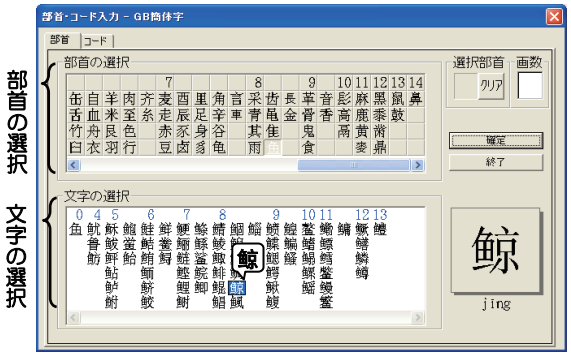
2. “鯨”**の部首である**“魚”**は 8 画になりますので、スクロールバーを移動して［ 部首の選択 ］に 8 画の部首を表示します。**

3.［ 部首の選択 ］から［ 魚 ］ボタンをクリックします。

［ 文字の選択 ］には“魚”の部首を含む漢字が一覧表示されます。

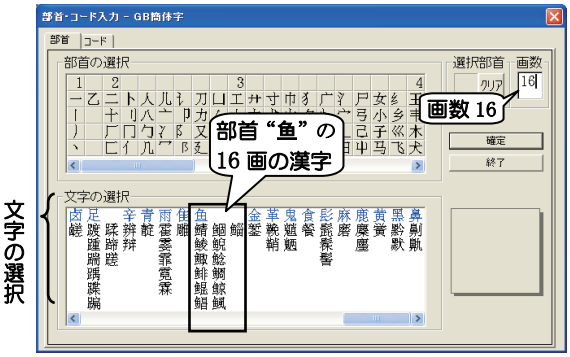
4.［ 文字の選択 ］に表示された漢字の一覧から8画(京の画数)に表示されている“鯨”をクリックして選択後［ 確定 ］ボタンをクリックするか、“鯨”をダブルクリックすると、“鯨”が利用しているアプリケーションのカーソル位置に入力されます。

※ 選択部首を選択後、部首画数を除いた画数を「画数」に入力して検索することもできます。



★ 総画数で検索する場合　　“嘗”の総画数　16画

［ 文字の選択 ］には部首別に、総画数が16画の漢字だけが表示されます。



※ 部首･コード入力ダイアログの詳細については、＜Chapter23 ChineseWriterLT 機能の詳細＞の「部首･コード入力」をご覧ください。 **170**

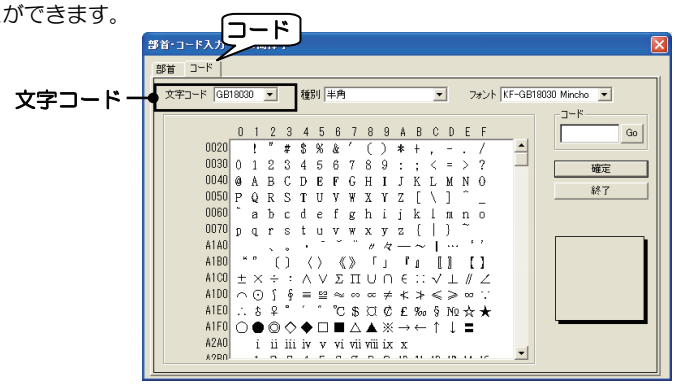
文字コードから中国語を入力する

[例]　“罩” GB18030コード “d5d6”

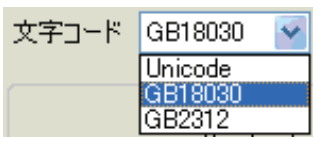
1. ChineseWriterLTのツールバーから ボタンをクリックします。

部首･コード入力ダイアログが表示されます。

※ 部首･コード入力ダイアログが“コード”になっていない場合は、ダイアログ上部の［ コード ］タブをクリックすると、“コード入力”へ切り替えることができます。



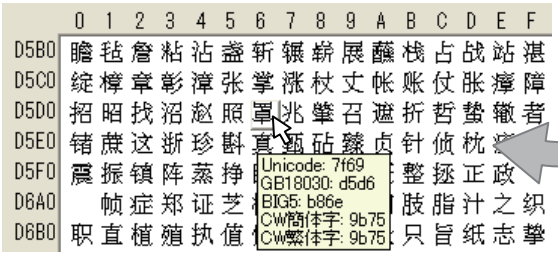
2. 文字コードを選択します。

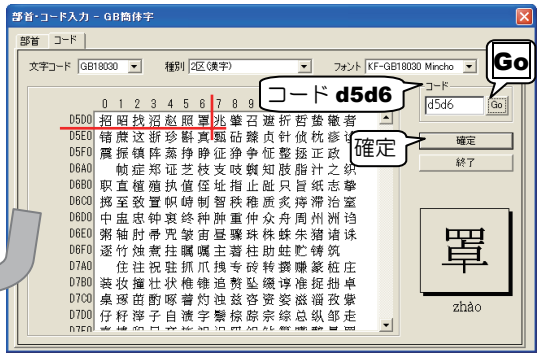


**3. コード入力欄に、コード（d5d6）を入力し、Go ボタンをクリック、
またはコードの上3桁（4バイトコードでは7桁）と一致する行番号（d5d0）の行と、コードの下1桁と一致する列番号（6）の列の交わる位置に、表示される文字をクリックします。**

選択文字表示域に、対応する漢字が表示されます。

※ 一覧表示域で、（D5D6）行の（6）列に表示された「罩」にカーソルを置くと、中国語コードが表示されます。





4. [確定] ボタンをクリック、または 一覧表示域で“罩”をダブルクリックすると、アプリケーションのカーソル位置に“罩”が入力されます。

※ 部首·コード入力ダイアログの詳細については、<Chapter23 ChineseWriterLT 機能の詳細>の「部首·コード入力」をご覧ください。 P 170

9 中国語以外の文字や記号を入力する

ChineseWriterLT では、中国語の漢字以外に「声調記号付きピンイン」「英数字」「特殊文字（記号など）」を入力することができます。

声調記号付きピンインの入力

ChineseWriterLT(GB)から声調記号が付いたピンインを入力する。　**[例]** ｎノｈチｏ

ChineseWriterLT (BIG5) では、声調記号のついたピンインを入力することはできません。

ChineseWriterLT(GB) の入力モードを「声調付きピンイン」へ切り替えて、ピンインの１音節入力後に対応する声調の数字を入力すると以下の声調記号が付いたピンインを入力することができます。
（ 軽声の場合、記号は付加されません。）

声調の種類	軽声+	第１声	第２声	第３声	第４声
声調記号		ー	ˊ	ˇ	ˋ

声調記号の付いたピンインを入力する場合は、ピンインの後ろに以下の対応する数字（数字声調）を入力します。

声調の種類	軽声	第１声	第２声	第３声	第４声
数字声調	0	1	2	3	4

1. ChineseWriterLTのツールバーから入力モードボタンをクリックして、声調付きピンイン固定入力モードにします。

2. キーボードから [N][I][3][H][A][O][3] と入力します。

ｎノhチo

3. [Enter] キーを押して確定します。

ｎノｈチｏ

英数字の入力　**[例]** computer

1. ChineseWriterLTのツールバーから入力モードボタンをクリックして、英数字入力モードにします。

2. キーボードから [C][O][M][P][U][T][E][R] と入力します。

computer

3. [Enter] キーを押して確定します。

computer

◆ 非漢字の入力

ChineseWriterLT では、特定の読み（以下の表を参照）を入力して変換を行うと非漢字(◎◇★などの記号)を入力することができます。

読み	変換候補	GB	BIG5
SYMBOL	○◎●□■◇◆☆★※など	○	○
GREEK	α β γ δ ε ζ η θ ι κなど	○	○
RUSSIAN	а б в г д е ё ж з иなど	○	×

（ 読みは、大文字、小文字どちらで入力しても変換することができます。 ）

※ SYMBOLは、**ChineseWriterLT (GB)** で変換した場合と、**ChineseWriterLT (BIG5)** で変換した場合とでは、変換候補の内容が異なります。

※ RUSSIANは、**ChineseWriterLT (BIG5)** に対応していません。

入力できる非漢字の対応表については、本製品付属のPDFファイル「 j ・北京付録」をご覧ください。

中国語でよく使用される記号は、以下の表の入力キーを押して［Space ］キーまたは、［ **変換** ］キーで変換すると入力することができます。

入力キー	,	.	[	]	／	{	}	<	>	^	
入力文字	、	。	「	」	・	“	”	《	》	…	‥

◆ 日付・時刻の入力

ChineseWriterLT では、特定の読み(下の表を参照)を入力して変換を行うとコンピュータのシステム日付、時刻を入力することができます。

読み	変換候補
DATE	2006年8月25日 2006年８月25日星期五 二〇〇六年八月二十五日 二〇〇六年八月二十五日星期五など
TIME	19：35 19点35分 十九点三十五分 下午七点三十五分

中国語で作成した電子メールの送信時に発信日付や発信時刻を付加する場合に利用すると便利です。

（読みは、大文字、小文字どちらで入力しても変換することができます。）

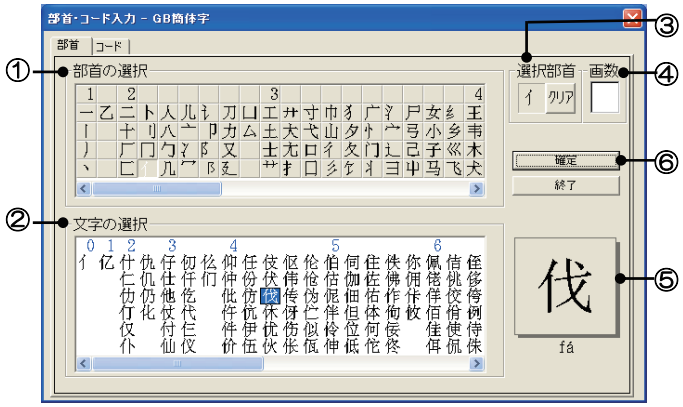
Chapter 23　ChineseWriterLT　機能の詳細

1 部首･コード入力について

ChineseWriterLT のツールバーから ボタンをクリックすると表示される、部首･コード入力ダイアログについて説明します。
部首･コード入力ダイアログは、漢字の部首や文字コードから目的の文字を入力できる入力ツールです。部首･コード入力ダイアログには、部首から目的の漢字を入力するページとコードから目的の文字を入力するページがあり、ダイアログ上部の［ 部首入力 ］タブ、［ コード入力 ］タブをクリックすることにより、各ページを切り替えることができます。

◆ 部首入力ページ

部首入力ページの構成と項目について説明します。



① 部首の選択

部首がボタン形式で一覧表示されます。
部首の選択の上部は、部首の画数を示す数字が表示されます。この領域から各部首ボタンをクリックすると、選択した部首を含む漢字が「文字の選択」に一覧表示されます。

② 文字の選択

「部首の選択」で指定した部首を含む中国語の漢字または、「総画」に入力した画数と一致する中国語の漢字が一覧表示されます。漢字を選択後、［ 確定 ］ボタンをクリックすると、利用しているアプリケーションのカーソル位置に入力することができます。

③ 選択部首

「部首の選択」で指定した部首が表示されます。
選択した部首を解除する場合は、横の［ クリア ］ボタンをクリックします。

④ 総画

目的の漢字の総画数を入力します。
文字の選択には、入力した画数と一致する中国語の漢字が一覧表示されます。

⑤ 選択文字表示域

「文字の選択」で指定した漢字が拡大表示されます。
※ 選択文字表示域の下には、選択した漢字の読みがピンインで表示されます。

⑥ 確定ボタン

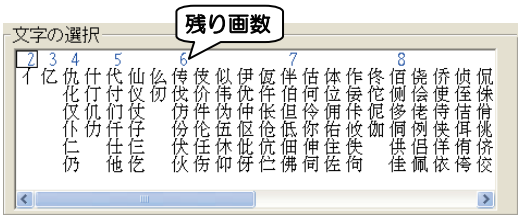
選択されている文字をアプリケーションに入力します。

★ 文字の選択について

「文字の選択」は、指定した条件によって、表示される内容が変わります。

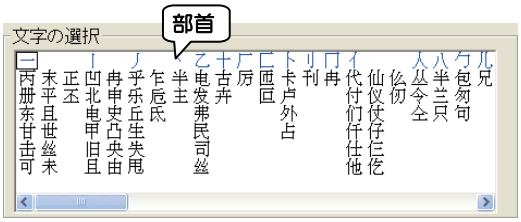
◆ 部首を指定した場合 ◆

「文字の選択」には、指定した部首を含む漢字が一覧表示されます。「文字の選択」の上部には、漢字の残り画数を表す数字が表示されます。



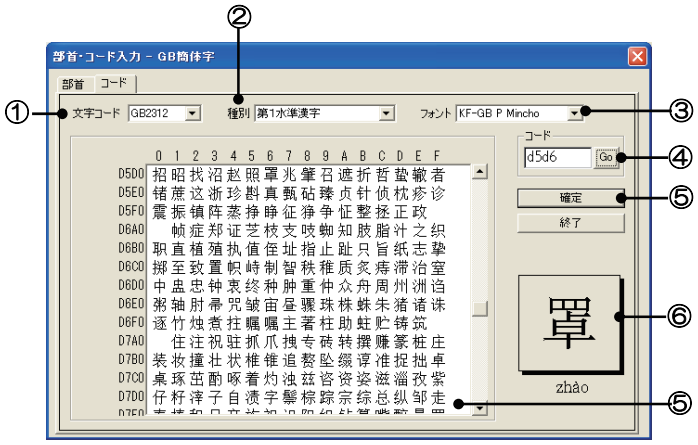
◆ 総画数を指定した場合 ◆

総画数に入力した画数と一致する漢字が一覧表示されます。「文字の選択」の上部には、漢字の部首が表示されます。



◆ コード入力ページ

コード入力ページの構成と項目について説明します。
以下は、**ChineseWriterLT (GB)**と**ChineseWriterLT (BIG5)**のコード入力ページの画面です。



① 文字コード

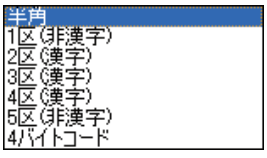
文字コードの一覧から、入力するコードを選択します。

ChineseWriterLT (GB) の場合

ChineseWriterLT (BIG5) の場合

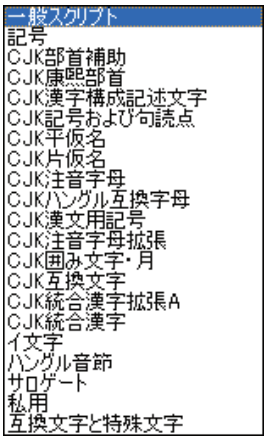
② 種別

各コードを種別に表示させることができます。



GB18030

GB2312／BIG5



Unicode

CJK 部首補助：康熙字典の部首を補足する目的で部首に準じて扱われることがある形を現す文字。

CJK 康熙部首：康熙辞典の 214 の部首を表す文字。

CJK 漢字構成記述文字：Unicode 標準に含まれない漢字を表現するための文字

CJK 注音字母：中国語の発音を表記するために使用される表音文字

CJK ハングル互換字母：連合文字ではないハングル字母

CJK 互換文字：漢字一文字分の表示スペースに語、記号、略号等を表示する組文字等

CJK 統合漢字：中国、日本、韓国の文字集合規格などに含まれている漢字を一つに統合した文字ブロック

イ文字：中国の民族イ族の使うイ語[ロロ語]を表記する音節文字

サロゲート：追加の 16 面の文字を表すために UTF-16 符号化方式で使われる下位サロゲートおよび上位サロゲートのコードポイント

③ フォント

入力するフォントー覧から選択します。

④ コード

コード番号を入力して、Go ボタンをクリックすると、対応する文字が選択文字表示域に表示されます。

⑤ 確定

「選択文字表示域」で表示されている文字をアプリケーションに入力します。

⑥ 選択文字表示域

コード入力、あるいは一覧表示域でクリックした文字が拡大表示されます。漢字の下にはピンインが表示されます。

⑦ 一覧表示域

コード番号に対応する文字が一覧表示されます。表示域の左に表示されている行番号はコードの上３桁（4 バイトコードでは上７桁）にー致します。表示域の上部に表示されている列番号はコードの下１桁にー致します。

2 仮想キーボード

ChineseWriterLT のツールバーから ボタンをクリックすると表示される仮想キーボードについて説明します。

仮想キーボードは、マウス操作のみで中国語や他の文字を入力することができる入力ツールです。
（仮想キーボードを表示しながらキーボード入力も可能です。）

仮想キーボード上のボタンをクリックすると、キーボードからキー入力した場合と同様に文字を入力したり、中国語へ変換することができます。

◆ 仮想キーボードの割り当て

表示される仮想キーボードの割り当て内容は、入力モードに応じて変わります。

入力モードが「全ピン」「英数字」「声調付きピンイン」「直接入力」の場合は、右の仮想キーボードが表示されます。

環境設定の「ピンイン、注音分かち書き」を「する」に設定している場合、分かち書きを行うキー [; ,] が表示されます。
正しく分かち書きが行われなかった場合は、[; ,] キーを入力して分かち書きを行って下さい。

入力モードが「双ピン」の場合は、右の仮想キーボードが表示されます。キー入力の度に、仮想キーボードの表示が変わり、正しい双ピン入力を支援します。

入力モードが「注音」の場合は、右の仮想キーボードが表示されます。

☞ ［ Shift ］キーを押しながら行う操作を仮想キーボードで実行する場合は、仮想キーボードの［ SHIFT ］ボタンをクリックしてロックした後、対応するボタンをクリックすると、［ Shift ］キーを押しながら行うキー操作が実現できます。
ロックされた［ SHIFT ］ボタンは、再度［ SHIFT ］ボタンをクリックするとロックを解除することができます。

◆ 終了方法

仮想キーボード画面の右上にある閉じるボタン をクリックします。

3 日中どこでも翻訳

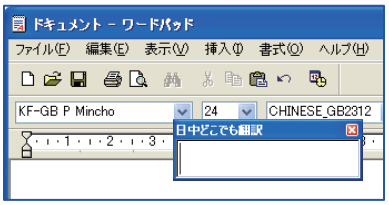
ChineseWriterLT のツールバーから、日中どこでも翻訳ボタン をクリックすると起動する「日中どこでも翻訳」の機能について説明します。
日中どこでも翻訳とは、日本語の文章を専用のミニウィンドウに入力して確定するだけで、翻訳結果の中国語をアプリケーションに入力できるプログラムです。

> 日中どこでも翻訳の翻訳は機械翻訳によるものであって、常に正しい翻訳を保証するものではありません。
> また、中国語から日本語への翻訳はできませんのでご了承ください。

ワードパッドでGBコードの中国語を入力する

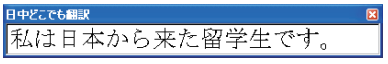
アプリケーションで、ご利用になる中国語の文字コードが GB コードの場合は **ChineseWriterLT(GB)** から、BIG5コードの場合は **ChineseWriterLT(B5)** から起動します。

1. ワードパッドを起動し、GBコードに対応したフォント（KF-GBで始まるフォント）に切り替え、中国語を挿入する位置にカーソルを表示します。



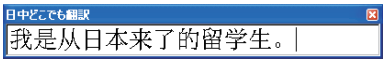
2. 入力システムを ChineseWriterLT(GB) に切り替え、 アイコンをクリックして日中どこでも翻訳ウィンドウを起動します。

3. 日中どこでも翻訳ウィンドウにカーソルを表示し、日本語の入力システム（MS-IMEやATOK等 ）を利用して、日本語の文章あるいは単語を入力します。



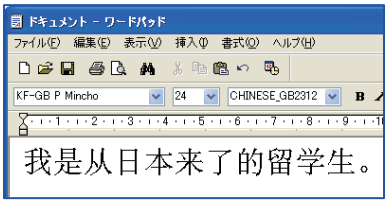
正しい翻訳結果を得るためには、基本的な文章表現を用いて簡潔に入力する必要があります。また複数の文章を一度に入力せず、単語単位または文単位で入力してください。

4. 入力後、[Enter] キーを押します。



中国語に翻訳されます。

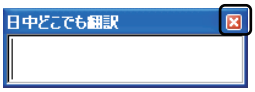
5. 再度 [Enter] キーを押します。



アプリケーションに中国語が転送されます。転送後は、日中どこでも翻訳ウィンドウのテキストは消去されます。引き続き日本語を入力してご利用になれます

◆ 終了方法

日中どこでも翻訳画面の右上にある終了ボタン をクリックします。



Chapter 24　ChineseWriterLT　辞書編集

ChineseWriterLTのシステム辞書には、利用頻度の高い単語があらかじめ登録されていますが、専門的な用語や人名、会社名、地名などは、システム辞書に登録されていない単語もあります。
システム辞書に登録されていない単語は、「ユーザー辞書登録」を利用してユーザー辞書ファイルへ登録すると、**ChineseWriterLT**から中国語の入力時に変換候補の1つとして呼び出して入力することができます。
辞書編集は、**ChineseWriterLT**のツールバーから ボタンをクリックして表示される、辞書編集ダイアログで行います。

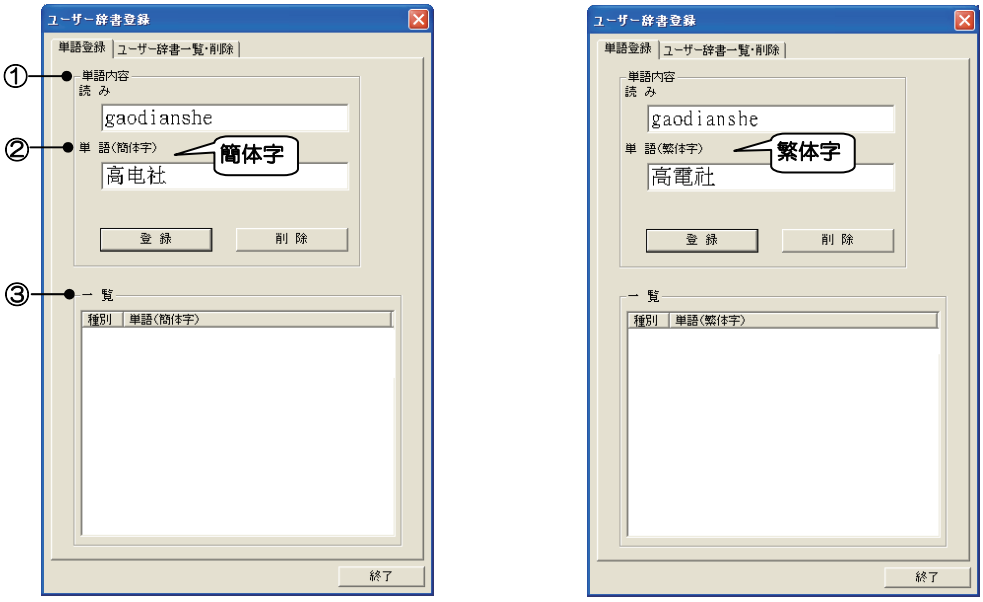
ハードディスクに空き領域があれば、いくつでもユーザー単語を登録することができますが、同一の読みで登録できる単語の最大数は255単語までです。

意味の無い不必要な単語の登録は、辞書の変換効率を悪くすることになりますのでご注意下さい。

1 画面構成と各部の概要について

◆ ユーザー辞書登録ダイアログ（単語登録）

ChineseWriterLT (GB)(左図)と**ChineseWriterLT (BIG5)**（右図）とでは、画面が異なります。



① 読み

登録（または、削除）する単語の読みを入力します。
読みのテキストボックスには、ピンイン、注音、記号などを用いて最大で３２文字までの読みを入力することができます。ピンイン、注音の場合は、声調を付加して登録することもできます。

※ 読みの先頭に数字を使用することはできません。

「低挫」の単語を登録する場合の
読みの入力例です。
いずれの読みでも登録することができます。

読みの種類	読みの入力例
ピンイン	nihao(声調なし) 、ni3hao3(声調あり)
注音	・・・・（声調なし)，・・∨・・∨(声調あり)

② 単語

登録（または、削除）する単語を入力します。
単語のテキストボックスには、最大で全角８文字(１６バイト)までの単語を入力することができます。

③ 一覧

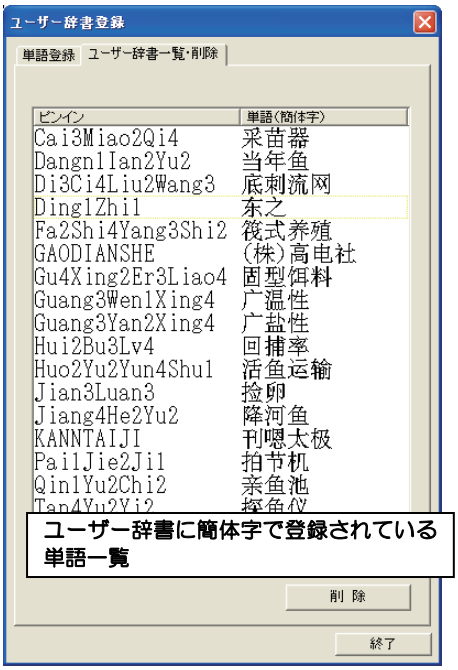
① に入力した読みで登録されている単語が一覧表示されます。

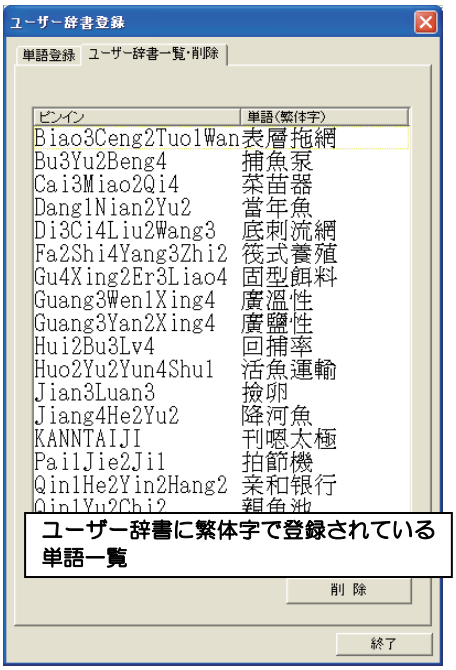
辞書一覧に表示される単語の前には “A”、“S”、“U” のアルファベットが表示されます。

A	学習辞書に登録されている単語
S	システム辞書に登録されている単語
U	ユーザー辞書に登録されている単語

☞ 学習辞書は、**ChineseWriterLT** で変換時に選択した候補の単語を自動的に登録する辞書ファイルです。**ChineseWriterLT** の学習機能では、この辞書ファイルを使って前回選択した単語を次回変換時に優先して表示しています。

◆ ユーザー辞書登録ダイアログ（ユーザー辞書一覧・削除）



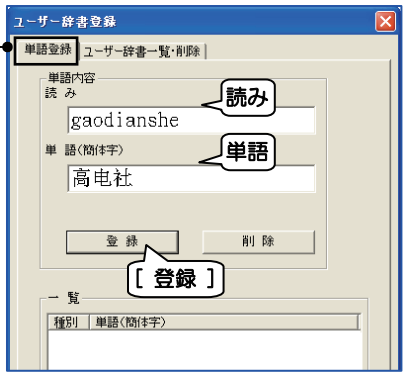


2 辞書編集

単語を登録する　　**[例]　登録する単語：**互窮芙　**読み：**gaodianshe（**ピンイン**）

1. 読みのテキストボックスに登録する単語の読み（ gaodianshe ）を入力します。

単語登録 タブ



☞ 読みは全角、半角どちらで入力しても構いませんが、全角で入力しても辞書登録時に半角へ変換されます。

2. 単語のテキストボックスに、登録する単語（ 互窮芙 ）を入力します。

登録する単語（互窮芙）は、「互」「窮」「芙」の漢字を各々、**ChineseWriterLT** を使って単漢字で変換して入力します。

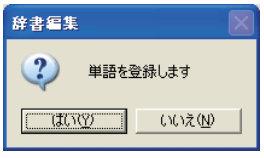
入力方法

① 単語のテキストボックスに“gao”を入力後、[Space] キーまたは、[変換] キーを押して「**互**」へ変換して確定します。　gao ⇒ 互

② 続いて、“dian”を入力後 [Space] キーまたは、[変換] キーを押して「**窮**」へ変換して確定します。　互 dian ⇒ 互窮

③ 続いて、“she”を入力後 [Space] キーまたは、[変換] キーを押して「**芙**」へ変換して確定します。　互窮 she ⇒ 互窮芙

3. [登録] ボタンをクリックします。



“単語を登録します”のメッセージボックスが表示されます。

[はい(Y)] ボタンをクリックすると、辞書編集ダイアログに入力した読みの単語がユーザー辞書ファイルへ登録されます。

登録を中止する場合は、[いいえ(N)] ボタンをクリックします。
「読み」「単語」へ入力した内容はクリアされます。

※ 登録した単語は、**ChineseWriterLTから“gaodianshe”**と入力して、[変換] キーまたは、[Space] キーを押すと“互窮芙”へ変換して入力することができます。

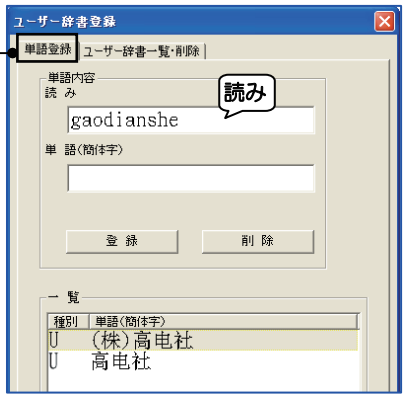
※ 読みに声調を付けて登録した単語は、**ChineseWriterLT**からの入力時に声調を付加しなくても変換することができます。

単語を削除する

[例]　「単語を登録する」で登録した“互窮芙”（ 読み：gaodianshe)**を削除する。**

1. 読みのテキストボックスに削除する単語の読み（ gaodianshe ）を入力します。

単語登録 タブ



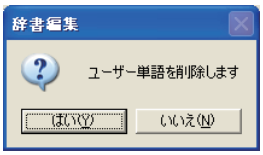
削除できる単語は、先頭に“A”、“U”が付いた単語です。先頭に“S”の付いたシステム辞書に収録されている単語を削除することはできません。

2. 一覧から削除する単語（互窮芙）をクリックして選択します。

単語のテキストボックスに一覧で選択した“互窮芙”が挿入されます。

3. [削除] ボタンをクリックします。

“単語を削除します”のメッセージボックスが表示されます。



[はい(Y)] をクリックすると、ユーザー辞書ファイルから“高电社”の単語が削除されます。

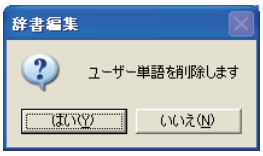
[いいえ(N)] をクリックすると、削除を中止し、「読み」「単語」の内容はクリアされます。

◆ 登録単語の一覧表示から削除する

ユーザー辞書一覧・削除登録 タブ

ユーザー辞書に登録されている全ての単語が表示されます。

不要な単語を一覧から選択後、[削除] ボタンをクリックします。



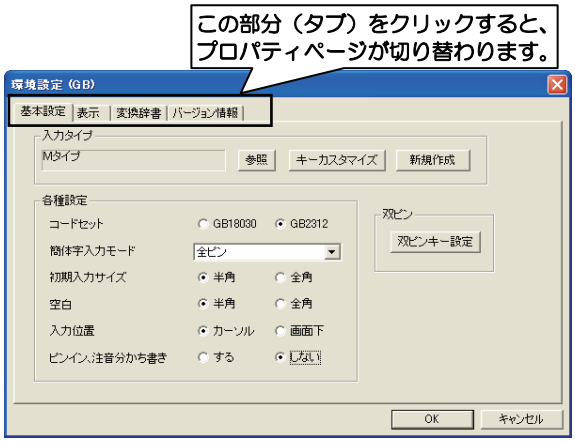
Chapter 25　ChineseWriterLT　環境設定

1 環境設定の前に

ChineseWriterLT の環境設定は、**ChineseWriterLT** のツールバーから ボタンをクリックすると表示される、以下の環境設定ダイアログで行います。

環境設定ダイアログには、**ChineseWriterLT** の環境を設定するための３つのプロパティページとバージョン情報を表示するためのプロパティページがあり、各プロパティページは、環境設定ダイアログ上部のタブをクリックして切り替えることができます。

環境設定ダイアログで設定を行った場合は、[OK]ボタンをクリックして設定内容を保存して下さい。



2 基本設定プロパティページ

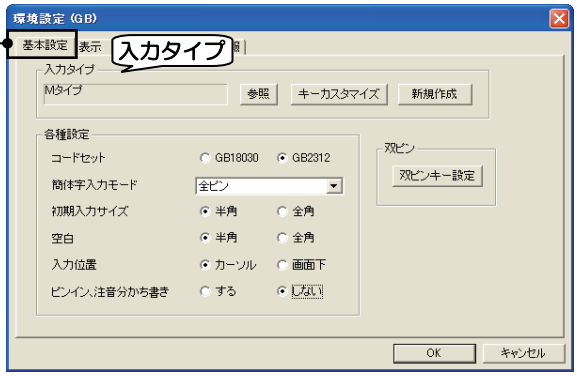
基本設定プロパティページでは、キー割り当てや各種機能の初期値を設定します。
環境設定ダイアログ上部の［ 基本設定 ］タブをクリックすると、以下のプロパティページが表示されます。

★ 入力タイプ

ChineseWriterLTで使用する変換キーや確定キーなどキーボードに割り当てられている操作キーを設定します。また、あらかじめ用意されている入力タイプを元にしてオリジナルの入力タイプを作成することもできます。

ChineseWriterLTには、3つの入力タイプがあらかじめ用意されています。

各入力タイプの詳細については、本製品付属の HTML ファイル「j・北京付録」をご覧下さい。

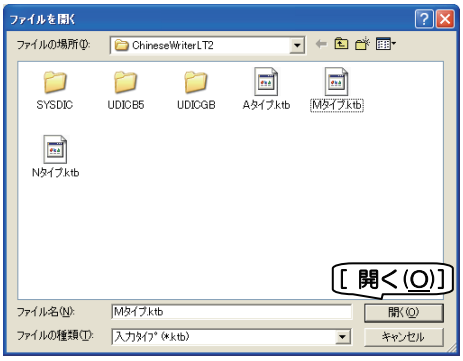


Mタイプ	マイクロソフト社の日本語入力システム（MS-IME）に合わせてキー設定した操作環境になります。
Aタイプ	株式会社ジャストシステムの日本語入力システム（ATOK）に合わせてキー設定した操作環境になります。
Nタイプ	日本電気株式会社の日本語入力システム（NECAI）に合わせてキー設定した操作環境になります。

入力タイプを変更する

標準の入力タイプ（M タイプ）を ATOK または、NECAI の入力操作環境へ変更します。

1. 入力タイプ横の［ 参照 ］ボタンをクリックします。



2. ファイルを開くダイアログから設定する入力タイプを選択して、［ 開く ］ボタンをクリックします。

ATOK の操作環境に設定する場合は、“A タイプ.ktb”を指定します。
NECAI の操作環境に設定する場合は、“N タイプ.ktb”を指定します。

操作キーをカスタマイズする

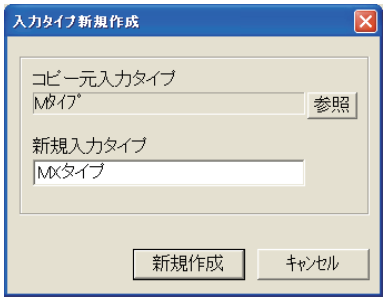
ChineseWriterLT には、3 種類の入力タイプが用意されていますが、各入力タイプの操作キーはカスタマイズして自由に設定することができます。

ChineseWriterLT には、M タイプ、A タイプ、N タイプの 3 種類の入力タイプが用意されていますが、それらの入力タイプに対して直接、操作キーをカスタマイズすることはできません。
操作キーのカスタマイズは、基本設定プロパティページから[新規作成]ボタンをクリックして、入力タイプの新規作成ダイアログで作成した入力タイプに対して実行します。

1. 基本設定プロパティページから［ 新規作成 ］ボタンをクリックして、入力タイプ新規作成ダイアログを表示します。

2. コピー元入力タイプに、新規作成するベースとなる入力タイプ（Mタイプ、Aタイプ、Nタイプのいずれか）を指定します。

コピー元入力タイプは、［ 参照 ］ボタンから入力タイプのファイル名を選択して、指定することができます。
ここでは、「Mタイプ」をコピー元入力タイプに指定します。

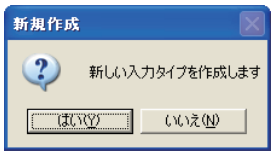


3. 新規入力タイプのテキストボックスに作成する入力タイプ名を入力します。

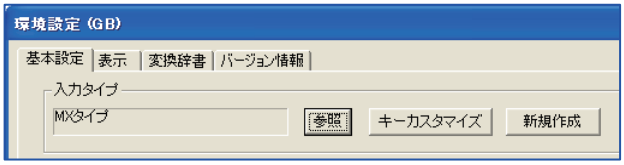
※ ここでは、新規入力タイプのテキストボックスに“MXタイプ”と入力します。

4. 入力タイプ新規作成ダイアログから［ 新規作成 ］ボタンをクリックします。

“新しい入力タイプを作成します”のメッセージボックスが表示されますので、［ はい(Y)］ボタンをクリックします。



5. 入力タイプの設定を入力タイプ新規作成ダイアログで作成した入力タイプへ変更します。

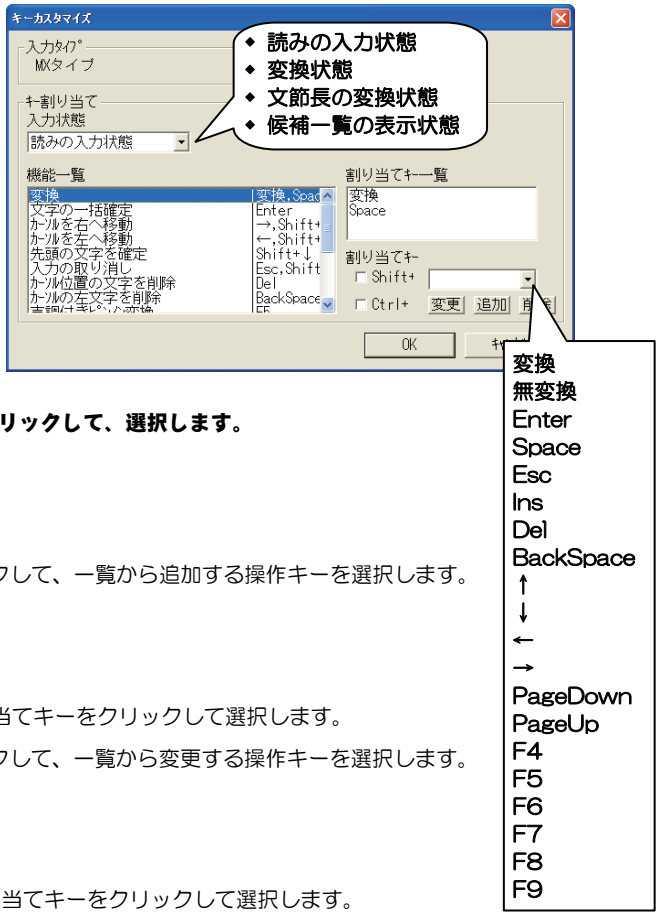


6. 基本設定プロパティページから [キーカスタマイズ] ボタンをクリックして、キーカスタマイズダイアログを表示します。

7. 入力状態の [▼] ボタンをクリックして、キーカスタマイズする入力状態を選択します。

キー割り当ては、ChineseWriterLTの入力状態によって、4つ（読みの入力状態、変換状態、文節長の変更状態、候補一覧の表示状態）に分類されています。

例えば、入力状態に「読みの入力状態」を選択した場合は、**ChineseWriterLT**から読みの入力中に利用できる機能が、キーカスタマイズダイアログの機能一覧に表示されます。



8. 機能一覧からキーカスタマイズする機能をクリックして、選択します。

9. 割り当てキーを設定します。

◆ 割り当てキーを追加する場合 ◆

① 割り当てキーの [▼] ボタンをクリックして、一覧から追加する操作キーを選択します。

② [追加] ボタンをクリックします。

◆ 割り当てキーを変更する場合 ◆

①「割り当てキー一覧」から変更する割り当てキーをクリックして選択します。

② 割り当てキーの [▼] ボタンをクリックして、一覧から変更する操作キーを選択します。

③ [変更] ボタンをクリックします。

◆ 割り当てキーを削除する場合 ◆

① 「割り当てキー一覧」から削除する割り当てキーをクリックして選択します。

② [削除] ボタンをクリックします。

☞ 割り当てキーを追加または、変更する場合でキー操作時に［SHIFT］キー、［CTRL］キーを併用する場合は、「SHIFT」項目、「CTRL」項目をクリックしてチェックマークを付けて下さい。

★ 入力モード

ChineseWriterLTの入力モードの初期値を設定します。
簡体字入力モードは、[▼] ボタンをクリックして一覧から選択して設定します。

ChineseWriterLT(GB)		ChineseWriterLT(BIG5)	
モード	ツールバー入力モードボタン	モード	ツールバー入力モードボタン
全ピン		全ピン	
双ピン		双ピン	
声調付きピンイン		注音	
英数字		英数字	

★ 初期入力サイズ

入力サイズの初期値を「半角」「全角」のいずれかより選択して設定します。

※「声調付きピンイン」が設定されている場合、初期入力サイズの設定内容は反映されません。

半角		入力サイズボタンの初期値を“半角”にします。
全角		入力サイズボタンの初期値を“全角”にします。

★ 空白

キーボードから[Space] キーを押したときに入力する空白の文字サイズを「半角」「全角」のいずれかより選択して設定します。

注）**ChineseWriterLT**のツールバーにある入力サイズボタンの設定が優先されるため、
「空白」が「全角」に設定されていても入力サイズボタンが半角の場合は、半角の空白が入力されます。

半角	[Space] キーを押したときに半角の空白を入力します。
全角	[Space] キーを押したときに全角の空白を入力します。

★ 入力位置

ChineseWriterLTの文字の入力位置を設定します。

カーソル	アプリケーションのカーソル位置へ直接文字を入力します。
画面下	入力用のウィンドウが表示され、このウィンドウを利用して間接的に文字を入力します。 ◆ キーボードから文字が入力されると、自動的に上記の入力ウィンドウが表示されます。 ◆ 入力ウィンドウ内で文字を確定すると、利用しているアプリケーションのカーソル位置に確定した文字が入力されます。 ◆ 入力ウィンドウ右上のボタンをクリックすると、入力中の文字をキャンセルして、入力ウィンドウを閉じます。 ◆ 入力位置の設定に画面下を選択した場合、部分確定することはできません。

★ ピンイン分かち書き／ ピンイン・注音分かち書き

ピンイン（全ピン、双ピン）の入力時に分かち書きを行うか否かを「する」「しない」のいずれかより選択して設定します。**ChineseWriterLT(BIG5)**では、注音入力時にも設定されます。

全ピン入力時	; キー
双ピン入力時	o キー
注音入力時	: キー

ピンインによっては、自動で音節の切れ目を判断できない場合があります。

正しく分かち書きされない時は、入力モードに応じて以下の隔音キーを任意の位置で押して、音節の切れ目を指定する必要があります。

する	ピンインの 1 音節入力毎に空白を自動的に挿入して分かち書きします。連文節変換で 1 度に複数のピンインを入力する場合、分かち書きを「する」に設定しておくと、入力した読みが見やすくなります。
しない	ピンインの 1 音節を入力しても空白は挿入されません。

例えば、「忽縞芦畠号鯉」のピンインは、「**guojianquanguige**」ですが、分かち書きを設定して入力すると、「**guo ji an quan gui ge**」となるべきところが、「**guo jian quan gui ge**」となります。
この場合は、「**guo ji**」を入力した後に隔音キー（**;** キー）を入力すると、正しく分かち書きすることができます。

☞ ピンイン･注音分かち書きを「する」に設定している場合、仮想キーボードに隔音キーが表示されます。左図は、全ピン入力時の仮想キーボードです。

双ピンキー設定

ChineseWriterLTの双ピン入力モードでは、キーボードへ割り当てられた声母と韻母のキーを押してピンインの 1 音節を入力します。双ピンの声母と韻母のキー割り当ての内容は、ユーザーが自由に変更して設定することができます。

1. 基本設定プロパティページから［ 双ピンキー設定 ］ボタンをクリックします。

双ピンキー設定ダイアログが表示されます。

2. 双ピンの割り当てを設定するキーボタンをクリックします。

選択したキーボタンに現在割り当てられている「声母」「韻母 1」「韻母 2」が表示されます。

3. 変更する「声母」「韻母 1」「韻母 2」の［ ▼ ］ボタンをクリックし、一覧から設定するピンインを選択します。

☞ ［ K タイプ初期値 ］
高電社の双ピンキー設定に初期化します。

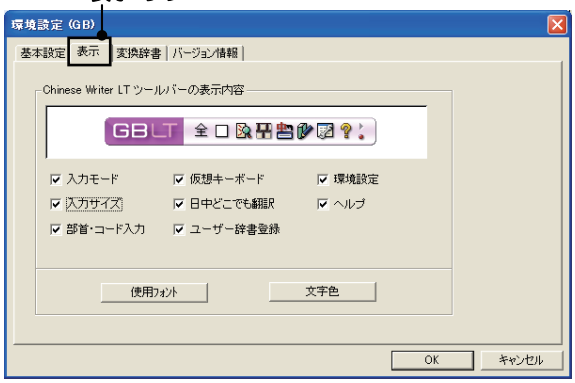
［ M タイプ初期値 ］
マイクロソフト社の双ピンキー設定に初期化します。

4. ［ OK ］ボタンをクリックします。

3 表示プロパティページ

表示プロパティページでは、**ChineseWriterLT** のツールバーに表示するボタンや中国語の表示に使用するフォント、文字色の設定を行います。環境設定ダイアログ上部の［ 表示 ］タブをクリックすると、以下のプロパティページが表示されます。

表示 タブ



★ ChineseWriterLT ツールバーの表示内容

ツールバーに表示するボタンを設定します。

表示プロパティページ内に表示されているボタン名のチェックマークの有無でツールバーに表示するボタンの表示／非表示が設定されます。

表示プロパティページ上部のツールバーに設定内容が反映されますので、設定内容を確認しながら設定を行うことができます。

※ ツールバーの［ ▶ ］ボタンをクリックすると、ここで表示しないように設定したボタンを表示することができます。

★ 使用フォント

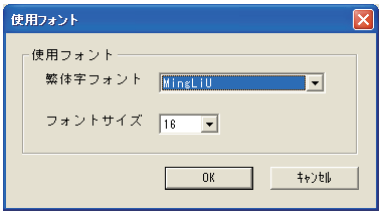
ChineseWriterLTで使用する中国語フォントとフォントサイズを設定します。

各項目横の［ ▼ ］ボタンをクリックし、一覧からフォント，フォントサイズを選択し設定します。

設定したフォントは、変換時の候補一覧やコード･部首入力で表示される中国語の文字に反映されます。
設定したフォントサイズは、変換時の候補一覧や入力位置を画面下に設定した場合に反映されます。

ChineseWriterLT(GB)

ChineseWriterLT(BIG5)



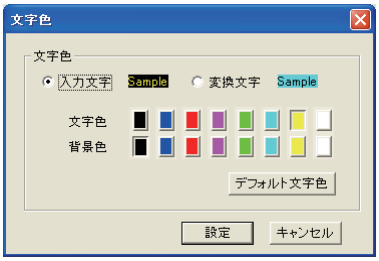
文字色の設定

ChineseWriterLTから文字の入力中、変換中に使用する文字色と背景色を設定します。

未確定文字列を制御しているアプリケーションでは、ここで設定した文字色が反映されない場合があります。

1. 表示プロパティページから［ 文字色 ］ボタンをクリックします。

文字色ダイアログが表示されます。



2. 文字色を設定する状態を「入力文字」「変換文字」より選択します。

「入力文字」…読みの入力中に反映する色の設定
「変換入力」…入力した読みの変換中に反映する色の設定

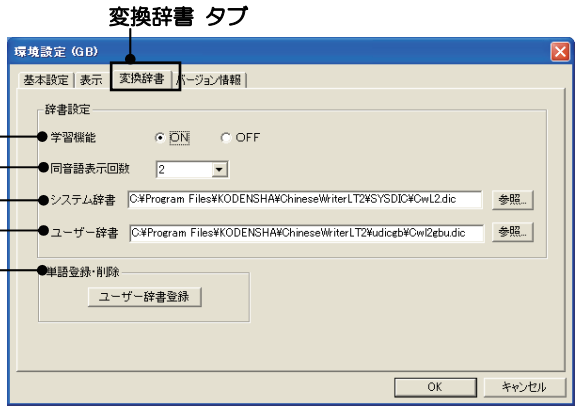
3. 2.で選択した「入力文字」「変換文字」に反映する文字色を、色の付いたボタンをクリックして設定します。

4. [設定] ボタンをクリックして、設定した文字色と背景色を保存します。

[デフォルト文字色] ボタンをクリックすると、文字色の設定を導入時の設定に戻すことができます。

4 変換辞書プロパティページ

中国語の変換に使用する辞書（システム辞書、ユーザー辞書）や学習機能の有無などの **ChineseWriterLT** の辞書に関係する設定を行います。
環境設定ダイアログ上部の [変換辞書] タブをクリックすると、以下のプロパティページが表示されます。



★ 辞書設定

① 学習機能

変換結果を学習するか否かを「ON」「OFF」より選択して設定します。

ON…　変換結果を学習します。
　　学習された単語は、次回変換時に最初の候補として表示されます。
OFF…変換結果を学習しません。

② 同音語表示回数

候補一覧を表示するまでの変換回数を設定します。
設定は、同音語表示回数の [▼] ボタンをクリックして、候補一覧を表示するまでの変換回数を指定して行います。
初期値は２に設定されています。

③ システム辞書

ChineseWriterLTの変換時に参照するシステム辞書ファイルをフルパスで指定します。
インストール時に自動的に設定されますので通常は、設定する必要はありません。
システム辞書(CwLTGB.dic または、CwLTB5.dic)を他のドライブやフォルダへ移動した場合は、移動先のパス名に変更して下さい。

④ ユーザー辞書

ChineseWriterLTの変換時に参照するユーザー辞書ファイルをフルパスで指定します。
インストール時に自動的に設定されますので通常は、設定する必要はありません。
ユーザー辞書(CwLTGBu.dic または、CwLTB5.dic)を他のドライブやフォルダへ移動した場合は、移動先のパス名に変更して下さい。

> ☞ ユーザー辞書のテキストボックスにディスクに存在しない辞書ファイル名を指定すると、新しいユーザー辞書ファイルを作成することができます。なお、作成されるのは、ユーザー辞書ファイルのみです。
> ユーザー辞書を格納するフォルダは、自動的には作成されませんのであらかじめエクスプローラなどを利用してフォルダを作成しておく必要があります。

⑤ 単語登録･削除

システム辞書に登録されていない単語をユーザー辞書へ登録する場合に利用します。
[辞書編集] ボタンをクリックすると、辞書編集ダイアログが表示されて、単語の登録や削除を行うことができます。辞書編集ダイアログの機能や辞書編集の操作方法については、<Chapter24 ChineseWriterLT 辞書編集>をご覧下さい。P 175

5 バージョン情報プロパティページ

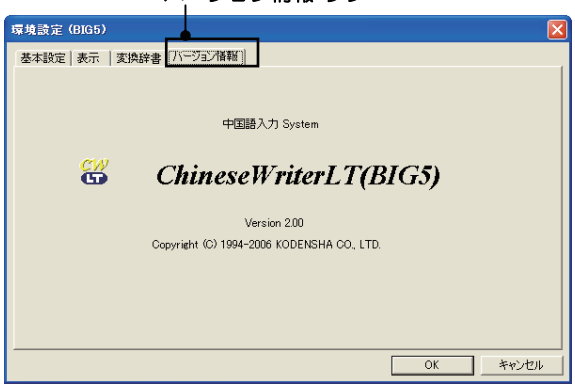
環境設定ダイアログ上部の［ バージョン情報 ］タブをクリックすると、プログラム名を表記したバージョン情報を含むプロパティページが表示されます。

弊社サポートサービスをご利用の場合、使用している **ChineseWriterLT** のバージョンをお聞きする場合があります。

その場合は、このプロパティページに表示されるバージョンをお答え下さい。

バージョン情報 タブ

バージョン情報 タブ



Q&A

プログラムの更新

Q. 不具合かな？と思ったら最初にする作業は何ですか？

A. J 北京 7 では「修正モジュール」にてプログラムを更新することで、不具合を修正し新しいアプリケーションへの対応などをおこなっています。アプリケーションを全て閉じたあと、[スタート]-[すべてのプログラム]-[J 北京 7]-[補助ツール]-[最新プログラムの確認]（P 9）にてアップデートを実行しプログラムを更新してください。

言語

Q. 広東語は翻訳できますか？

A. **j・北京**では、広東語は翻訳できません。北京語の翻訳のみに対応しています。

インストール（IME）

Q. インストールしたのに付属の ChineseWriterLT が登録されない。/ ChineseWriter の IME バーが消えた。

A. インストール時と異なるユーザー名で～（P 12）の作業を行なうと再び表示される場合があります。

Q. ChineseWriterLT に切り替えても、IME のツールバーが表示されない。

A. WindowsXP・OfficeXP/2003 以外の環境の場合は、多国語インジケータ横のペン印のアイコンをクリックして、「ツールバーを表示」にチェックを入れてください。
WindowsXP・OfficeXP/2003 の環境でご使用の場合は、次の手順を行ってください。

1. Windows を Safe モードで起動します。
2. コントロールパネル→キーボード→言語(入力ロケール)を開き、「タスクバー上に状態を表示」の項目にチェックを入れます。
3. タスクバー上に、IME の状態を示すペン型のアイコンが表示されますので、クリックして表示されるメニューから、「ツールバーを表示」にチェックをいれます。
4. Windows を通常の状態で再起動して、ChineseWriter の IME のツールバーが表示されるかご確認下さい。

インストール（フォント）

Q. インストールした KF-GB Mincho など **j・北京**に付属のフォントが登録されていません。

A. フォントキャッシュの破損など Windows の問題も考えられます。（P 11）

アドイン翻訳

Q. アドイン翻訳が組み込めない。

A. お使いのパソコンに導入されていないアプリケーションや J 北京 7 が未対応のアプリケーションはグレイアウトしています。対応できるアプリケーションは（P 105）にてご確認ください。

Q. アドイン翻訳を組み込んでも、翻訳のボタンが表示されない。

A. アドイン翻訳を組み込んだアプリケーションのメニューから、表示→ツールバーを開き、一覧に **J 北京 7** が登録されているかご確認下さい。登録されている場合は、クリックして **J 北京 7** にチェックを入れてください。

ブラウザ

Q. FireFox にアドイン翻訳が組み込めない。

A. 残念ながら組み込めません。対応できるアプリケーションは（P 105）にてご確認ください。

メール

Q. ChineseWriterLT で中国語をメールソフトに入力すると文字化けします。

A1. メールソフトは中国語に対応していますか？メールソフトが中国語に対応していない場合、文字化けします。

A2. メールは HTML(リッチテキスト)形式で作成していませんか？
HTML 形式のメールの場合、中国語のフォントを設定しないと文字化けします。
KF-GB Mincho など **j・北京**に付属の中国語フォントを設定してください。

A3. エンコード(文字コード)の設定は、中国語に設定されていますか？
メールソフトでメール送信時にエンコードが中国語以外に指定されている場合、正しくメール作成/送信ができません。書式のエンコードを、簡体字のメールを作成される場合は簡体字中国語(GB2312)、繁体字のメール作成される場合は繁体字中国語(BIG5)に設定してください。

Q. **j・北京**で日中翻訳した中国語をメールソフトに貼り付けると文字化けします。

A1. メールソフトは中国語に対応していますか？
メールソフトが中国語に対応していない場合、中国語の文字を貼り付けると文字化けします。

A2. メールは HTML(リッチテキスト)形式で作成していませんか？
HTML 形式のメールの場合、中国語のフォントを設定しないと文字化けします。
KF-GB Mincho など **j・北京**に付属の中国語フォントを設定してください。

A3. エンコード(文字コード)の設定は、中国語に設定されていますか？
メールソフトでメール送信時にエンコードが中国語以外に指定されている場合、正しくメール作成/送信ができません。書式のエンコードを、簡体字のメールなら簡体字中国語(GB2312)、繁体字のメールなら繁体字中国語(BIG5)に設定してください。

アプリケーション（Office）

Q. アドイン翻訳後、または **j・北京**で翻訳した中国語を Word/PowerPoint/Outlook に貼り付けると文字化けします。

A. Word/Access/PowerPoint/Outlook が中国語に対応できるのは、バージョン 2000 以上になります。

Q. アドイン翻訳後、または **j・北京**で翻訳した中国語を Excel に貼り付けると文字化けします。

A1. Excel のバージョンはいくつですか？
Excel が中国語に対応できるのは、Excel2000 以上になります。
旧バージョンの Excel をご使用の場合は、Excel2000 以上にバージョンアップすることをお勧めします。

A2. 標準フォントは、中国語に設定されていますか？
ご利用の環境によっては、Excel2000 等で中国語を表示する場合に、標準フォントを中国語のフォントに設定する必要があります。Excel メニューから、ツール→オプション→全般を開き、標準フォントを、使用したい中国語フォント(KF-GB Mincho 等)にあわせてください。

アプリケーション（Office 以外）

Q. アドイン翻訳で翻訳した中国語が文字化けします。

A. 翻訳した中国語が文字化けする場合は、フォント設定が間違っていることが考えられます。
KF-GB Mincho など **j・北京**に付属の中国語フォントを設定してください。

Q. Office 以外のアプリケーションに **j・北京**で翻訳した中国語を貼り付けると文字化けします。

A1. データを貼り付けたいアプリケーションが中国語に対応しているかご確認下さい。
中国語に対応していないアプリケーションには、翻訳した中国語を貼り付けることはできません。

A2. アプリケーション側に、言語(エンコード/文字コード)の設定がないかご確認下さい。
アプリケーション側で言語を中国語に設定しないと、中国語が正しく表示されない場合があります。

A3. 貼り付け後のフォントは何が設定されていますか？翻訳した中国語は、中国語のフォントでないと正しく表示できません。KF-GB Mincho など **j・北京**に付属のフォントを設定してください。

ChineseWriterLT

Q. ChineseWriterLT で中国語を Word/Access/PowerPoint/Outlook に入力すると文字化けします。

A. Word/PowerPoint/Outlook のバージョンはいくつですか？
Word/ PowerPoint/Outlook が中国語に対応できるのは、バージョン 2000 以上になります。

Q. ChineseWriterLT で中国語を Excel に入力すると文字化けします。

A1. Excel のバージョンはいくつですか？
Excel が中国語に対応できるのは、Excel2000 以上になります。
旧バージョンの Excel をご使用の場合は、Excel2000 以上にバージョンアップすることをお勧めします。

A2. 標準フォントは、中国語に設置されていますか？
Excel 上で中国語を表示する場合は、標準フォントを中国語のフォントに設定する必要があります。
Excel メニューから、ツール→オプション→全般を開き、標準フォントを、使用したい中国語フォントにあわせてください。

Q. Office 以外のアプリケーションに ChineseWriterLT で中国語を入力すると文字化けします。

A1. データを貼り付けたいアプリケーションが中国語に対応しているかご確認下さい。
中国語に対応していないアプリケーションには、翻訳した中国語を入力できません。

A2. アプリケーション側に、言語(エンコード/文字コード)の設定がないかご確認下さい。
アプリケーション側で言語を中国語に設定しないと、中国語が入力できない場合があります。

A3. 貼り付け後のフォントは何が設定されていますか？
翻訳した中国語は、中国語フォントを指定しないと正しく表示されません。
KF-GB Mincho など **j・北京**に付属の中国語フォントを設定してください。

サポート用紙

株式会社 高電社　ユーザーサポート係行
ＦＡＸ：06 – 6629 - 3841

記入日：　　年　　月　　日

製品名	**J 北京 7 シリーズ**		
登録 No.			
お名前			
連絡先住所	〒□□□-□□□□ □自宅　□会社(法人名)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
電話番号	(　　)　　-	FAX 番号	(　　)　　-
ご使用のパソコン	メーカー名： (機種名：　　) (型　番：　　)	CPU	
		メモリ	MB
		HDD 容量	GB
ご使用のＯＳ	**ご利用のＯＳにチェック印をつけて下さい。** □XP　□Vista　□7（32bit）　□7（64bit）　□その他（　　）		
ご使用のOffice	**ご利用のＯＳにチェック印をつけて下さい。** □2000　□2002　□2003　□2007　□2010（32bit）　□2010（64bit）		
原因・現象 および 実行結果	できるだけ具体的に（ 状況を弊社で再現できるよう ）ご記入下さい。		

※ 本ページはコピーを取り、ＦＡＸや封書でお送り頂く場合にご利用下さい。
※ 登録№の記載の無いものは、サポートをご利用になれません。

中国語翻訳ソフト
J 北京 7 シリーズ

ユーザーズ マニュアル

2011.04.01 初　版　発行

発行所：株式会社 高電社
著　者：西尾　佳子

© Copyright 2011 KODENSHA CO.,LTD.

■使用上のご注意

⑴ 本製品（プログラム・マニュアル）の内容の１部および、全部を弊社に無断で複写、複製することは、その形態を問わず固く禁じます。⑵ 本製品（プログラム・マニュアル）の内容は、製品の改良などにより予告なしに変更されることがあります。⑶ 本書の内容については、万全を期して作成しましたがご不明な点や誤っている点などがありましたら、弊社までご連絡いただきますようお願い致します。⑷ 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、⑶にかかわらず、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。●J 北京 7 シリーズの中国語は中華人民共和国の標準語（北京語）を基準にしています。●J 北京 7 シリーズの翻訳は機械翻訳によるものであり、常に正しい翻訳を保証するものではありません。●ジャパニーズボイス、チャイニーズボイスの朗読は音声合成によるものであり、常に正しい発音を保証するものではありません。●ロボワード for J 北京 7 は一部のハードウェアまたはソフトウェア上で動作しない場合があります。●ChineseWriterLT による中国語入力は、多言語に対応したアプリケーションでのみ行うことができます。●FineReader の認識は原稿やイメージデータの状態によって左右され、常に正しい文字認識を保証するものではありません。●本カタログに記載の GB または GB コードは GB2312 を意味します。●本製品は、使用者 1 名に限りお使い頂ける 1 ユーザーライセンスです。本製品の無断コピー、不正使用を禁止します。●本製品の仕様、価格は予告なく変更される場合があります。

■著作権

※音声は、HOYA サービス株式会社の音声エンジン VoiceText を使用しています。VoiceText は、Voiceware Co.,Ltd.の登録商標であり、VoiceText の著作権は同社に帰属します。※ABBYY および FineReader は、ABBYY Software, Ltd.の米国およびその他の国における商標登録です。※Roboword（R）は株式会社テクノクラフトの登録商標です。※漢日詞典と日漢双解詞典の著作権は吉林教育出版社に帰属します。※Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。※その他、使用している会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。